

送りがな意識の調査

著者	国立国語研究所
発行年月日	1971-03
シリーズ	国立国語研究所報告 ； 40
URL	http://doi.org/10.15084/00001293

国立国語研究所報告40

送りがな意識の調査

国立国語研究所

1971

国立国語研究所報告40

送りかな意識の調査

国立国語研究所

1971

刊 行 の こ と ば

国立国語研究所の第三資料研究室では、昭和38年度から「現代雑誌九十種の用語用字調査」の結果に基づいて、雑誌における送りがなの使用状況について調査・分析し、その結果の一部を『国立国語研究所年報16』その他に発表した。これは、印刷された文字資料に基づいて、送りがな表記の実態を分析したものである。しかし、送りがなについての問題点を明らかにするためには、実際に文字活動を営む人間を対象として、その表記の実態と、表記に対する意識や態度について知る必要がある。そこで、昭和41年度から「文字使用の実態調査」を企画し、実施した。

この調査では、文字活動を営む機会の多い一般成人、大学生、中高校生約三千人を対象として、送りがな表記と年齢・学歴・職業などとの関係、個人の中に見られる送りがなの法則性の度合い、送りがなに対する関心・態度等について明らかにしようとした。その分析結果をまとめたのが、この報告書である。ただし、標本調査の方法をとらなかったため、集団別の傾向を比較するには不十分であるが、送りがなに関する問題点のいくつかは解明できたように思われる。

なお、この調査の分析にあたっては、語と語、あるいは送りがな表記に影響する諸要因相互の相関関係を明らかにするために、ぼう大なデータを綿密に分析する必要があった。そのためには人手だけに頼ることは不可能に近く、初めての試みとして電子計算機を使用して集計・分析の作業を進めることにした。この点も、この調査研究の一つの特徴といえよう。

この調査は、第四研究部第三資料研究室で行なったものであり、担当者および分担は次のとおりである。

企画・実施	斎賀秀夫（当時室長、昭和43年4月から第三研究部長に配置換え）
企画・実施・分析	土屋信一
実 施	野村雅昭（昭和42年4月就任）

なお、調査結果の集計・分析および報告書の作成は、土屋信一が当たった。

この調査を進めるにあたって、被調査者を得るために諸方面から特別の御協力をいただいた。心から厚く御礼申し上げたい。

昭和46年1月

国立国語研究所長 岩 淵 悦 太 郎

目 次

刊行のことば	i
目 次	ii
要 約	1
1 調査の目的	2
1.1 調査の目的と意義	2
1.2 この調査における送りがなのとらえ方	2
2 調査の概要	3
2.0 調査の流れ	3
2.1 準備調査	3
2.2 本調査の調査対象	6
2.3 本調査の担当者	7
2.4 本調査の方法と内容	7
2.5 調査票・カード	9
3 集計作業の概要	21
3.1 集計すべき事項	21
3.2 集計作業の流れ	21
4 被調査者に関する分析	27
4.1 項目Aの集計結果と分析(1)	27
●層別 ●性別 ●年齢別 ●学歴別 ●経験年数別	
4.2 項目Aの集計結果と分析(2)	32
●新聞を読む時間 ●毎日読む新聞名 ●雑誌を読む程度 ●手紙を書く数	
4.3 項目Cの集計結果と分析	35
5 送りがな表記の分析(1) ——送りがな表記の個人差について——	39
5.1 層と送りがな表記	39
5.2 年齢と送りがな表記	52
5.3 学歴と送りがな表記	53
5.4 その他の事項と送りがな表記	54
●経験年数と表記 ●新聞を読む時間と表記 ●雑誌を読む程度と表記	
●手紙を出す回数と表記	
6 送りがな表記の分析(2) ——名詞と動詞の相関・単純語と複合語の相関——	76
6.1 はじめに	76
6.2 分析のすすめ方	77
6.3 分析(概括)	78
6.4 分析(年齢別・集団別・学歴別)	80
7 送りがな表記の分析(3) ——類語との相関関係——	86
7.1 分析のすすめ方と結果	86
8 今後の問題	89
巻 末 付 表	90～185

要 約

この調査のねらい

- 1 個人の表記行動における送りがなの「ゆれ」とらえる。

これまでの送りがな調査は、調査語ごとの集団間の差異を問題にしてきたが、送りがなは、個人の表記行動の中における「ゆれ」が大きく、それを分析することによって、はじめて送りがなの「ゆれ」の本質に迫ることができる。この調査では、動詞と名詞・単純語と複合語など、相互に関連のある語において「ゆれ」を分析した。また、その結果を集団ごとに集めることによって、2とは違った集団間の差異をとらえることができた。

- 2 送りがな表記の実態をとらえる。

これまでの送りがな調査で最大のものは、昭和31年の雑誌を対象とした「現代雑誌九十種の用語用字調査」であり、これは、内閣告示「送りがなのつけ方」制定以前の調査として重要である。それに対して、この調査は、昭和41年に約三千人を対象として行なったもので、告示制定後の実態を知る上で重要である。(ただし、表記行動そのものを対象としたのではなく、各個人の意識を対象としたものであり、また、サンプリング調査ではないので全国的な実態でもない。)

調査対象

この調査の被調査者は、学生および文字生活に関連のある職種の人々2,955人である。年齢的には十代から六十代に及ぶが、中・高・大学生が多いため平均年齢は22.6歳である。一般市民と比べて、新聞を読む時間が多く、また雑誌をよく読んでいる。大多数の人が送りがなのつけ方に関してまよったことがあり、社会人のほとんどの人は内閣告示「送りがなのつけ方」があることを知っている。

結 果

集団間の差異の比較から

○集団の差が顕著なのは、オワル(終)・アワセル(合)・アツマル(集)など他の動詞を含む動詞とその名詞化したもの、ワリアテル(割・当)・ハライサゲ(払・下)など複合動詞とその名詞化したものであり、一般公務員がきわだって少なく送り、広報・社内報・大学生がそれに続いている。(5.1)

○年齢の差は、概して顕著で、年齢が高くなるにしたがい、少なく送る。(5.2)

○最終学歴は送りがな表記と関連があり、学歴が高いものほど多く送る語と少なく送る語とがあり、明

瞭に区別される。これは学歴そのものが送りがなと関係があるのではなく、学歴が社会における文字生活の内容を限定しているためと考えられる。(5.3)
○経験年数と送りがな表記の間には関係があると考えられるが、この調査では数語にしかその関係が見出せなかった。(5.4)

○新聞を読む時間と送りがな表記との間には相関があるが、毎日読んでいる新聞名とは相関がない。また、雑誌を読む程度とは相関があるが、手紙を出す回数とは相関がない。(5.4)

個人の表記行動の「ゆれ」の分析から

○表記行動の場面でのゆれは非常に大きく、調査語の配列・選択肢の配列などにも影響される。(6.3)
○複合語は、誤読のおそれが少ないにもかかわらず、他の部分に引かれて単純語よりも多く送るようだ。この傾向は若年齢層に著しい。(6.3)(6.4)

○複合語の場合、高年齢層は、意味の軽重によって送りがなを変える向きがある。(6.4)

○名詞は動詞よりも少なく送る傾向があるが、その程度は語の性質によってまちまちで、また、個人差も大きい。(6.3)

○動詞と名詞との関係について、年齢別にながめると、年齢が高い人ほど名詞を少なく送る傾向があることがわかる。単純動詞と単純名詞との比較からは、29歳以下と35歳以上との二つのグループに分けられ、29歳以下のグループでは動詞と名詞とを同じに送る傾向も強いと言える。(6.4)

○動詞と名詞との関係について、集団別にながめると、一般公務員層・教員層では名詞を少なく送る傾向が強く、広報・研究者層では動詞と名詞を同じように送る傾向が比較的強い。また、学歴別にながめると、学歴が高いものほど、動詞と名詞を同じように送る傾向が見られる。(6.4)

○類語の相関関係は、一語一語の組み合わせによってまちまちであり、数語をまとめて一つの傾向を見出すことはできない。(7.1)

○アラウス(表)とアラワレル(現)では、アラウスを多く送る傾向があり、集団では大学生・研究者層、年齢では三十代、学歴は高い層ほど著しい。これは「表わす一現れる」と書く人が多いためで、表すを「ヒョウス」と誤読されるという理由から意識的に避けた結果と考えられる。(7.1)

○調査票の中で、ヤシナウ(獲)をオコナウ(行)と接近させて質問すると、オコナウと同じ送り方をする。この傾向はどの年齢層にも見られ、また、中学生・一般公務員・公報関係者層に著しい。これは、類推が強く働いたためと考えられ、表記行動における送りがなの「ゆれ」がいかに大きいかを物語っていると言える。(7.1)

1 調査の目的

1.1 調査の目的と意義

この調査は、現代語における、読み手および書き手の送りがなの使用状況を調査・分析し、あわせて、それらと送りがなに対する意識・態度との関連をも明らかにしようとするものである。

第三資料研究室では、昭和37年以降、「現代雑誌九十種の用語用字調査」で得られた資料に基づいて、漢字ならびに表記法に関する調査研究を行なってきた。その中で、38年度からは、主として、送りがなと、漢字・かなの書き分けの問題を取り上げ、その実態を調査し分析を進めた。送りがなに関しては、各語を、品詞別、活用別、音節数別、語結合の種類別に分類したうえで、送りがなの使用状況が一覧できる送りがな分析表を作成し、さらに、一つの語が他の品詞に転成したり、あるいは複合語の結合要素になったりした場合に、送りがなのつけ方に変動が生じるかどうかを見るために、送りがな関連表を作成した。この結果については、39年度に、「送りがなのゆれ一覧表」を、40年度に「『送りがなのゆれ一覧表』補正資料」(ともに謄写版刷り)を作成し、また、「国立国語研究所年報16」(昭和39年度)には、前者の中で使用度数が20以上あるものを抜き書きした「送りがなのゆれている語例」を掲げた。

「現代雑誌九十種の用語用字調査」の中の、送りがなの使用状況の分析記述によって、われわれは、送りがなのゆれについて、いくつかの問題点を見出した。しかし、この調査は、書かれた文字資料、それも、書き手を離れて存在する文字資料による調査であった。そのため、送りがなのように、表記体系の中でも読む書くという言語行動の種々の場面によって大きな支配を受けやすい性質のものについては、その問題点を十分明らかにすることができなかった。たとえば、「アカルイ」という語について、「明い」「明るい」「明かるい」の三種の表記法があった場合、それらが三人の別人によって書かれた資料に出てきたのと、同一個人のさまざまな言語行動の場面に出てきたのとでは、問題の性質が違う。そこで、実際に文字活動をいとなむ読み手および書き手を対象として、個人における送りがな表記の実態と、その表記と送りがなに対する意識・態度との関連を明らかにする必要が認められた。ここに、この調査の意義がある。

1.2 この調査における送りがなのとらえ方

この調査で、どのような角度から、個人における送りがなの実態をとらえるか、調査の大まかな方針について述べよう。(詳細については第2章を参照されたい。)

「現代雑誌九十種の用語用字調査」の送りがな表記の分析の結果、われわれは、次の範囲内にある語の送りがなについて、最も問題があると考えた。

- (1) 送りがなのつけ方によって、二通り以上に読まれる可能性のある語。
- (2) 単純動詞(とくに派生動詞)、および、複合動詞。
- (3) 動詞から転じた名詞、および、それを含む複合名詞。

この範囲内にある語の中から、雑誌九十種調査の結果、使用度数が多く、ゆれのある語を選び、調査対象とすることにした。

選ばれた語の送りがなについて、どのような角度から分析するか、以下に箇条書きにする。

- (1) 被調査者の送りがない表記と、その表記を決定づけたと考えられる被調査者の生活歴（年齢・学歴・職業・経験年数など）との関係
- (2) 個人の中に見られる、送りがない表記の法則性の分析、およびその法則性と生活歴との関係
- (3) 動詞と名詞、単純語と複合語など、語の性質と送りがない表記との関係、および、その関係と生活歴との関係
- (4) 読む場面での送りがない表記に対する意識と書く場面での送りがない表記との関係、およびその関係と生活歴との関係
- (5) 送りがないに対する関心・態度と送りがない表記との関係

上のような分析をするために、被調査者として一般市民を選んだ場合は、そのサンプル数はかなりの数になり、大規模な調査になると思われる。そこで、われわれは、文字に関連のある職種の人々を重点的に選び、その全数を調査対象とすることにした。したがって、この調査で明らかにされる実態は、社会一般の実態ではない。しかし、われわれは、ここに明らかにされたさまざまな問題点が、送りがない表記そのものの本質に迫っていると確信する。

被調査者の総数は、さまざまな分析に耐えうるには、少なくとも二千人は必要と考え、調査集団を選定した。その結果、総数は2955人となった。

2 調査の概要

2.0 調査の流れ

この調査全体の流れを図示すると、図1（次ページ）のようになる。

次に、この中の主要なことがらについて、概要を述べよう。

2.1 準備調査

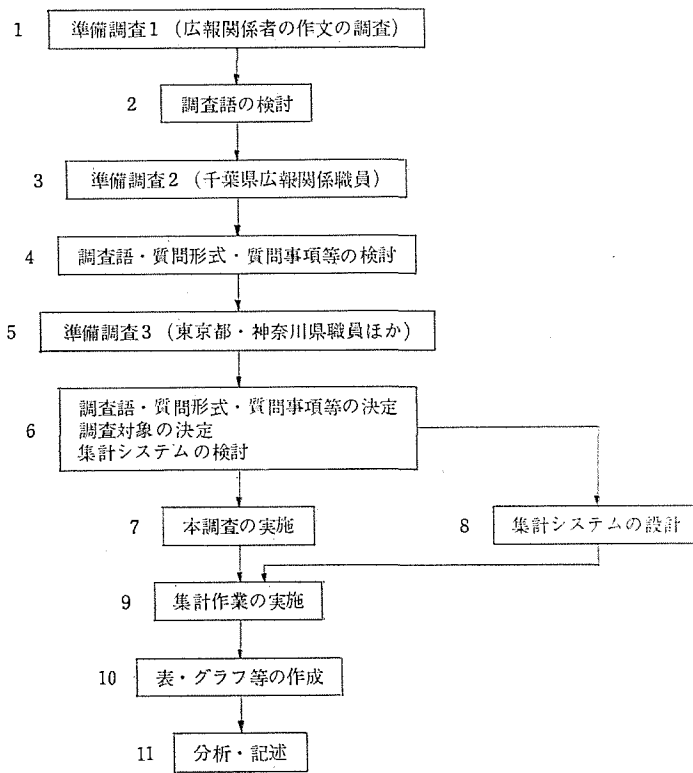
本調査を実施するまでに、調査語・質問形式・質問事項等の検討、調査対象の検討、集計システムの検討等のために、3回の準備調査を行なった。

準備調査1は、日本広報協会主催の「広報セミナー」（昭和40年11月16日～11月20日）に出席した聴講生の、同一課題による作文93編を借覧して、調査したものである。送りがないがどう書かれているか、どんなことばの送りがないが不統一であるか等を記録した。

準備調査2は、千葉県下各市町村および県庁に勤務する広報担当者59人に対して、昭和40年12月7日、集合調査として行なったものである。この調査では、ペーパー・テストの方法を用い、調査語30語を示し、選択肢法と補填法^(注1)^(注2)を併用して、各人がどういう送りかたをするか調査した。また、各人の送りがないに対する意識や態度をさぐるため、たとえば、「ふだん文章を書くとき、送りがないのつけ方について迷うことがあるか」「迷うときはどうするか」「一つの語について送りがないのつけ方が一定していたほうがいいと思うか」などの設問を用意して、選択肢法および自由記入の形式で答えてもらった。調査語30語のうち、29語は本調査に引き継がれた。

準備調査3は、昭和41年7月と9月に、次の4集団・182人に対して、すべて集合調査で行なった。

図1 調査の流れ



(調査対象)	(調査実施日)	(人数)
東京教育大学学生(文学部41・教育学部24・農学部1・研究生5)	41年7月4日	71人
東京都北多摩郡町村議会速記者	41年7月11日	19人
東京都職員(広報関係職)	41年7月14日	34人
神奈川県職員(一般中級職)	41年9月22日	58人

この調査の調査票は、準備調査2の調査票を修正・増補したものである。調査語は、準備調査2では30語であったが、ここでは62語とした。質問形式も、選択肢法と補填法^(注3)のほかに、最初にか^(注4)な書きの文を与えて漢字まじり文に書き改めさせるという方法をも加えた。これら質問方法の差^(注5)によって、結果にどの程度の違いが見られるかを検証しようとしたためである。準備調査3の結果^(注6)については、「年報18」P143～P145を参照されたい。

注1 つぎの書きかたのうちで、正しいと思うものを一つだけ□でかこんでください。

注2 つぎのカタカナのことばを、もし「」の中の漢字を使って書くとしたら、どう書きますか。正しいと思う書きかたを□の中に書きいれてください。

注3 つぎの文字の使い方のうち、どれがいちばん読みやすいと思いますか。番号を○でかこんでください。また、あなたが書くとしたら、どの書き方をしますか。(○は二つ以上になってもかまいません。)

注4 つぎのカタカナのことばを、もし「」の中の漢字を使って書くとしたら、あなたはど^(注5)う書きますか。□の中に書きいれてください。

注5 つぎの文を、あなたが普段文章を書くのと同じ程度に漢字を使って書いてください。

注6 準備調査3の結果のうち、本調査では行なわず、また、「年報18」に述べなかった事がらについて、ここに述べたい。この調査では、全く同じ語を質問形式を変えて二度答えさせることを試みた。すなわち、かな書きの文を与えて漢字まじり文に書き改める質問文で、「おくりもの」「のこり」を書かせ、補填法の質問で、また「オクリモノ〔贈物〕」「ノコリ〔残〕」を書かせた。結果は次のとおりである。

B……ひらがなの文を自由に漢字がなまじり文に直させるもの

D……文中のかな書きの語を、漢字を指定して書かせるもの

表1 ノコリ(残)

B \ D	残	残り	無答	計
残	—	※ 1	—	1
残り	※ 11	161	2	174
のこり	—	5	—	5
無答	—	2	—	2
計	11	169	2	182

※の占める比率

6.0%

教育大学生	5.6%
北多摩速記者	0.0%
東京都職員	11.8%
神奈川県職員	6.9%

表2 オクリモノ贈物(贈・物)

B \ D	贈物	贈り物	贈り物の	無答	計
贈物	58	※ 7	—	2	67
贈り物	※ 16	64	1	1	82
贈もの	1	—	—	—	1
贈りもの	3	6	1	—	10
おくり物	3	—	—	—	3
おくりもの	7	8	—	—	15
無答	3	1	—	—	4
計	91	86	2	3	182

※の占める比率

12.6%

教育大学生	5.6%
北多摩速記者	21.1%
東京都職員	20.6%
神奈川県職員	15.5%

このように、6.0%から12.6%の人々は、二度の設問で明らかにくい違う答えを出している。これは調査法の違いによる差——補填法のほうが、漢字を示されているだけに一層送りがなを少なく送るのではないかと考えることができる。また、B「残」—D「残り」が1人、B「贈物」—D「贈り物」が7人いることから、個人の送りが

がな表記そのものがゆれているためとも考えられる。いずれにしても、送りがな表記は設問によって6パーセントから12パーセントの人に食い違いが起こるという事実は、本調査の分析の際にも考慮にいれねばならないことだと思われる。

なお、上記のことについては、次の論文を参照されたい。

土屋信一	送りがなの「ゆれ」のとらえかた	LDP(月報別冊)5	昭和45年3月
土屋信一	送りがなの「ゆれ」を考える	言語生活228	昭和45年9月

2.2 本調査の調査対象

準備調査の分析の結果、本調査の対象は、若年齢層を加え、全体として三千人程度とすることにした。被調査者の内訳は、大体、中学生・高校生・大学生をそれぞれ700～800人、社会人（主として、ふだん文字に接する機会の多い人）を1000人程度予定した。

本調査は、調査票・集計用カード（ともに後述）の作成をまって、昭和42年2月より9月にかけて実施された。その調査集団・調査実施日・人数は次のとおりである。

1 中学校生徒

（調査実施校）	（調査実施日）	（1年・2年・3年）			（合計）
東京都北区立稲付中学校	42. 3. 9	95人	85人	78人	258人
東京都江東区立砂町中学校	42. 3. 12	89人	86人	75人	250人
東京教育大学附属中学校	42. 3. 9～13	81人	78人	80人	239人
		（小計）			747人

2 高等学校生徒

東京教育大学附属高等学校	42. 6. 30	—	89人	89人	178人
東京都立赤城台高等学校	42. 5. 25	43人	49人	48人	140人
東京都立志村高等学校	42. 6. 26～27	52人	44人	47人	143人
東京都立千歳高等学校	42. 6. 28	49人	50人	49人	148人
		（小計）			609人

3 大学生

		（1年・2年・3年・4年）			
東京学芸大学教育学部	42. 5. 25～6. 6	—	1人	67人	42人
埼玉大学教育学部	42. 7. 4～6	92人	2人	96人	12人
聖心女子大学文学部	42. 5. 11	19人	37人	33人	16人
立教大学文学部	42. 6. 22	—	—	32人	14人
跡見学園短期大学	42. 6. 29	182人	—	—	—
		（小計）			645人

4 一般公務員

税務大学校本科研修生	42. 5. 22	211人
岩手県職員（文書事務関係）	42. 8. 10, 8. 24	215人
		（小計） 426人

5 広報・社内報担当者

滋賀県広報関係職員	42. 2. 20	37人
日経連社内報セミナー受講者	42. 4. 24～26	50人

東京都広報関係職員	42. 5. 25	43人
山形県広報関係職員	42. 8. 25	61人
日本広報協会広報セミナー受講者	42. 8. 21～28	104人
	(小計)	295人
6 公立学校小中学校教員		
中野区小学校教員	42. 5. 19	25人
板橋区小学校教員	42. 6. 27	25人
千葉県小中学校教員	42. 5. 18	104人
稲付中・砂町中教員ほか	中学生調査時	20人
	(小計)	174人
7 国語学者・研究者		
調査対象の大学の教官	大学生調査時	6人
国立国語研究所研究員	42. 5. 10～15	53人
	(小計)	59人
	総計	2955人

各調査集団の、性別・年齢別の構成、および社会人の各集団の、学歴別・経験年数別の構成を表3～表5（巻末）、図4～図5（24ページ）に示そう。被調査者の他の性格に関しては、4「被調査者に関する分析」で詳しく述べる。

2.3 本調査の担当者

本調査は次の三名が共同で行なった。

斎賀秀夫（調査当時、第三資料研究室長） 土屋信一（第三資料研究室員） 野村雅昭（第三資料研究室員）

責任の分担は次のとおりである。

計画……斎賀・土屋

実施……斎賀・土屋・野村

集計・分析……土屋

記述……土屋

なお、調査票の作成・集計整理・製表などに、研究補助員菅野裕子・小幡利子のほかアルバイト十数名が従事した。

2.4 本調査の方法と内容

本調査は、集合調査で行なった。（社会人の一部には、留め置き調査で行なったものもある。）これは、集合調査で行なうのが、最も等しい調査条件を作り得ると考えたからである。調査時間は、だいたい、30分から50分ほどであった。

被調査者に配布したものは、調査票と、その結果を記入するカードとの2種類である。カードは、すべての中学生と、大部分の社会人については、配布記入させなかった。その他の層の被調

査者には、調査票の記入後、カードを配布して記入させた。

調査票の内容は、次の三部分からなる。(詳細については、2.5参照。)

- (A) 被調査者の生活歴を調べる事項……年齢・学歴・職業・経過年数・新聞を読む時間・手紙を書く回数、等。
- (B) 送りがなのゆれのある語(46語)……選択肢法によって、被調査者が実際に書く表記と、読みにくいと思う表記を選ばせる。
- (C) 国語の表記、とくに送りがなについての知識・意見等を調べる事項……ふだん文章を書くときどんな事で迷うか、内閣告示「送りがなのつけ方」を知っているか、またそれを利用しているか、等。

なお、選択肢、とくに(B)の送りがな表記の選択肢については、調査表にあげた以外の答えは、ほとんどあり得ないことが、準備調査の段階で確かめられている。

調査語46語は、類語同志が、互いに干渉し合わないよう、意識的に散らせて並べた。(ただ、「ヤシノウ(養)」と「オコノウ(行)」は、類推の程度を見るために、意識的に接近させた。)また、選択肢の配列も、典型的にならないよう考慮した。2～4選択肢の設問は同じような順序にならないよう配列し、5選択肢以上のものは、選びやすくするために、送りがなの多いほう、または少ないほうから順に配列して示した。

調査語46語を、語の性質から分類すると、次のようになる。○印の中の数字は、質問の順を示し、()で括られたかなを、送るか否かを見た。

○単純動詞

1 ④養(しな)った

②現(らわ)れた・⑩異(とな)って・②③表(らわ)した・④⑨行(こな)った

(注) ②以下の四語は、内閣告示で活用語尾より一音節多く送ると定められているもの。

2 ⑩終(わり)ます・⑭合(わせ)て・⑩⑧上(が)りました・②⑨集(つま)って・④②生(まれ)る

(注) 2は、再活用動詞・派生動詞と呼ばれるもの。内閣告示で、「活用しない部分に他の動詞の活用形またはそれに準ずるものを含む動詞」としているもの。1はそれ以外のもの。複合動詞以下の1・2の別も同じ。

○複合動詞

1 ④割(り)当(て)られた・⑩⑨受(け)付(け)て・④⑩売(り)出(し)た

2 [前1後2] ①申(し)合(わ)せ・⑩⑨誘(い)合(わ)せ

[前2後1] ⑧向(かい)合(っ)て

[前2後2] ③③生(まれ)変(わ)る・④④浮(かび)上(が)る

○単純名詞

A 本来の名詞(活用語の名詞化したものでない名詞)

⑦⑦隣(なり)

②⑩お互(がい)に・③⑩幸(わい)・③⑨情(さけ)

⑦⑦後(しろ)側

(注1) 「本来の名詞」としたものの中には、例えば、「隣」「幸い」などのように動詞との関連の

ありそうなものもあるが、これらは今日の一般の言語意識としては、名詞と考えるほうが自然であると考えた。

(注2) ㉔以下㉗までは、内閣告示で一音節送ると定められているもの。㉗は複合名詞と見ることもできる。

B 活用語（動詞）の名詞化したもの

- 1 ㉑割(り)・㉒祭(り)・㉓勢(おい)・㉔晴(れ)
- ㉕行(ない)・㉖断(わり)
- ㉗次(ぎ)・㉘話(し)

(注) ㉓・㉘は、内閣告示で「送りがなをつけなくてもよい」と定められているもの。

- 2 ㉙集(つまり)・㉚起(こり)・㉛終(わり)

○複合名詞

A 複合動詞の名詞化したもの

- 1 ㉜大売(り)出(し)・㉝割(り)合(い)・㉞払(い)下(げ)・㉟受(け)付(け)係(り)
- 2 ㊱組(み)合(わ)せ・㊲申(し)合(わせ)事項

B 活用語の名詞化したもの＋非活用語

- 1 ㊳晴(れ)着
- 2 ㊴上(がり)口

C 非活用語＋活用語の名詞化したもの

- 1 ㊵手続(き)・㊶役(く)割(り)
- 2 ㊷昭和生(まれ)・㊸値上(がり)

(注) ㊴はB・Cにも、㊶はBにもかかわる。

2.5 調査票・カード

10ページから18ページに掲げてあるものが、この調査の調査票である。全集団のうち、滋賀県職員だけは、まだ、この調査票の作成される以前の段階で調査を実施したので、別刷りの調査票を使用した。ここに掲げた調査票とは、(C)部分その他で、わずかではあるが、字句の異同がある。

19ページから20ページに掲げてあるものが、集計用のカードである。高校生・大学生の調査では、調査票に記入後、本人にその内容を転記させた。中学生および大部分の社会人の集団については、調査票を回収後、当方で転記した。

国立国語研究所からの

おねがい

◎お手数ですが、この調査にご協力くださいますよう、おねがいたします。この調査は、国民の日常生活における文字の使いかたについての学問上の資料を得るのが目的です。

◎この調査票にいったん記入していただいたあとで、別のカードをおくばりいたします。ごめんですが、そのカードに、みなさんが調査票に記入された結果を、転記していただきたいと存じます。

◎このカードは、そのまま機械にかけて読ませますので、カードを折りまげないよう、おねがいたします。

種 別
NO.

◎あてはまるところを○でかこんでください。

○中学 高校 大学 一般
(学部)

○1年 2年 3年 4年

おなまえ

A

つぎの各項のあてはまるものを○でかこみ、() 欄には記入してください。*印をつけた項目は、社会人のかただけ記入してください。

1 性別 男 女

2 年齢 満 () 歳

* 3 最終学歴 小学校 中学校 高等学校 大学
(旧制高小をふくむ)(旧制中学・高女をふくむ)(高専をふくむ)

* 4 現在のお仕事(なるべく具体的に)

* 5 そのお仕事にはいつてからの年数 () 年

6 新聞は毎日平均して何分ぐらい読みますか。

読まない 10分以内 20分以内 30分以内 30分以上

7 毎日読む新聞名

朝日 毎日 読売 産経 日経 地方紙 ()

スポーツ紙 () その他 ()

8 ふだん雑誌や本などを読みますか。

読まない たまに読む よく読む

9 この一か月に、個人的な用事で、手紙や葉書を何通ぐらい出しましたか。

出さなかった 1通から3通 4・5通 6通以上

B

(I) つぎの文字の使いかたのうちで、あなたは、ふだんどの書きかたをしていますか。
その番号を○でかこんでください。

(なるべく一つを選んでいただきたいのですが、ことばによっては、○が二つ以上になってもかまいません。)

(II) こんどは物を読む立場になって考えてください。あなたが読みにくい、不適当だ、いやだと思ふ書きかたがあつたら、下の欄の番号に×をつけてください。(×は二つ以上つけてもかまいません。)

(答えかたの例)

	日本の将来を	$\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 考える。} \\ ② \text{ 考える。} \\ 3 \text{ 考がえる。} \end{array} \right.$		$\left\{ \begin{array}{l} \text{のに読} \\ \text{く} \\ \text{はいみ} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} \times \\ 2 \\ 2 \\ \times \end{array} \right.$
1	婦人会で、つぎのように	$\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 申し合わせました。} \\ 2 \text{ 申合わせました。} \\ 3 \text{ 申合せました。} \\ 4 \text{ 申し合せました。} \end{array} \right.$		$\left\{ \begin{array}{l} \text{のに読} \\ \text{く} \\ \text{はいみ} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} 4 \\ 3 \\ 2 \\ 1 \end{array} \right.$
2	雲の中から太陽が	$\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 現われた。} \\ 2 \text{ 現らわれた。} \\ 3 \text{ 現れた。} \end{array} \right.$		$\left\{ \begin{array}{l} \text{のに読} \\ \text{く} \\ \text{はいみ} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} 3 \\ 2 \\ 1 \end{array} \right.$
3	わが社は、いま日の出の	$\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 勢おいで} \\ 2 \text{ 勢いで} \\ 3 \text{ 勢で} \end{array} \right.$	発展しています。	$\left\{ \begin{array}{l} \text{のに読} \\ \text{く} \\ \text{はいみ} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} 3 \\ 2 \\ 1 \end{array} \right.$
4	$\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 割り当られた} \\ 2 \text{ 割り当てられた} \\ 3 \text{ 割当られた} \\ 4 \text{ 割当てられた} \end{array} \right.$	仕事は、必ずやっってください。		$\left\{ \begin{array}{l} \text{のに読} \\ \text{く} \\ \text{はいみ} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} 4 \\ 3 \\ 2 \\ 1 \end{array} \right.$
5	この問題は	$\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 次の} \\ 2 \text{ 次の} \end{array} \right.$	会議で、再検討します。	$\left\{ \begin{array}{l} \text{のに読} \\ \text{く} \\ \text{はいみ} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} 2 \\ 1 \end{array} \right.$
6	彼女は階段の	$\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 上がり口で} \\ 2 \text{ 上り口で} \\ 3 \text{ 上口で} \end{array} \right.$	しばらくためらっていた。	$\left\{ \begin{array}{l} \text{のに読} \\ \text{く} \\ \text{はいみ} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} 3 \\ 2 \\ 1 \end{array} \right.$
7	小学校は役場の	$\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 後側に} \\ 2 \text{ 後ろ側に} \\ 3 \text{ 後しろ側に} \end{array} \right.$	あります。	$\left\{ \begin{array}{l} \text{のに読} \\ \text{く} \\ \text{はいみ} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} 3 \\ 2 \\ 1 \end{array} \right.$

- 8 ふたりは $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 向い合つて} \\ 2 \text{ 向合つて} \\ 3 \text{ 向かい合つて} \end{array} \right\}$ こしをかけた。 $\left\{ \begin{array}{l} \text{のに読} \\ \text{く} \\ \text{はいみ} \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} 3 \\ 2 \\ 1 \end{array} \right\}$
- 9 わたしは $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 昭和生まれです。} \\ 2 \text{ 昭和生です。} \\ 3 \text{ 昭和生れです。} \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} \text{のに読} \\ \text{く} \\ \text{はいみ} \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} 3 \\ 2 \\ 1 \end{array} \right\}$
- 10 これでわたしの発表を $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 終ます。} \\ 2 \text{ 終わります。} \\ 3 \text{ 終ります。} \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} \text{のに読} \\ \text{く} \\ \text{はいみ} \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} 3 \\ 2 \\ 1 \end{array} \right\}$
- 11 成人式の女子の服装^{めいそう}には $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 嗜着が} \\ 2 \text{ 嗜れ着が} \end{array} \right\}$ 目立ちます。 $\left\{ \begin{array}{l} \text{のに読} \\ \text{く} \\ \text{はいみ} \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} 2 \\ 1 \end{array} \right\}$
- 12 きょうは青年会の $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 集まりが} \\ 2 \text{ 集が} \\ 3 \text{ 集りが} \\ 4 \text{ 集つまりが} \end{array} \right\}$ ある。 $\left\{ \begin{array}{l} \text{のに読} \\ \text{く} \\ \text{はいみ} \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} 4 \\ 3 \\ 2 \\ 1 \end{array} \right\}$
- 13 住宅相談は午前九時から $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 受付けて} \\ 2 \text{ 受け付けて} \\ 3 \text{ 受付て} \end{array} \right\}$ います。 $\left\{ \begin{array}{l} \text{のに読} \\ \text{く} \\ \text{はいみ} \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} 3 \\ 2 \\ 1 \end{array} \right\}$
- 14 会員は男女 $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 合わせて} \\ 2 \text{ 合せて} \\ 3 \text{ 合て} \end{array} \right\}$ 百名をこす。 $\left\{ \begin{array}{l} \text{のに読} \\ \text{く} \\ \text{はいみ} \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} 3 \\ 2 \\ 1 \end{array} \right\}$
- 15 デパートの $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 大売出しは} \\ 2 \text{ 大売出は} \\ 3 \text{ 大売り出しは} \\ 4 \text{ 大売り出は} \end{array} \right\}$ たいへんなにぎわいを見せます。 $\left\{ \begin{array}{l} \text{のに読} \\ \text{く} \\ \text{はいみ} \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} 4 \\ 3 \\ 2 \\ 1 \end{array} \right\}$
- 16 わたしとかれとはかなり好み^{このみ}が $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 異つて} \\ 2 \text{ 異なつて} \\ 3 \text{ 異となつて} \end{array} \right\}$ います。 $\left\{ \begin{array}{l} \text{のに読} \\ \text{く} \\ \text{はいみ} \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} 3 \\ 2 \\ 1 \end{array} \right\}$

- 17 農家の副業としては、比較的 $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 割りの} \\ 2 \text{ 割の} \end{array} \right\}$ いい仕事です。 のに読 $\frac{\text{く}}{\text{はいみ}}$ 2 1
- 18 毎朝の練習の効果は、かなり $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 上りました。} \\ 2 \text{ 上がりました。} \end{array} \right\}$ のに読 $\frac{\text{く}}{\text{はいみ}}$ 2 1
- 19 国民年金に加入する $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 手続きは} \\ 2 \text{ 手続は} \end{array} \right\}$ 簡単です。 のに読 $\frac{\text{く}}{\text{はいみ}}$ 2 1
- 20 $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ お互いに} \\ 2 \text{ お互に} \\ 3 \text{ お互がいに} \end{array} \right\}$ 交通規則を守りましょう。 のに読 $\frac{\text{く}}{\text{はいみ}}$ 3 2 1
- 21 この神社の $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 祭は} \\ 2 \text{ 祭りは} \end{array} \right\}$ 毎年十月におこなわれます。 のに読 $\frac{\text{く}}{\text{はいみ}}$ 2 1
- 22 目立たない $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 行ないが} \\ 2 \text{ 行が} \\ 3 \text{ 行いが} \end{array} \right\}$ 認められ、表彰された。 のに読 $\frac{\text{く}}{\text{はいみ}}$ 3 2 1
- 23 この事件に対して、大臣が遺憾の意を $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 表らわした。} \\ 2 \text{ 表わした。} \\ 3 \text{ 表した。} \end{array} \right\}$ のに読 $\frac{\text{く}}{\text{はいみ}}$ 3 2 1
- 24 社内対抗野球大会の $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 組み合わせを} \\ 2 \text{ 組合せを} \\ 3 \text{ 組合わせを} \\ 4 \text{ 組み合わせを} \end{array} \right\}$ 決める。 のに読 $\frac{\text{く}}{\text{はいみ}}$ 4 3 2 1
- 25 実際に加入するのは、十人に一人の $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 割り合です。} \\ 2 \text{ 割合いです。} \\ 3 \text{ 割合です。} \\ 4 \text{ 割り合いです。} \end{array} \right\}$ のに読 $\frac{\text{く}}{\text{はいみ}}$ 4 3 2 1
- 26 五人は久しぶりの対面で $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 話しに} \\ 2 \text{ 話に} \end{array} \right\}$ 花をさかせた。 のに読 $\frac{\text{く}}{\text{はいみ}}$ 2 1

- 27 外出するときは $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 隣の} \\ 2 \text{ 隣りの} \\ 3 \text{ 隣の} \end{array} \right\}$ 家にたのんでおきましょう。
- 28 役員の方は大至急 $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 集つまって} \\ 2 \text{ 集まって} \\ 3 \text{ 集って} \end{array} \right\}$ ください。
- 29 古い木材の $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 払い下を} \\ 2 \text{ 払い下げを} \\ 3 \text{ 払下を} \\ 4 \text{ 払下げを} \end{array} \right\}$ 受けた。
- 30 軽いけがですんだのが、不幸中の $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 幸だった。} \\ 2 \text{ 幸いだった。} \\ 3 \text{ 幸わいだった。} \end{array} \right\}$
- 31 この「愛の箱^{あい}」の $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 起りに} \\ 2 \text{ 起に} \\ 3 \text{ 起こりに} \end{array} \right\}$ ついて説明しましょう。
- 32 米価の $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 値上がりは} \\ 2 \text{ 値上は} \\ 3 \text{ 値上りは} \end{array} \right\}$ すぐ生活にひびいてきます。
- 33 人間は一生のうちに三度 $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 生まれ変わると} \\ 2 \text{ 生まれ変ると} \\ 3 \text{ 生れ変わると} \\ 4 \text{ 生れ変ると} \\ 5 \text{ 生変わると} \end{array} \right\}$ いう。
- 34 $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 断なく} \\ 2 \text{ 断わりなく} \\ 3 \text{ 断りなく} \end{array} \right\}$ ここへ駐^{ちゅう}車^{しや}してはいけません。
- のに読^くはいみ $\left\{ \begin{array}{l} 3 \text{ } 2 \text{ } 1 \\ 3 \text{ } 2 \text{ } 1 \\ 4 \text{ } 3 \text{ } 2 \text{ } 1 \\ 3 \text{ } 2 \text{ } 1 \\ 3 \text{ } 2 \text{ } 1 \\ 5 \text{ } 4 \text{ } 3 \text{ } 2 \text{ } 1 \\ 3 \text{ } 2 \text{ } 1 \end{array} \right\}$

35	あすの天気予報は	1 晴です。 2 晴れです。	のに読 くはいみ	2 1
36	現在のアジア情勢の中での日本の	1 役割りは 2 役割りは 3 役割りは	のに読 くはいみ	3 2 1
37	世間をさわがせたこの事件も	1 終わりは 2 終りは 3 終は	のに読 くはいみ	3 2 1
38	ご近所の人と	1 誘合せて 2 誘い合せて 3 誘合わせて 4 誘い合わせて	のに読 くはいみ	4 3 2 1
39	あの男は	1 情けなど 2 情など 3 情さけなど	のに読 くはいみ	3 2 1
40	会議のはじめに昨年決めた	1 申合事項を 2 申し合わせ事項を 3 申合せ事項を 4 申し合せ事項を	のに読 くはいみ	4 3 2 1
41	市役所の	1 受け付け係りに 2 受け付け係に 3 受け付係りに 4 受け付係に 5 受付係りに 6 受付係に 7 受付係りに 8 受付係に	のに読 くはいみ	8 7 6 5 4 3 2 1
42	日本では一年間に約百七十七万人の赤ちゃんが	1 生まれる。 2 生る。 3 生れる。	のに読 くはいみ	3 2 1

43 成人式を $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 行った} \\ 2 \text{ 行こなった} \\ 3 \text{ 行なった} \end{array} \right\}$ あとで記念写真をとる。

のに読 $\left\{ \begin{array}{l} 3 \text{ 2 1} \\ \text{くは} \\ \text{いみ} \end{array} \right\}$

44 捜査線上に三人の容疑者が $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 浮上がる。} \\ 2 \text{ 浮び上る。} \\ 3 \text{ 浮び上がる。} \\ 4 \text{ 浮かび上る。} \\ 5 \text{ 浮かび上がる。} \end{array} \right\}$

のに読 $\left\{ \begin{array}{l} 5 \text{ 4 3 2 1} \\ \text{くは} \\ \text{いみ} \end{array} \right\}$

45 試合こそなえて一日休養を取り、鋭気を $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 養なった。} \\ 2 \text{ 養しなった。} \\ 3 \text{ 養った。} \end{array} \right\}$

のに読 $\left\{ \begin{array}{l} 3 \text{ 2 1} \\ \text{くは} \\ \text{いみ} \end{array} \right\}$

46 A社に続いてB社も小型乗用車を $\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 売り出した。} \\ 2 \text{ 売出した。} \\ 3 \text{ 売出了。} \end{array} \right\}$

のに読 $\left\{ \begin{array}{l} 3 \text{ 2 1} \\ \text{くは} \\ \text{いみ} \end{array} \right\}$

C あてはまる番号を○でかこんでください。

一、ふだんあなたが文章を書くとき、文字の書きあらわしかたで迷ったことがありますか。

$\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 迷ったことがある。} \\ 2 \text{ 迷ったことがない。} \end{array} \right\}$

〈右の1に○をつけたかたは、つぎのa・bの設問にも答えてください。〉

a 迷ったのは、特につぎのどの問題に關してですか。(○は二つ以上つけてもかまいません。)

$\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ どの漢字を使つたらいいか。} \\ 2 \text{ 漢字の字体がこれでいいか。} \\ 3 \text{ かなで書くか、漢字で書くか。} \\ 4 \text{ 送りがないをつけるか、つけないか。} \\ 5 \text{ かなづかいがまちがつていないか。} \end{array} \right\}$

b 迷ったとき、あなたはどうしますか。(○は二つ以上つけてもかまいません。)

$\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 自分で適当に判断する。} \\ 2 \text{ 人にたずねる。} \\ 3 \text{ 国語辞典、表記辞典などで調べる。} \\ 4 \text{ その他()} \end{array} \right\}$

二、送りがないのつけかたについては、一つの語について書きあらわしかたが一定していたほうがいいと思いますか。

- 1 一つにきまっているほうがいい。
- 2 どちらを書いてもいいというように、ある程度の幅が認められたほうがいい。
- 3 自分の思うとおり勝手に書けたほうがいい。
- 4 わからない。
- 5 その他の意見（ ）

三、送りがなのつけかたについては、政府が公式に決めた規則（昭和三四・七・一一内閣告示「送りがなのつけ方」）が出ています。そういうものが出ていることを知っていますか。

- 1 知っている。
- 2 知らない。

（右の1に○をつけたかたは、つぎの設問にも答えてください。）

a そういう規則を実際に見たことがありますか。

- 1 全然見たことがない。
- 2 自分の手もとにはあるが、実際に使ったことはない。
- 3 手もとにはないが、見て使ったことはある。
- 4 手もとにあつて、必要なとき使っている。

（右の3・4に○をつけたかたは、つぎのb・cの設問にも答えてください。）

b あの規則は、わかりいい規則だと思いますか。

- 1 わかりいい。
- 2 わかりにくい。

c あの規則については、つぎのような意見がありますが、あなたはどの意見……ですか。

- 1 あの規則は改めるべきだ。
- 2 あの規則のままでもいい。
- 3 あの規則は廃止すべきだ。（規則を立てるのは、もともとむずかしいから、統一したいなら、用例集だけをつくれればいい。）
- 4 その他の意見（ ）

（右の1に○をつけたかたは、つぎの設問にも答えてください。）

d あの規則を改めるとすれば、つぎのどの方針に賛成ですか。（○は二つ以上つけてもかまいません。）

- 1 規則そのものが複雑すぎるから、もっと簡単な、すっきりした形に改めるべきだ。
- 2 不必要に送りすぎているから、もっとかなの部分の少なくすべきだ。（覚えやすさよりも、これまでの慣用を尊重する。）
- 3 例外規定や許容事項は、できるだけへらして、原則的なものだけにすべきだ。（これまでの慣用よりも覚えやすさを尊重する。）
- 4 書くときめんどうくさいから、もっと簡潔に書けるよう、かなの部分の少なくすべきだ。
- 5 その他の意見（ ）

ご協力ありがとうございました。

[illegible]

國研三資 (S41)



3 集計作業の概要

3.1 集計すべき事項

この調査で分析・記述する事がらについては1.2で述べたが、それらに必要な集計表を、分析・記述する事項別に列挙すれば、次のとおりである。

- (1) 被調査者の生活歴を調べる。……(A)の各項目の、集団別・年齢別などの表
- (2) 被調査者の送りがなに関する知識・関心等について調べる。……(C)の各項目の、集団別・年齢別などの表
- (3) 送りがな表記と生活歴との関係……(B)の各語の、集団別・年齢別など(A)の項目別の表
- (4) 個人の中に見られる送りがな表記の法則性について調べる。……同類の語(例えば、②「現われる」と②③「表わす」の類)および類推の働く可能性のある語(④⑨「ヤシナウ」と④⑤「オコナウ」の類)の集団別・年齢別などの相関表
- (5) 語の性質と送りがな表記との関係について調べる。

1 単純と複合

単純動詞と複合動詞…①④「アワセル」—①「モウシアワセル」

①④「アワセル」—③⑥「サソイアワセル」

④②「ウマレル」—③③「ウマレカワル」

①⑧「アガル」—④④「ウカビアガル」

単純名詞と複合名詞…③⑤「ハレ」—①①「ハレギ」

①⑦「ワリ」—③⑥「ヤクワリ」

2 動詞と名詞

単純動詞と単純名詞…④③「オコナウ」—②②「オコナイ」

①⑩「オワル」—③⑦「オワリ」

②⑧「アツマル」—①②「アツマリ」

複合動詞と複合名詞…①③「ウケツケル」—④①「ウケツケガカリ」

④⑥「ウリダス」—①⑤「オオウリダシ」

①「モウシアワセル」—④⑨「モウシアワセジコウ」

3 複合語の前部分と後部分…⑥「アガリグチ」—③②「ネアガリ」

……上記の組み合わせの、集団別・年齢別などの相関表

- (6) 書くときと読むときの送りがな表記の関係を調べる。……(B)の各語における実際に書く表記と、読みにくい表記との組み合わせの、集団別・年齢別などの相関表
- (7) 送りがなに対する関心・態度と送りがな表記との関係を調べる。……(B)の各語の、(C)の各項目(とくに二・三)別の表

3.2 集計作業の流れ

前節に述べたように、集計作業の内容はかなり複雑であり、量も多いので、国立国語研究所の

電子計算機H I T A C—3010を使用することにした。国語研究所の電子計算機は、データを紙テープまたは磁気テープで入力する形式（テープ・ベース）であるため、調査票に記入された事項は、次のような五段階の作業を経て、磁気テープに入れられた。（詳細については、「L D P（月報別冊）」1土屋信一「送りがな調査の集計システム」を参照されたい。）ⅠからⅢまでは調査補助者の作業で、Ⅳは三菱事務器販売株式会社に依頼し、Ⅴは日立システムエンジニアリング株式会社に依頼し、ⅥⅦは国語研究所で行なった。

Ⅰ 調査票に整理番号等を書きこむ。

これは各調査票に整理番号と被調査者の所属する集団の略号を書きこむ作業である。整理番号は、次のようにつけた。

1001～中学生，2001～高校生，3001～大学生，7001～一般公務員，8001～広報・社内報担当者，9001～教員，9601～研究者

集団の略号とは、例えば稲付中学ならⅠ，砂町中学ならS U，というようにローマ字で1音節分を、集団の識別のために整理番号の後に付したものである。

Ⅱ 調査票の内容をカードに転記する。

Ⅲ 調査票とカードを照合・検査したのち、磁気鉛筆で書きこむ。

調査票とカードの照合・検査のうち、被調査者自身が転写したカードで調査票との間に食い違いがある場合は、転写の際、被調査者が答えを訂正したものと判断して、カードのほうを正しいものとして扱った。また、磁気鉛筆というのは、フェライト（酸化鉄）を含んだ鉛筆のことである。

Ⅳ U L P—M L磁気読取穿孔装置でカードをパンチする。

この装置は、磁気鉛筆でマークされた部分を磁化してから、それを読み取って、指定する位置にパンチし、I B M 80欄カードを作る装置である。

Ⅴ 磁気テープに入れる。

これは、カード・リーダーのあるH I T A C—3010によって、Ⅳで作成されたカードを読み取り、磁気テープに書きこむ作業である。

Ⅵ 磁気テープ上のデータを整理する。

これは、Ⅴで磁気テープに書きこまれたデータを、集計作業の進めやすいように手を加え、別のデータ・テープを作る作業である。その際ⅠからⅤまでのあいだに起こった、機械および人間のミスを発見・修正する作業もあわせて行なった。その詳細は前記「L D P」の土屋の論文を参照されたい。ただ、一つだけ、「ウケツケガカリ」の選択肢の扱いについて、ここに述べよう。「ウケツケガカリ」は8選択肢の組み合わせが90通りもあったので、8選択肢を次のように統合した。

1 書く表記

- (1)受け付け係り・(2)受け付け係 →受け付け～
- (3)受け付係り・(4)受け付係 →受け付～
- (5)受付係り・(6)受付係 →受付～
- (7)受付係り・(8)受付係 →受付～

(1)・(3)・(5)・(7) →～係り

(2)・(4)・(6)・(8) →～係

2 読みにくい表記

(1)・(2)がともにある →受け付け～

(3)・(4)がともにある →受け付～

(5)・(6)がともにある →受け付け～

(7)・(8)がともにある →受付～

(1)・(3)・(5)・(7)がすべてある →～係り

(2)・(4)・(6)・(8)がすべてある →～係

VII 電子計算機で集計する。

これは、H I T A C—3010を使って、種々の集計作業を行ない、結果をライン・プリンターで打ち出す作業である。

図4 社会人の各層の学歴別構成

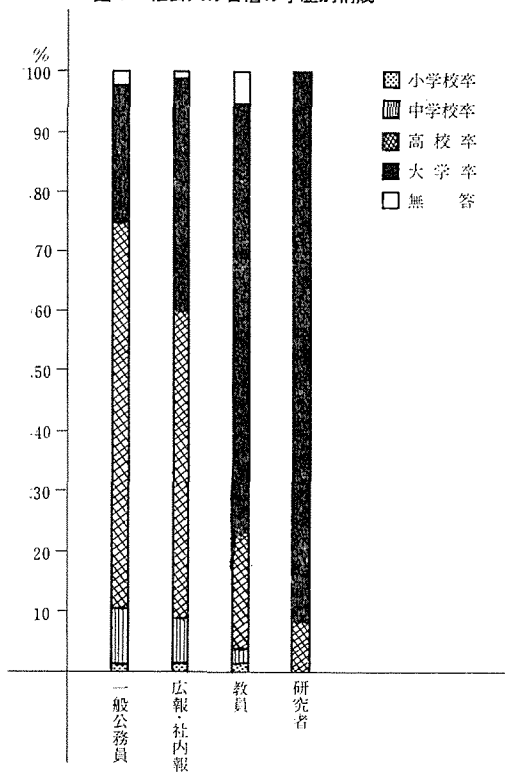


図5 社会人の各層の経験年数別構成

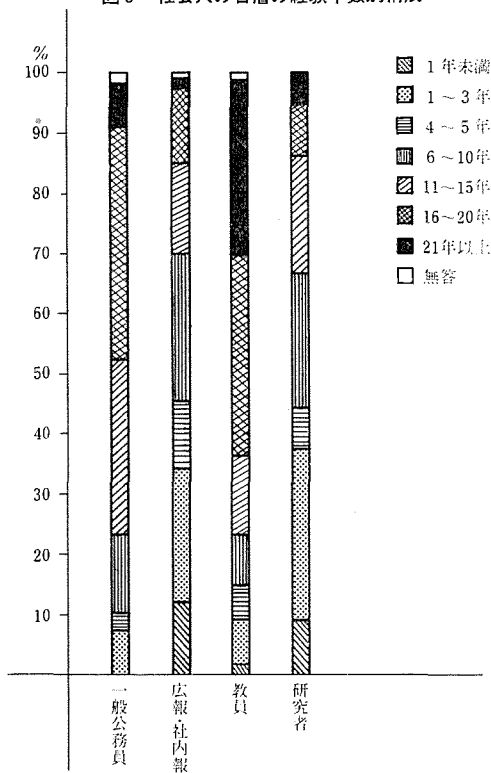


図8 各年齢層の学歴別構成

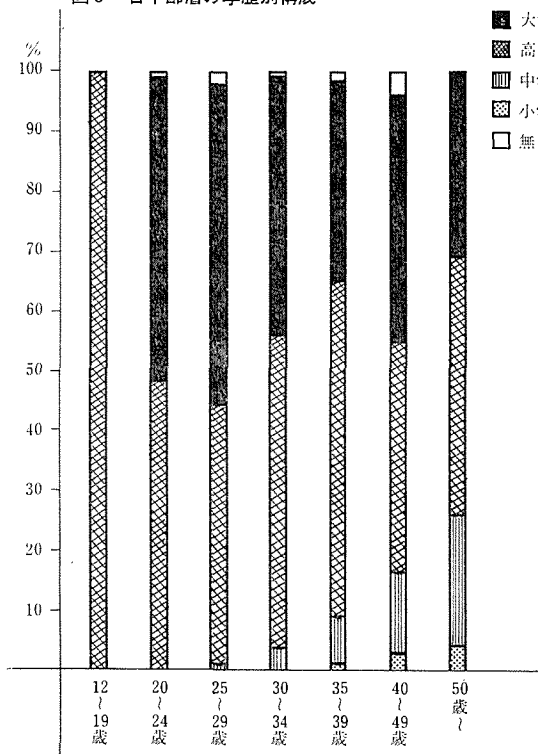


図8-2 各学歴の年齢別構成

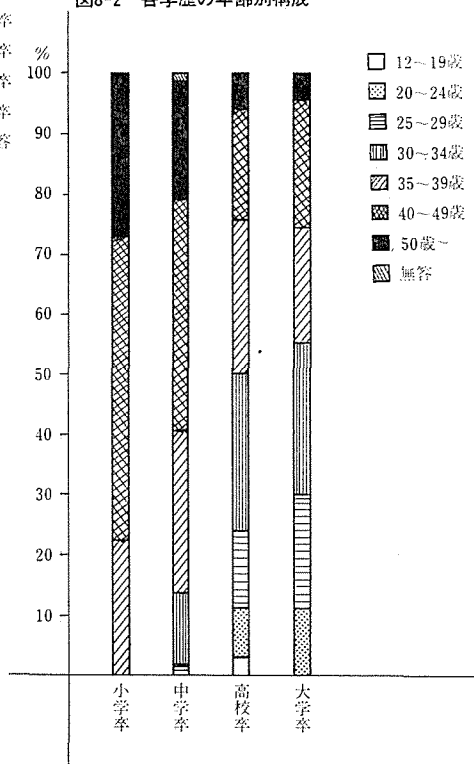


表6 男女の年齢別構成

年齢 性別	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
男	778	114	119	215	193	169	57	11	1656
女	884	291	21	19	36	30	2	7	1293
無 答	4	1	1	—	—	—	—	—	6

表7 社会人の各層の年齢別構成

年齢 層	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
一 般	2	17	46	126	122	81	30	2	426
広報・社内報	10	41	69	75	50	37	12	1	295
教 員	—	13	12	24	42	72	11	0	174
研 究 者	—	12	8	9	15	9	6	0	59
社会人全体	12	83	135	234	229	199	59	3	954

表8 社会人の年齢と学歴との関係

年齢 学歴	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	合計
小 卒	—	—	—	—	2	5	2	—	9
中 卒	—	—	1	8	18	26	13	1	67
高 卒	12	40	59	123	129	77	26	2	468
大 卒	—	42	72	100	75	82	18	—	389
無 答	—	1	3	3	5	9	—	—	21
計	12	83	135	234	229	199	59	3	954

表9 年齢と経験年数との関係（社会人）

経験年数 年齢	～1年	1～3年	4～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21年～	無 答	合計
12～19歳	6	6	—	—	—	—	—	—	12
20～24歳	21	40	15	7	—	—	—	—	83
25～29歳	5	38	26	60	4	—	—	2	135
30～34歳	3	15	8	54	125	26	—	3	234
35～39歳	5	10	7	20	46	131	6	4	229
40～49歳	4	12	3	10	21	90	56	3	199
50歳～	—	5	3	4	4	15	28	—	59
無 答	—	—	—	—	—	3	—	—	3
合 計	44	126	62	155	200	265	90	12	954

表10 経験年数と学歴との関係（社会人）

経験年数 学歴	～1年	1～3年	4～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21年～	無 答	合計
小 学 卒	1	2	—	1	1	3	1	—	9
中 学 卒	1	8	2	7	9	30	10	—	67
高 校 卒	15	51	31	63	115	150	40	3	468
大 学 卒	27	61	28	81	73	76	34	9	389
無 答	—	4	1	3	2	6	5	—	21
合 計	44	126	62	155	200	265	90	12	954

表11 社会人の各層の大学出身者の経験年数

経験年数 層	～1年	1～3年	4～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21年～	無 答	合計
一 般	—	8	2	18	32	27	3	5	95
広 報	19	26	14	36	12	4	2	3	116
教 員	3	13	8	14	19	40	26	1	124
研 究 者	5	14	4	13	10	5	3	—	54
合 計	27	61	28	81	73	76	34	9	389

4 被調査者に関する分析

この章は、この調査の2955人の被調査者の、社会生活とくに文字の読み書きに関する行動がどのようなものであるか、また、国語の表記とくに送りがな表記についてどのような知識・意見等を持っているか、の二点について、前者は調査票の項目A、後者は項目Cを中心にして述べたものである。

4.1 項目Aの集計結果とその分析(1)

Aの各項目のうち、各集団の男女構成、年齢別・学歴別・経験年数別の構成については、表3・4・5に掲げた(巻末)。これらは、文字の読み書きに関する行動より以前の、被調査者の基礎的特質に関することなので、最初に、この内容の検討をし、送りがな表記の分析にどれが必要か考えよう。検討に必要な図4～8、表6～11を24ページから26ページに掲げる。

◎層別

24の調査集団を中学以下7層に分けた。この各層の差、とくに社会人の各層の差について考えよう。社会人の年齢別構成をみると、教員層がやや平均年齢が高いという程度で、全体に大きな差はない。しかし、学歴別構成は、図4のように明らかな差があり、また後述するように、Aのその他の項目やCの項目で、層別による特徴が、はっきりしている。したがって、この層別による見方は必要だろうと考える。

◎性別

総計では、男性1656人(56.0%)に対して女性1293人(43.8%)でそれほど大きな差はないが、集団別に見るとかなり男女の差がある。男女の比率の比較的等しい層は、中学・高校・教員・研究者であり、他は男性または女性にかたよっている。さらに、男女の年齢別構成をみると、表6のようになり、女性が若い世代にかたよっていることがわかる。したがって、この調査で送りがな表記と性別との関係を見るのは無理だと言える。また、本来送りがな表記が性別とかかわりを持つとは考えられないので、以後の分析において男女別は取り上げないことにする。

◎年齢別

年齢別構成は、総計では当然のことだが中・高校生を含む「12～19歳」が圧倒的に多く、大学生を含む「20～24歳」も次に大きい。したがって総計の数字のみで分析を進めると、平均年齢22.6歳が示すように、若い世代の傾向に支配される。しかし、社会人の年齢別構成をみると、表7に示すように、かなり各年齢層に分散しているので、各年齢層について、年齢と表記との関係を分析することは(少なくとも25歳以上では)可能であろう。ただし、各年齢層の構成をみると、20歳台は広報・社内報関係者が、30歳以上は一般公務員が、他の層を圧倒しているので、全体の結果を年齢別にながめるということは、かなり一般公務員と広報・社内報関係者に引かれた結果をながめて分析することになる。その点を念頭において分析を進めなければいけない。

◎学歴別

学歴別の構成は、図4でも明らかなように、社会人の各層によってはっきりした違いがある。したがって、表記と学歴との関係を考える際、そこに現われた学歴の差による特徴が、学歴の差だけを反映しているとは見ることは危険である。しかし、結果に層別による差違が加わることを避けるために特定の層だけを取り出しその学歴による差を見ることや、逆に学歴による差違が加わることを避けるために特定の学歴の人々を取り出して層別の差をみることが適当であるとも思えない。ここでは学歴と層の二つの因子を分離せずにおきたい。

また、学歴と年齢との関係を見ると、表8のようになる。この表をもとに、各年齢層の学歴別構成および各学歴の年齢別構成をグラフにしたのが図8・8-2である。これをみると、ある年齢層を特定の学歴の人が占めてしまうことは12~19歳層以外はないが、学歴別にみると、小中学校卒は35歳以上にかたより、高校・大学卒はそれより若い年齢層に集まっていることがわかる。したがって、結果を年齢別にながめる際学歴はそれほど考慮をはらわなくてもよいが、学歴別にみる際は年齢との関係をも考慮に入れなければいけない。

学歴別について考えなければならない最も本質的なことは、学歴がはたしてその個人の表記法に影響を及ぼすだろうか、ということである。準備調査では、学校教育の内容が送りがなに影響を及ぼすらしいということがわかったが、その内容というのは、どの時期の教育であるかということで、学歴とはかかわりをもたない。個人の表記を決定する因子が存在するとすれば、それはもっと文字を読み書きする生活に結びついたものであろう。しかし、後述するように、学歴別に個人の表記をみると、Aの新聞・雑誌・手紙に関する項目と表記の関係以上にはっきりした特徴が認められる。そこで、この調査では、学歴別による差にも注目することにする。

◎経験年数別

準備調査の段階で、送りがな表記と職業経験年数とが関連があるらしいということが推定された。この調査での経験年数の分布は、表5・図5に示すように、かなりの幅があり、また集団によってもかなり差があるようである。しかし、経験の内容は各集団によって全く異なり、また同じ調査集団でもさまざまな職場の人が含まれているので、それぞれ異なっていると考えられる。したがって、社会人全体を一まとめにして経験年数別にながめることは無理と言えよう。せめて一調査集団に限定する必要がある。

また、経験の内容を考慮に入れずに、経験年数と年齢との関係を見ると、表9のようになら高い相関関係（相関係数0.673）があることがわかる。学歴との関係を見ると、表10のように、小学校卒・大学卒の層では散らばっているが、中・高校卒の層の中には経験年数の長い人がかなり含まれている。さらに、かなりの人数が分散している大学卒の人だけを取り出して、その経験年数を社会人の各層別にみると、表11のようになり、層により、かなりかたよっていることがわかる。以上のことから、経験年数には、他の因子がかかわりあいを持ち、単純に年数のみと表記との関係を考えることができないと言いたいと思う。

図17—M 松江調査「新聞は毎日平均して何分ぐらい読みますか」

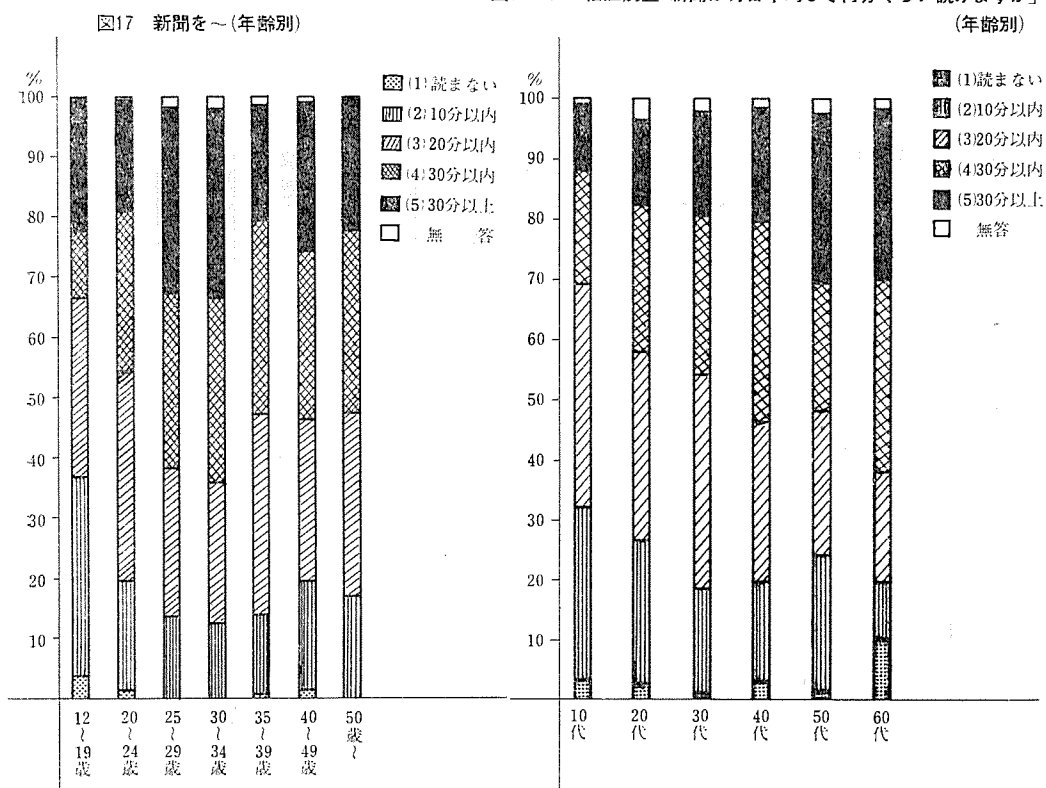


図20 雑誌を～(年齢別)

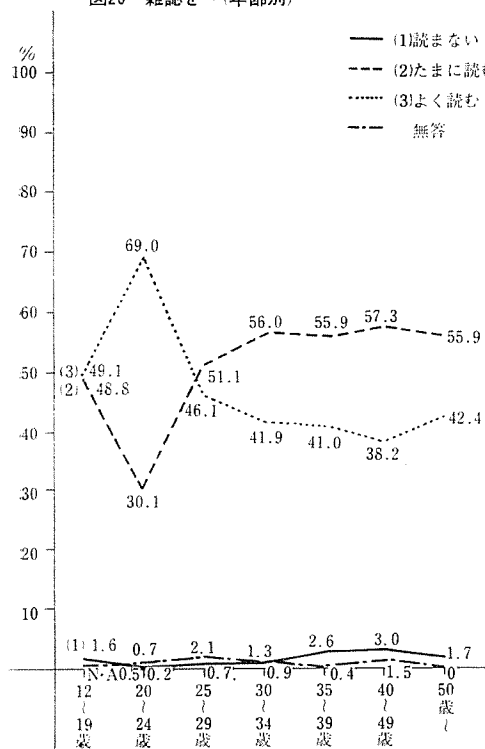


図20—M 松江調査「週刊雑誌や月刊雑誌を読みますか」(年齢別)

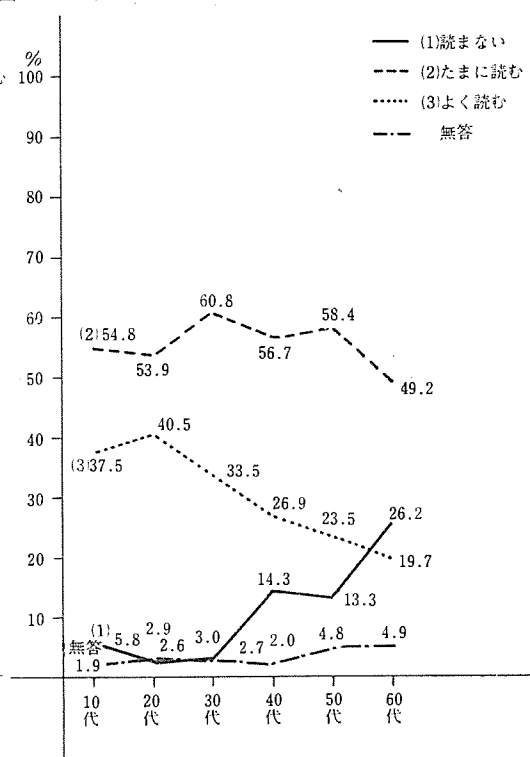


図21—M 松江調査「この1か月に、個人的な用事で手紙や葉書を何通ぐらい出しましたか」(年齢別)

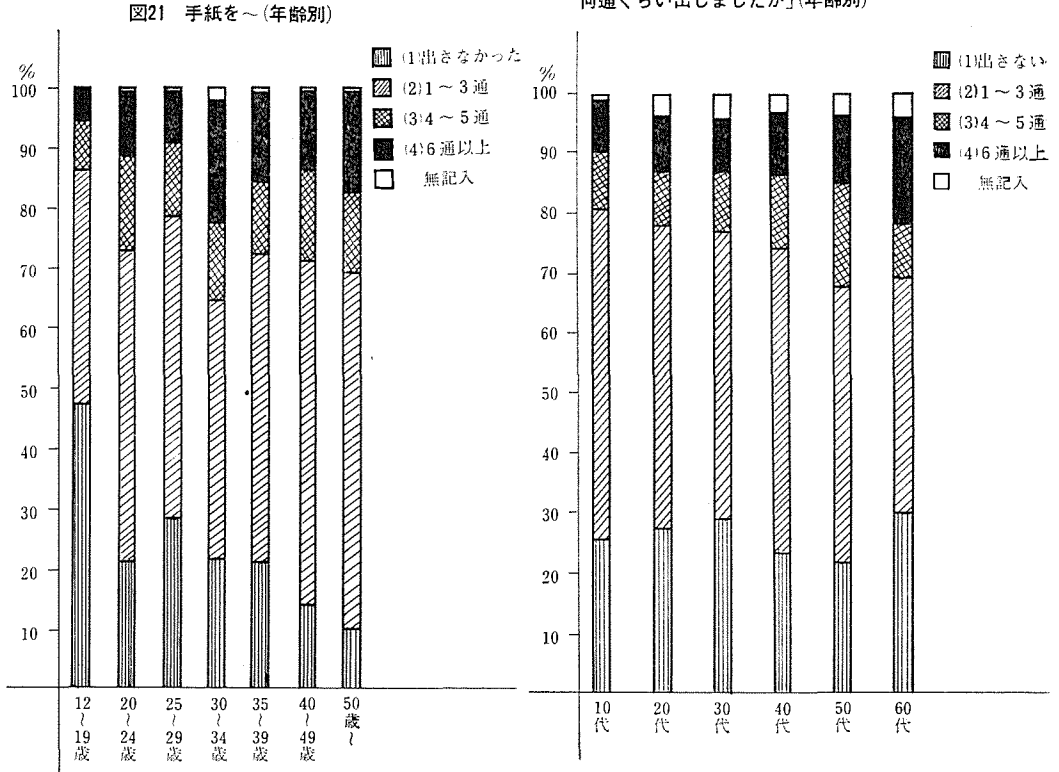


図22 新聞を～(社会人・学歴別)

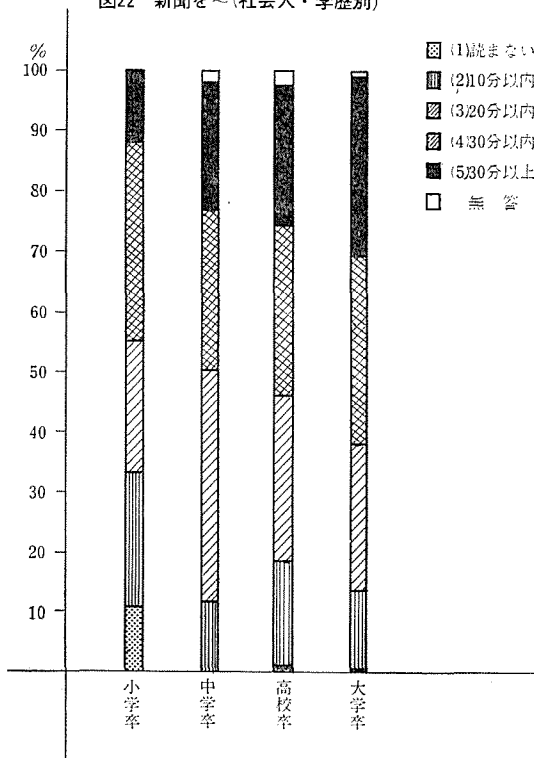


図22-2 新聞を～(一般公務員・学歴別)

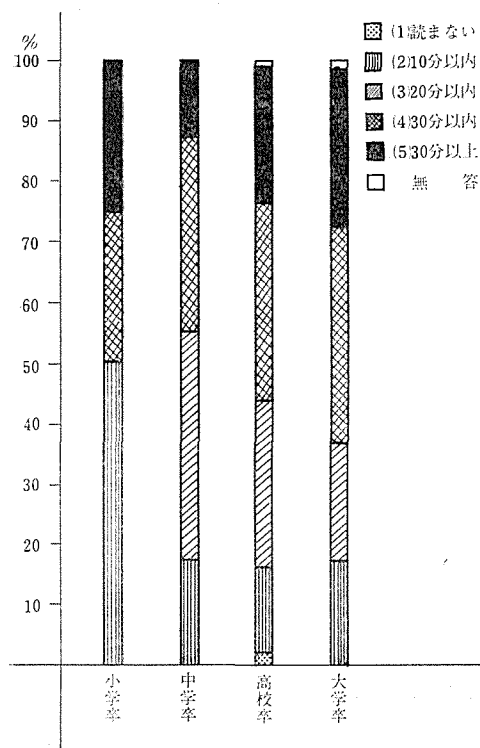


図22-M 松江調査「新聞は毎日平均して何分ぐらい読みますか」(学歴別)

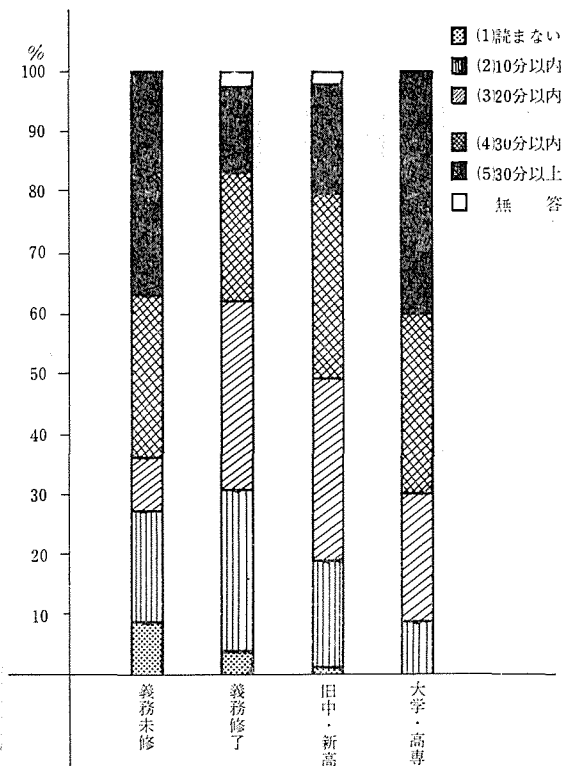


図23 雑誌を～(社会人・学歴別)

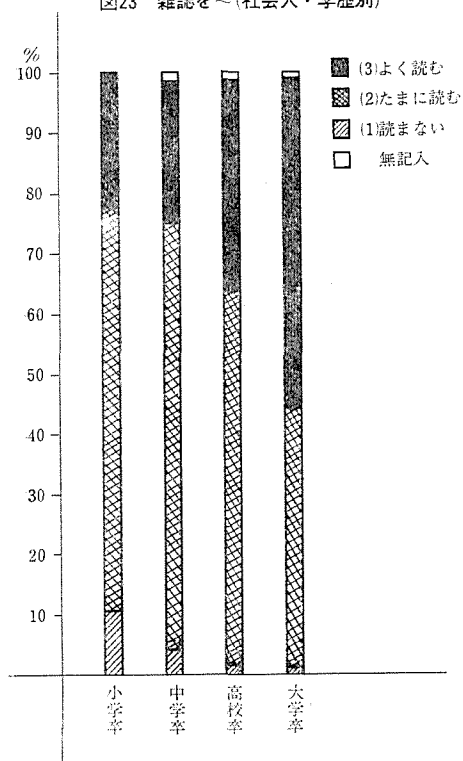


図23-M 松江調査「週間雑誌や月刊雑誌を読みますか」(学歴別)

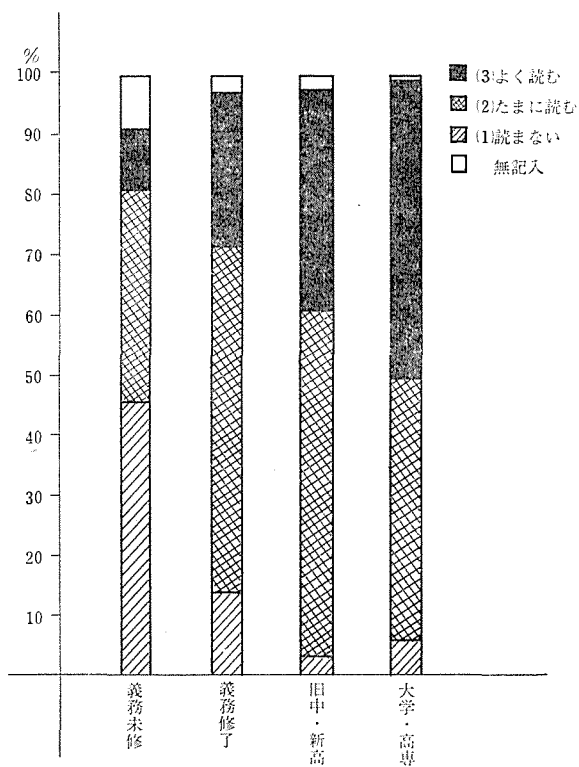


図24 手紙を～(社会人・学歴別)

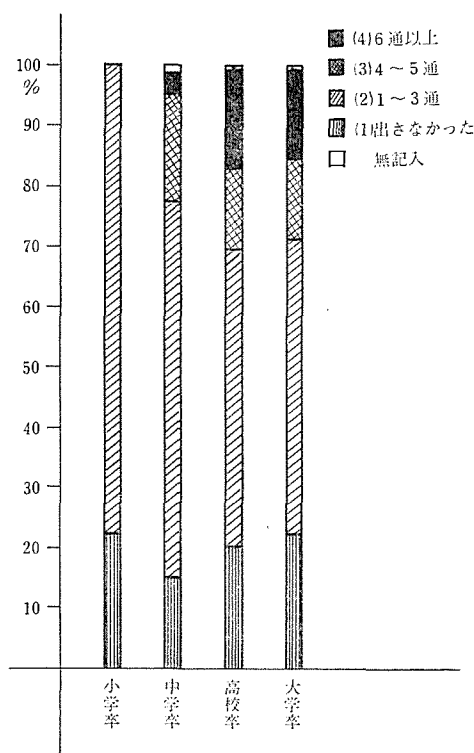
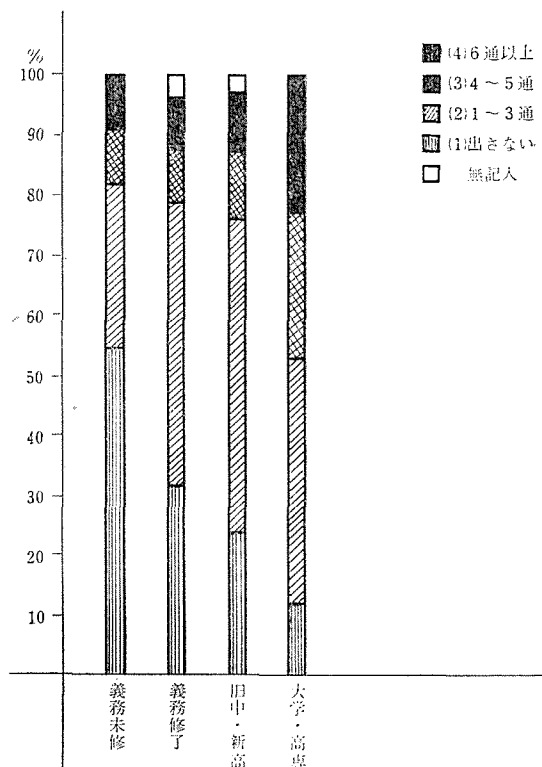


図24-M 松江調査「この1か月に個人的な用事で手紙や葉書を何通ぐらい出しましたか」(学歴別)



4.2 項目Aの集計結果と分析(2)

この節では、前節で分析した項目Aの学歴・経験年数に続く四つの設問の結果について述べる。

最初に四つの設問に対する結果を層別・年齢別・学歴別に示す。(巻末表12～表24, 図17・20～24) 購読新聞名との関係すべてについて結果を紹介するのはぼう大な量になるので、各紙別と朝日・毎日・読売の三紙だけの組み合わせ別の二種類に限った。また、新聞を読む時間、雑誌を読む程度、手紙を出す回数の三項目に関しては、国立国語研究所が昭和38年に松江市で行なった、サンプリング法による言語生活の実態調査(未発表。以下「松江調査」とよぶ。)にも同じ設問があるので、それと比較するため、松江の結果をグラフにして掲げた。(図17-M・20-M～24-M) また、「新聞を～」 「雑誌を～」 「手紙を～」 の三項目の相関関係をみるため、表25・26・27を巻末に掲げた。

以上の結果について、項目別に検討する。

●新聞を読む時間

松江調査と比較して、この調査の被調査者はいずれの年齢層も新聞を読む時間が多い。とくに25～34歳の層は時間が多い。これは、日常読み書きに関係の深い人々を選ぶというこの調査の方

針の結果であり、対象の選定が目的にあったことを示している。(50歳より上の年齢層では、松江調査の方が「読まない」人もふえる一方読む時間の多い人も多くなっているが、これは松江調査の対象とした五、六十代の人々のほうが時間的にゆとりのある生活をしているためと考えられる。) また、学歴別にみると、大学卒業者では松江調査の対象の方が新聞を読む時間が長い、中学・高校卒業者ではこの調査の被調査者のほうがはるかに多くの時間を新聞を読むために費やしていることがわかる。(松江調査で「義務未修」の層が読む時間が長いのは、対象とした義務教育未修了者11人のうち8人までが六十歳代であるためである。この調査で六十歳台は60歳2人、61歳2人にすぎない。) このように、この調査の被調査者は、一般市民よりも新聞を読む時間が多く、その傾向はとくに二十代後半から三十代前半、最終学歴が中学・高校の人々に著しいということが知られる。

次に、この調査の中における集団別・年齢別特徴について考える。集団別では、学生より社会人のほうが長時間読んでいる人が多く、学生の中では中学生より高校生・大学生のほうが長時間読む人が多く、社会人では広報・社内報関係者が最も長時間読み、一般公務員・研究者がこれに続いている。一般公務員が広報関係者よりもやや読む時間が少ないという程度なのは、やはり文章を書く機会の多い仕事に従事しているためだろうと思われる。

次に学歴別特徴について考える。図22からもわかるように新聞を読む時間と学歴との関係は、かなり明瞭で、学歴の高いものほど読む時間も多いと言える。しかし、図4からもわかるように学歴は層別と関連があり、一般公務員よりも教員・研究者のほうが学歴の高い人が多い。したがって、学歴の高いものほど新聞を読む時間が長いというのではなく、教員・研究者に新聞を読む時間の多い人が多くいるために図22のような結果になったのではないかと考える向きがあるかも知れない。そこで対象を一般公務員に限って、新聞を読む時間と学歴との関係を見よう。結果は図22—2のようになる。小学校卒業者が少ない(一般公務員426名の中で小学校卒業者は4名で、その内訳は40～49歳3人、50歳以上1人である)ので、除外して考えれば、中学卒業以上の学歴の人々の間では、学歴と新聞を読む時間は、社会人全体の場合よりもはっきりと、学歴の高いものほど新聞を読む時間が長いことを示している。この結果、個人の送りがな表記とは何ら関係のない事象と見える最終学歴が、実は、個人の読み書き生活に密接な関係を持っていて、送りがな表記を考える際無視できない因子らしいと考えるにいたった。

●毎日読む新聞名

毎日読む新聞については、さまざまなことが言える。まず、どんな新聞を読んでいるかについてみると、表13・18からわかるように、集団別・年齢別いずれの層でも朝日が過半数の被調査者に読まれており、毎日・読売が15～35パーセント、産経・日経等が5～15パーセントの人々に読まれている。また、表14・19からわかるように、朝日・毎日・読売の三紙以外を読む人および何も新聞を読まない人は、各層の20パーセント以下である。したがって、被調査者と新聞との関係について考えるときは朝日・毎日・読売の三紙についてのみ考えれば大体のことが言える。年齢との関係では、広報・社内報担当者が、社会人の他の層よりも各紙を通じて多く読んでいること、大学生・研究者に朝日を読む人が多いこと、中学生には読売が最も読まれていること、などと言える。

また、新聞の側から、三紙の読者の年齢別構成をみると、十代の読者の占める割合が読売・毎日・朝日の順に多いことがわかるが、これは中・高校生の層に多く引かれているため、社会人だけについてみると、年齢層による三紙の差はあまりなく、読売の読者に四十代が目立つ程度である。

また、三紙の組み合わせについて集団別にみると、広報・社内報担当者と研究者の層で、二紙以上を読んでいる人が多く、ことに広報・社内報担当者の10パーセント強が三紙を読んでいることが注目され、年齢別にみると、二十代と五十代に二紙以上読んでいる人が多いことが注目される。

以上のことから、毎日読む新聞名の設問がその人の読む生活の一部を反映していることは確かだが、だからといって、そのまま送りがな表記と結びつけて考えることは容易ではない。以上に述べたことのほかにも、各新聞による送りがな表記の差も含めて考えなければならないからである。ここでは、送りがなと結びつけることは避けたい。

注 朝日・毎日・読売三紙の読者と、その送りがな表記との関係について、数語を選んで集計してみた。

たとえば、「うまれる（生）」は、調査時において、朝日「生れる」毎日・読売「生まれる」であったが、三紙の読者と「うまれる」の表記との関係は表28のとおりである。（三紙の読者構成は全体では年齢・層別にかたよりがあるので、社会人のみについて集計した。）

このように、朝日の読者と毎日・読売の読者とのあいだに大きな差はなく、新聞の表記と読者の表記との間に関係を見出すことはできなかった。

表28 ウマレル（生）と新聞名（社会人）

	朝 日	毎 日	読 売
生 る	0.8	1.4	1.3
生 れ る	57.0	50.5	52.6
生 ま れ る	38.0	43.6	40.0
無 答 お よ び 上記の組み合わせ	4.2	4.5	6.1

（単位はパーセント）

●雑誌を読む程度

松江調査では、雑誌を「よく読む」と答えた人は二十代を頂点として年齢が高くなるに従って減少し、三十代では「たまに読む」がふえ、四十代以降は「読まない」がふえている（図20—M）。この調査では二十代の前半に「よく読む」人が非常に多いこと（これは、大学生がよく読むためである）は松江調査と同じであるが、以下年齢が高まっても「よく読む」と答えた人は減少せずつねに40パーセント台で、「読まない」と答えた人は高年齢者でも非常に少ない。これはこの調査対象の性格をよく表わしている。また、集団別にみると、大学生と研究者に「よく読む」と答えた人が多いと言える。また、学歴別にみると、高い学歴の人ほど「よく読む」人が多く「読まない」人が少なくなっており、この傾向は松江調査も送りがな調査もほぼ同様であるといえる。

このように、雑誌を読む程度に関する設問は被調査者の特徴をかなり明瞭に表わしているといえる。ただ、被調査者自身に自己の雑誌を読む程度を評価させているので、ひじょうに主観的で、この設問で集団間の差を見ることが危険である。

●手紙を書く数

年齢別に松江調査と比較すると、十代と六十代で松江調査の被調査者のほうが手紙を多く出しているほか二十代から五十代まで、この調査の調査対象のほうが「出さない」人が少なく「6通以上」出した人が多くなっている。また、学歴別に見ると、松江調査では学歴の差ははっきり現われ、学歴の高いものほど、手紙を多く出しているが、この調査では大きな差はなく、高校卒業者と大学卒業者とのあいだに差は見出せない。また、集団別に見ると、研究者が最も手紙を多く出しており、続いて一般公務員・教員・大学生が多く出しているが三つの集団のあいだに大きな差はない。

このように、手紙を書く数に関する設問では、この調査の被調査者では、年齢・学歴・集団によるきわだった相違は見出せない。

以上の検討によって、この調査の被調査者の各集団の、また各年齢の諸特徴についてかなり明らかにすることができた。また、送りがな表記を分析するにあたっては、少なくとも、年齢別・集団別・学歴別の三方向から分析する必要があることが明らかになった。

4.3 項目 C の集計結果と分析

この節では、項目 C の各設問の結果について述べる。各設問の結果を 集団別・年齢別に示す（巻末表 29～表 46）。この結果について、項目別に検討しよう。

㊦ 文字の書きあらわしかたについて（C・一）

「迷ったことがありますか」という質問に対して、ほとんどすべての人は「迷ったことがある」と答えている。「迷ったことがない」と答えた人は、層別では中学生と教員、年齢別では十代と四十代にわずかに目立った程度である。このことから被調査者の大部分は、文字の書きあらわしかたに関して何らかの点について迷った経験を持っているということができる。

㊦ どの問題に関して迷うか（C・一・a）

どの問題に関してどの程度の人が迷うかは、事がらによりまちまちである。が、層別にみると教員層がどの問題についてもあまり迷わず、研究者層が迷っているといえる。1「どの漢字を使ったらいいか」に関して迷っている人は、中学・高校・大学生と研究者層、年齢的には二十代の前半までに多い。つまり、どの漢字を使うかということは、学習あるいは研究する人には問題となっているが、一般社会人には問題となっていない。学生にとって問題であるのはそれが知識として教養として意識されているからであり、それならば社会人にとっても問題として意識されてよいはずである。社会人の各層で問題として取り上げた人が少ないのは、おそらく、同じ場面を3「かなで書くか漢字で書くか」の問題としてとらえているためではないだろうか。1と3とは別の問題として提出したのだが、一般の社会人の中には、3を拡大して1の問題も含めて考えた人が相当数いたと想像される。

2「漢字の字体がこれでいいか」の問題は、中学・高校・大学生で三分の一以上の人が答えたほかは、概して問題とはなっていない。また、社会人と学生との差は1ほどはげしくない。年齢別にみると、25歳以上では1よりはつねに多く選ばれている。これは問題点の所在を表わしているものと言えよう。

3「かなで書くか、漢字で書くか」は、層別では学生層、年齢別では十代ではあまり問題とさ

れていないが、社会人の各層では多くの人が問題としている。年齢別にみると、上の年齢層ほど答えた人が多く三十代以上の層ではほぼ半数の人がこの選択肢に答えている。このことは問題の所在を明確に物語っている。

4「送りがなをつけるか、つけないか」は、他のどの選択肢よりも多くの人に選ばれている。送りがなに関する質問に答えた直後とはいえ、送りがなが他の表記法のどの問題よりも大きな問題として意識されていることがわかる。その中でも、この選択肢を選んだ人の比較的少ない層が中学生、年齢別では十代で、比較的多くの人が答えたのが広報社内報、年齢別では二、三十代である。広報社内報関係者が多いということはもっとも規範的な書き方を求める結果であろう。また、二、三十代が最も多く答えているのは、二、三十代の人々が最も自分の送りがなが混乱していると意識している結果であろう。

5「かなづかいがまちがっていないか」は、いずれの層でも選んだ人は他の選択肢と比較して少なかった。しかし、年齢別にみるならば、わずかではあるが年齢が高まるにしたがってこの選択肢を選ぶ人がふえ、五十代ではかなりの人がかなづかいで迷っていると言える。

④迷ったときどうするか（C・一・b）

「迷ったときあなたはどうしますか」という質問に対して、3「国語辞典、表記辞典などで調べる」という答えがいずれの層でも多く、どの年齢層でも平均して多かった。これに対して、1「自分で適当に判断する」という答えは、高校生・大学生・研究者に多く見られるだけであり、何か他によりどころを求めようとするのが普通である。しかし、2「人にたずねる」という答えはあまり多くなく、とくに社会人では少ない。その結果、3が多くなるのであろう。

⑤送りがなのつけかたについて（C・二）

「送りがなのつけかたについては、一つの語について書きあらわしかたが一定していたほうがいいと思いますか」という質問に対しては、1「一つにきまっているほうがいい」と2「どちらかを書いてもいいというように、ある程度の幅が認められたほうがいい」の二つに答えが集中し、他はいずれも10パーセント以下である。1と2とは年齢の差はほとんどなく、1が2よりもやや多い程度だが、層別にみると、一般公務員と研究者の層で、2が1よりかなり多くなっている。送りがなについての調査対象各層の意識は、かなりはっきりここに現われているといえよう。

⑥内閣告示「送りがなのつけ方」を（C・三）

昭和34年内閣告示として出された「送りがなのつけ方」については、この調査の被調査者では、かなり「知っている」と答えた人が多い。層別にみるならば、中学・高校生では「知らない」が多いが、他の層では「知っている」が「知らない」より圧倒的に多く、とくに研究者層では多く、以下、広報社内報・教員・一般公務員・大学生の順になっている。この設問によって、各層の現在の送りがなに対する認識の差を、かなりはっきり知ることができる。また、一般公務員の約四分の三が「知っている」と答えていることから、この層は「一般」としてまとめたが、一般市民よりも文章を書くことに深い関心を持った人が多いのではないかと想像される。年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって「知っている」と答える人は多くなっている。このことは、この調査の被調査者は、高年齢層でも、現在の送りがなに対して強い関心を持っている、いや、若年齢層以上に関心を持っていることを示している。4.2に述べたように、一般市民は年齢が上

がるにつれて雑誌や本をあまり読まなくなるのに対して、この調査の被調査者は、高年齢層と若年齢層とのあいだに差がないのであるが、この設問の結果はそれ以上に、この調査の被調査者の性格を明確にしている。

●内閣告示「送りがなのつけ方」に対する態度（C・三・a）

「そういう規則を実際に見たことがありますか」という設問は前問以上にはつきりと告示に対する態度を示していると言える。すなわち、「知っている」と答えても、高校・大学生では、その大部分は1「全然見たことがない」であるのに対して、社会人の各層では3「手もとにはないが、見て使ったことはある」と4「手もとにあって、必要なとき使っている」が大部分を占めている。4のみに注目すれば、研究者・教員・広報社内報・一般公務員の順に4の占める割合が多いが、3・4を含めて考えると、研究者・教員・広報社内報の三層ではそれほど大きな差はないと言える。また、年齢別にみると、25歳以上、つまり社会人の各層では四十代までは4の占める比率は増加し、五十代で4・3が四十代よりやや減少する。このように、この設問は調査対象の各層・各年齢層の現行の送りがな表記に対する態度をかなり明確に反映していると思われる。

●内閣告示「送りがなのつけ方」はわかりいいか（C・三・b）

これは「あの規則は、わかりいい規則だと思いますか」という問いを前問の3・4に答えた人に答えさせたものである。ただ、機械によって集計するため、3・4に答えなかった人の結果も同時に集計されるので、表のような集計表が作成された。「わかりにくい」という人は、学生よりも社会人の中に多い。学生の中では大学生が、社会人の中では教員・研究者層が「わかりいい」に対する「わかりにくい」の比率が高い。また、年齢別にみると、三十代が他のいずれの年代よりも「わかりいい」に対する「わかりにくい」の比率が高い。この設問の場合、「わかりいい」・「わかりにくい」には理解力も反映するかも知れないが、それ以上に内閣告示に対する評価が反映するだろうと思われる。つまり、「わかりいい」には告示を肯定する意見が、「わかりにくい」には否定する意見が反映していると思われる。このことは、次の設問と同じ傾向が見られることからいえる。

●内閣告示「送りがなのつけ方」に対する意見（C・三・c）

これは前問と同じく、aの3・4に答えた人に、「あの規則については、つぎのような意見がありますか、あなたほどの意見に賛成ですか」と聞いたものである。結果は、全般的にいて、1「あの規則は改めるべきだ」・2「あの規則のままでいい」・3「あの規則は廃止すべきだ」の順に多い。層別にみると、大学生・教員・研究者の3層で、告示に対して否定的な意見（1・3）が肯定的な意見（2）に比べて多く、年齢別では三十代・四十代で否定的な意見が肯定的な意見より多い。この傾向は前問とほぼ同じである。

●内閣告示「送りがなのつけ方」を改めるとすれば（C・三・d）

これは、aの3・4に答え、Cの1に答えた人について、「あの規則を改めるとすれば、つぎのどの方針に賛成ですか」と聞いたものである。表45・46の百分率はaの3・4とCの1の両方に答えた人に対する割合である。したがって、「無答」は他の表と違って、aの3・4およびCの1に答えた人でdについて答えなかった人のみを含んでいる。これに答えた人は全体で365人であるので、調査対象全体の意見ではない。答えは1「規則そのものが複雑すぎるから、もっと

「簡単な、すっきりした形に改めるべきだ」が全般的に最も多く、とくに、広報社内報の層と、二十代後半と三十代後半から四十代にかけての年齢層に多い。次に、3「例外規定や許容事項は、できるだけへらして、原則的なものだけにすべきだ」が多く、これは社会人では広報社内報・研究者、年齢別では三十代に多い。また、3と対立する2「不必要に送りすぎているから、もっとかなの部分の部分を少なくすべきだ」は、層別では一般公務員、年齢別では高年齢層に多く、2と3のグラフはだいたい対立した形をえがいている。

5 送りがな表記の分析(1)——送りがなの個人差について——

この節では、送りがな表記を、年齢別・層別の被調査者の「性質」の別にながめた場合、その各グループの間にどのような差違が見出せるかについて、46の調査語の一語一語ごとに分析・検討する。ここに取り上げる「性質」の別としては、主として、層別・年齢別・学歴別の三種であり、そのほか項目Aのいくつかの項目別（経験年数別・新聞を読む時間別など）についても検討する。この検討・分析の目的は、個人の送りがな表記にどの「性質」がどのようにかかわりあっているかを明らかにし、送りがな表記の個人差の要因を知ることにある。取り上げる送りがな表記は「あなたは、ふだんの書きかたをしていますか」の答えのみに限り、「…どれが読みにくいか」については割愛した。

46の調査語について、層別・年齢別・学歴別（社会人のみ）の送りがな表記の表を巻末に掲げる。（層別表47—1～表47—48，年齢別表48—1～表48—48，学歴別表49—1～表49—47）なお、④「ウケツケガカリ（受・付・係）」は、3.2のVIで述べたように、「ウケツケ～」の部分と「～ガカリ」の部分に二分した集計表を作成したので、層別・年齢別は三種類の表を、学歴別は二分した表のみを掲げた。また、学歴別では、「ウマレカワル」の「生変わる」と「ウカビアガル」の「浮上がる」を除いて4選択肢として集計した。

5.1 層と送りがな表記

ここでは送りがな表記を、被調査者の属する各層別にながめた場合、どのような傾向が見られるかについて考察する。考察は、2.4で分類した調査語の各グループごとにすすめる。

●単純動詞1（「ヤシナウ（養）」（など5語）

「ヤシナウ（養）」は全般的に「養なった」と書くものが多く、「養った」をかなり上回る。「養った」の方が「養なった」よりも多く使われているのは、高校生・大学生・研究者の三層であり、いずれも「養った」がやや優勢という程度である。しかし、これは「ヤシナウ」の表記の実態を反映しているとは考えられない。昭和31年の雑誌を資料とした「現代雑誌九十種の用語用字調査」において、「ヤシナウ」は7回用いられており、その表記の内訳は「養う」6例、「養なう」1例である。その後の表記の習慣の変化、およびその変化が個人の表記に及ぼした影響の程度を考えても、「養なう」が「養う」よりも優勢であるとは考えにくい。ここで「養なった」が「養った」よりも多く用いられているのは、すぐ前にある「オコナウ（行）」の「行なった」にひかれたのだと考えるべきであろう。そう考えると、中学生・一般公務員・広報社内報・教員の四層は他の層よりも強く「行なった」に影響されているのではないかと想像される。事実、7.1に述べるように「養った」—「行なった」・「養なった」—「行なった」を軸として対応させた相関表を作り、その中心線から距離を計算すると、一般公務員・広報社内報・中学生・教員の順に距離が小さく、「ヤシナッタ」と「オコナッタ」の表記が類似していることがわかる。また、中学生と一般公務員に「養しなった」が目立つが、これは「行こなった」に引かれたというだけでなく、その選択肢があるので「つい」選んだという人も数パーセント含まれていると考えてよ

い。「養しなった」と書く中学生108人のうち、「行った」は19人、「行なった」は53人、「行こなった」は30人おり、「養しなった」と書く一般公務員63人のうち、「行った」は4人、「行なった」は51人、「行こなった」は7人いる。）

「アラワレル（現）」は「現われた」がどの層でも一般的であり、「現れた」はどの層でも20パーセント台で、大学生にやや目立つ程度である。「現らわれた」はどの層もきわめて少なく一般公務員にやや目立ち、その様相は「養しなった」に類似している。「コトナル（異）」は「アラワレル」と同じように「異なって」が支配的で「異って」が少数ながらこれに続いている。ただ「アラワレル」と違う点は、大学生と教員層では他の層にくらべて、「異なって」が少なく「異って」が多いことである。「アラワス（表）」は「表わした」が大部分で、「表した」は非常に少なく、「表らわした」（この様相は「養しなった」「現らわした」に類似している）と同じ程度に各層でわずかに存在する。「オコナウ（行）」の様相は「コトナル（異）」に似ているが、それ以上に「行った」が少なく、「行なった」が多くなっている。また、教員層において「異った」が目立つほどには「行った」が目立たないことも特徴である。

このように、「アラワレル」「コトナル」「アラワス」「オコナウ」の4語は、細かい点では多少違いはあるが、だいたい同じ様相を呈している。すなわち、活用語尾より1音節多く送るものが、活用語尾だけを送るものより、どの層でも一般的で、2音節多く送るものは選択肢が存在するために引かれて答えたという程度に過ぎない。

●単純動詞2（「オウル（終）」など5語）

「オウル（終）」は、大学生・一般公務員・広報社内報では「終ります」が「終わります」よりはるかに優勢であるが、他の4層ではほとんど差がなく、高校生・教員・研究者では「終ります」が、中学生では「終わります」がやや多い程度である。「アワセル（合）」は、一般公務員では「合せて」が「合わせて」より優勢であるほかは、すべて「合わせて」が「合せて」よりも多く用いられている。また、「アガル（上）」は「アワセル（合）」と類似した様相を呈するが、社会人全体の「上がりました」の用いられる程度が「合わせて」より高く、一般公務員も「上がりました」が「上がりました」よりやや多く用いられる程度となっている。「アツマル（集）」はいずれの層も「集まって」が優勢で、大学生・一般公務員・広報社内報・教員の四層でやや「集って」が用いられている程度である。「ウマレル（生）」の用いられ方は「アワセル（合）」の用いられ方とよく似ていて、一般公務員では「生れる」が「生まれる」より圧倒的に多く、大学生・広報社内報ではわずかに「生れる」が多いが、他の四層では「生まれる」が「生れる」よりずっと多くなっている。

このように「オウル」「アワセル」「アガル」「アツマル」「ウマレル」の5語は同じ傾向を持っている。すなわち、活用語尾だけを送るものと、活用語尾より1音節多く、つまり含まれる動詞の活用語尾の部分までも送るものとの二通りの送りがなが対立している。活用語尾だけ送る傾向は、一般公務員で最も優勢で、大学生・広報社内報がこれに次いでいるが、中高校生・教員・研究者では活用語尾より1音節多く送る傾向が強く、活用語尾だけを送る傾向と同程度またはそれ以上の割合を占めている。また、語別に見ると、活用語尾だけを送る傾向は「オウル」が最も著しく「ウマレル」「アワセル」「アガル」の順でこれに続き、「アツマル」では活用語尾だ

け送る送りかたより、活用語尾よりも1音節多く送る送りかたの方が圧倒的に多くなっている。

「アラワレル」などの4語が層による差がなかったのに対して、「オワル」などの5語は層による違いがはっきりしており、またどの語のグラフも同じような折れ線を描くのが特徴である。これは、これらの語の送りがなが、読み書きの生活の程度に影響されるかも知れないことを物語っている。なお、「オワル」「アワセル」「アガル」「アツマル」「ウマレル」の5語が同じ傾向を持っているからといって、同一個人において、これらの5語が同グループ視され、同じ送り方をしているとはいえない。(7送りがなの分析(3)―類語の相関関係―)参照)

●複合動詞1(「ワリアテル(割・当)」など3語)

複合動詞は、前部分の活用語尾を送るか否か、送るとすればどのように送るかということに重点を置いて問題を作った。したがって、「ワリアテル」における「割当られた」「割り当られた」「ウケツケル」における「受付て」「ウリダス」における「売出た」の各選択肢を選ぶ人は無視できる程度に少ないことが期待された。しかし実際は、「売出た」は無視できるが、「受付て」は中学生と一般公務員の層で、「割当られた」は一般公務員の層で、「割り当られた」は研究者を除く各層でかなりの人選ばれた。そこで、「ワリアテル」・「ウケツケル」の2語は選択肢を統合してグラフを書き直してみた。(図47-11', 47-12'図参照。)これらのグラフも参考にしながら、分析をすすめよう。

「ワリアテル」と「ウリダス」の様相は似ている。中学生・高校生・教員・研究者の各層では、前部分の活用語尾を送っている人のほうが送っていない人よりも多く、大学生と広報社内報では両者の差がやや縮まり、一般公務員では前部分の活用語尾を送る人と送らない人の数がほぼ半ばしている。「ウケツケル」は、研究者層のみ前部分の活用語尾を送る人が送らない人より多いほかは、前部分の活用語尾を送らない人の方が多く、とくに一般公務員の層の大部分の人は送っていない。このように、前部分の活用語尾を送るか送らないかは語によってかなりの差があるが、各層の間の関係は似ていて、一般公務員の層では送らない人が比較的多く、他の層では比較的少なく、とくに中学生と研究者の層では少ないと言える。この関係は、先の単純動詞2における各層間の関係とやや似ているが、複合動詞1では一般公務員層が他の層ときわだって違っているのが特徴である。

●複合動詞2(「モウシアワセル(申・合)」など5語)

この複合動詞2は、前部分と後部分のいずれかまたは両方に、他の動詞を含む動詞がくる複合動詞である。そのため単純動詞2にみられる様相と複合動詞1に見られる様相とが複合して現われてくる。

「モウシアワセル」は概観すれば、「申し合せ」と「申し合わせ」が対立し、一般公務員層を除いては「申し合わせ」と書く人が過半数を占めており、一般公務員層はやや「申し合せ」と書く人の方が多いといえる。また、「申し合せ」「申し合わせ」を一まとめとし、「申し合せ」「申し合わせ」を一まとめにすると、複合動詞の前部分を送るものと送らないものとの比較をすることができる。前部分を送らない人は、社会人の一般公務員・広報社内報・教員の各層にわずかに見られるだけで、複合動詞1の「ワリアテル」「ウリダス」に比べてはるかに少ない。これは、前部分が三音節であるため、前部分の活用語尾を送る人が多いとも、後部分の「アワセル」に引か

れて前部分を送る人がふえたとも考えられる。また、「申合せ」「申し合せ」を一まとめとし、「申合わせ」「申し合わせ」を一まとめにして、「～アワセル」の部分の送りがなをみると、「アワセル」「ウマレル」と似た様相を呈する。違う点は大学生・広報社内報において「～合わせる」と答えた人が「～合せる」と答えた人よりもきわだって多い点である。

「サソイアワセル」は「誘合せて」「誘合わせて」と前部分の活用語尾を送らない人が「モウシアワセル」より少なく、「誘い合せて」か「誘い合わせて」と書く人が大半を占めている。すなわち、後部分の送りがなが主として問題となっている。前部分の活用語尾を送らない人は、一般公務員の層にわずかにいる程度である。後部分「～アワセル」の送りがなは、「アワセル」「ウマレル」とほぼ同様である。

「ムカイアウ」は前部分にのみ、他の動詞を含む動詞のくる複合動詞である。「向合って」は一般公務員の層にわずかに目立つ程度である。つまり、複合動詞の前部分をいかなる場合も送らないという人は、非常に少ないと考えてよいだろう。例えば、「申合せ」「申合わせ」と書く人は全体の6.5パーセントいるが、さらに「ムカイアウ」も「向合って」と書く人はわずかに1.2パーセントしかいないことからこのことは裏付けられる。「向い合って」はいずれの層でも多いが、中学生・高校生・教員・研究者の各層では「向かい合って」と書く人が相当あるため、それだけ「向い合って」の占める割合が少なく、とくに研究者の層では「向い合って」「向かい合って」はほぼ同数の人に書かれていると言える。各層における「向い合って」の占める割合は、単純動詞2の「終わります」の占める割合と似ている。

「ウマレカワル」は「生変わる」と書く人がほとんどなく、前部分と後部分を1音節送るか2音節送るかが問題となっている。すなわち、単純動詞2の送りがなのつけ方と様相が似ている。

「生まれ変る」はいずれの層でも15～20パーセントの人が書いており、層による違いは、「生れ変る」と書く人と「生まれ変わる」と書く人との占める比率にある。そして、この比率は「アワセル」「ウマレル」と類似している。

「ウカビアガル」は「ウマレカワル」と同じく、前部分と後部分とに他の動詞を含んでいるが、その送りがな表記の分布は複雑である。「浮び上る」と書く人と「浮かび上がる」と書く人との占める比率は、「ウマレカワル」と似ているが、「浮び上がる」と書く人が、「浮び上る」の多い一般公務員と「浮かび上がる」の多い研究者の二層を除いて、どの層でも最も多い。「浮かび～」と書く人は「オワル」を「終わります」と書く人よりもずっと少ない。このことから、被調査者の中で単純動詞「ウカブ」を「浮かぶ」と表記する人は少ないだろうと想像されるが、「終わります」より少ないかどうかは、複合動詞の前部分であるために「浮かび～」と書いた人もあるかも知れないので疑問である。

●単純名詞A（「トナリ」（隣）など5語）

これらの5語は、概括すれば1音節送る表記がいずれの層でも大半を占めていると言える。2音節送るというのは無視してもよい程度的人数である。これらのことばの送りがなは、雑誌九十種の調査でも1音節送るものと送らないものとが対立しており、また内閣告示「送りがなのつけ方」では「トナリ」以外は1音節送ると定められているので、この調査の被調査者においてこの結果が出ることは当然のことと思われる。

個々の語についてみるならば、「トナリ」では教員と研究者層に送らないものが多く、「オタガイ」「サイワイ」では一般公務員と教員層に、「ナサケ」では大学生と教員層に送らないものがやや目立つ程度であり、「ウシロガワ」では大学生と一般公務員層に送らないものが多くなっている。つねに1音節送る人が送らない人よりも多いのは、中学生・高校生・広報社内報の3層のみである。このように層によってかなりの違いがあるのは、各層の年齢別構成の違いや内閣告示など国語政策に対する態度の違いによるものと思われる。

●単純名詞B 1（「ワリ」（割）など8語）

動詞から転じた名詞の送りがなは、音節数・これまでの慣用などのほかに、その動詞が被調査者の意識の中にあるか、また、その動詞の送りがながどのようであるかなどによって左右される。

「ツギ」はいずれの層でも90パーセント以上の人が「次」と書き、「次ぎ」と書く人はほとんどない。また、「イキオイ」はいずれの層でも「勢い」が70～90パーセントを占め、「勢」は教員・研究者層にわずかに見られるに過ぎない。この2語は他の語に比して送りがなのゆれが少ないと言えよう。「ツギ」は「次」，「イキオイ」は「勢い」が多いのは、音節数の差と、「次」には誤読の危険性がないが「勢」には「セイ」と読まれる危険性がある、という差によるものと思われる。

「ハレ」は一般公務員層のみ「晴」が多く、他は「晴れ」が多い。「晴れ」と書く人は学生では中学・高校・大学生の順に多く、社会人では研究者・広報社内報・教員の順に多い。この語は年齢による差がはっきりしているので、学生層の順位は年齢差によるものと思われる。また社会人の順位は現行の表記どおりに書こうとする人がいる程度の差によるものと思われる。

「ワリ」と「マツリ」は「ハレ」と似た様相を呈する。全般的にはもとの動詞の活用語尾に相当する部分を送った「割り」「祭り」が多いが、この傾向はとくに社会人よりも学生層に著しく、中でも中・高校生に「割り」「祭り」が多く、社会人では広報社内報の層が他と比べて「割り」「祭り」が多い。「ハナシ」は一般的に「話」が多いが、学生層および社会人層の中における「話し」と書く人の占める割合は「ハレ」などと同じである。

このように、「ハレ」「ワリ」「マツリ」「ハナシ」の4語は、学生層では年齢の低い層ほど動詞の活用語尾を送っており、単純動詞2や複合動詞1と同じ傾向を示しているが、社会人では研究者・教員のほうが広報社内報・一般公務員よりも動詞の活用語尾にあたる部分を送らない人が多く、単純動詞2や複合動詞1と相反する傾向を示している。

「オコナイ」と「コトワリ」はその動詞「オコナウ」「コトワル」が活用語尾のほかに1音節送るかどうかでゆれている語である。「オコナイ」は「オコナウ」に比べて「な」を送る人が少ないが、各層における「な」を送る人と送らない人との比率は似ている。また「コトワリ」も「オコナイ」に似ている。これらの語は被調査者自身の動詞の送りがなと対応させることによって問題点を一層はっきりさせることができるとと思われる。（5.2参照）

●単純名詞B 2（「アツマリ」（集）など3語）

これは単純動詞2の名詞化したグループである。ここに属する3語では、いずれも1音節送るものと2音節送るものとが対立しており、1音節も送らない人はほとんどいない。各層における

1音節送る人と2音節送る人とを比べると、一般公務員が最も2音節送る人が少なく、中学生・研究者が最も多く、高校生・教員がこれに続いて多く、さらに大学生・広報社内報が続いている。この関係は単純動詞2と同じである。ただ研究者層では他と比べて「終わり」が少なく「終り」が多い。また、3語のあいだでは、「アツマル」が最も2音節送る人が多く、各層の中で最も2音節送る人の少ない一般公務員が「集り」と書く人が「集まり」と書く人より多いほかは、どの層も「集まり」と書く人の方が多い。次に2音節送る人が多いのは「オコリ」で、「オワリ」が最も少ない。また、「アツマル」に比べて「アツマリ」は2音節送る人が少ないが、「オワル」に比べて「オワリ」は2音節送る人がほぼ同じか層によって少ない程度である。これら動詞と名詞との関連については5.2で分析する。

●複合動詞A 1 (「オオウリダシ」(大・売・出) など4語)

「オオウリダシ」は「大売出し」と書く人と「大売り出し」と書く人とが大半を占めている。すなわち、複合語の前部分を送るか送らないかに、ゆれが集中している。そして一般公務員層のみが「大売出し」が多く、他は「大売り出し」が多い。「ワリアイ」は4選択肢に散らばっているが、前部分を送るか送らないかでまとめると、図47-36'のようになり、全般的に前部分を送らない人が多いが、一般公務員には比較的多く、中学生には比較的少なく、各層間の相対的關係では「オオウリダシ」と類似している。「ハライサゲ」もほぼ同傾向で「払下げ」と「払い下げ」とが対立し、一般公務員層ではほぼ同数である以外は、「払い下げ」が「払下げ」より優勢である。

「ウケツケガカリ」は他と様相を異にしている。8選択肢に散らばっているが、最も多くの人を書いてるのが「受付係」である。一般公務員・広報社内報の2層では、ほぼ半数の人が「受付係」と書いている。しかし、学生では中学生、社会人では教員層で「受付係」が少なく、他の表記に散らばっているのが目立つ。「ウケツケ～」の部分に注目してまとめてみるとわかるように、「受付～」が最も多く、これと「受け付け～」「受け付け～」とが対立している。つまり、複合名詞A 1の他の語が前部分を送るか送らないかでゆれていたのに対して、「ウケツケ～」はかなを送るか送らないかでゆれている。

●複合名詞A 2 (「クミアワセ」(組・合) など2語)

「クミアワセ」は「組合せ」と書く人と「組み合わせ」と書く人とが過半数を占めて対立している。各層の關係でみると、一般公務員層では「組合せ」と書く人が多く、大学生・広報社内報の2層では「組合せ」と書く人と「組み合わせ」と書く人の数がほぼ同じで、その他の層では「組み合わせ」と書く人の方が多い。この關係は「ウマレル」や「サソイアワセル」と同じである。ここで注意すべきことは、前部分を送らないか、前部分を送り後部分も、含まれる動詞の活用語尾まで送るか対立しているということである。これは単純動詞1の送りがなのゆれの傾向と複合動詞2のゆれの傾向が類似していたことと關係があると思われる。また、選択肢をまとめて前部分を送るか送らないかに整理してみると、図47-38'のようになり、「オオウリダシ」などと同じ様相を呈する。

「モウシアワセジコウ」は「申し合わせ事項」と書く人が一般公務員層以外のすべての層で多く、他の表記をする人は少ない。ただ、「クミアワセ」は「組合せ」と「組み合わせ」の二通

りの書き方をする人で大半を占めていたのに対して、「モウシアワセジコウ」は「申合せ事項」「申し合せ事項」「申し合わせ事項」の三通りの表記をする人で大半を占める。つまり「クミアワセ」の場合、前部分の「み」を送らないものは後部分は「せ」だけ、「み」を送るものは「わせ」を送るの2種の送りがなが中心だったのに対して、「モウシアワセジコウ」の場合は、前部分の「し」を送る場合に、後部分を「わせ」と送るほかに「せ」と送る人が相当数いるため、三通りの表記に散らばると考えられる。「申し合せ事項」と書く人が「組み合わせ」と書く人に比べて多いのは、前部分「モウシ」が3音節であるために1音節送る人が「クミアワセ」より多いのであろう。実際、同一個人の「クミアワセ」と「モウシアワセジコウ」との関係を調べてみると、「組合せ」と書く人で「申合せ事項」と書く人は26.7パーセントで、37.6パーセントの人は「申し合せ事項」と書き、「組合わせ」と書く人の67.9パーセントは「申し合わせ事項」と書いている。なお、前部分を送るものと送らないものとに分け整理した結果を図47-39¹⁾に示す。

●複合名詞B（「ハレギ」（晴・着）・「アガリグチ」（上・口））

「ハレギ」は、学生層では「晴れ着」、一般公務員は「晴着」が多く、他の社会人の各層では「晴れ着」と「晴着」がほぼ相半ばしている。「ハレ」と比較すると、いずれの層でも「晴」と書く人の割合より「晴着」と書く人の割合の方が多い。

「アガリグチ」は、「晴着」のように動詞の名詞化した部分を送らずに「上口」と書く人はほとんどなく、「上り口」か「上がり口」と書いている。そして研究者層は「上がり口」が多く、教員層は「上がり口」と「上り口」が相半ばし、他の層は「上り口」が多く、その中でも一般公務員層にとくに多く、高校生に少ないと言える。これら各層間の様相は「アガル」に類似している。

●複合名詞C 1（「テツヅキ」（手・続）・「ヤクワリ」（役・割））

「テツヅキ」は全般に「手続き」と書く人が大半を占め、「手続」と書く人はどの層でも少数である。各層間の特徴としては一般公務員層が他のどの層よりも「手続」と書く人の占める割合が大きいこと、学生より社会人の層の方が「手続」と書く人の占める割合が大きいこと、などが挙げられる。後者は年齢による違いかと想像される。（事実、表48-44にみるように、「テツヅキ」の送りがなは年齢による違いがはっきりしている。）

「ヤクワリ」は「役く割り」と書く人はほとんどなく、「役割り」か「役割」と書く人が大部分である。そして「役割り」と書く人が「役割」と書く人よりも各層を通じて多く、研究者層のみやや「役割」と書く人の方が多くなっている。この様相は「ワリ」と類似している。違う点は「ワリ」における「割り」の占める率よりも「ヤクワリ」における「役割り」の占める率の方がやや大きいことである。

「ウケツケガカリ」は後部分「～ガカリ」のみに注目すれば、この複合名詞Cのグループと同様に考えることができる。「～ガカリ」に注目してまとめてみると、全般的に「～係」が多く、学生層より社会人層の方が「～係」と書く人の占める比率が高く、教員層のみ「～係」が比較的少なく、「～係り」が比較的多くなっている。社会人の各層の中で教員層が多く送る語は、ほかに「ウシログワ」「コトワリ」などがある。

●複合名詞C 2（「ショウワウマレ」（昭和・生）・「ネアガリ」（値・上））

「ショウワウマレ」は「昭和生」と書く人はほとんどなく、「昭和生れ」と「昭和生まれ」が大部分を占めている。「昭和生まれ」と書く人の方が多い層は中学生・高校生・教員・研究者であり、「昭和生れ」と書く人の方が多い層は一般公務員と広報社内報であり、大学生は両者が相半ばしている。この様相は「ウマレル」と酷似しているが、広報社内報・教員層で「生まれる」に比して「昭和生まれ」が少なく、したがって「生れる」に比して「昭和生れ」が多いという点が相違している。

「ネアガリ」は「値上り」「値上がり」が大半を占め、「値上」はほとんど無視してよい程度にしか存在しない。「値上」は「ネアゲ」と誤読される可能性が大きいため選ばれないのだと考えられる。大学生・一般公務員・広報社内報の各層では「値上り」と書く人が多く、研究者は「値上がり」と書く人が多く、他の層では両者が相半ばしている。「アガル」に比べて、どの層も「が」を送る人が少なく、「上る」と書く人のやや多い一般公務員層はもちろん、やや「上がる」の多かった大学生・広報社内報の層も「が」を送らない「値上り」が多いと言える。

なお、「ショウワウマレ」と「ウマレル」,「ネアガリ」と「アガル」の関係については、5.2で同一个人のあいだの相関をみる。

図47-11' 4ワリアルテル (割・当)

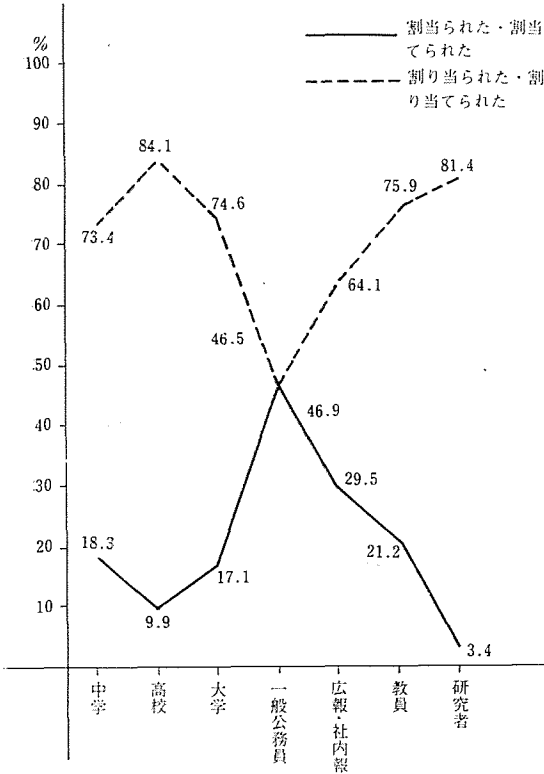


図47-12' 13ウケツケル (受・付)

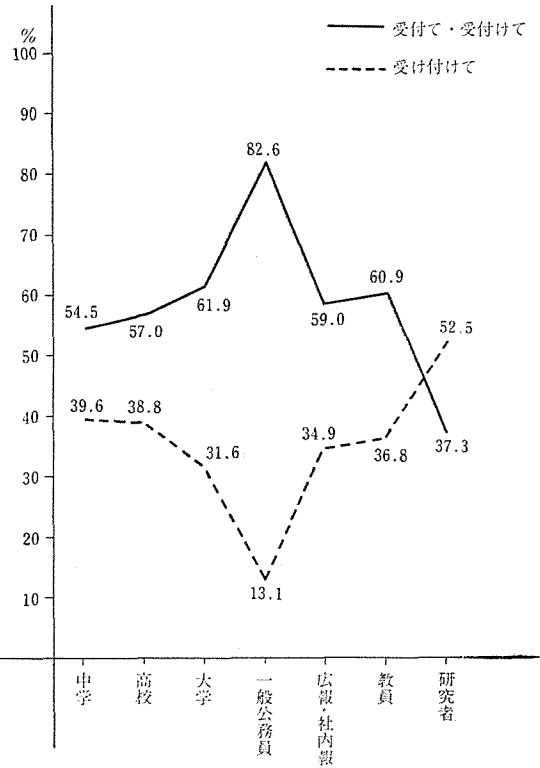


図47-36' 25ワライイ (割・合)

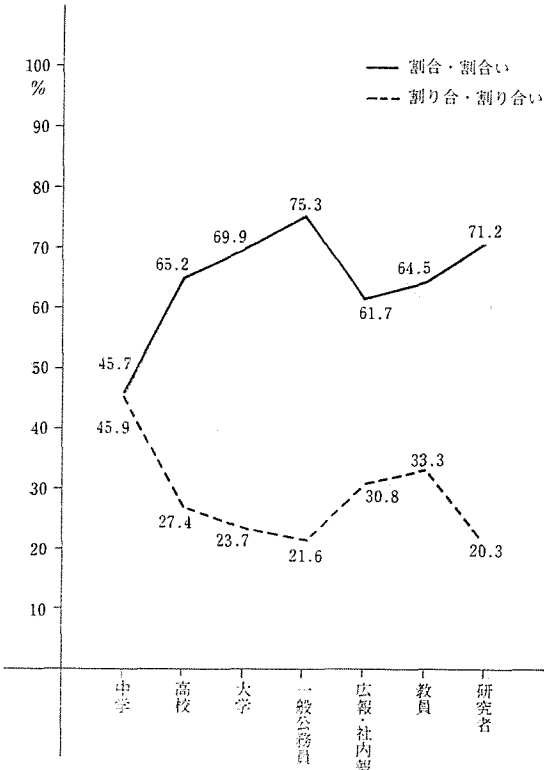


図47-38' 24クミアワセ (組・合)

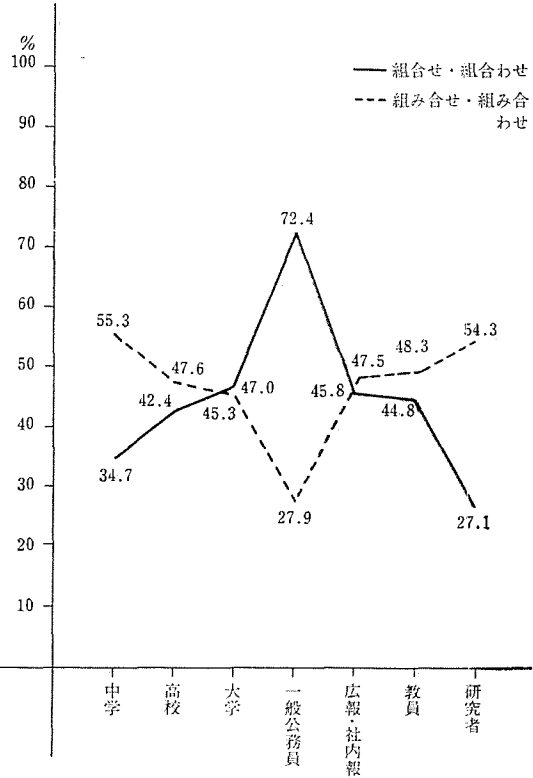


図47-39' 40モウシアワセジコウ (申・合・事項)

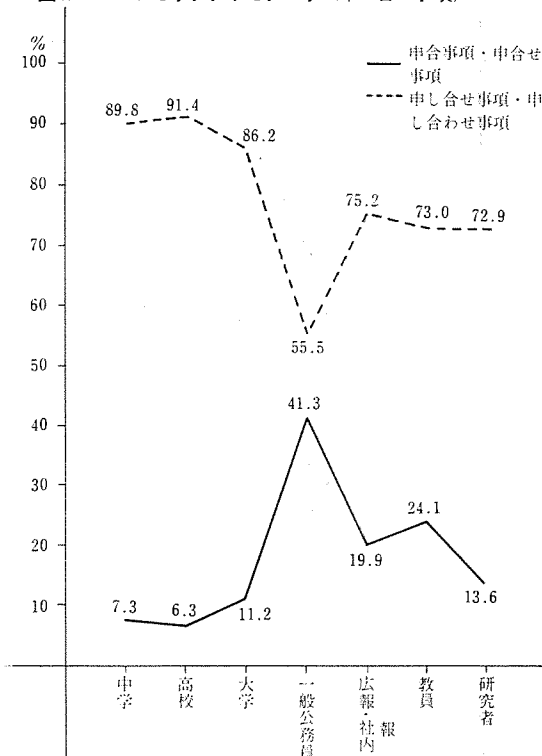


図48-11' 4ワリアテル (割・当)

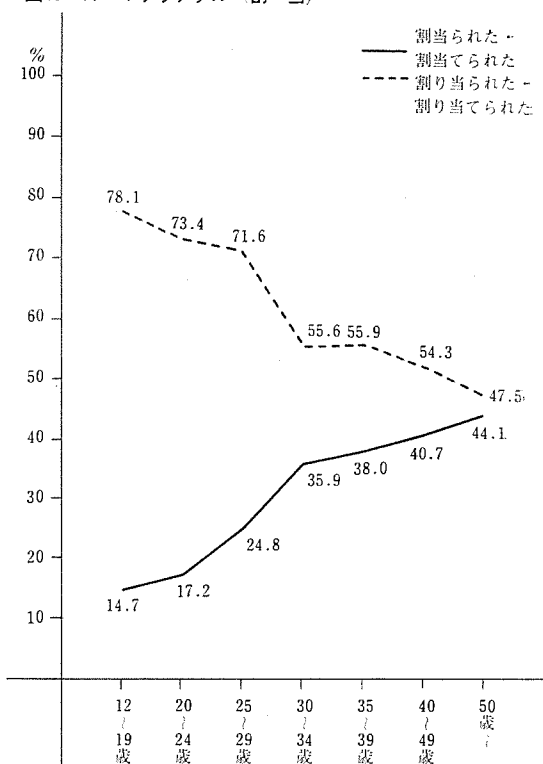


図48-12'

13ウケツケル (受・付)

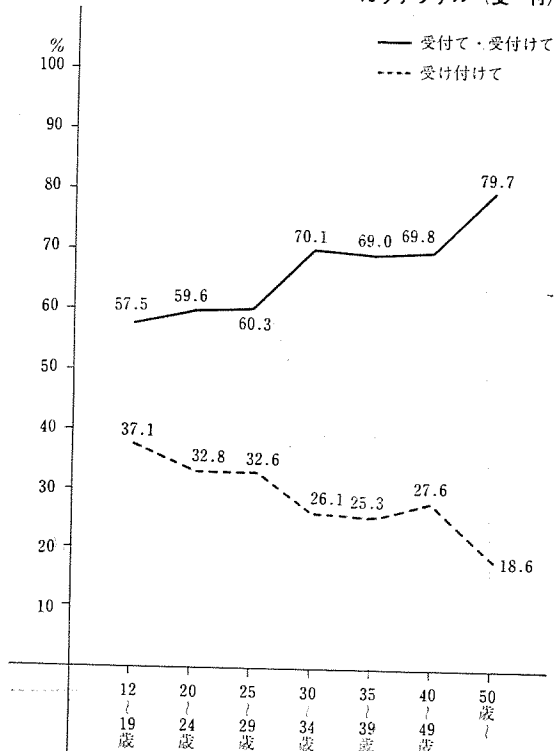


図48-36' 25ワリアイ (割・合)

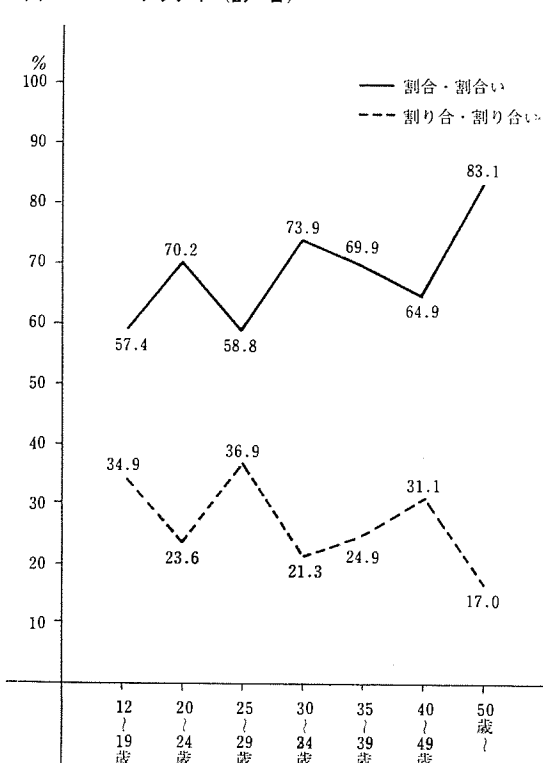


図48-38' 24クミアワセ (組・合)

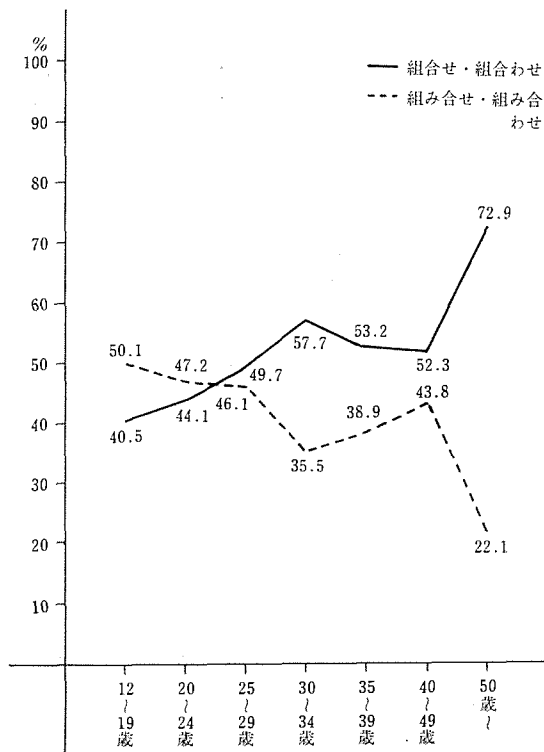


図48-39' 40モウシアワセジコウ (申・合・事項)

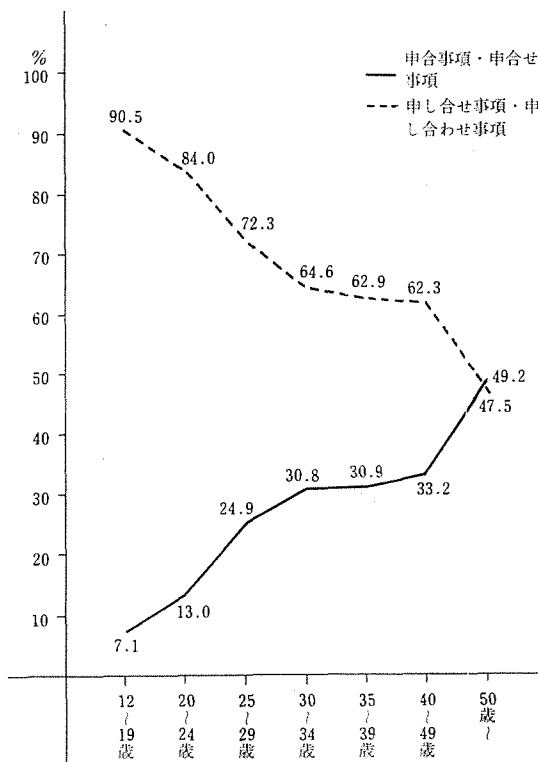


図49-11' 4ワリアテル (割・当)

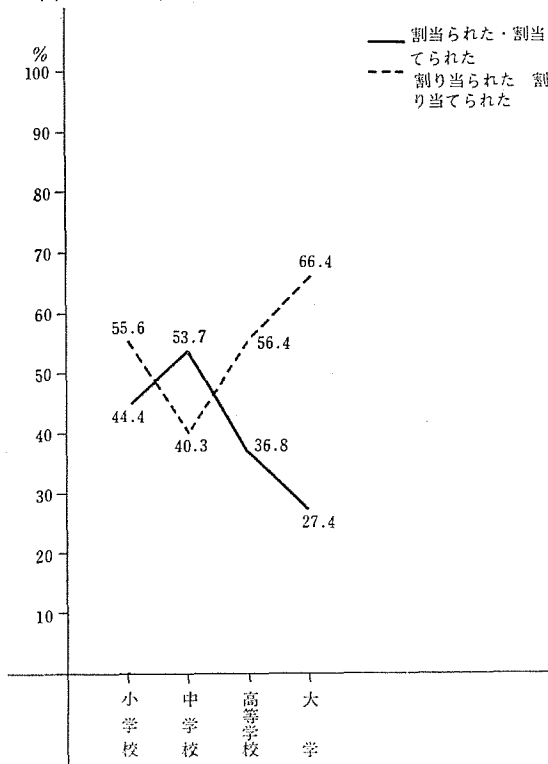


図49-12' 13ウケツケル (受・付)

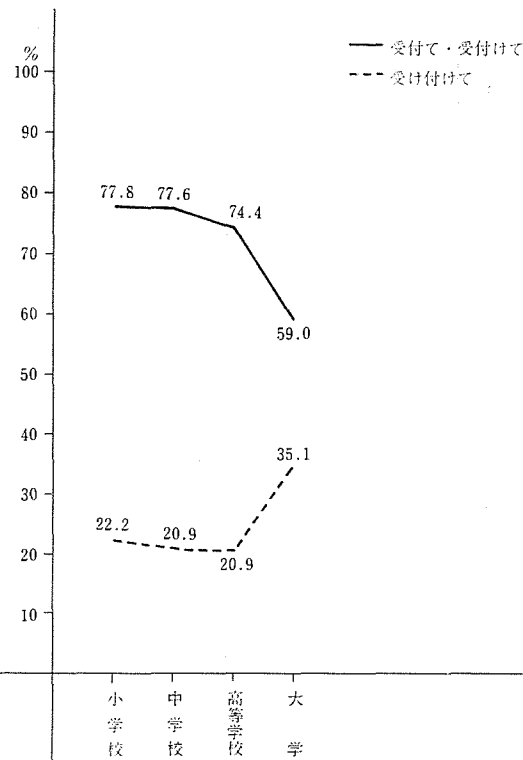


図49-36' 25ワライイ (割・合)

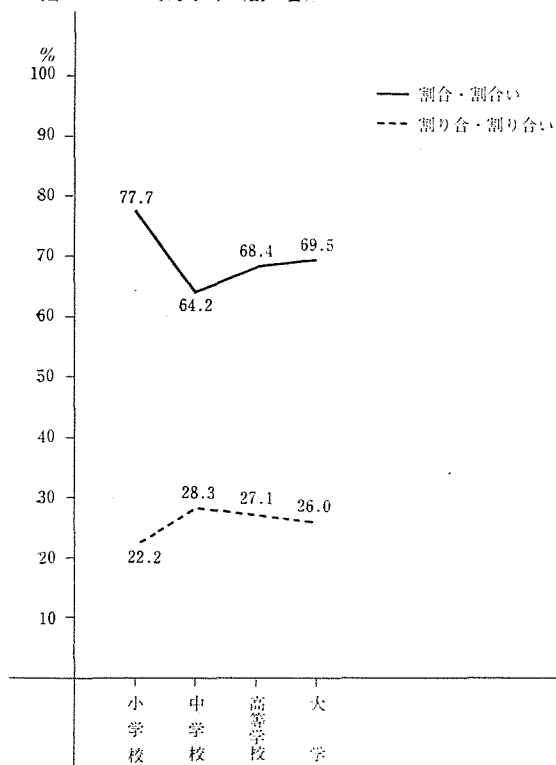


図49-38' 24クミアワセ (組・合)

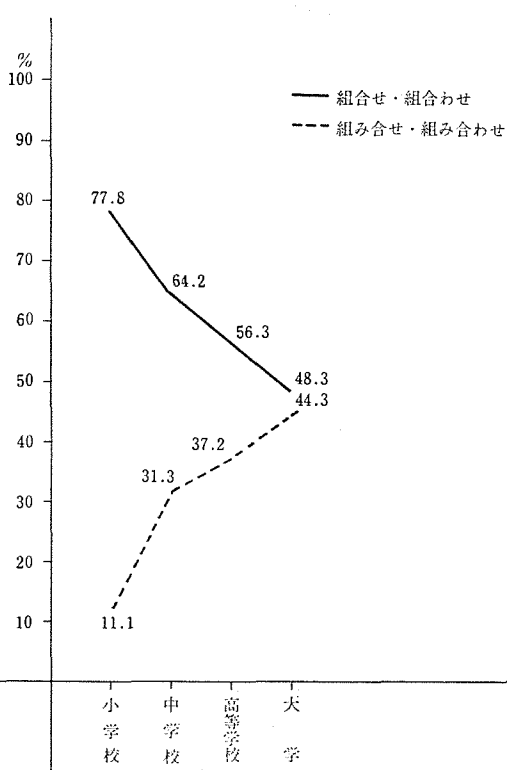


図49-39' 40モウシアワセジコウ (申・合・事項)

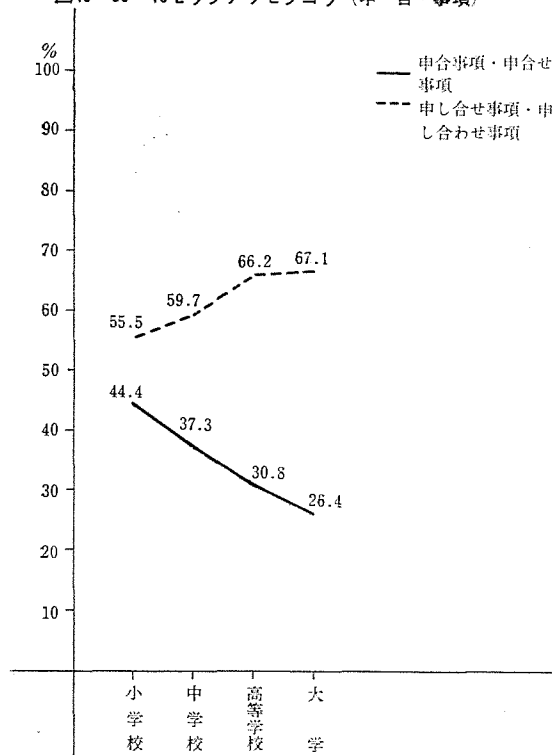


図49-7" 14アワセル (合) [40~49歳]

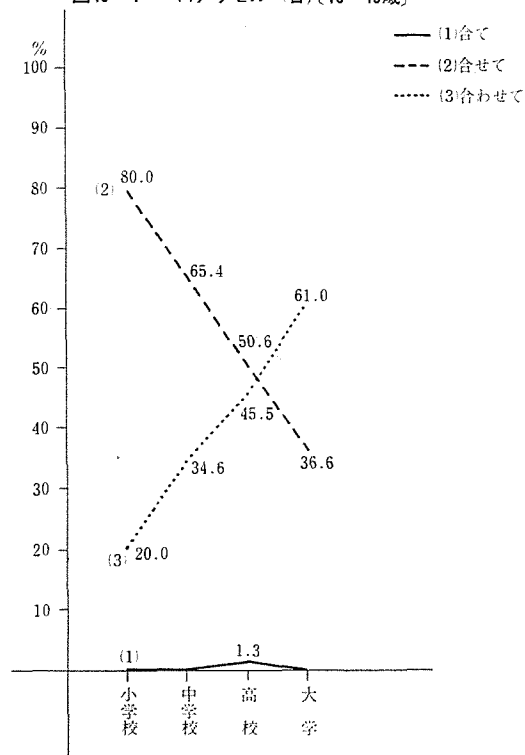


図49-10" 42ウマレル (生) [40~49歳]

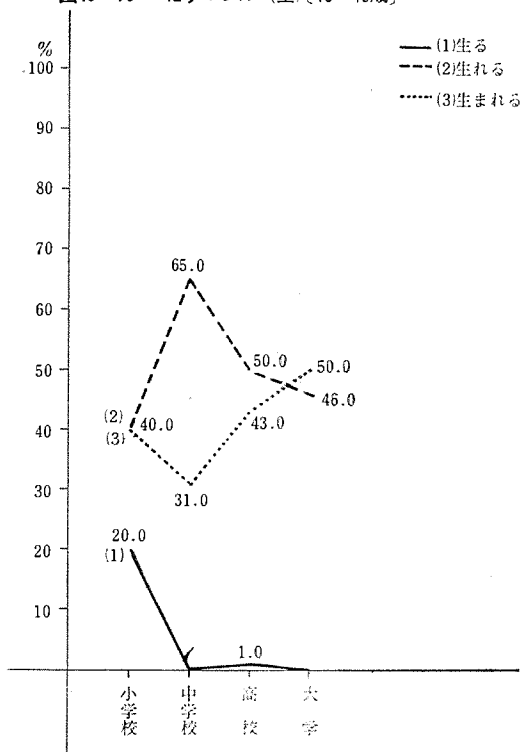


図49-11" 4ワリアテル (割・当) [40~49歳]

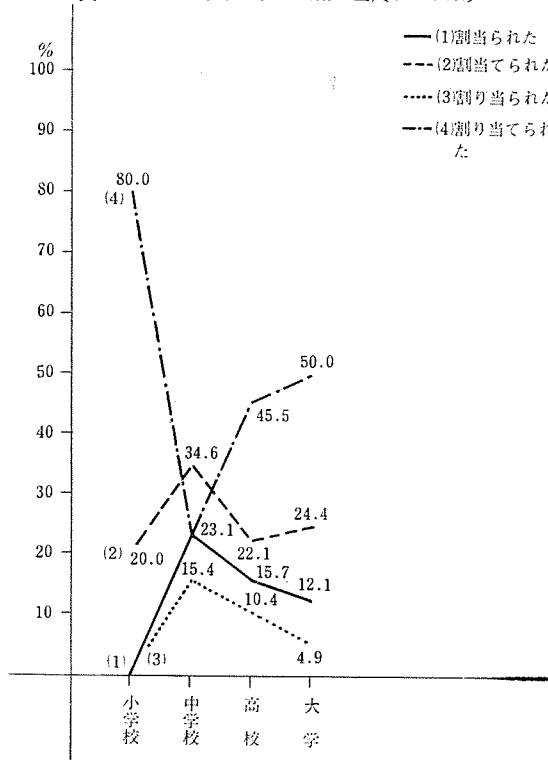


図49-12" 13ウケツケル (受・付) [40~49歳]

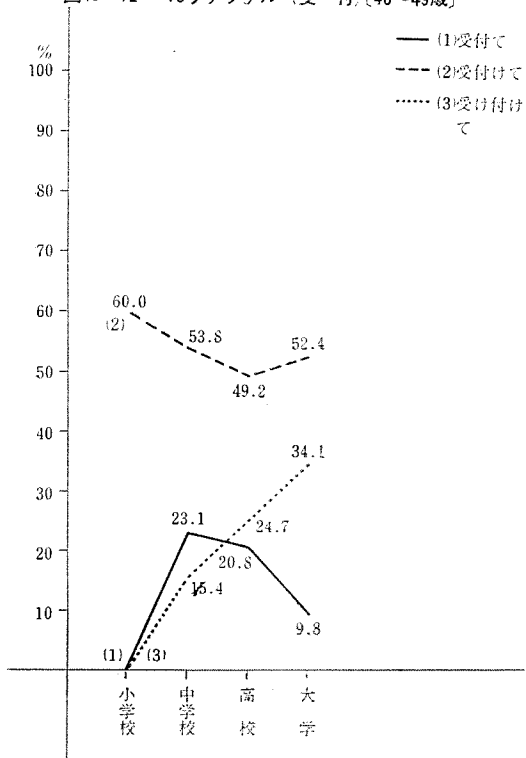


図49-13" 46. ウリダス (売・出) [40~49歳]

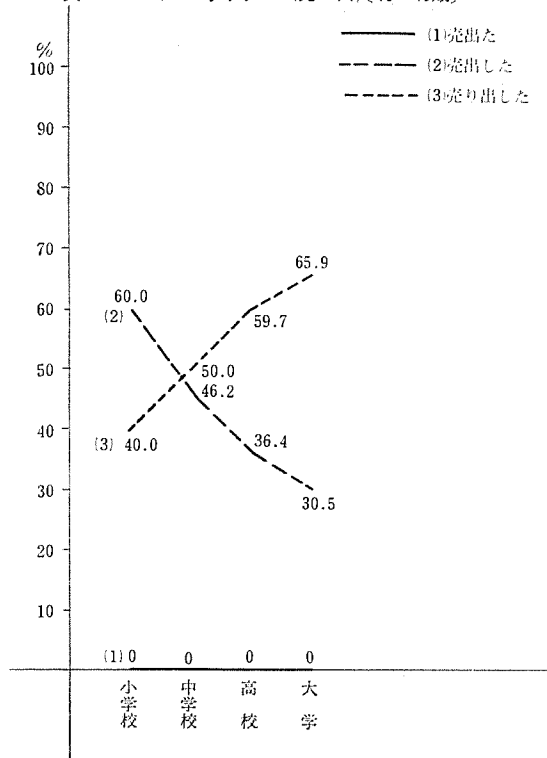


図49-30" 5ツギ (次) [40~49歳]

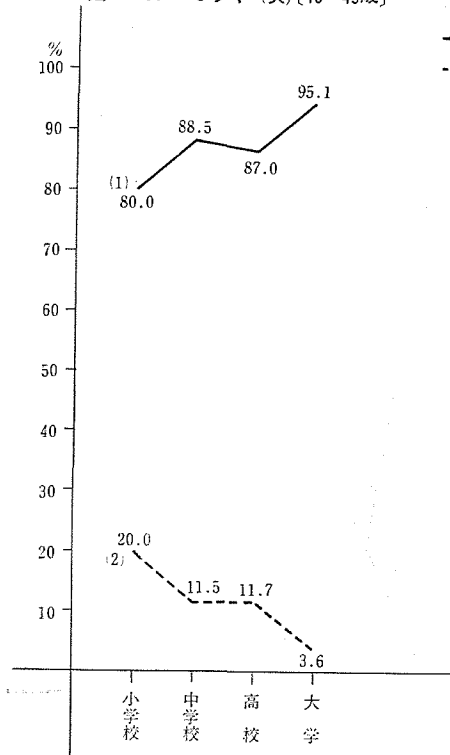
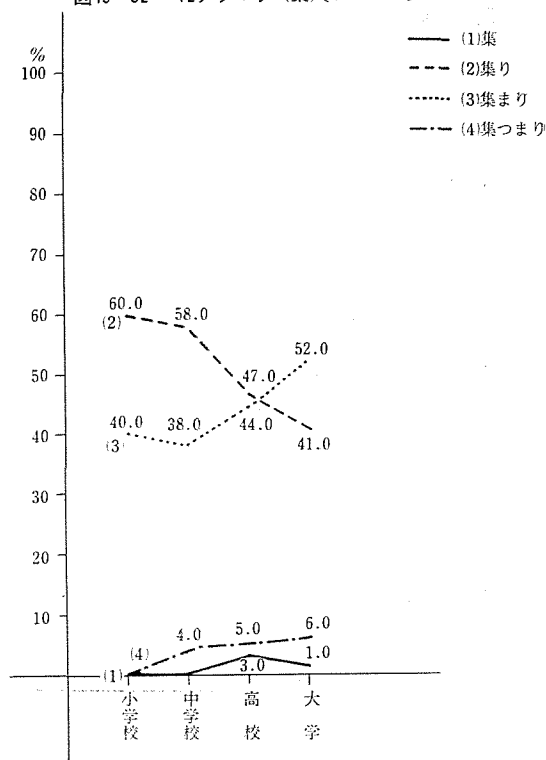


図49-32" 12アツマリ (集) [40~49歳]



5.2 年齢と送りがない表記

個人の送りがない表記が年齢と関係があることは、容易に想像され、また準備調査で確かめられた。年齢によって送りがない表記が違うのは、多分に受けた教育内容の違いによるものと想像されるが、どの年齢時にどんな内容の教育を受けるとそれが成人後の個人の表記にどの程度に反映するかについては明らかにされていない。そこでこの調査では単純に5年あるいは10年きざみに年齢別集団を設けて分析した。

年齢という因子には受けた教育内容の差以外にその個人のさまざまな現在の文字生活が反映している。準備調査のような小さな集団内では、年齢による文字生活の差もそれほど大きくないが、多数の集団を調査した場合は、文字生活の違いが大きく、また特定の集団に特定の年齢層が集まる可能性が十分ある。したがって年齢別に個人の送りがない表記をみる場合、そこに現われた「年齢別」の特徴をそのまま年齢の違い、さらには受けた教育内容の違いとみなすわけにはいかない。

準備調査の段階で、送りがない表記と年齢とに関係があるということは、具体的には、「二種の送りがない表記があってゆれている場合、若年齢層では多く送る表記を選ぶ人が多く、高年齢層では少なく送る表記を選ぶ人が多い」ということであった。本調査の場合、被調査者として、文字の読み書きに関係の深い仕事に従事している人を選んだため、現行の送りがない表記（内閣告示）に関する知識のある人が多く、中・高年齢層でも、ほとんどの語について多く送る人が少なく送

る人よりも多い。46語の一語一語について、年齢による差の明瞭なものやや明瞭なものを取り出してみると、次のようになる。(複合語については、前部分を送るか送らないかで整理した図48-11'・12'・36'・38'・39'をかかげる。)

◎年齢による表記の差の明瞭な語 13語

ワリアテル(割・当)前部分, ウケツケル(受・付)前部分, ウリダス(売・出)前部分, トナリ(隣), イキオイ(勢), ハレ(晴), 大ウリダシ(売・出)前部分, ハライサゲ(払・下)前部分, クミアワセ(組・合)前部分, モウシアワセ事項(申・合)前部分, ウケツケ～(受・付), ハレ着(晴), 手ツヅキ(続)

◎年齢による表記の差のやや明瞭な語 18語

オワル(終), アワセル(合), アガル(上), アツマル(集), ウマレル(生), モウシアワセル(申・合)後部分, サソイアワセル(誘・合)後部分, ウマレカワル(生・変), ウカビアガル(浮・上), オタガイ(互), サイワイ(幸), マツリ(祭), アツマリ(集), オコリ(起), オワリ(終), ワリアイ(割・合)前部分, 昭和ウマレ(生), 値アガリ(上)

これらの31語をまとめてみると、複合動詞の前部分(およびそれを含む語)と動詞2(およびそれを含む語)が大半を占め、そのほかはトナリ・イキオイ・ハレ・ハレ着・手ツヅキ・オタガイ・サイワイ・マツリなどの8語に過ぎない。トナリ・オタガイ・サイワイの3語は非活用語で、それぞれの一語一語について誤読の可能性・これまでの習慣などから送るか送らないかを決めている語なので、それも一グループとすることもできる。したがって、年齢による表記の差がある語は、大部分複合動詞の前部分、動詞2、および非活用語の一部の語であると言える。

一方、年齢による差の認められなかった語は、単純動詞ではヤシナウ(養)・アラワス(表)・アラワレル(現)・コトナル(異)・複合動詞ではムカイアウ(向・合), 単純名詞ではナサケ(情)・ウシロ(後)側・ツギ(次)・ハナシ(話)・ワリ(割)・オコナイ(行)・コトワリ(断), 複合名詞ではアガリ(上)口・役ワリ(割)である。これらの語の中には、①ツギ(次)のようにほとんど送り方のゆれていない語、②非活用語の一部、③活用語ではあるが誤読の可能性・これまでの習慣などから送りがなを決めている語が含まれている。そして、その中に、オコナウ・ナサケなど比較的最近、送る傾向になってきた語が見られることは注目してよいことである。

5.3 学歴と送りがな表記

個人の最終学歴と送りがな表記との関係を調べる意義については、4.1「項目Aの集計結果と分析(1)」の「学歴別」の項で述べた。また、個人の新聞を読む時間や雑誌を読む程度が最終学歴と密接な関係があることについては、4.2「項目Aの集計結果と分析(2)」で述べた。

調査語の送りがな表記と学歴との関係について、先に掲げた表49-1～49-47のほか、複合動詞(およびそれを含む語)の前部分について整理した結果をグラフにして図49-11', 12', 36', 38', 39'として掲げた。また、40～49歳の人だけについて学歴と送りがな表記との関係をみたグラフを図49-7'', 10'', 11'', 12'', 13'', 30'', 32''として7図掲げた。これは、年齢の違いによる影響を除くためである。(4.1参照)

各調査語を概観すると、ほとんどの語について明らかな傾向がみられる。小・中・高・大の各グループ間で直線的にある傾向が認められる語を「傾向の明瞭な語」とし、一つのグループ（とくに人数の少ない小学校卒）だけが他と相反する傾向を示している程度の語を「傾向のやや明瞭な語」とするならば、調査語 47 語（「ウケツケガカリ」は「ウケツケ～」と「～ガカリ」に分離）は、次のように整理することができる。

◎最終学歴の高いものほど多く送る語 30語

●その傾向の明瞭な語（20語）

アラワス（表）、アワセル（合）、アガル（上）、アツマル（集）、ウマレル（生）、ウケツケル（受・付）前部分、ウリダス（売・出）前部分、サソイアワセル（誘・合）後部分、ウマレカワル（生・変）前部分および後部分、ウカビアガル（浮・上）後部分、アツマリ（集）、オコリ（起）、大ウリダシ（売・出）前部分、ハライサゲ（払・下）前部分、クミアワセ（組・合）、モウシアワセ事項（申・合）、ウケツケ～（受・付）、アガリロ（上）、昭和ウマレ（生）、値アガリ（上）

●その傾向のやや明瞭な語（10語）

アラワレル（現）、オワル（終）、ワリアテル（割・当）前部分、モウシアワセル（申・合）後部分、ムカイアウ（向・合）前部分、トナリ（隣）、ワリ（割）、ハレ（晴）、コトワリ（断）、オワリ（終）

◎最終学歴の高いものほど少なく送る語 11語

●その傾向の明瞭な語（2語）

ツギ（次）、ハナシ（話）

●その傾向のやや明瞭な語（9語）

ヤンナウ（養）、オタガイ（互）、サイワイ（幸）、ウシロ側（後）、マツリ（祭）、ワリアイ（割・合）、手ツツキ（続）、役ワリ（割）、～ガカリ（係）

◎最終学歴の違いが表記に現われない語 6語

コトナル（異）、オコナウ（行）、ナサケ（情）、イキオイ（勢）、オコナイ（行）、ハレ着（晴）

このように、最終学歴と送りがな表記とのあいだの関係にはかなりはっきりとした傾向が見られ、学歴の高いものほど多く送る語と、学歴の高いものほど少なく送る語とがある。一方、オコナウ・オコナイ・ナサケなど、学歴の差が認められない語もいくつかある。先にも述べたように、最終学歴そのものは、直接、送りがな表記とかわりあいを持たない。上級学校がとくに送りがな表記の指導・学習に努めている事実はない。それなのに、このような顕著な傾向が見出されるのは、「学歴」が社会に出てからの読み書き生活と結びついているためと考えざるを得ない。これは想像であるが、現在の社会では、学校を出てからの仕事の内容が、学歴によってはっきり規定されているため、それに応じて現行の内閣告示など送りがな表記のきまりを吸収する態度も違っているのではないだろうか。

5.4 その他の事項と送りがな表記

この節では、個人の読み書き生活に関するAの数項目と、送りがな表記との関係について述べ

る。取り上げる項目は、経験年数・新聞を読む時間・雑誌を読む程度・手紙を出す数の4項目である。

○ 経験年数と表記

個人の送りがな表記が、その職業経験に影響されるであろうということは容易に想像される。そして、ふだん文章を書く機会の多い人ほど、自分の送りがな表記に関心があるだろうし、またその中でも、公共的な立場にあり、社会一般に向けて文章を書く機会の多い人は、一層規範意識が強く、内閣告示その他の送りがなのきまりにも従おうとするであろうと想像される。しかし、この想像を確かめ、さらに、個人の表記がその職業経験からどの程度影響を受けているかを知ること、容易ではない。

この調査では、社会人の中では、調査集団として、文章を書く機会の多い人々を選んだ。これらの集団は、この調査のために特別に集められたものではなく、他の目的たとえば文章の書き方に関する講習を受けるためとか一で集まっている集団の中から調査対象として適していると判断されて選ばれたものである。したがって、その集合の目的からいって、各集団内の個人個人の文章を書く経験の内容は類似していると考えてよからう。(もちろん、異質の経験内容を持った人がまぎれこんでいないとは言えない。) だから、各集団ごとに経験と送りがな表記との関係を調べることは可能である。

[経験と送りがな表記との関係について、社会人全体、あるいは、一般公務員層・広報社内報関係者層などの層別で調べても、実際、何の結果も得られなかった。このことから、経験内容の異なる集団を合わせることの正しくないことがわかる。]

この調査では、経験内容の度合いを示すものとして、現在の仕事に関する経験年数を用いた。この経験年数が、はたして文章を書く経験の蓄積の度合いをあらわすか疑問はあるが、この種の調査では、経験年数が適当と考えた。経験年数は、1年末満・1～3年・4～5年・6年以上の4カテゴリーに分けた。これは、準備調査で、こう分けて経験年数と表記とのあいだの関係を見出すことができたからである。

準備調査では、複合動詞「受け付ける」「売り出す」「割り当てる」の3語(千葉調査では「売り出す」を除いた2語)の前部分を送る人の占める割合を、各経験年数のカテゴリーに比べた。本調査の調査語の中でも複合動詞は同じくこの3語である。準備調査の結果を図50-1、本調査の結果を図50-2に示す。

このグラフから、次のことが言える。

複合動詞の前部分を送る人は、経験年数が高くなれば多くなる。

ただし、

- (1) このことは、経験年数0～5年までの範囲でしか言えず、経験年数6年以上では、前部分を送る人は減少する。これは、経験年数よりも年齢に強く引かたためと考えられる。
- (2) このことは、文章を書くことのとくに多い職種についてしか言えない。すなわち、準備調査における神奈川県職員は一般の職員であるため、経験年数との関連は見出されず、本調査の税務大学校・岩手県職員・滋賀県職員・日経連も経験年数との関連は認められない。

本調査において、複合動詞前部分と経験年数との間に関連を見出すことのできた3集団(都職

員・山形県職員・広報協会）について、次の語の送りがな表記と経験年数との関連を調べた。

アラワレル・アラワス・オコナウ・アワセル・アツマル・ウマレル・ナサケ・オコナイ・ハライサゲ・昭和ウマレ

その結果、ナサケ・ハライサゲのみ、図51-1、51-2のような関連を見出したが、他は経験年数との関連を見出すことができなかった。

このように、経験年数の多少と送りがな表記との関連は十分認められるが、語によって、経験年数によって、また、被調査者の経験内容によって、かなり異なった様相を呈するものようである。この調査では、経験年数に関して、これ以上の分析は行なわないことにする。

図50-1 準備調査「受け付ける」「売り出す」「割り当てる」の前部分を送る人の割合(経験年数別)

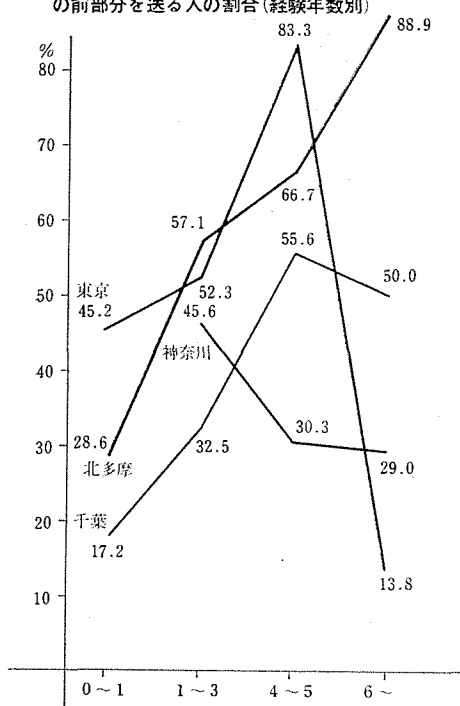


図50-2 本調査・同(経験年数別)

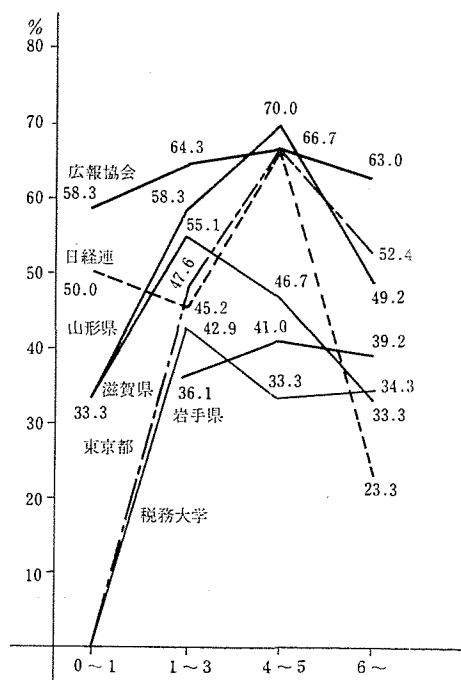


図51-1 「情け」と書く人の割合(経験年数別)

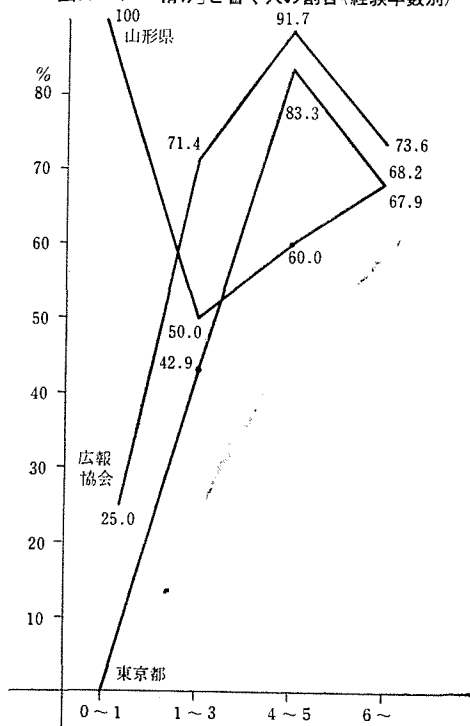


図51-2 「払い下げ」と書く人の割合(経験年数別)

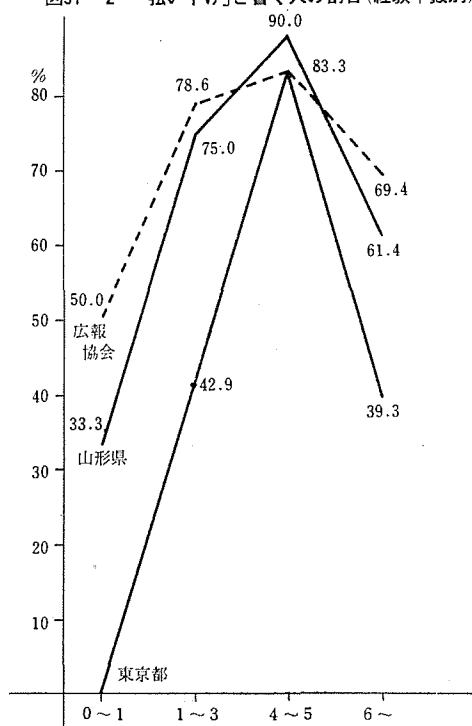


図52-1 新聞を読む時間各カテゴリーの年齢別構成(総計)

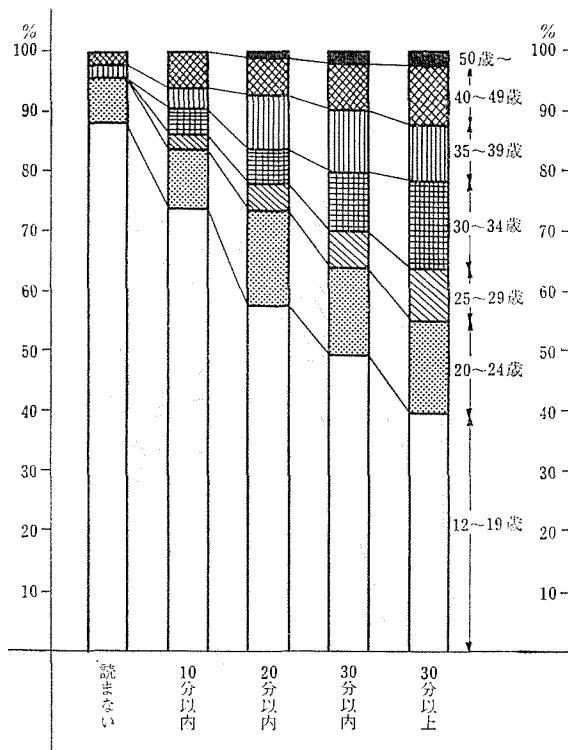
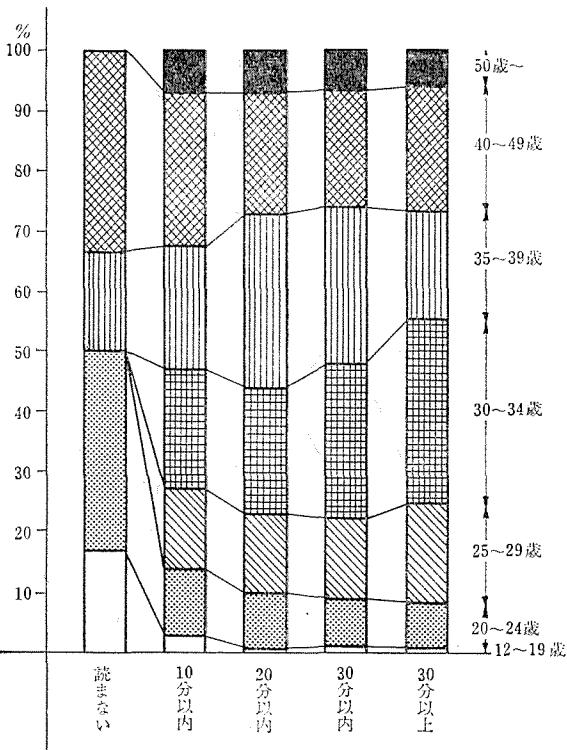


図52-2 新聞を読む時間各カテゴリーの年齢別構成(社会人)



○ 新聞を読む時間と表記

送りがな表記と質問「新聞は毎日平均して何分ぐらい読みますか」との関係について、最初につぎの11語について、被調査者全体の集計をした。

アラワレル・アラワス・オコナウ・アワセル・ウマレル・ワリアテル・ウリダス・・ウマレカ
ワル・ツギ・ハライサゲ・ウケツケガカリ

この結果、数語について、新聞を読む時間が多ければ多いほど、少なく送る表記が多く送る表記よりも優勢であるという傾向が見られた。すなわち、「合せる」「生れる」「売出す」「生れ変わる」「払下げ」「受付～」が多く、「合わせる」「生まれる」「売り出す」「生まれ変わる」「払い下げ」「受け付け～」が少なくなるのである。

しかし、新聞を読む時間が多ければ多いほど、現行の送りがな表記よりも少なく送る人が多くなると見ることは正しいだろうか。調査時点において、読売新聞その他大多数の新聞は、内閣告示「送りがなのつけ方」にはほぼ従った送りがな表記を採用しており、朝日新聞だけが、5年以前から独自の、少なく送る送り方を採用していた。また、毎日新聞は調査年の5月下旬ごろから、少なく送る送り方を採用しはじめた。この調査では朝日新聞しか読まない人が三分の一を占めているので、あるいは朝日新聞の送りがな表記がその読者に影響を与えて、それがここに出ているのかも知れない。しかし、毎日読む新聞三紙と表記との間には、目立った特徴は見出せず、一新聞が個人の送りがな表記に影響を及ぼしているという事実はない。

4.2に述べたように、社会人の中には、学生よりも新聞を長時間読む人が多い。(表13参照) 逆

に言えば、新聞を長時間読む人の集団は、学生層よりも社会人層によって、また年齢的には、20歳以上の人によって構成されている。(図52-1図参照) そのために、新聞を「読まない」、あるいは「10分以内」に比べて、長時間読むと答えた人々の方が少なく送る送り方が多く、このような現象となって現われたものと考えることができる。

このような、各カテゴリーの年齢的な不均衡をなくするための一つの方法として、学生層を除き、社会人のみについて集計することにした。社会人の中では、新聞を「読まない」と答えた人は6人しかいないため、ややかたよりが見られるが、他のカテゴリーは、ほぼ同様な年齢別構成である。(図52-2参照) したがって、その集計結果は、年齢差による影響をあまり受けていないと考えられる。

社会人を対象として、新聞を読む時間と送りがな表記との関連をみたのは、次の21語である。
ヤシナウ・アラワレル・コトナル・アラワス・オコナウ・オワル・アワセル・アガル・アツマル・ウマレル・ワリアテル・ウケツケル・ウリダス・モウシアワセル・サソイアワセル・ムカイアウ・ウマレカワル・ウカビアガル・ツギ・ハライサゲ・ウケツケガカリ
この21語のうち、新聞を読む時間の多少による差の見られない語が9語あった。他の12語の結果をグラフにして掲げる。(図53-1～図53-12)

この結果を整理すると、次のようになる。

1 新聞を読む時間の多いほうが多く送る語

ヤシナウ(「養った」がへり、「養なった」がふえる)
コトナル(「異って」がへり、「異なって」がふえる)
オコナウ(「行った」がへり、「行なった」がふえる)
アツマル(「集って」がへり、「集まって」がふえる)
ウケツケル(「受付て」・「受付けて」がへり、「受け付けて」がふえる)
サソイアワセル(「～合せて」がへり、「～合わせて」がふえる)
ムカイアウ(「向い合って」がへり、「向かい合って」がふえる)
ウマレカワル(「～変る」がへり、「～変わる」がふえる)
ウカビアガル(「浮び～」がへり、「浮かび～」がふえる)

2 新聞を読む時間の多いほうが少なく送る語

オワル(「終わります」がふえ、「終わります」がへる)
アガル(「上りました」がふえ、「上がりました」がへる)
ツギ(「次」がふえ、「次ぎ」がへる)

この結果から、次のことが言える。

- 1 新聞を読む時間と表記との関係は、各語によって、また、語の送るべき部分によって、異なっている。
- 2 多くの語について、「新聞を読む時間が多い人ほど、現行の送りがなに近い送り方をしている」と言える。
- 3 ただし、オワル・アガルについては逆で、「新聞を読む時間が多い人ほど『終る』『上る』と書く人が多くなる」と言える。

1について補足するならば、調査語をグループに分け、「他の動詞の活用形を含む動詞は、含まれている動詞の送りがなによって送る」というような原則を見出すことはできないということである。ただ、誤読されるおそれのある語（コトナル・オコナウ・アツマル・ムカイアウ・ウカビアガル）は必ず多く送っているという原則だけは見出すことができよう。（アラワスだけに、新聞を読む時間の多少による差が見出せないのは、「表わす」が圧倒的に多いためと考えることができる。）

このように、新聞を読む時間と送りがな表記とのあいだの関係は、かなりはっきりとした傾向を見出すことができる。このことは、この新聞を読む時間に関する設問が、個人の文字生活を、厳密に言えば、個人の文字生活の送りがな表記に関する部分を、かなり反映しているということを物語っている。

図53-1 45ヤシナウ(養)「新聞を～」(社会人)

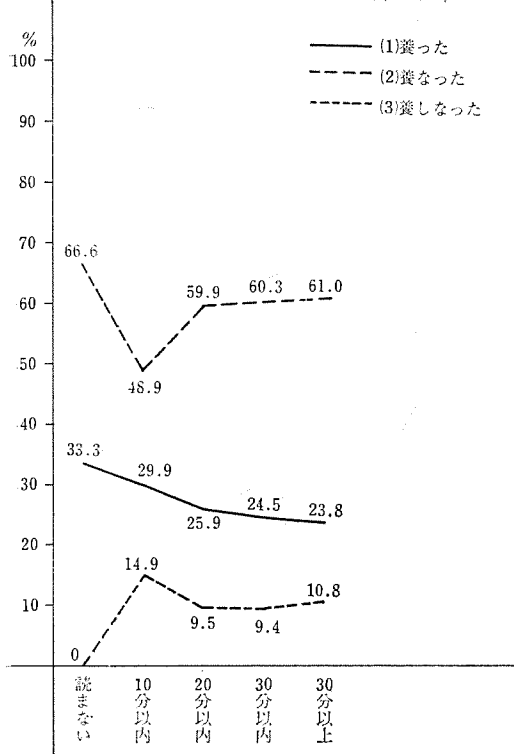


図53-2 16コトナル(異)「新聞を～」(社会人)

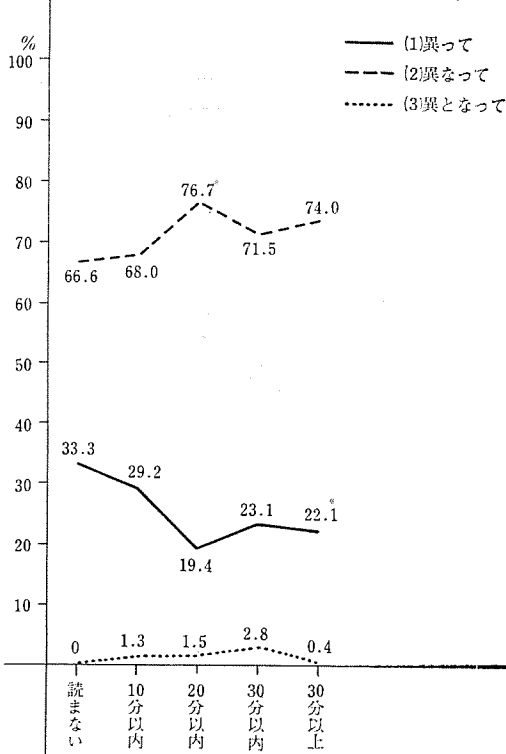


図53-3 43オコナウ(行)「新聞を～」(社会人)

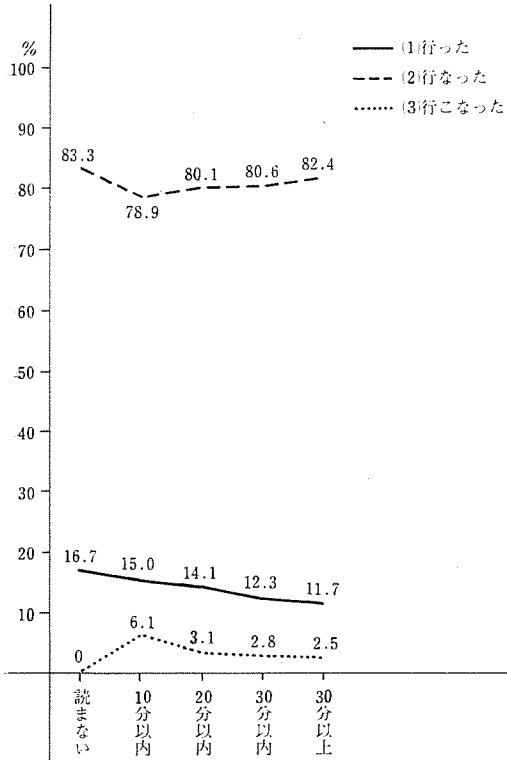


図53-4 10オワル(終)「新聞を～」(社会人)

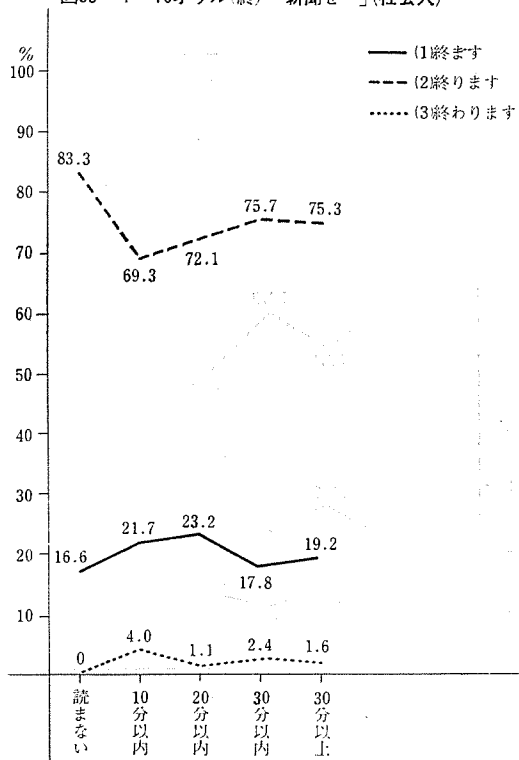


図53-5 10アガル(上)「新聞を～」(社会人)

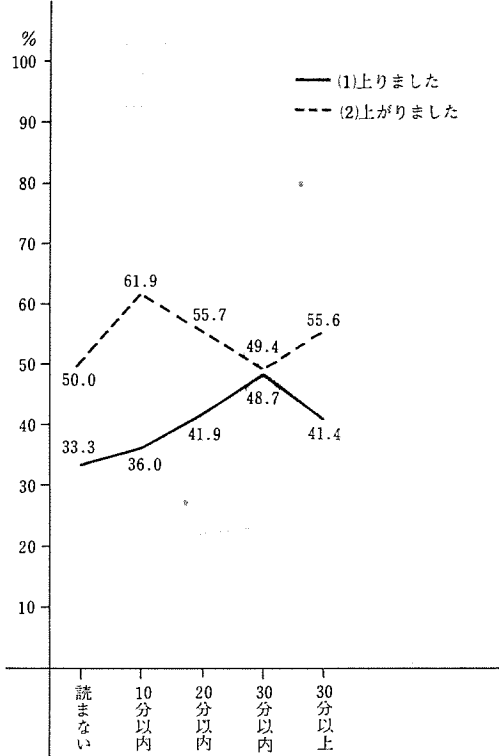


図53-6 28アツマル(集)「新聞を～」(社会人)

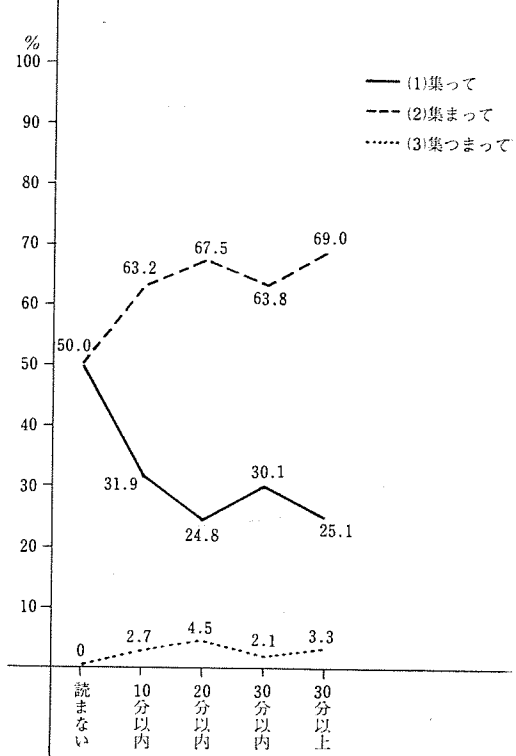


図53-7 13ウケツケル(受・付)「新聞を～」(社会人)

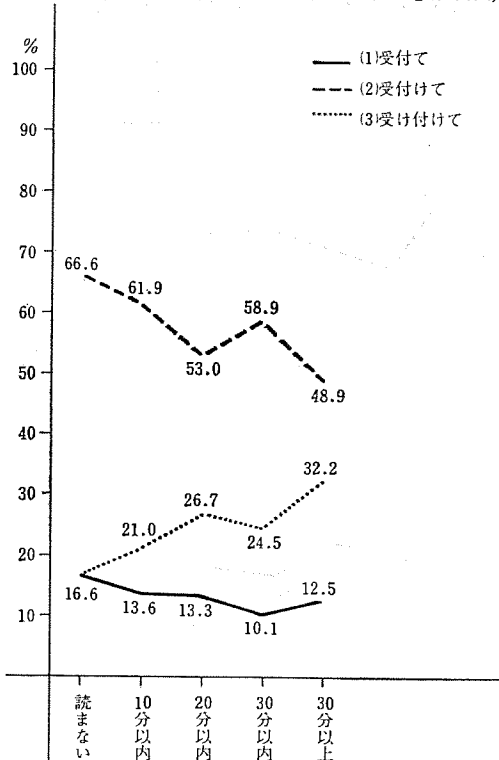


図53-8 38サンイアワセル(誘・合)「新聞を～」(社会人)

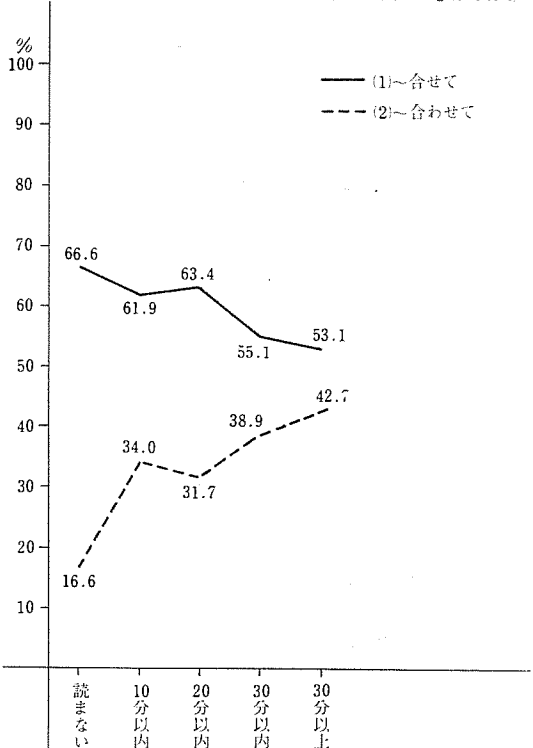


図53-9 8ムカイアウ(向・合)「新聞を～」(社会人)

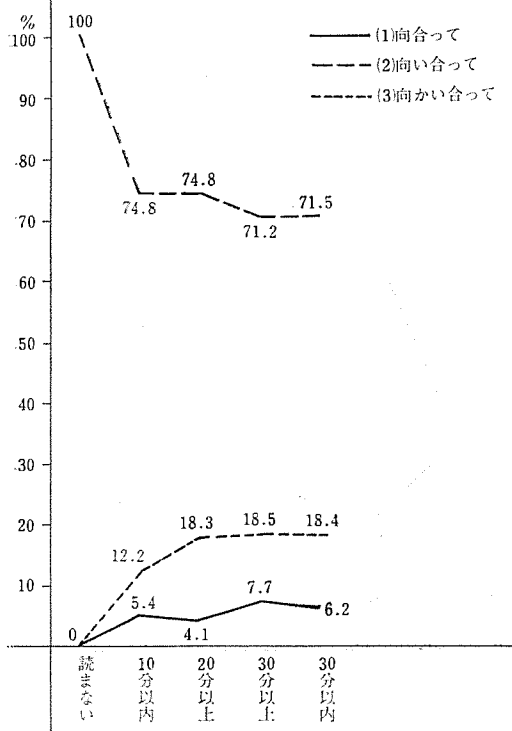


図53-10 33ウマレカワル(生・変)「新聞を～」(社会人)

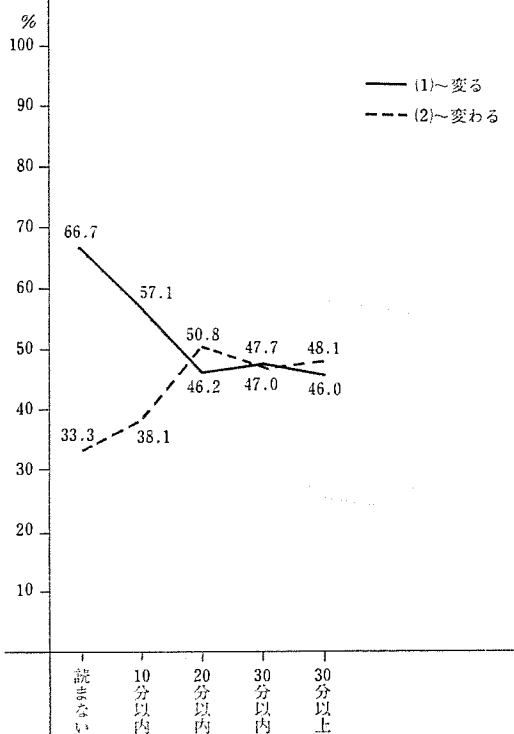


図53-11 44ウカピアガル(浮・上)「新聞を～」(社会人)

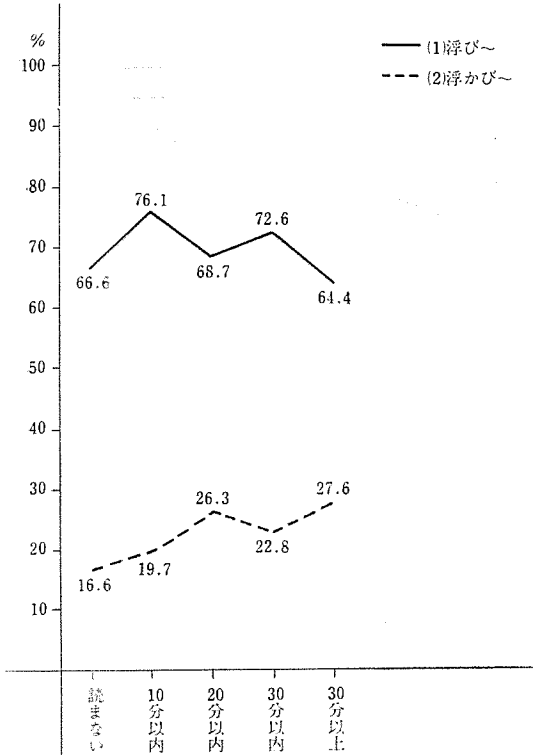


図53-12 5ツギ(次)「新聞を～」(社会人)

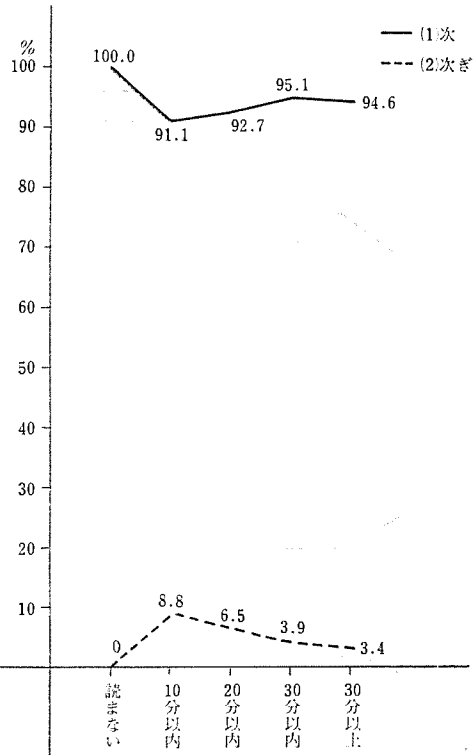


図54-1 45ヤシナウ(養)「雑誌を～」(社会人)

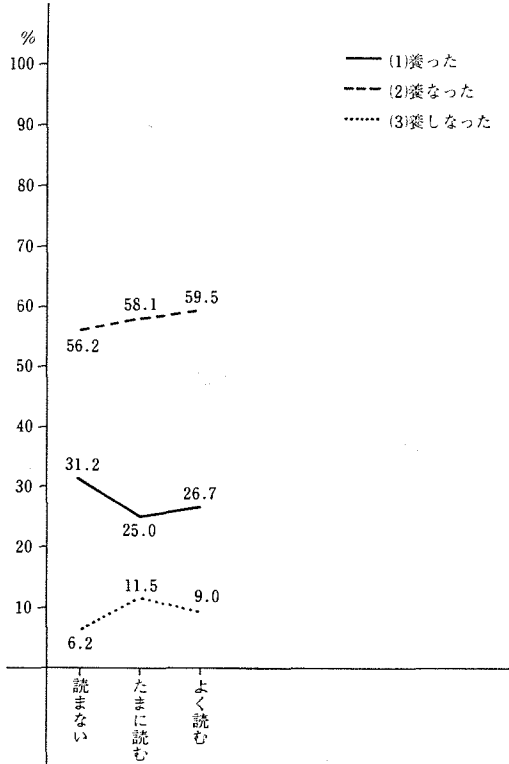


図54-2 2アラワレル(現)「雑誌を～」(社会人)

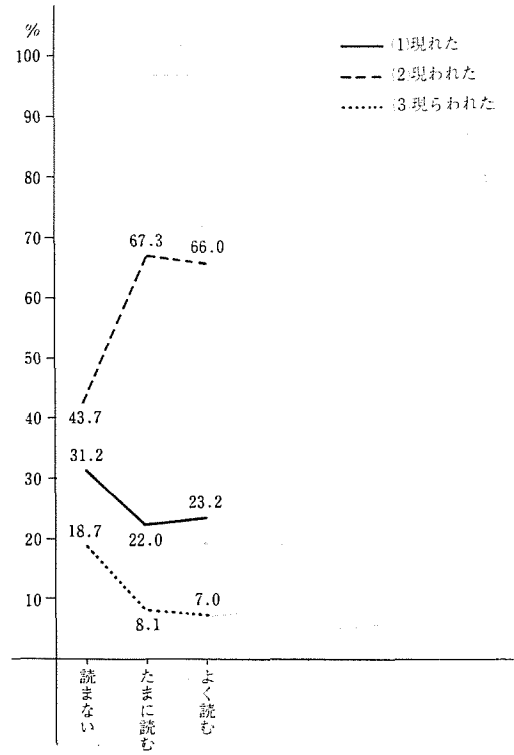


図54-3 16コトナル(異)「雑誌を～」(社会人)

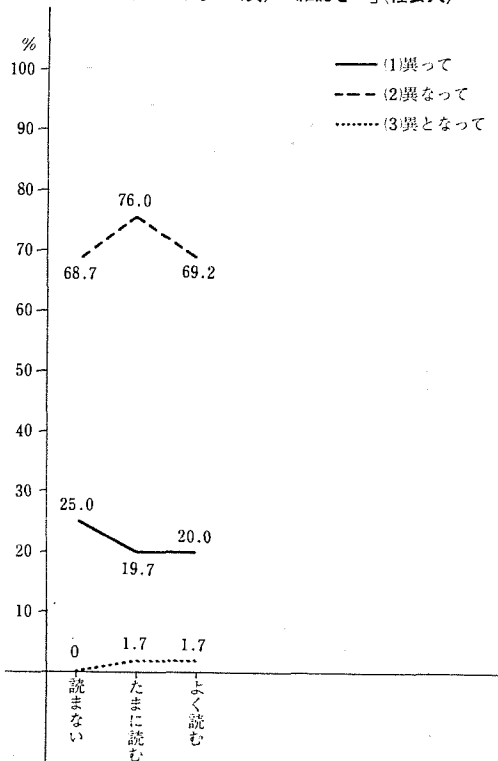


図54-4 23アラワス(表)「雑誌を～」(社会人)

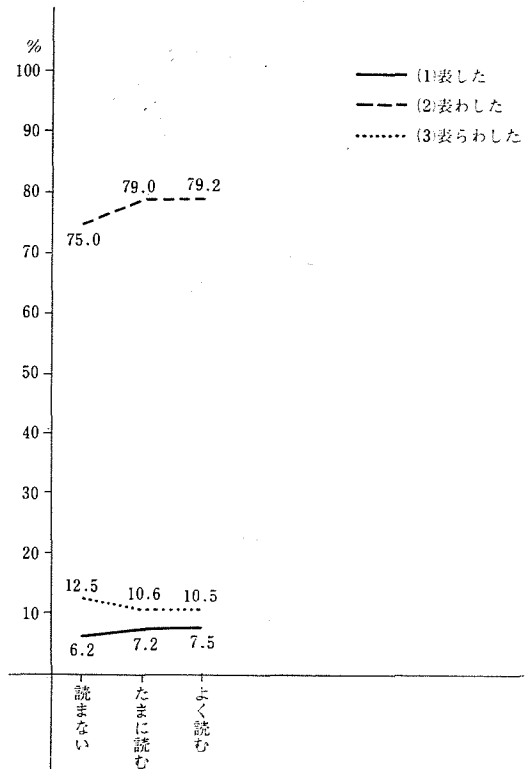


図54-5 43オコナウ(行)「雑誌を～」(社会人)

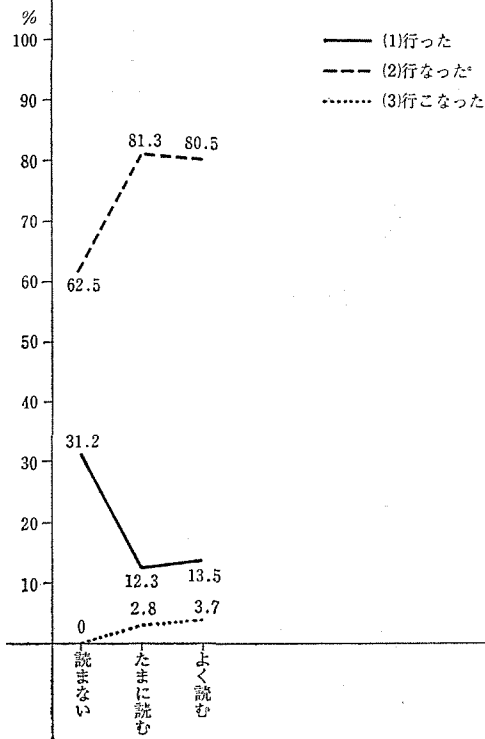


図54-6 10オワル(終)「雑誌を～」(社会人)

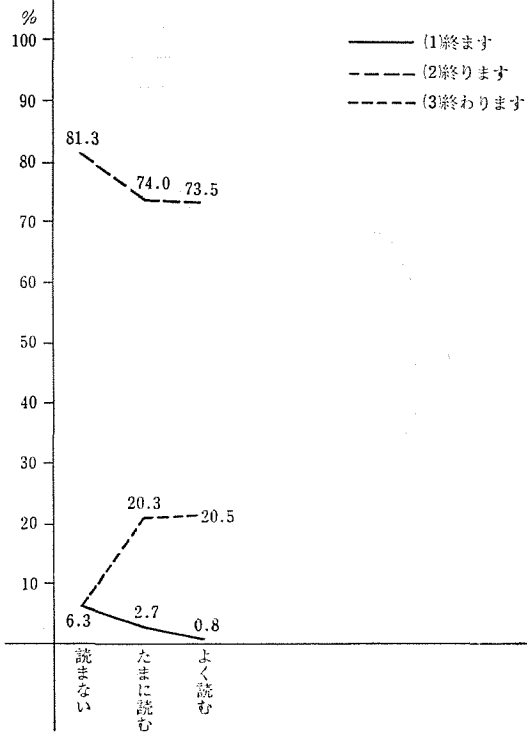


図54-7 14アワセル(合)「雑誌を～」(社会人)

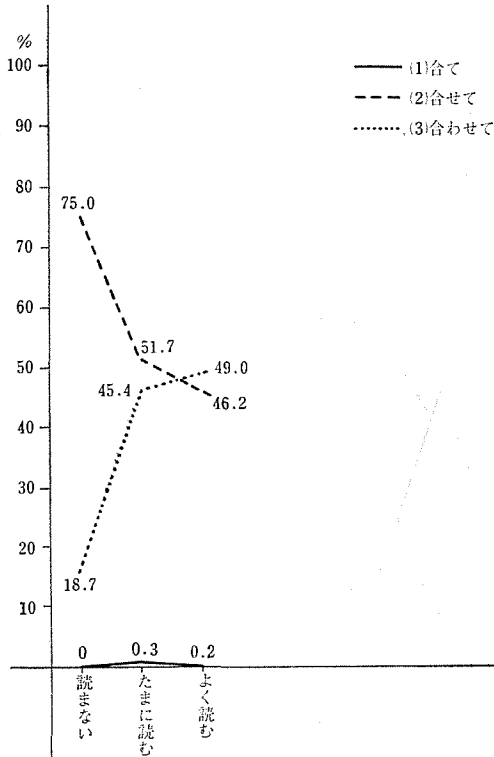


図54-8 18アガル(上)「雑誌を～」(社会人)

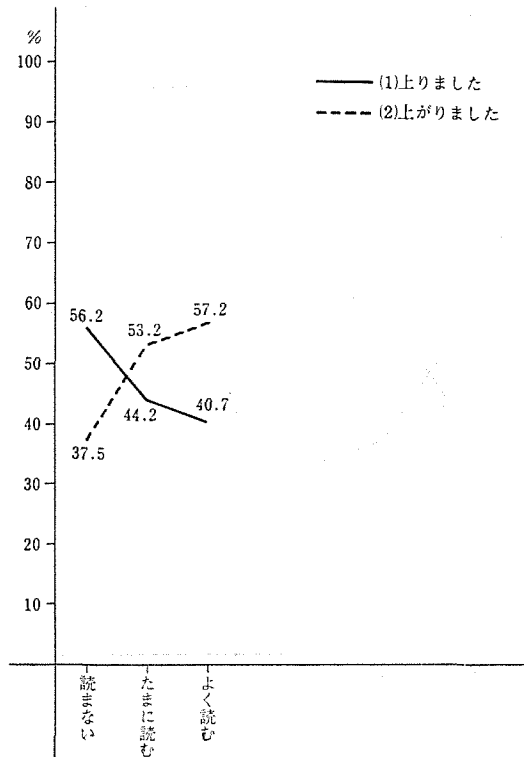


図54-9 28アツマル(集)「雑誌を～」(社会人)

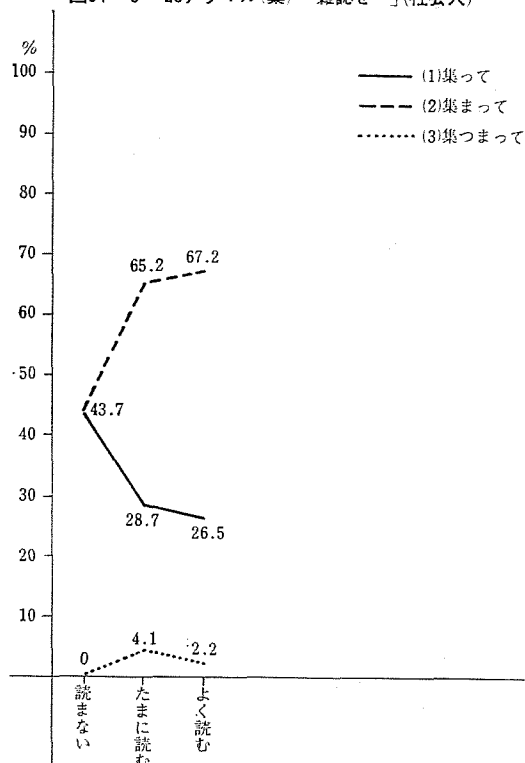


図54-10 42ウマレル(生)「雑誌を～」(社会人)

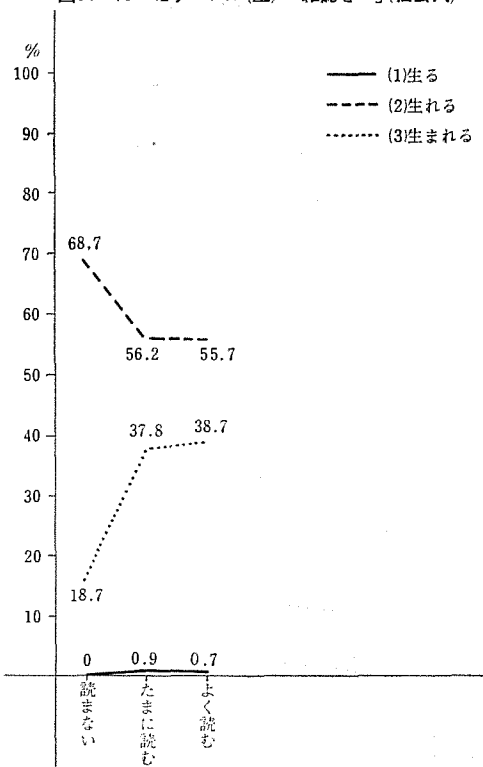


図54-11 4ワリアテル(割・当)「雑誌を～」(社会人)

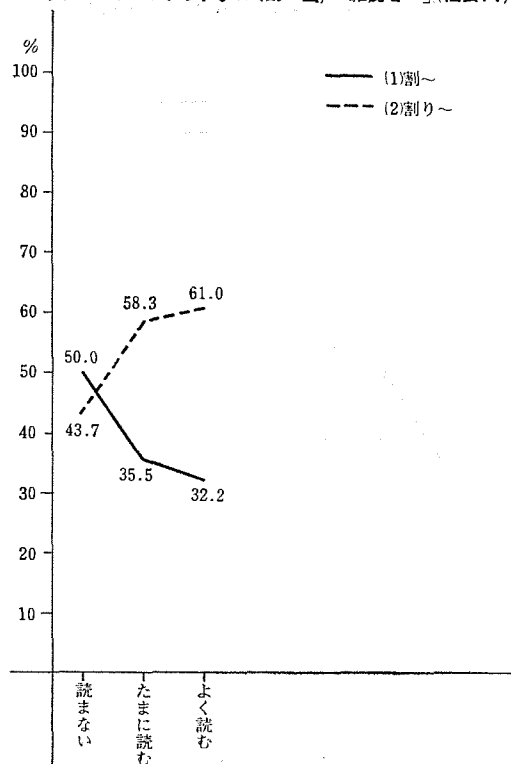


図54-12 13ウケツケル(受・付)「雑誌を～」(社会人)

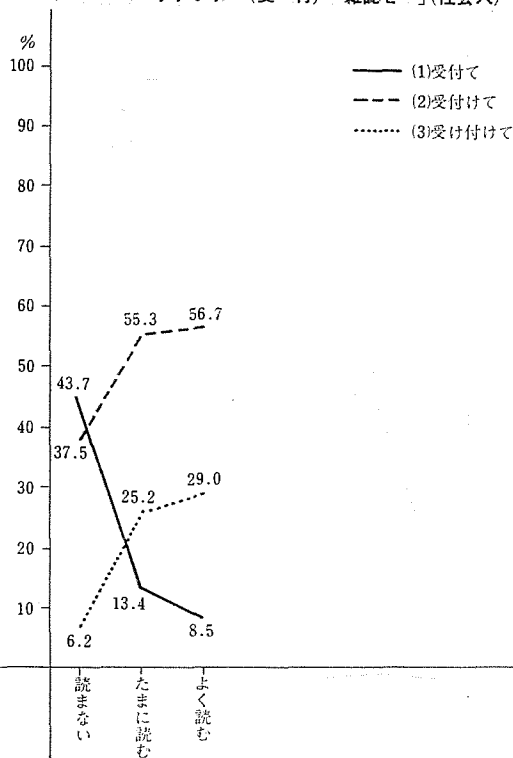


図54-13 46ウリダス(売・出)「雑誌を～」(社会人)

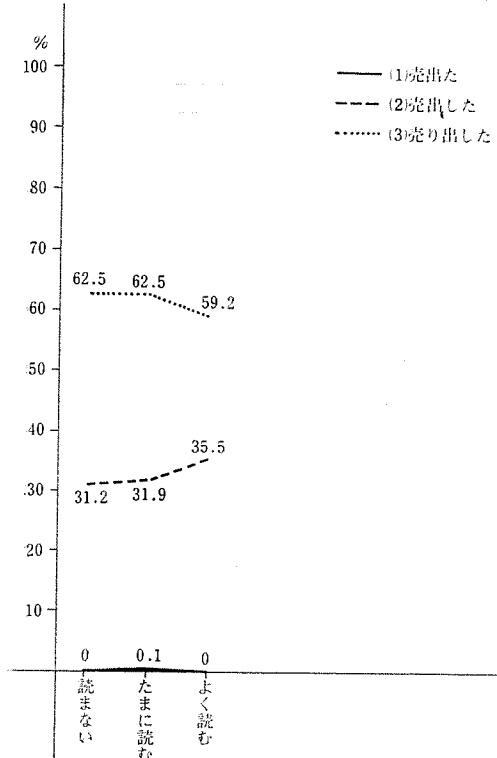


図54-14 1モウシアワセル(申・合)「雑誌を～」(社会人)

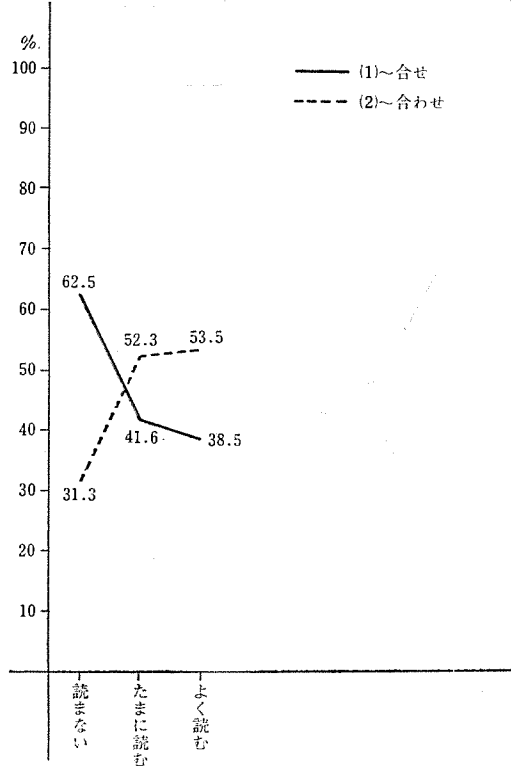


図54-15 38サソイアワセル(誘・合)「雑誌を～」(社会人)

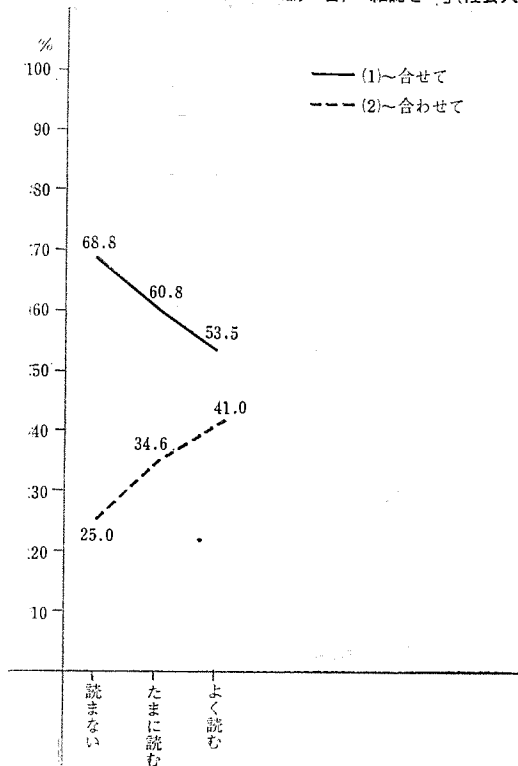


図54-16 8ムカイアウ(向・合)「雑誌を～」(社会人)

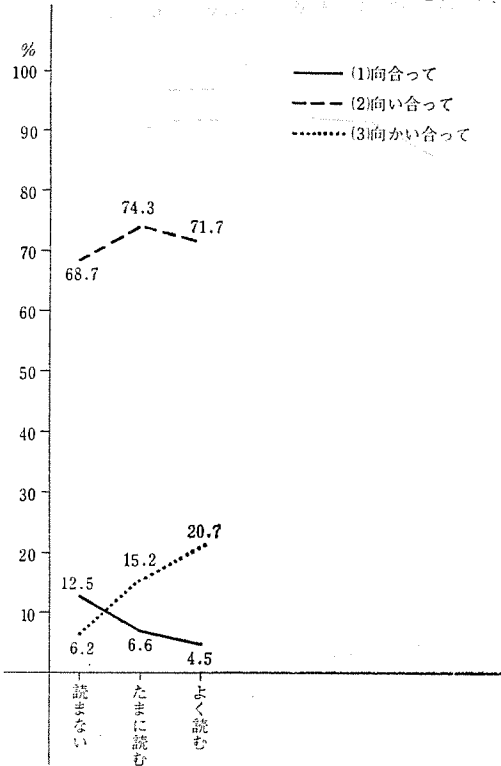


図54-17 33ウマレカワル(生・変)「雑誌を～」(社会人)

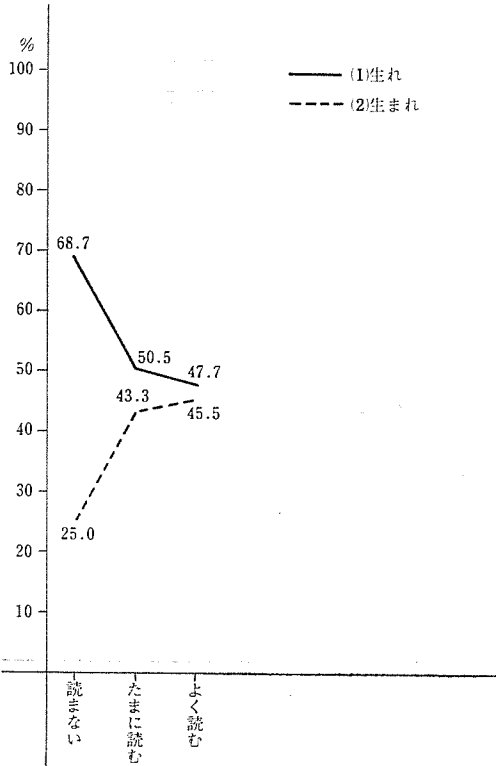


図54-18 44ウカビアガル(浮・上)「雑誌を～」(社会人)

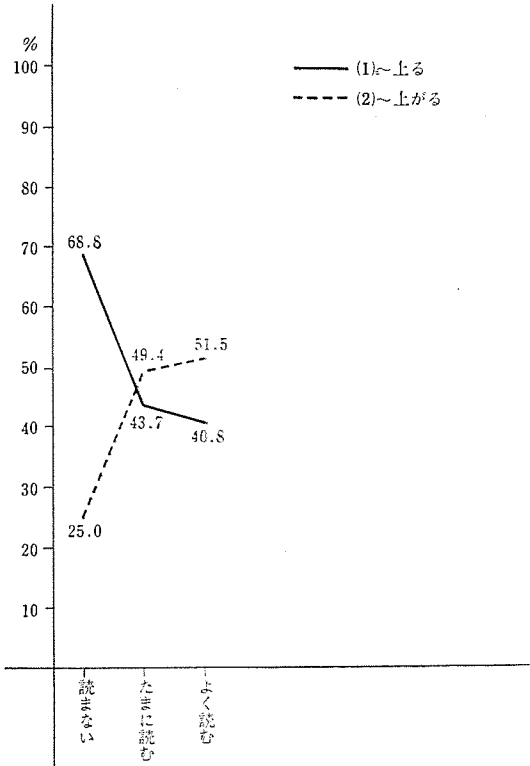


図54-19 5ツギ(次)「雑誌を～」(社会人)

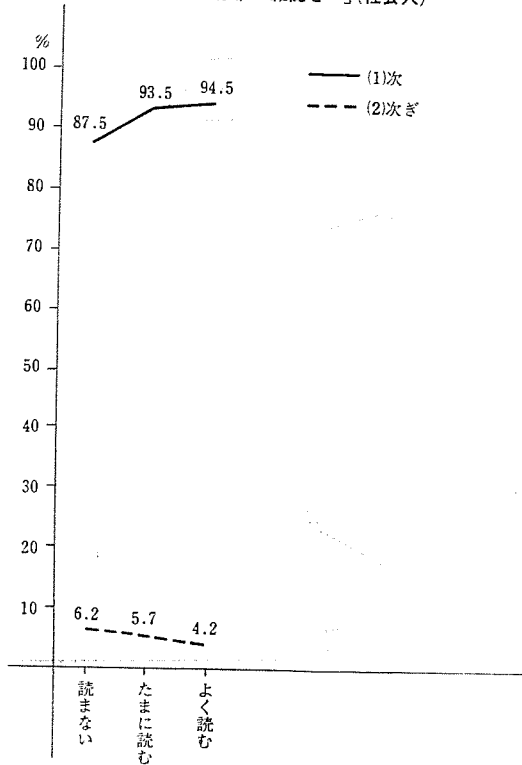


図54-20 29ハライサゲ(私・下)「雑誌を～」(社会人)

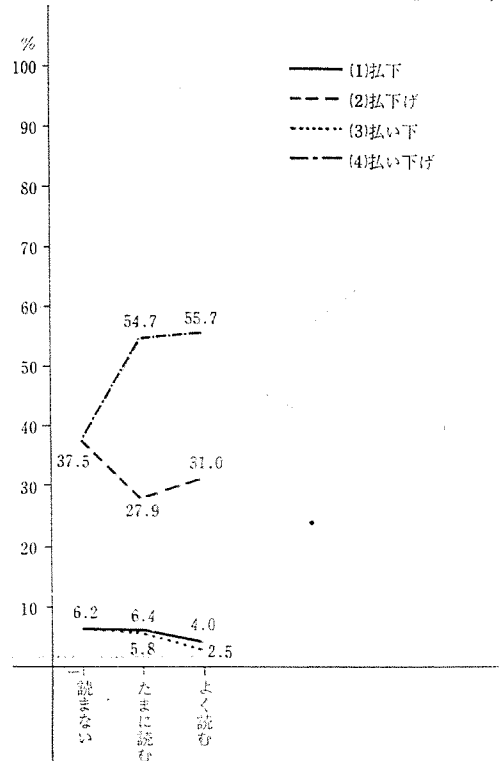


図54-21 41ウケツケガカリ(受・付)「雑誌を～」(社会人)

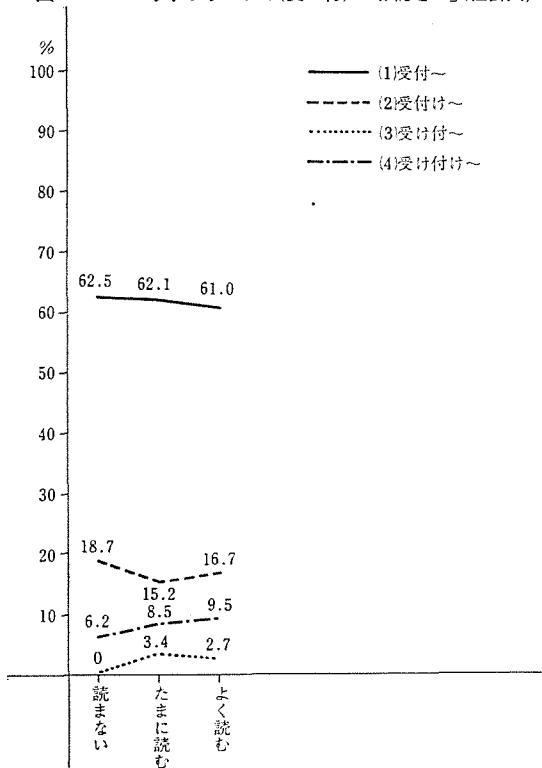


図55-1 雑誌を読む程度各 テゴリーの年齢別構成(全体)
(全 体)

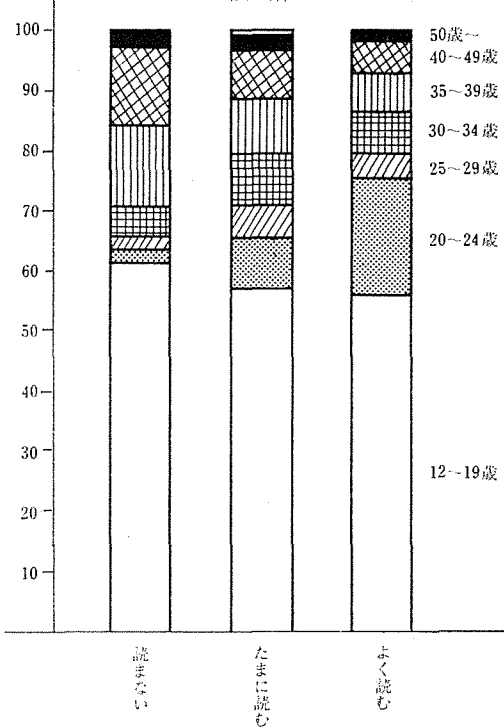
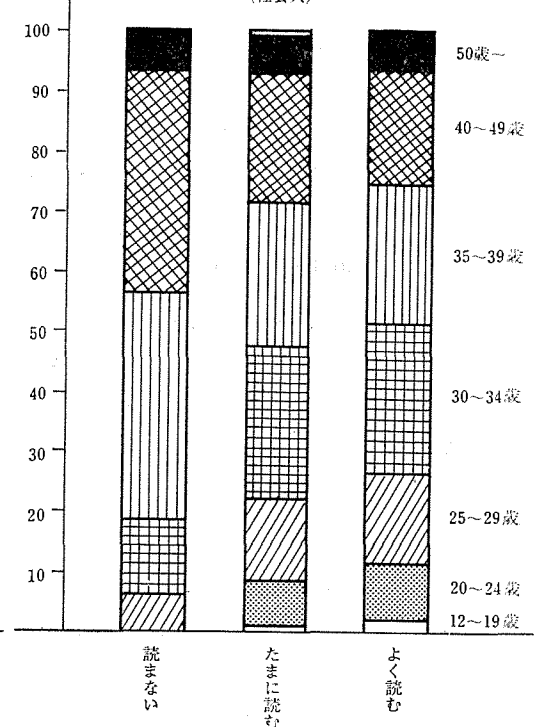


図55-2 同(社会人)
(社会人)



○ 雑誌を読む程度と表記

送りがな表記と、質問「ふだん雑誌や本などを読みますか」との関係については、「新聞を～」と同じ21語について全体と社会人のみとの二通りの集計を行なった。ここには社会人のみの結果をかかげる。(図54-1～図54-21)

社会人の集計結果からは、雑誌や本をよく読む人ほど、内閣告示など現在の送りがな表記の規則に合った表記をしていること、例外として、「ヤシナウ」ではよく読む人ほど「養なう」を選ぶ傾向があり、「ウリダス」では、よく読む人ほど「売出した」を選ぶ人が多くなることなどが見られた。しかし、この結論をそのまま正しいとしてしまうことはできない。質問「新聞を～」の総計の各カテゴリーに年齢的な差があったように、この質問の各カテゴリーにもかたよりのがあるので、その面から検討する必要がある。

「雑誌を～」の各カテゴリーの年齢別構成について、全体および社会人の二通りのグラフ(図55-1, 図55-2)を作成した。図55-1によると、全体では各カテゴリーの過半を12～19歳が占めていること、20～24歳の人の占める比率が各カテゴリーで異なり、「よく読む」の中において大きな比率を占めていること、高年齢層の占める比率は「よく読む」ほど小さくなっていることなどがわかる。(実はこのようなかたよりのために総計の集計結果を避け、社会人を対象とした集計結果しか掲げなかったのである。)また、図55-2によれば社会人では、24歳以下がほとんどいないこと、「読まない」の大半を31歳以上の人が占めていることがわかる。そして、全体ほどのかたよりはないにしても、「読まない」に高年齢層が多く、「よく読む」に若年齢層が多いということはある。

このことから、先の社会人を対象とした集計結果は、年齢に引かれており、雑誌を読む時間による差が現われていたのではなく、年齢による差が現われていたのではないかという想像が成りたつ。この想像を確かめるために、さらに次の6語について、年齢の各カテゴリーごとに、送りがな表記と「雑誌を～」との関係を調査した。

ウマレル(生まれる)・アワセル(合わせて)・アツマル(集まって)・ウリダス(売り出した)・ウケツケル(受け付けて)・ワリアテル(割り当られた・割り当てられた) <かっこ内はここで取り上げた送りがな表記を示す>

その結果を、表56-1～表56-6にかかげる。

「読まない」と答えた人は全体でも44人しかいないため、各年齢ごとにその表記を見ることはできないが、「たまに読む」「よく読む」を年齢別にみると、次のことがわかる。

- 1 12～19歳では、「たまに読む」と「よく読む」との間にほとんど差がない。
- 2 20～29歳では、「たまに読む」より「よく読む」の方が少なく送る表記を選ぶ人が多い。
- 3 30～34歳では、「たまに読む」と「よく読む」との間にほとんど差がない。
- 4 35歳以上では、「たまに読む」より「よく読む」の方が多く送る表記を選ぶ人が多い。例外はアツマルだけである。

このような違いが出てきたのは、「よく読む」ということは29歳以下の若い世代では、学校教育その他で得た表記以外の、「少なく送る表記」に出会うことが多いことを意味し、35歳以上の世代では、学校教育その他若い時期に得た「少なく送る表記」以外に「多く送る表記」に出会う

先に掲げた、「雑誌を～」と送りがな表記に関する社会人のみの集計は何を表わしているか改めて考えてみたい。先に、各カテゴリーの年齢差が大きく、よく読む人ほど若い世代で占められているために多く送るのではないかと想像した。しかし、上記のように若い世代の「よく読む」が多く送ることを意味していないことが明らかになったため、この想像は否定された。この「雑誌を～」に関する社会人のみの集計結果はその四分の三前後を占めている30歳以上の人の送りがな表記の様相を示していると考えるべきであろう。

表56-1 「雑誌を～」と「生まれる」
〔単位はパーセント、()内は実数〕

	読まない	たまに読む	よく読む
12～19	40.7 (11)	59.3 (483)	56.5 (463)
20～24	100.0 (1)	40.2 (49)	43.2 (121)
25～29	0 (0)	40.3 (29)	33.8 (22)
30～34	0 (0)	37.4 (49)	35.7 (35)
35～39	16.7 (1)	35.9 (46)	39.4 (37)
40～49	33.3 (2)	43.0 (49)	47.4 (36)
50～	0 (0)	18.2 (6)	44.0 (11)

表56-2 「雑誌を～」と「合わせて」
〔単位はパーセント〕

	読まない	たまに読む	よく読む
12～19	63.0	64.3	69.5
20～24	0	63.1	50.4
25～29	0	50.0	44.6
30～34	0	43.5	45.9
35～39	0	43.8	50.0
40～49	33.3	47.4	53.9
50～	100.0	27.3	48.0

表56-3 「雑誌を～」と「集まって」
〔単位はパーセント〕

	読まない	たまに読む	よく読む
12～19	74.1	75.4	79.4
20～24	100.0	66.4	65.6
25～29	100.0	79.2	69.2
30～34	50.0	65.6	74.5
35～39	33.3	60.9	63.8
40～49	33.3	63.2	59.2
50～	100.0	51.5	64.0

表56-4 「雑誌を～」と「売り出した」
〔単位はパーセント〕

	読まない	たまに読む	よく読む
12～19	77.8	80.1	77.6
20～24	0	74.6	70.0
25～29	0	72.2	56.9
30～34	100.0	61.8	59.2
35～39	66.7	59.4	61.7
40～49	66.7	60.5	60.5
50～	0	39.4	56.0

表56-5 「雑誌を～」と「受け付けて」
〔単位はパーセント〕

	読まない	たまに読む	よく読む
12～19	33.3	37.8	36.5
20～24	0	30.3	34.2
25～29	0	34.7	29.2
30～34	0	24.4	28.6
35～39	0	22.7	30.9
40～49	16.7	27.2	28.9
50～	0	6.1	36.0

表56-6 「雑誌を～」と「割り当られた・
割り当てられた」〔単位はパーセント〕

	読まない	たまに読む	よく読む
12～19	74.1	78.4	78.0
20～24	100.0	72.1	73.6
25～29	0	76.4	67.7
30～34	100.0	57.3	52.0
35～39	33.3	54.7	58.5
40～49	50.0	51.8	57.9
50～	0	36.4	64.0

図57-1 手紙を出す程度各カテゴリーの年齢別構成(全体)

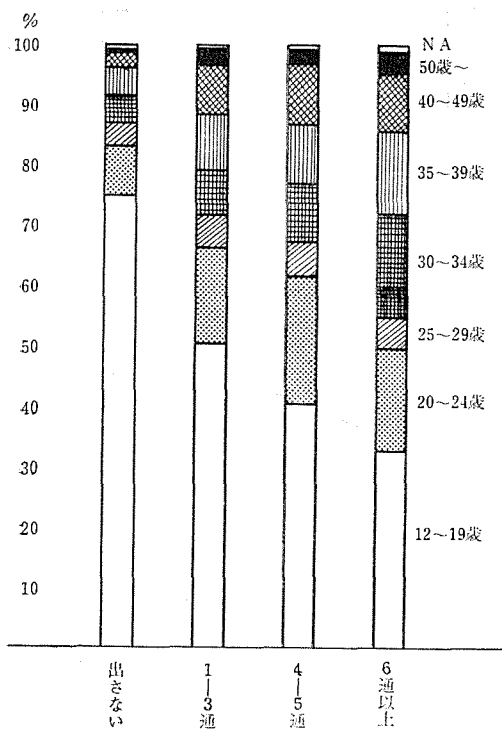


図57-2 手紙を出す程度各カテゴリーの年齢別構成(社会人)

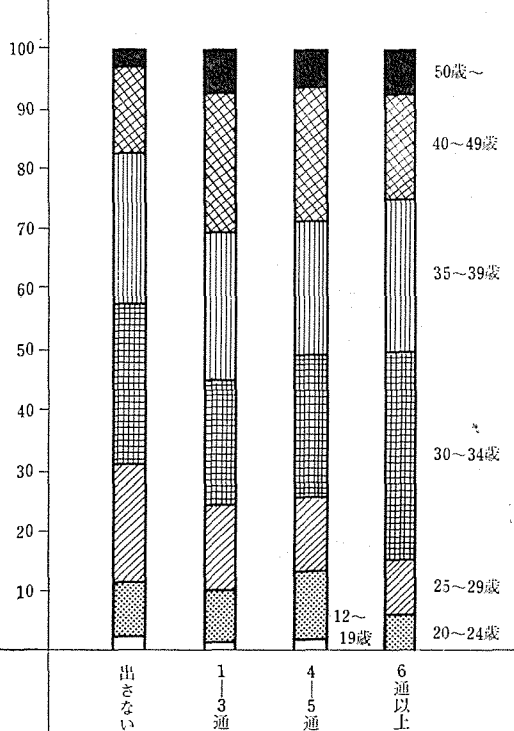


図58-1 42ウマレル(生)「手紙を〜」(社会人)

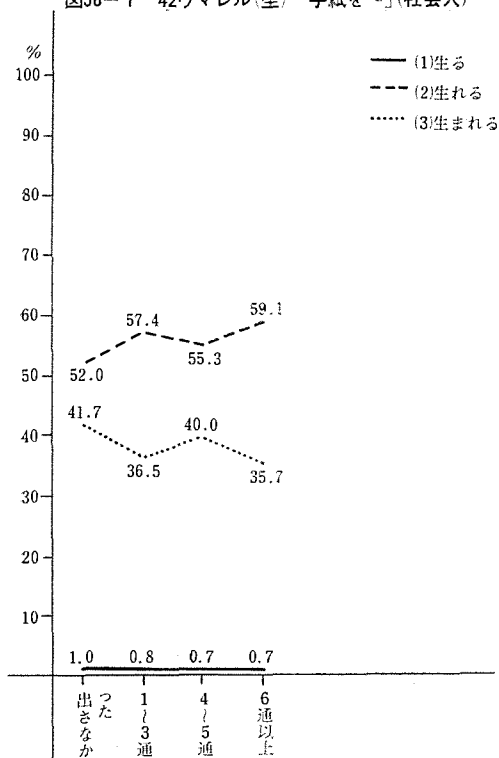


図58-2 4ワリアテル(割・当)「手紙を〜」(社会人)

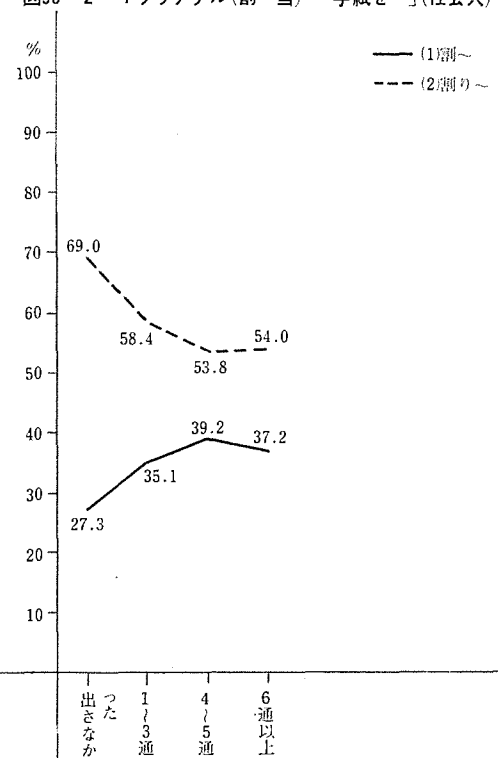


図58-3 13ウケツケル(受・付)「手紙を～」(社会人)

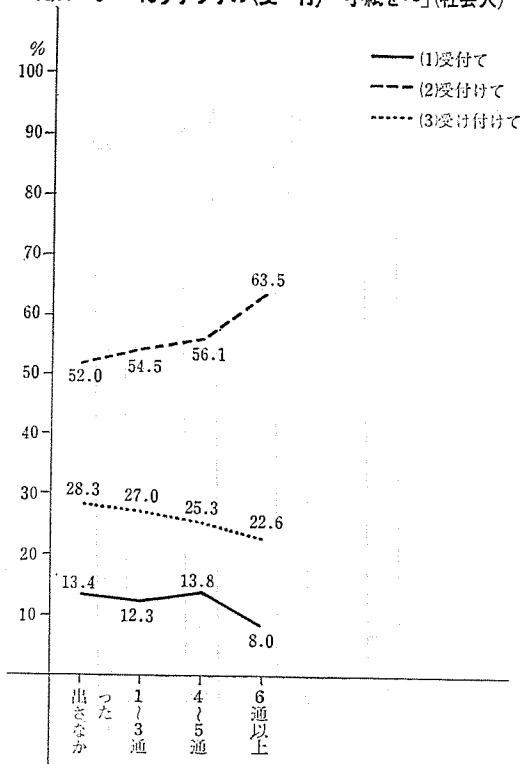


図58-4 29ハライサゲ(払・下)「手紙を～」(社会人)

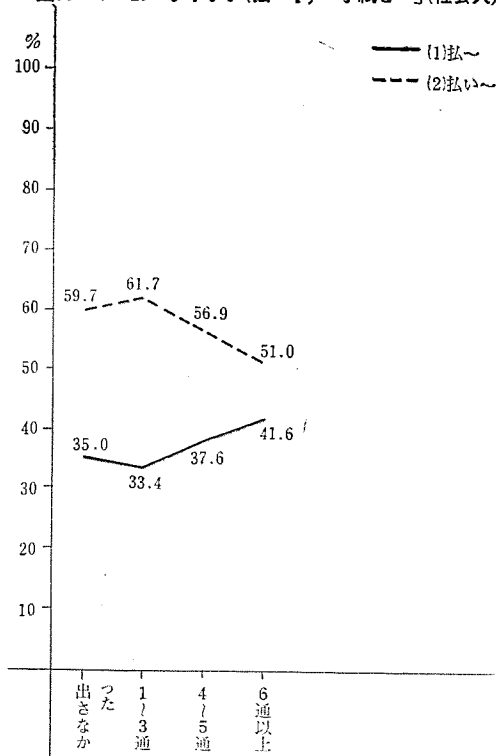


表59-1 「手紙を～」と「生まれる」

[単位はパーセント]

年 齢	出さない	1～3通	4～5通	6通以上
12～19	60.3	54.6	52.5	63.5
20～24	50.6	33.8	53.1	54.5
25～29	32.5	39.4	35.3	41.7
30～34	54.9	33.0	41.9	17.0
35～39	32.7	41.0	32.1	29.4
40～49	46.4	41.2	40.0	64.0
50～	33.3	14.3	50.0	60.0

表59-2 「手紙を～」と「受け付けて」

[単位はパーセント]

年 齢	出さない	1～3通	4～5通	6通以上
12～19	37.1	38.1	29.5	41.2
20～24	33.3	34.3	25.0	34.1
25～29	25.0	36.6	23.5	41.7
30～34	35.3	28.0	16.1	17.0
35～39	24.5	26.5	32.1	17.6
40～49	32.1	27.2	30.0	20.0
50～	16.7	8.6	37.5	40.0

表59-3 「手紙を～」と「割り当られた・割り当てられた」

[単位はパーセント]

年 齢	出さない	1～3通	4～5通	6通以上
12～19	78.7	78.0	78.7	72.9
20～24	80.5	71.4	75.0	68.2
25～29	77.5	69.0	70.6	66.7
30～34	66.7	60.0	41.9	40.4
35～39	57.1	57.3	57.1	47.1
40～49	64.3	51.8	43.3	68.0
50～	66.7	34.3	62.5	70.0

表59-4 「手紙を～」と「払い下げ」

[単位はパーセント]

年 齢	出さない	1～3通	4～5通	6通以上
12～19	77.9	77.8	79.5	83.5
20～24	77.0	77.6	68.8	70.5
25～29	57.5	77.5	52.9	58.3
30～34	54.9	53.0	54.8	34.0
35～39	36.7	51.3	57.1	44.1
40～49	67.9	53.5	56.7	52.0
50～	50.0	28.6	50.0	50.0

○ 手紙を出す回数と表記

送りがな表記と、質問「この一か月に、個人的な用事で、手紙や葉書を何通ぐらい出しましたか。」との関係については、「新聞を～」 「雑誌を～」と同じ21語について、社会人を対象として集計を行なった。全体について集計しなかったのは、全体では各カテゴリーの年齢別構成にむらがあるためである。（図57-1，図57-2参照）すなわち、どのカテゴリーも、12～19歳が多数を占め、その占める比率が「出さない」の74.9%，「1～3通」の50.3%，「4～5通」の40.5%，「6通以上」の32.8%というように、手紙を多く出すカテゴリーほど減少している。そのため、送りがな表記を「手紙を～」の各カテゴリー別に集計した場合、その結果は、「出さない」には若い年齢層の表記が強く現われ、多く出すカテゴリーほど30歳以上の年齢層の表記が現われてくるが、やはり若い年齢層に強く引かれていると言えよう。それに対して、社会人のみを対象とした場合は、20歳未満はほとんどいないため、その年齢層の表記が結果に反映しないという欠点はあるが、他の年齢層は、各カテゴリーでほぼ均一的に含まれている。

集計の結果、どの語の送りがな表記も、手紙を出す程度による差はないようである。わずかに差が見られるのはウマレル（生）・ワリアテル（割・当）・ウケツケル（受・付）・ハライサゲ（払・下）で、いずれも、多く手紙を出す人ほど、少ない送りがな表記をする人がふえている。この4語についてのみ、結果をグラフにしてかかげる。（図58-1～58-4）さらに、各年齢層別に集計してみると、表59-1～59-4のようになる。すなわち、「手紙を～」と送りがなとの間に一定の関係はなく、また、「雑誌を～」に見られたような年齢層による違いも見出すことができない。この4語について、手紙を多く出す人ほど少なく送っているように見えるのは、多く出すカテゴリーほど、30歳以上の人の占める割合がわずかながら多いため、それが結果に影響しているのだろうと推定される。

このように、手紙を出す回数と送りがな表記との間には、何ら関係を見出すことができなかった。

6 送りがな表記の分析(2)——名詞と動詞の相関・単純語と複合語の相関——

6.1 はじめに

この節および次の7では、同一個人が、互いに関連のある語をそれぞれどのような送りがなで書き表わしているかについて分析・記述する。この節では、同じ意味の語が名詞として使われた場合と動詞として使われた場合で、送りがな表記はどのように違っているか、単純語として使われた場合と複合語の一部分として使われた場合とではどう違うかなどについてとりあげる。最初、この調査の調査語46語の中で、関連のある語の組み合わせをすべてかかげる。

◎単純語と複合語

- ◎単純動詞と複合動詞の部分…アワセル(合) ×モウシアワセル(申・合) アワセル(合)
×サソイアワセル(誘・合) ウマレル(生) ×ウマレカワ
ル(生・変) アガル(上) ×ウカビアガル(浮・上)
- ◎単純名詞と複合名詞の部分……ハレ(晴) ×ハレギ(晴・着) ワリ(割) ×ヤクワリ(役・割)

◎動詞と名詞

- ◎単純動詞と単純名詞……オコナウ(行) ×オコナイ(行) オワル(終) ×オワリ(終)
アツマル(集) ×アツマリ(集)

参考1 単純動詞と複合名詞の部分

アワセル(合) ×クミアワセ(組・合) アワセル(合) ×モウシアワセジコウ(申・合・事項)
アガル(上) ×アガリグチ(上・口) アガル(上) ×ネアガリ(値・上)
ウマレル(生) ×ショウウウマレ(昭和・生)

参考2 複合動詞の部分と単純名詞

ワリアテル(割・当) ×ワリ(割)

参考3 複合動詞の部分と複合名詞の部分

ワリアテル(割・当) ×ワリアイ(割・合) ワリアテル(割・当) ×ヤクワリ(役・割)
モウシアワセル(申・合) ×クミアワセ(組・合) サソイアワセル(誘・合) ×モウシアワセジコウ(申・合・事項)
サソイアワセル(誘・合) ×クミアワセ(組・合) ウマレカワル(生・変) ×ショウウウマレ(昭和・生)
ウカビアガル(浮・上) ×アガリグチ(上・口)

- ◎複合動詞と複合名詞……ウケツケル(受・付) ×ウケツケガカリ(受・付・係) ウリダ

ス（売・出）×オオウリダシ（大売・出）

モウシアワヤル（申・合）×モウシアワセジコウ（申・合・事項）

◎複合語の前部分と後部分…アガリグチ（上・口）×ネアガリ（値・上）

6.2 分析のすすめ方

二語の相関関係を見て、その関係が層・年齢・学歴などの違いによってどう違うのを知
るためには、二語の関係をできるだけ単純な数値で表わすのが便利である。しかし、送りがな表
記の分析では、相関係数や各種の検定を使うことができないので、同種の送りがな表記を対応さ
せその中心からの距離の平均値によってどちらの表記にどの程度かたよっているかを見、平均値
のまわりの分散によってそのかたよりの安定度（ゆれ）を見ることにした。

具体的な例を示そう。図60は、動詞オコナウと名詞オコナイの関係を数値で示す作業のプロセ
スを示したものである。Ⅰは動詞オコナウと名詞オコナイの相関表である。ⅡはⅠを送りがなの
少ない順に並べかえたものである。その際(1)「行った」と(3)「行こなかった」を選び、(2)「行なっ
た」は選ばなかった人や、(4)「行」と(6)「行ない」とを選び、(5)「行い」を選ばなかった人は誤
答の可能性が強いので除き、また、(1)(2)(3)すべてを書くという人や(4)(5)(6)すべてを書くという人
も除き、「無答」扱いにした。ⅢはⅡの表の同じ音節数だけ送っているもの同士を結んでその線
より上方をプラス、下方をマイナスとし、ひとこま離れるごとに1・2・3……と数えて中心線
からの距離とそこに該当する人の数をまとめたものである。Ⅲをみることによって、オコナウと
オコナイでまったく同じ送り方をしている人が無答を除いた2914人の中に1754人、名詞の方が多
く送っている人が137人、少なく送っている人が1023人いることがわかるが、さらにⅢを単純化
して平均値と分散を求め、この数値によって2語の送りがな表記の関連を表わすことにした。平
均値によってどちらの語にどの程度かたよっているのかが表わされる。また、分散によってこの
かたよりが被調査者全体の中でどの程度安定しているのか、その安定の度合いが表わされる。

図60 ゆれの度合いの求め方

Ⅰ 43オコナウ×22オコナイ									
(1)行った(2)行なった(3)行こなかった(4)行(5)行い(6)行ない									
	無答	(4)	(5)	(4)(5)	(6)	(4)(6)	(5)(6)	(4)(5)(6)	計
無答	11		7	1	5		1		25
(1)	1	23	405	1	111		12		553
(2)	13	33	749	1	1330		49		2175
(1)(2)		3	20	1	14	1	19	1	59
(3)		5	41		81		1		128
(1)(3)					1				1
(2)(3)			3		10		1		14
(1)(2)(3)									0
計	25	64	1225	4	1552	1	83	1	2955

Ⅱ						
	無答	(4)	(4)+(5)	(5)	(5)+(6)	(6)
無答	11		1	7	1	6
(1)	1	23	1	405	12	111
(1)+(2)	2	3	1	20	19	14
(2)	13	33	1	749	49	1330
(2)+(3)				3	1	10
(3)		5		41	1	81

Ⅲ						
-6	-5	-4	-3	-2	-1	0
5	0	75	8	855	80	1754
						26
						111

平均値	-0.651
分散	1.437

6.3 分析（概括）

最初に、各組み合わせのグループ別の概観をしよう。各グループ別に、全体の平均と分散の値を表61（巻末）にかかげる。

平均値が正であることは、右の語の方を多く送ることを意味し、負であることは、左の語の方を多く送ることを意味する。大多数の組み合わせが、分散値1.0～1.5にあるということは、これらの組み合わせが個人個人で大きくゆれていることを示していると見てよからう。

詳しい分析にはいる前に、ここで指摘しておかなければならない事がある。それは、調査の際の選択肢の配列が結果に影響を及ぼすことがあるかも知れないということである。これは、一語ずつ送りがな表記を検討する際にも問題にすべきことがらであるが、実際にはそう目立たなかった。しかし数語の関係を考える際には無視できないと思う。

たとえば、モウシアワセルとサソイアワセルにおける「アワセル」の部分の送りがなは、全く同じと考えられるのに、実際は平均値-0.210 とモウシアワセルの方を多く送る人が多い。そして、これは、程度の差こそあれ、どの年齢層にもどの集団にも見られる現象である。この現象は選択肢の配列による結果ではないかと考えられる。選択肢を選ぶ場合、普通は、自分が書くと思った選択肢に出会った所で選ぶ作業は終わる。したがって、番号の若い選択肢の中には、自分の選ぶべき選択肢だと錯覚して選ばれるものも有りうると考えられる。逆に、番号の大きい選択肢を誤って選ぶことは、そう多くはないだろうと考えられる。モウシアワセルの選択肢は1「申し合わせる」2「申合わせる」3「申合せる」4「申し合せる」の順に配列してある。一方、サソイアワセルの選択肢は1「誘合せる」2「誘い合せる」3「誘合わせる」4「誘い合わせる」の順に配列してある。結果を整理してこの選択肢の順にかかげよう。（二つ以上答えたものは除いた。）

	(1) 誘合せる	(2) 誘い合せる	(3) 誘合わせる	(4) 誘い合わせる
(1) 申し合わせる	11	451	65	<u>1138</u>
(2) 申合わせる	4	30	<u>11</u>	24
(3) 申合せる	<u>23</u>	64	8	14
(4) 申し合せる	19	<u>555</u>	24	166

下線を引いたものは2語とも同じ送りかたをした人の数である。その他の欄は、いずれかを多くあるいは少なく送っている人であるが、中でも多いのは、「申し合わせる」「誘い合せる」を選んだ451人である。この451人は、「申し合せる」と書くべき人の半数近くが番号の若い選択肢「申し合わせる」を選んだ結果だとも、また、「誘い合わせる」と書くべき人の何割かが番号の若い選択肢「誘い合せる」を選んだ結果だとも考えることができる。いずれにせよ、この451人は選択肢が早く出てきたために選んだ可能性が強い。そして、このために、平均値が負になり、

「モウシアワセル」の方を送る人が多いという結果となったのだと思われる。

しかし、次のような反論もある。二つの「～アワセル」は、けっして同じ働きをしているのではなく、サソイアワセルの「アワセル」はモウシアワセルの「アワセル」に比べて、実質的意味が希薄で、そのために少なく送られるのではないか、というのである。

この考えが成り立つためには、「複合語は意味の重い部分を多く送る傾向がある」ということが確かめられなくてはならない。この調査では、対になる複合語は、このモウシアワセル・サソイアワセルしかないため、十分に確かめることはできないが、単純語と複合語との関連で、この問題を解く手がかりは得られる。

すなわち、2955人全体で、アワセルを「合わせる」としたものが58.78%いるのに対し、モウシアワセルの「～合わせる」は63.66%、サソイアワセルの「～合わせる」は51.80%いる。「意味の重い部分を多く送る傾向がある」とするならば、この比率の差を、「複合語で意味の重い部分は、その単純語より多く送り、意味の軽い部分は、その単純語よりも少なく送る」と説明される。ところで、アガルとウカビアガルでは、「上がる」41.05%、「～上がる」59.06%で、かなり差がある。ウカビアガルの意味は「ウカビ」が重いと考えられる。「アガル」部分の選択肢の配列は、2語とも少ない方から配列してあるので、この場合配列順は問題にならないだろう。では、なぜ「～アガル」が多く送るのか、それは「ウカビ」の送りがなに引かれたと考える以外になさそうである。

このことから、「複合語は意味の重い部分を多く送る」ということは、否定されないまでも、意味の軽重はあまり送りがなに強い影響を及ぼさないらしいということはあるかと思う。

なお、昭和31年の雑誌を資料とした「現代雑誌九十種の用語用字調査」の「～アワセル」94例（異なり25語）を調べても、「アワセル」の部分の意味の軽重と送りがな表記との間には、関連が見出されなかった。

◎単純語と複合語

分散の値はすべて1前後またはそれ以上で、かなり個人による差の大きいことを示している。また、平均値は、4組が正、2組が負である。このことからただちに、「単純語と複合語では、複合語の方を多く送る」という結論を導き出すのは危険である。なぜならば、単純語と複合語とでは、音節数の節約と誤読の可能性の低下から複合語の方が少ない送りがなで済ませ得るはずだからである。これは、先に述べた、若い番号の選択肢に引かれる傾向の現われであると考えることができる。（「少ない送りがなで済ませうるにもかかわらず、多く送る習慣ができ上がりつつある」と解することも可能ではあるが。）ハレーハレギ、ワリーヤクワリなど選択肢の少ないものは、その順序はそれほど影響していないと考えられるが、選択肢の多いモウシアワセルは若い番号の選択肢「～合わせる」に引かれやすく、サソイアワセルは、同じく「～合せる」に引かれやすい。それが平均値の差となって現われたのではないかと考えられる。同様にウマレルの「ウマレ～」部分も若い番号の選択肢に引かれたとも考えられる。

ただ、「ウマレ～」は複合動詞の前部分であるから、「ウマレル」より少なく送る可能性が大きいと考えられる。それにもかかわらず「ウマレ～」が多く送っているのは、選択肢の配列のためばかりではなく、「～カワル」の送りがなに引かれているためもあるかも知れない。同じくウカ

ピアガルの、「～アガル」が多く送られているのも、「ウカビ～」に引かれているためもあるかも知れない。しかし、今回の調査ではこの推測を確かめることはできない。確かめるためには、「生まれ落ちる」「飛び上がる」などの語を調査語に加え、「生まれ変わる」と「生まれ落ちる」の「ウマレ～」の部分、「浮かび上がる」と「飛び上がる」の「～アガル」の部分の送り方を調べればよい。その結果この推測が確かめられれば、複合語が、誤読の可能性の低下にもかかわらず、他の部分に引かれて単純語よりも多く送ることが有りうることが証明される。この確かめの調査は小規模なものでよいから試みる必要がある。

以上のように全体の平均値と分散の値では、単純語と複合語との間に、目立った関係を見出すことはできない。（集団別にながめるとはっきりした関係が見出せるが、それについては後に述べる。）

◎動詞と名詞

動詞と名詞の組み合わせでは、どの組み合わせも分散の値が大きく、個人差が大きいことを示している。（ウリダスーオオウリダシの後部分だけでは分散値が小さく、あまりゆれていないことを示している。）また、平均値はすべて負であるから、どの組み合わせも動詞より名詞を少なく送っていると言える。ただ、オワルーオワリ、ウマレルーショウワウマレ、サソイアワセルークミアワセなどは、平均値がゼロに近く、名詞と動詞とのあいだにあまり差のないことを示している。一方、平均値のマイナスの値の大きいオコナウーオコナイ・アガルーネアガリ・アツマルアツマリなどは、動詞が多く送らないと誤読される可能性のあるものであり、ワリアテルーワリアイ・ウケツケルーウケツケガカリは名詞が少なく送る慣用のできているものである。

このように、動詞と名詞とのあいだには明瞭な関係が見られ、名詞の方が少なく送っているが、そのかたよりの程度は語の性質によって大きく違っていると言える。

◎複合語の前部分と後部分

これに属する語の組み合わせは、アガリグチーネアガリのみである。この組み合わせでは、前部分より後部分を多く送っているが、これが複合語一般の傾向であるかどうかはこの例のみをもってしては何とも言えない。

6.4 分析（年齢別・集団別・学歴別）

次に各組み合わせについて、年齢別・集団別・学歴別にどのような傾向が見られるか、検討する。27組の組み合わせの相関表から計算した平均値と分散の結果を表62（巻末）に掲げる。

◎単純語と複合語

先にも述べたように、単純語と複合語とでは、複合語の方を多く送るという現象がみられ、それは選択肢の配列順の影響、他の部分の送りがなの影響が考えられたが、年齢・集団・学歴の各カテゴリー別にながめるとどうであろうか。

◎単純動詞と複合動詞

「アワセルーモウシアワセル」では、とくに35歳以上が「～アワセル」を多く送っている。

(図62-1参照) また、集団別では一般・広報関係がとくに多く送っている。一方、「アワセルーサソイアワセル」では、25～34歳、40～49歳がとくに少なく送り、一般・教員関係が少なく送っている。このことから、25歳以上とくに40歳以上の年代では、「モウシアワセル」は多く送り、「サソイアワセル」は少なく送る傾向があると言える。この傾向を、「高年齢層は選択肢の配列に引かれやすい」と説明するか、「高年齢層はアワセルの意味の軽重によって送りがな表記を変える」と説明するか、決め手はない。しかし、後者の方が妥当かも知れない。

「ウマレルーウマレカワル」では、25～29歳がきわだって「ウマレ～」を多く送っており、層別では高校生・大学生・一般公務員層が多く送っている。「アガルーウカビアガル」では、12～19歳、中・高・大学生層が「～アガル」を多く送っている。これは集団の差と考えるよりも、年齢の差と考える方が妥当であろう。若年齢層が、単純語ウマレル・アガルよりも「ウマレ～」および「～アガル」を多く送っていると言える。これには選択肢の配列順は影響していないと考えられる。したがって、「若年齢層では、複合語は、他の部分の送りがなに引かれて多く送る傾向がある」とか、さらに一般化して、「若年齢層では、複合語は単純語より多く送る」とかの説明が考えられる。これについても決め手はないが、「モウシアワセル」、「サソイアワセル」などの結果と合わせて考えると、若年齢層は、意味の軽重は考えないで機械的に多く送る送り方をしている、そのため他の部分の、多い送りがなにも引かれるのではないか、という推測が生まれる。最終学歴別にみると、「アワセルーモウシアワセル」「アワセルーサソイアワセル」には有意な差が見られないが、「ウマレルーウマレカワル」「アガルーウカビアガル」では、学歴の高い人（つまり、文字生活の豊かな人）ほど、平均値がゼロに近く、単純語と同じに送る傾向が強いことがわかる。(図62-2参照) また、学歴別は社会人のみを対象としているので、「ウマレルーウマレカワル」の平均値はいずれのカテゴリーも正になり、「複合動詞の前部分は、単純語よりも少なく送る」という予想通りの結果になっている。それにしても「アガルーウカビアガル」では、学歴の高い人ほど「～アガル」を比較的少なく送っているとはいえ、いずれのカテゴリーでも「アガル」よりも「～アガル」を多く送っており、複合語では他の部分に引かれて多く送る傾向のあることを、ここでも示している。

◎単純名詞と複合名詞

「ハレーハレギ」は、全般的に平均値は負で、「晴れー晴着」が多い。とくに、研究者層では「晴れー晴着」が多い。また、最終学歴が高いほど、「晴れー晴着」が多くなる。(図62-3参照)

「ワリーヤクワリ」は、全般的に「割ー役割り」が多く、とくに12～19歳、学生層に著しい。また、社会人では、学歴の高い人ほど、低い人よりも平均値がゼロに近くなるが、これは「割ー役割り」がふえるためである。

このように、この4語から、「単純名詞より複合名詞の方が少なく送る」という現象を見出すことはできない。書き手はこの4語を、動詞的意味あいの軽重により、また書き手の得た送りがな表記の習慣によって、各語ばらばらに送るか送らないかを決めて選択しているものと考えられる。

◎動詞と名詞

◎単純動詞と単純名詞

「オコナウーオコナイ」・「オワルーオワリ」・「アツマルーアツマリ」の3組について、共通して言えることは、年齢による差の著しいことである。(図62-4参照)すなわち、3組とも動詞は名詞よりも多く送るのだが、年齢が高い人ほど、その傾向が著しいということである。年齢の各カテゴリーでは、「25～29歳」以下の各カテゴリーはほぼ同じようすで、平均値が比較的大きく、反対に、「35～39歳」以上の各カテゴリーはほぼ同じように平均値が小さい。つまり30歳未満と35歳以上の2群に分かれ、「30～34歳」のカテゴリーがその中間に位していると言える。なかでも、この傾向は「オコナウーオコナイ」と「アツマルーアツマリ」に著しい。

35歳以上で平均値が小さくなるのは、「行なうー一行い」・「集まるー集り」が多いためである。「行なう」の「な」、「集まる」の「ま」は、ここでは、「いって」「つどって」と誤読されることを避けるために必要なかなであるから、それが意識されて、1音節多く送られるのだと考えられる。それに対して、「終わる」の「わ」には、誤読を避けるあるいは、読みにくさを避けるという必然的な理由はなく、「終える」との対応から、あるいは「上がる」(「が」を送らないと「のぼる」と誤読されるおそれがある。)との類推から送られたかなであるため、動詞と名詞との差も小さく、また年齢差もあまり大きくない。

30歳未満の各カテゴリーでは、35歳以上の各カテゴリーに比べて3組の差が小さいが、これは、名詞も動詞と同じように多く送る傾向が強く、「行ない」「集まり」が多いためである。

なお、この年齢との関連は、複合動詞の後部分と複合名詞の後部分との間にも見られる。(図62-5参照)すなわち「ウケツケーウケツケガカリ」「ウリダスーオオウリダシ」「モウシアワセルーモウシアワセジコウ」の3組では、いずれも平均値が負で、動詞よりも名詞の方が少なく送られるが、その傾向は年齢が高くなるにつれて著しい。ただ、単純語の場合、30歳未満と35歳以上の2群に分けられたが、複合語では断層はなく、グラフはほぼ同様のこう配になっており、12～29歳の若い年齢層で比較的急であるという程度である。これら3組の複合語は他の語と誤読されるおそれもなく、また他の語の類推から送ったり送らなかったりする可能性もない。したがって、ここには「動詞よりも名詞は少なく送る」という原則のみが働いていると見ることができよう。そしてこの原則はどの年齢層にもいえるが、年長の層では若年の層よりも著しく、若年層でも十代と二十代とではかなり差があるということができる。

次に、集団別・学歴別について検討する。

集団別にながめると、一般公務員層で「オコナウーオコナイ」「アツマルーアツマリ」、教員層で「オコナウーオコナイ」の平均値が小さいことが目立つ。これは、この二つの層で動詞を多く、名詞を少なく送る傾向が強いことを示している。逆に、広報・研究者層の平均値が小さくゼロに近くなっているのは、動詞より名詞を少なく送る傾向はあるが、動詞と名詞を同じように送る傾向が一般公務員・教員層よりも強いことを示している。このように「オコナウーオコナイ」「アツマルーアツマリ」の送り方は、社会人の各層の特徴をはっきり表わしている。

学歴別にながめると、「オコナウーオコナイ」・「アツマルーアツマリ」では、学歴が高いほど、平均値が大きくなりゼロに近づき、動詞と名詞とを同じように送る傾向が強くなり、「オワルーオワリ」では、平均値が小さくなり、正から負になり、名詞を少なく送る傾向が強くなることがわかる。(図62-6参照)「オワルーオワリ」のみが、学歴が高いほど名詞を少なく送る傾向が

強まるというのは、奇妙な現象であるが、これは3組の平均値は学歴が高くなると、ほぼ同一の負の値に近づくのだと考えることによって説明できる。

◎複合動詞と複合名詞

ここでは、複合動詞とその名詞化した「ウケツケガカリ」「オオウリダシ」「モウシアワセジコウ」の6語3組について述べる。「ウケツケル」「ウリダス」「モウシアワセル」後部分については、先に単純動詞と単純名詞との関連にふれた際述べたように、動詞より名詞を少なく送り、その傾向は年齢が高くなるにつれて著しい。また集団別にみると、「モウシアワセルーモウシアワセジコウ」では、一般公務員・教員層の平均値が大きく、広報・研究者層の平均値が小さくゼロに近いこと、「ウケツケルーウケツケガカリ」では、教員層が他の社会人のいずれの層よりも平均値が小さいことの二点が挙げられる。前者は、「オコナウーオコナイ」との間にみられたものと同じ傾向であり、同じように説明できる。また、後者は教員層の中に、動詞と同じように名詞に「～付け～」と1音節送る人がかなりいることを示している。後者の傾向が何に起因するかは明らかではない。また、学歴別については、目立った傾向を見出せない。

前部分については、後部分ほど際だった傾向は見出せない。年齢別では、3組のあいだに大きな差はなく、また年齢間の差もほとんどなく「12～19歳」のカテゴリーだけが平均値がゼロに近く、動詞と名詞とをほぼ同じように送る傾向の強いことを示しているに過ぎない。集団別にながめると、中学生がきわだって平均値が大きくゼロに近い数値で、動詞と名詞とを同じに送る傾向が強いこと、高校生・大学生がこれに次いでいること、社会人では、研究者層が平均値が小さく、名詞を少なく送る傾向の強いことなどがわかる。(図62-7参照) また、「ウケツケルーウケツケガカリ」は、広報・研究者層のみ負の値が大きいが、これは名詞は少なく送る、つまり動詞「ウケツケル」は「受け付ける」と書くが名詞「ウケツケガカリ」を「受付係」と書く人の多いためである。(複合名詞を「受付～」と書く人の割合は、一般公務員層が最も多いのだが、一般公務員層は動詞も「受付(け)る」と書く人が多く、名詞を少なく送ろうとする傾向は広報・研究者層ほど強くないと言える。)

学歴別では、学歴が高くなるほど、平均値が小さくなり、名詞を少なく送る傾向の著しいことがわかる。(図62-8参照) 後部分では、学歴の差が見られなかったのに対して、前部分で差が見られるのはどう説明すべきか。これは、動詞よりも名詞を少なく送る傾向は、学歴の高い人ほど顕著で、それが複合動詞の名詞化したもの場合はまず前部分を送らないという形であられるためではないかと考えられる。

◎複合語の前部分と後部分

ここに属する語の組み合わせは「アガリグチーネアガリ」だけであるが、年齢別、集団別いずれも各カテゴリー間にほとんど差がなく、平均値はゼロに近い。ここからは、目立った傾向を見出すことはできない。

図62-1 平均値

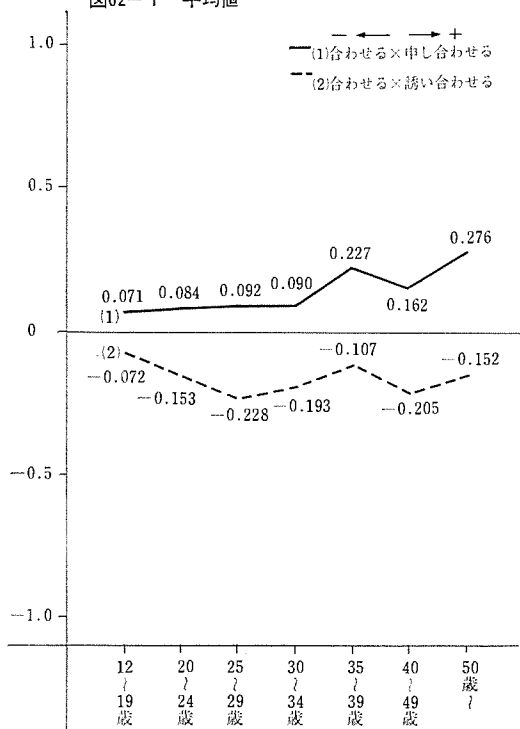


図62-2 平均値

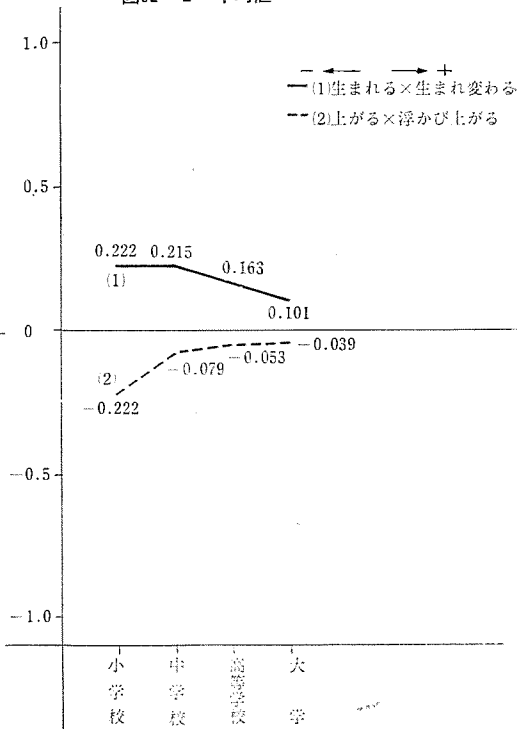


図62-3 平均値

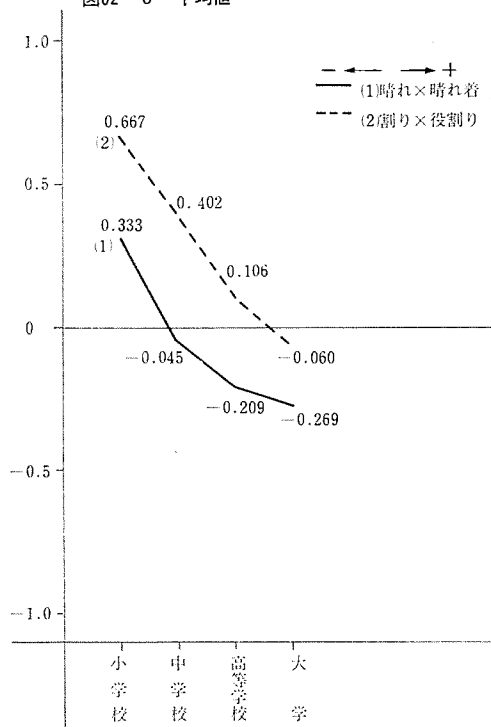


図62-4 平均値

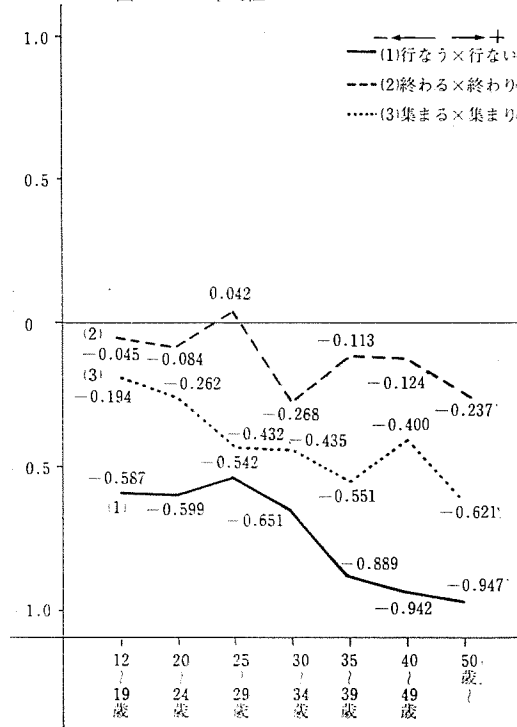


図62-5 平均値

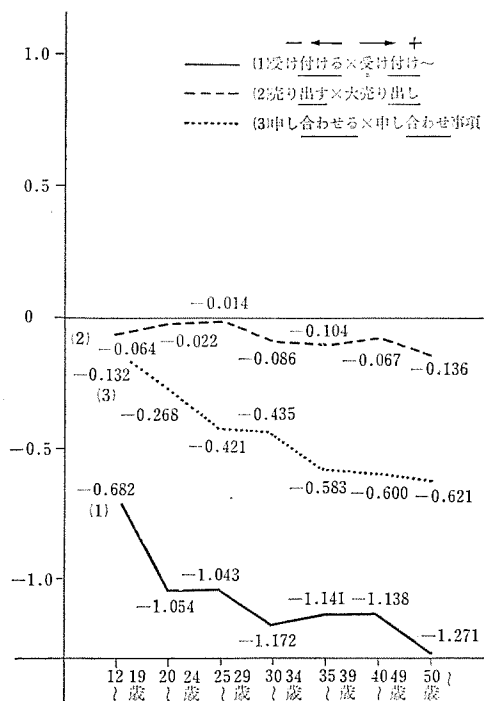


図62-6 平均値

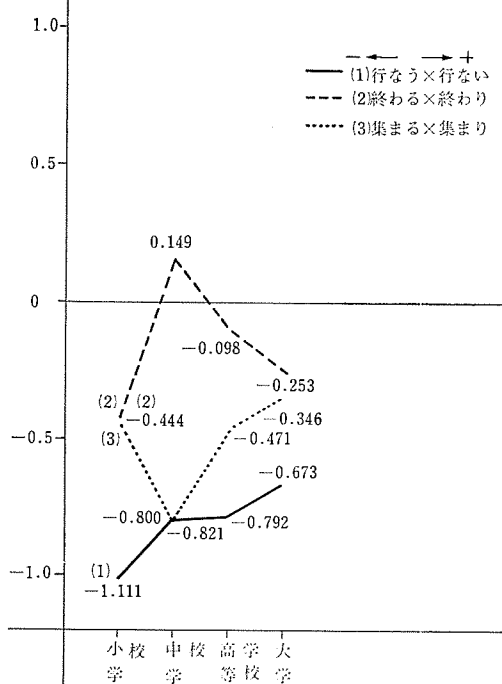


図62-7 平均値

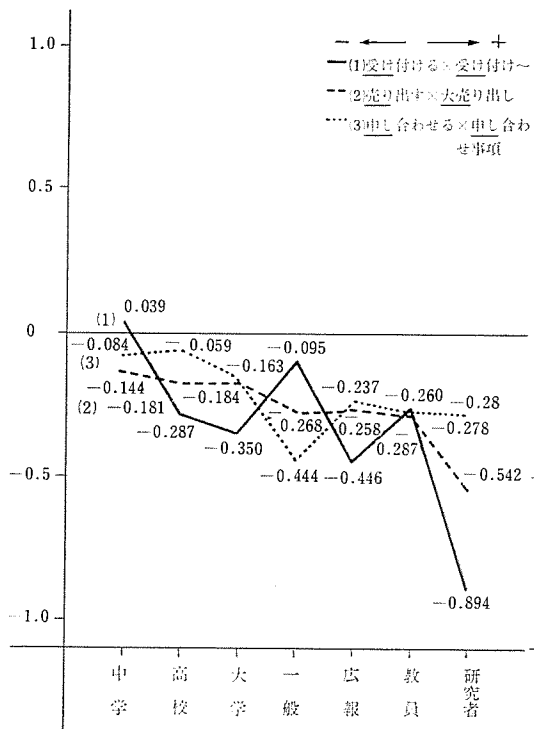
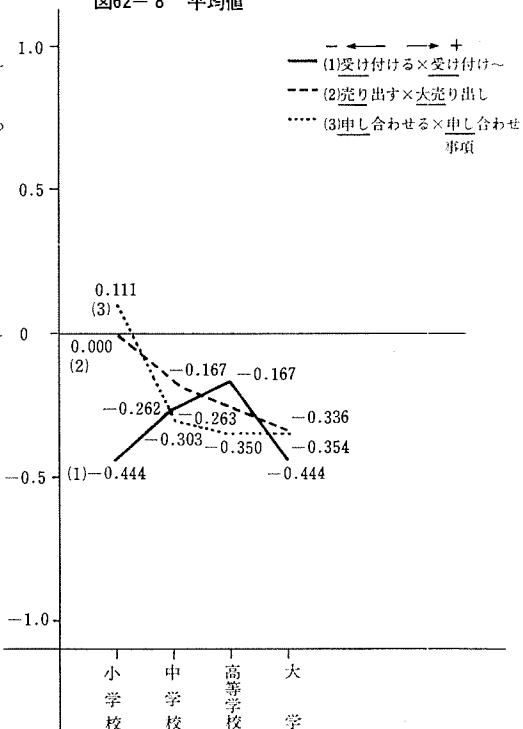


図62-8 平均値



7 送りがな表記の分析 (3) ——類語との相関関係——

7.1 分析のすすめ方と結果

この節は、同一個人の中で同類の語の送りがな表記がどの程度かわりあいを持っているかについて述べる。同類の語というのは、2.4で類別した各調査語集団を指す。したがってその組み合わせは小グループ内の相互関係に限っても数十組はあるが、ここでは次の21組の組み合わせのみを取りあげる。

◎単純動詞1……アラワレル（現）×アラワス（表）

コトナル（異）×オコナウ（行）

コトナル（異）×アラワス（表）

アラワス（表）×オコナウ（行）

オコナウ（行）×ヤシナウ（養）

◎単純動詞2……オワル（終）×ウマレル（生）

アワセル（合）×ウマレル（生）

◎複合動詞1……ワリアテル（割・当）×ウリダス（売・出）前部分

ウケツケル（受・付）×ウリダス（売・出）前部分

ワリアテル（割・当）×ウケツケル（受・付）前部分

◎複合動詞2……サソイアワセル（誘・合）×ムカイアウ（向・合）前部分

モウシアワセル（申・合）×ムカイアウ（向・合）前部分

モウシアワセル（申・合）×サソイアワセル（誘・合）前部分

ウマレカワル（生・変）×ウカビアガル（浮・上）

◎単純名詞……トナリ（隣）×ナサケ（情）

オタガイ（互）×ナサケ（情）

サイワイ（幸）×ウシロガワ（後・側）

オタガイ（互）×サイワイ（幸）

オタガイ（互）×ウシロガワ（後・側）

サイワイ（幸）×ナサケ（情）

ナサケ（情）×ウシロガワ（後・側）

これらの語の組み合わせの関係を示すには、6.2と同じ方法によって平均値と分散を算出し、それによった。

21組の組み合わせの相関表から計算した平均値と分散の結果を表63（巻末）に掲げる。

この表の数値から読み取れることは、一口に言って、非常に雑多である。単純語と複合語、動詞と名詞などの間に見られた傾向のようにまとまってグループをなすことはなく、一語一語の組み合わせによってまちまちである。ここでは比較的重要な2組について述べる。

・「アラワレル」と「アラワス」

「アラワレル」「アラワス」は、一語ごとに分析した際、「表わす」に比べて「現われる」は

多くなく、「現れる」と書く人がかなりいることが認められた。この表からも、年齢、集団のいずれのカテゴリーでも「アラウス」を多く送っていることがわかる。とくに集団別では大学生・研究者層、年齢別では三十代が「アラウス」の方を多く送っている。(図63-1参照) また、学歴別では、学歴の高いものほど「アラウス」を多く送っている。(図63-2参照) 以上のことから、「アラウス」は「アラワレル」より多く送り、かなり意識して「現れる」「表わす」が使われていると考えられる。この2語の送りがなの違いは、「表わす」の「わ」が「ヒュウス」と誤読されることを避けるため送られるという理由を持っているのに対し、「現われる」の「わ」は類語「アラウス」と同じに送るという消極的な理由しか持たないところに起因していると考えられる。

・「オコナウ」と「ヤシナウ」

この2語は互いに接近して出題された。これは同類の語がどの程度他に引かれて送られるかを知るためである。「ヤシナウ」は、昭和31年の雑誌を対象とした、現代雑誌九十種の用語用字調査では7回あらわれ、その表記は「養う」6回、「養なう」1回であるから、「養なう」と書く習慣が広まっているとは思えない。ところが、今回の調査では、高校・大学・研究者層を除いて、圧倒的に「養なう」が多く、類推作用の働いたことをはっきりと示している。(表47-1参照) このことはかたよりの平均値によって一層はっきり示される。(図63-3参照) すなわち、高校・大学・研究者層を除いて、他の層は平均値がゼロに近く、2語をほぼ同じに送ることを示している。このことは「行なう」「養う」を中心にしてかたよりを計算しても、かたよりの平均値が「ヤシナウ」方向に大きくなるだけで、全体は全く変わらない。つまり、「行う」「養う」と書く人が多いためにさきの平均値がゼロに近くなったのではない。なお、年齢別ではほとんど差がなく、学歴別では、大学出身者が、やや「オコナウ」を多く送っている程度である。

このように「オコナウーヤシナウ」には強く類推作用が働いたと考えられるが、どの程度強く働いたかは、同時に「オギナウ(補)」「ウシナウ(失)」「トモナウ(伴)」などを同じ調査票の中の離れた位置に置いて調べてみるとか、同一個人について「オコナウ」「ヤシナウ」を別々に調べてみるとかしてみなければわからない。「養なう」という表記が「行なう」と同じ程度に一般的に使われているならば、この「オコナウ」「ヤシナウ」には類推作用はあまり働いていないこともありうるのである。

図63-1 平均値

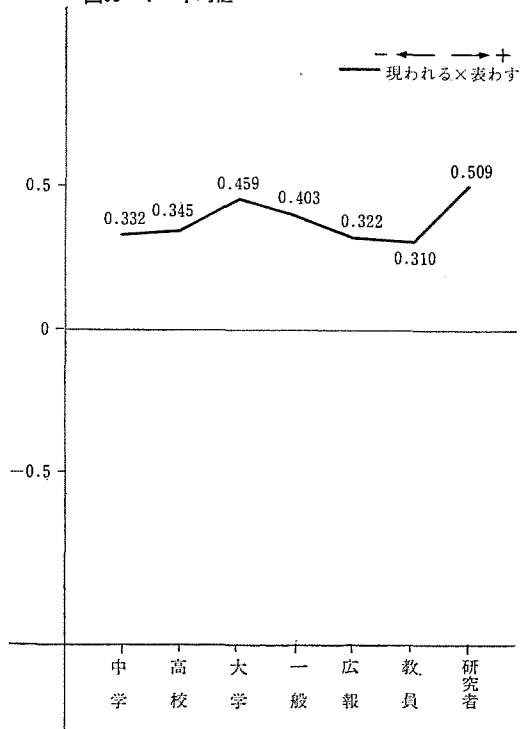


図63-2 平均値

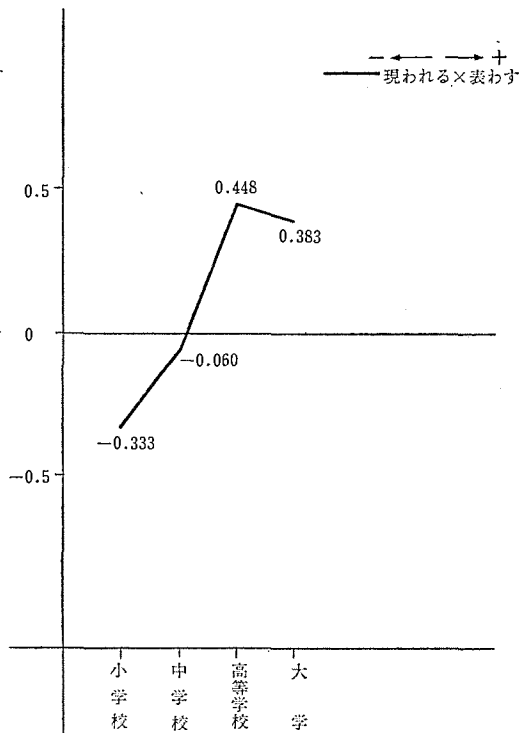
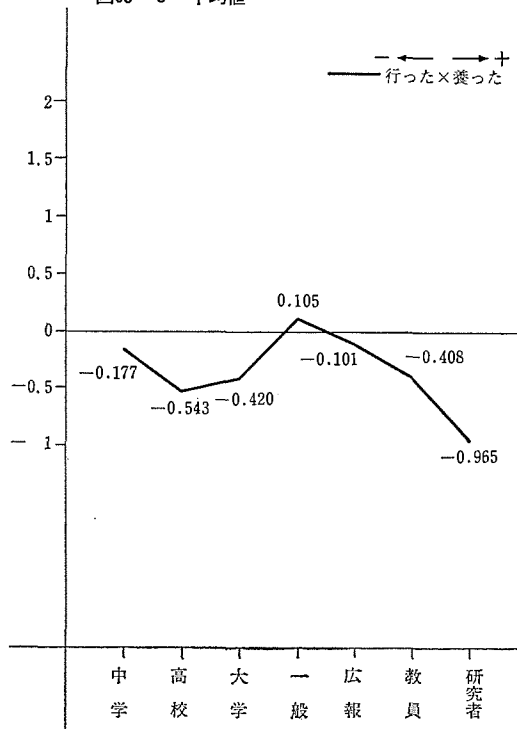


図63-3 平均値



8 今後の問題

この調査の対象・方法などで問題となること、および、分析し残したことなどについて、ここにまとめてしるそう。

まず、分析記述をし残したことがらのうち、おもなものを列挙する。

- 1 実際を書く表記と「読みにくい」とする表記との関係
- 2 内閣告示「送りがなのつけ方」に対する関心と送りがな表記との関係
- 3 各調査集団別（とくに、中学生・高校生の学校別・学年別）の分析
- 4 「読みにくい」とする表記と年齢・集団・学歴その他との関係

次に、この調査の問題点を列挙する。

(1) 対象

この調査の対象は、統計学的に意味をもったサンプルではないから、実際の中学生・高校生・大学生・社会人の意識の実態をどの程度表わしているかは疑問である。とくに、社会人は、かなり文章を書くことに高い関心を持っている集団ばかりである（「一般」に含めた2集団も例外ではない）ので、一般の社会人とは大きなへだたりがあると思う。たとえば、四十代が三十代よりも、内閣告示「送りがなのつけ方」に近い表記をしていることなどは、この集団の特殊性を物語っていると言えよう。（ただ、この意識調査は社会の実態をとらえることを目的としたものではないから、調査対象のかたよりによって調査の意義までも失うものではない。もし実態を知ろうとするならば、サンプリングによる調査を実施する必要がある。）

(2) 調査方法

調査方法で一番問題になるのは、質問のしかたである。この調査では、選択肢法をとったが、送りがな表記は書く場面の条件によってもゆれるものであるから、他の方法（実際に書かせてみる、意識せず書いたものを調べる、など）によれば、かなり結果は違ってくるだろうと思われる。質問のしかたがどの程度結果に影響するか、実験的な小調査を試みる必要がある。そのほか、選択肢の配列が結果にどのような影響を及ぼすかも調査する必要がある。

また、選択肢の語はすべて漢字を使って表記しているが、これらの中には、ひらがなで書く習慣のある、また習慣の形成されつつあるものもあるかも知れないので、かな書きと送りがなの関係も調査する必要がある。

以上のような問題点を解決するため、小規模な調査を計画している。

(3) 分析方法

送りがなのゆれを分析するに際して、各集団・年齢のカテゴリー間のゆれは百分率で、語と語とのゆれはかたよりの程度の平均と分散の値で表わし、分析記述したが、それが最も妥当な方法であったかは疑問が残る。とくに語と語とのゆれはこの数値では様相がつかみにくく、一考を要すると思う。また、いずれの数値も検定をしなかったが、検定についても研究してみる必要がある。

巻 末 付 表

本書に収めた表のうち一まとまりになるものを、ここに一括して掲げた。次の5群よりなる。

- | | |
|-------------|-------------|
| (1) 表3—表5 | (2) 表12—表27 |
| (3) 表29—表46 | (4) 表47—表49 |
| (5) 表61—表63 | |

表3 調査集団の性別・年齢別構成

層別	集団名	性別		年齢						別			計(カッコ内は平均年齢)
		男	女	無答	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無答	
中学校	稲付中	138	119	1	249							9	258 747 (13.9)
	砂町中	126	123	1	244							6	250 239
	教大付属中	140	99		239								178
高等学校	教大付属高	120	58		178								140 143 148
	赤城台高	70	70		140								609 (16.5)
	志村高	79	63	1	143								110(21.0) 202(19.8) 105(19.6) 46(20.8) 182(18.3)
	千歳高	77	71		148								211(33.4) 215(39.0)
大学	学芸大	23	86	1	1	107	2						37(34.4) 50(26.8) 43(32.0) 61(34.3) 104(32.8)
	埼玉大	74	128		86	113	3						50(37.9) 64(38.2) 40(40.0) 20(35.0)
	聖心女子大		105		51	54							59(34.7) 2955(22.6)
一般	立教大	12	34		45	4	1						18
	跡見女子短大		181	1	178								59
	視覚大学	211					25	108	74	4			199
広報・社内報	岩手県	187	27	1	2	17	21	18	48	77	30	2	426 (36.2)
	滋賀県	36	1		2	4	10	3	6	9	3		426 (36.2)
	山口県	36	14		6	17	11	9	5	2			426 (36.2)
教員	東京都	39	4			6	12	12	10		3		295 (32.2)
	山形県	57	4			6	9	17	14	12	3		295 (32.2)
	広報協会	100	4		2	8	27	34	15	14	3	1	295 (32.2)
研究員	都内小	29	21			4		5	18	23			174 (38.8)
	千葉小	28	36			5	4	9	14	27	5		174 (38.8)
	千葉中	28	12			2	3	6	8	16	5		174 (38.8)
研究員	都内中	10	10			2	5	4	2	6	1		174 (38.8)
	国研ほか	36	23			12	8	9	15	9	6		174 (38.8)
	計	1656	1293	6	1669	406	141	234	229	199	59	18	2955(22.6)

表4 調査集団の学歴別構成(カッコ内は百分比)

層 別	集団名	小卒	中卒	高卒	大卒	無答	合計
中学校		—	—	—	—	747	747
高 校		—	—	—	—	609	609
大 学		—	—	—	1	644	645
一 般	税務大学	—	5 (2.4)	135 (64.0)	65 (30.8)	6 (2.8)	211
	岩 手 県	4 (1.9)	35 (16.3)	143 (66.5)	30 (14.0)	3 (1.4)	215
	(小 計)	4 (0.9)	40 (9.4)	278 (65.3)	95 (22.3)	9 (2.1)	(426)
広 報 社内報	滋 賀 県	2 (5.4)	6 (16.2)	20 (54.1)	8 (21.6)	1 (2.7)	37
	日 経 連	1 (2.0)	3 (6.0)	14 (28.0)	32 (64.0)	—	50
	東 京 都	—	2 (4.7)	14 (32.6)	27 (62.8)	—	43
	山 形 県	—	8 (13.1)	42 (68.9)	10 (16.4)	1 (1.6)	61
	広報協会	—	5 (4.8)	59 (56.7)	39 (37.5)	1 (1.0)	104
	(小 計)	3 (1.0)	24 (8.1)	149 (50.5)	116 (39.3)	3 (1.0)	(295)
教 員	都 内 小	1 (2.0)	—	7 (14.0)	41 (82.0)	1 (2.0)	50
	千 葉 小	1 (1.6)	2 (3.1)	24 (37.5)	31 (48.4)	6 (9.4)	64
	千 葉 中	—	1 (2.5)	5 (12.5)	32 (80.0)	2 (5.0)	40
	都 内 中	—	—	—	20 (100.0)	—	20
	(小 計)	2 (1.1)	3 (1.7)	36 (20.7)	124 (71.3)	9 (5.2)	(174)
研究者	国研ほか	—	—	5 (8.5)	54 (91.5)	—	59
計		9 (0.3)	67 (2.3)	468 (15.8)	390 (13.2)	2021 (68.4)	2955

表5 社会人の各集団の経験年数別構成

		1年未満	1～3年	4～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21年～	無 答	平均(年)
一 般	税務大学	1	7	1	28	97	72	0	5	13.7
	岩 手 県	0	24	13	27	24	94	31	2	14.6
	(小 計)	1	31	14	55	121	166	31	7	14.2
広 報・ 社内報	滋 賀 県	3	26	5	3	0	0	0	0	2.7
	日 経 連	24	14	2	6	3	1	0	0	2.7
	東 京 都	1	7	6	19	2	4	3	1	9.3
	山 形 県	3	4	10	18	15	9	2	0	9.8
	広報協会	4	14	12	26	24	21	1	2	9.8
	(小 計)	35	65	35	72	44	35	6	3	7.6
教 員	都 内 小	0	4	2	0	11	23	10	0	16.2
	千 葉 小	2	4	1	7	6	18	25	1	17.9
	千 葉 中	1	2	1	6	3	12	14	1	18.5
	都 内 中	0	3	5	2	3	6	1	0	11.9
	(小 計)	3	13	9	15	23	59	50	2	16.8
研究者	国研ほか	5	17	4	13	12	5	3	0	8.4
計		44	126	62	155	200	265	90	12	16.3

表12 新聞を読む時間（層別）

	中 学 校	高 校	大 学	一 般 公 務 員	担 広 報・ 当・社 内 者 報	教 員	研 究 者	合 計
無 答	13 (1.7)	3 (0.5)	1 (0.2)	4 (0.9)	7 (2.4)	4 (2.3)	—	32 (1.1)
(1)読まない	46 (6.2)	7 (1.1)	7 (1.1)	3 (0.7)	1 (0.3)	2 (1.1)	—	66 (25.8)
(2)10分以内	338 (45.2)	152 (25.0)	124 (19.2)	69 (16.2)	33 (11.2)	35 (20.1)	10 (16.9)	761 (25.8)
(3)20分以内	217 (29.0)	186 (30.5)	225 (34.9)	114 (26.8)	80 (27.1)	49 (28.2)	19 (32.2)	890 (30.1)
(4)30分以内	87 (11.6)	173 (28.4)	172 (26.7)	141 (33.1)	80 (27.1)	51 (29.3)	13 (22.0)	717 (24.3)
(5)30分以上	46 (6.2)	88 (14.4)	116 (18.0)	95 (22.3)	94 (31.9)	33 (19.0)	17 (28.8)	489 (16.5)

表13 毎日読む新聞（層別）

	中 学 校	高 校	大 学	一 般 公 務 員	担 広 報・ 当・社 内 者 報	教 員	研 究 者	合 計
無 答	56 (63.6)	9 (10.2)	9 (10.2)	5 (5.7)	5 (5.7)	4 (4.5)	—	88 (100.0)
(1)朝 日	243 (15.9)	340 (22.2)	428 (28.0)	217 (14.2)	171 (11.2)	85 (5.5)	46 (3.0)	1530 (100.0)
(2)毎 日	151 (26.3)	115 (20.0)	107 (18.6)	69 (12.0)	83 (14.4)	37 (6.4)	13 (2.3)	575 (100.0)
(3)読 売	259 (33.5)	150 (19.4)	134 (17.6)	72 (9.3)	87 (11.0)	56 (7.2)	15 (1.9)	773 (100.0)
(4)産 経	69 (31.6)	39 (17.9)	33 (15.1)	13 (6.0)	46 (21.1)	14 (6.4)	4 (1.8)	218 (100.0)
(5)日 経	44 (21.2)	39 (18.8)	43 (20.7)	36 (17.3)	43 (20.3)	1 (0.5)	2 (1.0)	208 (100.0)
(6)地 方 紙	33 (7.8)	22 (5.1)	32 (7.5)	180 (41.9)	131 (30.4)	22 (5.2)	10 (2.3)	430 (100.0)
(7)スポーツ紙	50 (22.2)	61 (27.0)	52 (23.0)	27 (12.0)	26 (11.5)	5 (2.2)	4 (2.0)	225 (100.0)
(8)そ の 他	20 (35.8)	8 (14.3)	12 (21.4)	3 (5.4)	7 (12.5)	4 (7.1)	2 (3.6)	56 (100.0)

表14 朝日・毎日・読売と読者（層別）

(1) 朝日 (2) 毎日 (3) 読売

	中 学 校	高 校	大 学	一 般 公 務 員	担 広 報 当 ・ 社 内 報 者	教 員	研 究 者	合 計
無 答	151 (38.0)	52 (13.0)	40 (10.0)	94 (23.6)	44 (11.0)	16 (4.2)	1 (0.3)	398 (100.0)
(1)	201 (15.6)	298 (23.4)	376 (29.2)	195 (15.2)	112 (8.7)	68 (5.3)	35 (2.7)	1285 (100.0)
(2)	117 (28.6)	90 (22.0)	74 (18.0)	56 (13.7)	40 (9.8)	28 (6.8)	5 (1.2)	410 (100.0)
(1) (2)	19 (21.4)	19 (21.4)	21 (23.6)	9 (10.1)	12 (13.6)	6 (6.7)	3 (3.4)	89 (100.0)
(3)	226 (38.2)	122 (20.6)	101 (17.0)	57 (9.6)	39 (6.6)	43 (7.3)	5 (0.8)	593 (100.0)
(1) (3)	18 (17.3)	22 (21.2)	21 (20.2)	11 (10.6)	17 (16.3)	10 (9.6)	5 (4.8)	104 (100.0)
(2) (3)	10 (41.7)	5 (20.8)	2 (8.3)	2 (8.3)	1 (4.2)	2 (8.6)	2 (8.3)	24 (100.0)
(1) (2) (3)	5 (9.6)	1 (1.9)	10 (19.2)	2 (3.8)	30 (57.7)	1 (1.9)	3 (5.8)	52 (100.0)

表15 雑誌を読む程度（層別）

	中 学 校	高 校	大 学	一 般 公 務 員	担 広 報 当 ・ 社 内 報 者	教 員	研 究 者	合 計
無 答	11 (1.5)	1 (0.2)	1 (0.2)	3 (0.7)	6 (2.0)	3 (1.7)	—	25 (0.8)
(1)読まない	13 (1.7)	12 (2.0)	3 (0.5)	8 (1.9)	4 (1.4)	4 (2.3)	—	44 (1.5)
(2)たまに読む	396 (53.0)	304 (49.9)	199 (30.9)	272 (63.8)	158 (53.6)	82 (47.1)	14 (23.7)	1425 (48.2)
(3)よく読む	327 (43.8)	292 (47.9)	442 (68.5)	143 (33.6)	127 (43.1)	85 (48.9)	45 (76.3)	1461 (49.4)

表16 過去一か月に手紙を出した回数（層別）

	中 学 校	高 校	大 学	一 般 公 務 員	担 広 報 当 ・ 社 内 報 者	教 員	研 究 者	合 計
無 答	9 (1.2)	3 (0.5)	1 (0.2)	1 (0.2)	4 (1.4)	4 (2.3)	—	22 (0.7)
(1)出さなかった	402 (53.8)	329 (54.0)	137 (21.2)	83 (19.5)	75 (25.4)	28 (16.1)	8 (13.6)	1062 (35.9)
(2)1 ～ 3 通	267 (35.7)	233 (38.3)	327 (50.7)	206 (48.4)	164 (55.6)	93 (53.4)	21 (35.6)	1311 (44.4)
(3)4 ～ 5 通	41 (5.5)	30 (4.9)	100 (15.5)	57 (13.4)	35 (11.9)	24 (13.8)	14 (23.7)	301 (10.2)
(4)6 通以上	28 (3.7)	14 (2.3)	80 (12.4)	79 (18.5)	17 (5.8)	25 (14.4)	16 (27.1)	259 (8.8)

表17 新聞を読む時間（年齢別）

年 齢	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	12 (0.7)	3 (0.7)	3 (2.1)	5 (2.1)	3 (1.3)	2 (1.0)	—	4 (22.2)	32 (1.1)
読まない	56 (3.4)	5 (1.2)	—	—	1 (0.4)	2 (1.0)	—	2 (11.1)	66 (2.2)
10分以内	556 (33.3)	74 (18.2)	19 (13.5)	29 (12.4)	31 (13.5)	37 (18.6)	10 (17.0)	5 (27.8)	761 (25.8)
20分以内	506 (30.3)	142 (35.2)	35 (24.8)	55 (23.5)	76 (33.2)	53 (26.6)	18 (30.5)	5 (27.8)	890 (30.1)
30分以内	347 (20.8)	107 (26.3)	41 (29.1)	72 (30.8)	74 (32.3)	56 (28.1)	18 (30.5)	2 (11.1)	717 (24.3)
30分以上	192 (11.5)	75 (18.5)	43 (30.5)	73 (31.2)	44 (19.2)	49 (24.6)	13 (22.0)	—	489 (16.5)

表18 毎日読む新聞（年齢別）

新聞名	年 齢	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	読者の平均年齢	
									全体	社会人のみ
朝 日		790 (47.3)	256 (63.1)	84 (59.6)	149 (63.7)	127 (55.5)	87 (43.7)	33 (55.9)	22.8歳	33.6歳
毎 日		313 (18.8)	78 (19.2)	27 (19.1)	49 (20.9)	54 (23.6)	36 (18.1)	15 (25.4)	23.1歳	35.5歳
読 売		481 (28.8)	83 (20.4)	37 (26.2)	40 (17.1)	43 (18.8)	66 (33.2)	17 (28.8)	21.9歳	36.0歳
産 経		129 (7.7)	22 (5.4)	11 (7.8)	20 (8.5)	11 (4.8)	21 (10.6)	3 (5.1)	22.3歳	35.8歳
日 経		107 (6.4)	26 (6.4)	12 (8.5)	31 (13.2)	22 (9.6)	6 (3.0)	4 (6.8)	23.3歳	33.6歳
地 方 紙		74 (4.4)	40 (9.9)	46 (32.6)	58 (24.8)	77 (33.6)	95 (47.7)	38 (64.4)	34.2歳	38.9歳
スポーツ紙		138 (8.3)	31 (7.6)	13 (9.2)	13 (5.6)	14 (6.1)	11 (5.5)	4 (6.8)	21.6歳	34.3歳
そ の 他		29 (1.7)	9 (2.2)	5 (3.5)	3 (1.3)	5 (2.2)	4 (2.0)	1 (1.7)	22.2歳	35.8歳

注：（ ）内はそれぞれの年齢層における百分比。

表19 朝日・毎日・読売と読者（年齢別）

(1) 朝日 (2) 毎日 (3) 読売

新聞名	年 齢	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答		221 (13.2)	36 (8.9)	20 (14.2)	35 (15.0)	34 (14.8)	36 (18.1)	9 (15.3)	7 (38.9)	398 (13.5)
(1)		680 (40.7)	222 (54.7)	62 (44.0)	122 (52.1)	106 (46.3)	65 (32.7)	25 (42.4)	3 (16.7)	1285 (43.5)
(2)		236 (14.1)	57 (14.0)	15 (10.6)	29 (12.4)	37 (16.2)	28 (14.1)	6 (10.2)	2 (11.1)	410 (13.9)
(1)(2)		51 (3.1)	8 (2.0)	7 (5.0)	8 (3.4)	9 (3.9)	4 (2.0)	2 (3.4)	—	89 (3.0)
(3)		406 (24.3)	55 (13.5)	22 (15.6)	20 (8.5)	31 (13.5)	47 (23.6)	7 (11.9)	5 (27.8)	593 (20.1)
(1)(3)		49 (2.9)	15 (3.7)	10 (7.1)	8 (3.4)	4 (1.7)	15 (7.5)	3 (5.1)	—	104 (3.5)
(2)(3)		16 (1.0)	2 (0.5)	—	1 (0.4)	—	1 (0.5)	4 (6.8)	—	24 (0.8)
(1)(2)(3)		10 (0.6)	11 (2.7)	5 (3.5)	11 (4.7)	8 (3.4)	3 (1.5)	3 (5.1)	1 (5.6)	52 (1.8)

注：「無答」にはいずれも読まない人も含まれる。

表20 雑誌を読む程度（年齢別）

(1) 読まない (2) たまに読む (3) よく読む

年 齢	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	8 (0.5)	3 (0.7)	3 (2.1)	3 (1.3)	1 (0.4)	3 (1.5)	—	4 (22.2)	25 (0.8)
読まない	27 (1.6)	1 (0.2)	1 (0.7)	2 (0.9)	6 (2.6)	6 (3.0)	1 (1.7)	—	44 (1.5)
たまに読む	814 (48.8)	122 (30.1)	72 (51.1)	131 (56.0)	128 (55.9)	114 (57.3)	33 (55.9)	11 (61.1)	1425 (48.2)
よく読む	820 (49.1)	280 (69.0)	65 (46.1)	98 (41.0)	94 (41.0)	76 (38.2)	25 (42.4)	3 (16.7)	1461 (49.5)

表21 過去一か月に手紙を出した回数（年齢別）

年 齢	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	8 (0.5)	1 (0.2)	1 (0.7)	5 (2.1)	1 (0.4)	2 (1.0)	—	4 (22.2)	22 (0.7)
出さなかった	795 (47.6)	87 (21.4)	40 (28.4)	51 (21.8)	49 (21.4)	28 (14.1)	6 (10.1)	6 (33.3)	1062 (35.9)
1 ～ 3 通	659 (39.5)	210 (51.7)	71 (50.4)	100 (42.7)	117 (51.1)	114 (57.3)	35 (59.3)	5 (27.8)	1311 (44.4)
4 ～ 5 通	122 (7.3)	64 (15.8)	17 (12.3)	31 (13.2)	28 (12.2)	30 (15.1)	8 (13.6)	1 (5.6)	301 (10.2)
6 通 以上	85 (5.1)	44 (10.8)	12 (8.5)	47 (20.1)	34 (14.8)	25 (12.6)	10 (16.9)	2 (11.1)	259 (8.8)

表22 新聞を読む時間（社会人・学歴別）

新聞を 学歴	読まない	10分以内	20分以内	30分以内	30分以上	無 答	合 計
小学校卒	1 (11.1)	2 (22.2)	2 (22.2)	3 (33.3)	1 (11.1)	—	9 (100.0)
中学校卒	—	8 (11.9)	26 (38.8)	18 (26.9)	14 (20.9)	1 (1.5)	67 (100.0)
高校卒	4 (0.9)	82 (17.5)	131 (28.0)	134 (28.6)	108 (23.1)	9 (1.9)	468 (100.0)
大学卒	1 (0.3)	52 (13.4)	94 (24.2)	125 (32.1)	113 (29.0)	4 (1.0)	389 (100.0)
無 答	—	3 (14.3)	9 (42.9)	5 (23.8)	3 (14.3)	1 (4.8)	21 (100.0)
合 計	6 (0.6)	147 (15.4)	262 (27.5)	285 (29.9)	239 (25.1)	15 (1.6)	954 (100.0)

表23 雑誌を読む程度（社会人・学歴別）

雑誌を 学歴	読まない	たまに読む	よく読む	無 答	合 計
小学校卒	1 (11.1)	6 (66.7)	2 (22.2)	—	9 (100.0)
中学校卒	2 (3.0)	48 (71.6)	16 (23.9)	1 (1.5)	67 (100.0)
高校卒	7 (1.5)	292 (62.4)	163 (34.8)	6 (1.3)	468 (100.0)
大学卒	5 (1.3)	166 (42.7)	214 (55.0)	4 (1.0)	389 (100.0)
無 答	1 (4.8)	14 (66.7)	5 (23.8)	1 (4.8)	21 (100.0)
合 計	16 (1.7)	526 (55.1)	400 (41.9)	12 (1.3)	954 (100.0)

表24 過去一か月に手紙を出した回数（社会人・学歴別）

手紙を 学歴	出さな かった	1～3通	4～5通	6通以上	無 答	合 計
小学校卒	2 (22.2)	7 (77.8)	—	—	—	9 (100.0)
中学校卒	10 (14.9)	42 (62.7)	12 (17.9)	2 (3.0)	1 (1.5)	67 (100.0)
高 校 卒	93 (19.9)	232 (49.6)	64 (13.7)	76 (16.2)	3 (0.6)	468 (100.0)
大 学 卒	86 (22.1)	191 (49.1)	51 (13.1)	58 (14.9)	3 (0.8)	389 (100.0)
無 答	3 (14.3)	13 (61.9)	3 (14.3)	1 (4.8)	1 (4.8)	21 (100.0)
合 計	194 (20.3)	175 (50.8)	130 (13.6)	137 (14.4)	8 (0.8)	954 (100.0)

表25 「新聞を～」と「雑誌を～」との関係（社会人）

新聞を 雑誌を	読まない	10分以内	20分以内	30分以内	30分以上	無 答	合 計
読まない	1 (6.3)	7 (43.8)	5 (31.3)	1 (6.3)	2 (12.5)	—	16 (100.0)
たまに読む	3 (0.6)	95 (18.1)	164 (31.2)	167 (31.7)	92 (17.5)	5 (1.0)	526 (100.0)
よく読む	2 (0.5)	43 (10.8)	92 (23.0)	114 (28.5)	143 (35.8)	6 (1.5)	400 (100.0)
無 答	—	2 (16.7)	1 (8.3)	3 (25.0)	2 (16.7)	4 (33.3)	12 (100.0)
合 計	6 (0.6)	147 (15.4)	262 (27.5)	285 (29.9)	239 (25.1)	15 (1.6)	954 (100.0)

表26 「新聞を～」と「手紙を～」との関係（社会人）

新聞を 手紙を	読まない	10分以内	20分以内	30分以内	30分以上	無 答	合 計
出さなかった	1 (0.5)	43 (22.2)	47 (24.2)	51 (26.3)	46 (23.7)	6 (3.1)	194 (100.0)
1～3通	3 (0.6)	70 (14.5)	139 (28.8)	157 (32.4)	111 (22.9)	4 (0.8)	484 (100.0)
4～5通	1 (0.8)	17 (13.1)	41 (31.5)	34 (26.2)	37 (28.5)	—	130 (100.0)
6通以上	1 (0.7)	15 (10.9)	34 (24.8)	42 (30.7)	45 (32.9)	—	137 (100.0)
無 答	—	2 (30.0)	1 (10.0)	1 (10.0)	—	5 (50.0)	9 (100.0)
合 計	6 (0.6)	147 (15.4)	262 (27.5)	285 (29.9)	239 (25.1)	15 (1.6)	954 (100.0)

表27 「手紙を～」と「雑誌を～」との関係（社会人）

手紙を 雑誌を	出さな かった	1～3通	4～5通	6通以上	無 答	合 計
読まない	11 (68.8)	3 (18.8)	—	2 (12.5)	—	16 (100.0)
たまに読む	111 (21.1)	287 (54.6)	68 (12.9)	58 (11.0)	2 (0.4)	526 (100.0)
よく読む	72 (18.0)	190 (47.5)	59 (14.8)	77 (19.3)	2 (0.5)	400 (100.0)
無 答	—	4 (33.3)	3 (25.0)	—	5 (41.7)	12 (100.0)
合 計	194 (20.3)	484 (50.8)	130 (13.6)	137 (14.4)	9 (0.9)	954 (100.0)

表29 C— 文字の書きあらわしかたについて（層別）

単位：パーセント

	中学校	高 校	大 学	一 般	広 報	教 員	研究者	計
迷ったことがある	94.0	97.5	97.7	98.8	97.3	93.7	98.3	96.6
迷ったことがない	5.8	2.3	1.9	0.7	1.7	2.9	1.7	2.8
無 答	0.3	0.2	0.5	0.5	1.0	3.4	—	0.6

表30 C— 文字の書きあらわしかたについて（年齢別）

単位：パーセント

	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	総 計
迷ったことがある	96.1	97.8	97.9	98.7	97.8	94.0	96.6	94.4	96.6
迷ったことがない	3.7	2.0	0.7	1.3	0.9	3.0	1.7	5.6	2.8
無 答	0.2	0.2	1.4	—	1.3	3.0	1.7	—	0.6

表31 C—a どの問題に関して迷うか（層別）

1. どの漢字を使ったらいいか。
2. 漢字の字体がこれでいいか。
3. かなで書くか、漢字で書くか。
4. 送りがなをつけるか、つけないか。
5. かなづかいがまちがっていないか。
6. 無答（「迷ったことがある」と答えなかった人を含む）

単位：パーセント

	中学校	高 校	大 学	一 般	広 報	教 員	研究者	総 計
1	43.2	50.7	45.0	27.2	22.0	17.2	59.3	39.5
2	37.1	43.7	37.2	32.6	24.7	20.7	44.1	35.8
3	26.8	31.0	28.8	47.7	49.8	43.1	61.0	35.1
4	53.9	67.2	74.4	71.8	82.0	71.8	69.5	67.9
5	28.0	25.0	30.5	38.5	35.3	20.7	25.4	29.7
6	6.2	2.5	2.3	1.4	3.1	6.3	1.7	3.6

表32 C—a どの問題に関して迷うか（年齢別）

単位：パーセント

	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	総 計
1	47.5	38.4	22.0	26.9	27.9	19.6	27.1	38.9	39.5
2	39.9	34.2	25.5	30.3	31.9	25.6	27.1	27.8	35.8
3	27.7	35.7	44.7	50.4	48.9	48.2	53.9	33.3	35.1
4	62.1	77.3	80.9	74.8	76.9	67.3	74.6	56.7	67.9
5	27.6	29.6	33.3	30.8	33.6	33.1	42.4	50.0	29.7
6	4.0	2.2	2.1	1.3	3.5	6.0	5.1	5.6	3.6

表33 C-b 迷ったときどうするか（層別）

1. 自分で適当に判断する。
 2. 人にたずねる。
 3. 国語辞典、表記辞典などで調べる。
 4. その他
 無答（「迷ったことがある」と答えなかった人を含む）

単位：パーセント

	中学校	高校	大学	一般	広報	教員	研究者	総計
1	30.3	45.0	46.4	31.2	14.6	16.1	47.5	34.9
2	54.2	42.7	38.9	28.4	26.1	31.6	16.9	39.9
3	73.6	92.3	83.4	77.5	92.5	81.6	88.1	80.7
4	1.9	2.5	1.9	3.1	5.4	2.9	—	2.6
5	0.4	0.5	0.5	0.9	1.0	4.0	1.7	3.7

表34 C-b 迷ったときどうするか（年齢別）

単位：パーセント

	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無答	総計
1	38.6	41.6	26.2	26.1	27.5	17.6	27.1	33.3	34.9
2	48.2	34.5	28.4	20.1	30.6	27.6	22.0	50.0	39.9
3	78.6	87.4	83.7	80.3	80.8	82.9	86.4	77.8	80.7
4	2.2	1.5	4.3	4.3	3.5	3.5	3.4	5.6	2.6
5	3.8	2.2	0.7	1.7	1.3	3.0	1.7	5.6	3.7

図35 C二 送りがなのつけかたについて（層別）

1. 一つにきまっているほうがいい。
 2. どちらを書いてもいいというように、ある程度の幅が認められたほうがいい。
 3. 自分の思うとおり勝手に書けたほうがいい。
 4. わからない。
 5. その他の意見
 6. 無答

単位：パーセント

	中学校	高校	大学	一般	広報	教員	研究者	総計
1	57.2	57.3	50.4	42.5	61.0	59.2	32.2	53.0
2	34.1	35.8	43.0	54.5	36.6	36.2	59.3	39.8
3	5.7	4.1	2.6	2.3	1.4	1.7	5.1	3.5
4	7.9	2.1	1.2	1.6	0.7	0.6	3.4	3.1
5	9.1	2.9	3.7	1.4	2.0	2.3	5.1	2.3
6	1.9	0.3	0.7	1.2	2.0	4.0	1.7	1.4

表36 C二 送りがなのつけかたについて（年齢別）

単位：パーセント

	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無答	総計
1	55.8	47.5	51.1	50.9	47.6	52.2	45.8	50.0	53.0
2	34.8	46.3	45.4	44.0	49.3	44.2	54.2	38.9	39.8
3	4.3	2.7	0.7	2.6	3.5	2.0	—	5.6	3.5
4	4.6	1.0	0.7	1.3	1.3	1.0	1.7	5.6	3.1
5	1.9	4.2	2.1	2.6	3.1	1.0	1.7	—	2.3
6	1.1	0.5	1.4	0.4	2.6	4.0	3.4	—	1.4

表37 C三 内閣告示「送りがなのつけ方」を（層別）

単位：パーセント

	中学校	高 校	大 学	一 般	広 報	教 員	研究者	総 計
知っている	23.3	44.0	56.7	72.8	84.4	81.0	89.8	52.6
知らない	74.2	55.3	43.7	26.5	14.6	15.5	10.2	46.1
無 答	2.5	0.7	0.6	0.7	1.0	3.5	—	1.3

表38 C三 内閣告示「送りがなのつけ方」を（年齢別）

単位：パーセント

	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	総 計
知っている	35.4	66.0	74.5	76.9	81.2	85.4	84.8	22.2	52.6
知らない	63.1	33.5	24.1	23.1	17.5	11.6	11.9	77.8	46.1
無 答	1.4	0.5	1.4	—	1.3	3.0	3.4	—	1.3

表39 C三 a 内閣告示「送りがなのつけ方」を（層別）

1. 知らない。
 2. 知っている。 { 1. 全然見たことがない。
 2. 自分の手もとにはあるが、実際に使ったことはない。
 3. 手もとにはないが、見て使ったことはある。
 4. 手もとにあって必要なとき使っている。

単位：パーセント

	中学校	高 校	大 学	一 般	広 報	教 員	研究者	総 計
知らない	74.2	55.3	43.7	26.5	14.6	15.5	10.2	46.1
知っている 1	10.3	26.1	37.2	16.0	19.0	16.7	6.8	21.4
2	4.4	7.6	5.9	14.1	10.2	7.5	27.1	8.0
3	4.3	6.9	11.5	26.1	24.7	20.7	13.6	12.7
4	4.3	3.4	1.1	16.7	30.5	36.2	42.4	10.5
無 答	2.5	0.7	0.6	0.7	1.0	3.4	—	1.4

表40 C三 a 内閣告示「送りがなのつけ方」を（年齢別）

単位：パーセント

	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	総 計
知らない	63.2	33.5	24.1	23.0	17.5	11.6	11.9	77.8	46.1
知っている 1	20.8	36.7	22.7	12.8	16.2	13.6	15.3	5.6	21.4
2	5.6	7.4	9.9	16.2	15.3	8.0	15.3	—	8.0
3	5.5	18.0	25.5	24.4	22.7	26.6	20.3	5.6	12.7
4	3.5	3.9	16.3	23.1	27.1	37.2	33.9	11.1	10.5
無 答	1.4	0.5	1.4	0.4	1.3	3.0	3.4	—	1.4

表41 C三b 内閣告示「送りがなのつけ方」は（層別）

1. わかりいい。
2. わかりにくい。 } (aで(3),(4)に答えた人のみ)
無答 (aで(3),(4)に答えなかった人を含む)

単位：パーセント

	中学校	高 校	大 学	一 般	広 報	教 員	研究者	総 計
1	4.0	3.1	3.0	12.7	15.3	8.6	8.5	6.3
2	4.2	6.4	9.5	27.2	39.0	45.4	42.4	15.8
無答	91.8	90.5	87.6	60.1	44.1	46.0	49.1	77.9

表42 C三b 内閣告示「送りがなのつけ方」は（年齢別）

単位：パーセント

	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	総 計
1	3.3	6.2	13.5	7.3	10.0	17.6	18.6	11.1	6.3
2	5.2	14.8	27.0	38.5	37.1	43.7	32.2	5.6	15.8
無答	91.6	79.1	59.6	54.3	52.8	38.7	49.2	83.3	77.9

表43 C三c 内閣告示「送りがなのつけ方」に対する意見（層別）

1. あの規則は改めるべきだ。
2. あの規則のままでいい。
3. あの規則は廃止すべきだ。 } (aで(3),(4)に答えた人のみ)
4. その他の意見
5. 無 答 (aで(3),(4)に答えなかった人を含む)

単位：パーセント

	中学校	高 校	大 学	一 般	広 報	教 員	研究者	総 計
1	4.1	5.4	5.7	20.7	22.7	35.6	44.1	11.6
2	3.2	2.1	2.2	10.3	14.2	11.5	3.4	5.4
3	0.5	1.3	3.1	7.3	6.8	4.0	3.4	3.1
4	0.4	0.7	0.9	1.4	2.4	1.1	3.4	1.0
5	91.7	90.5	88.1	60.3	53.9	47.7	45.8	78.8

表44 C三C 内閣告示「送りがなのつけ方」に対する意見（年齢別）

単位：パーセント

	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	総 計
1	4.6	9.6	15.6	27.4	28.8	39.2	32.2	5.6	11.6
2	2.5	5.2	12.8	6.8	9.2	15.1	17.0	11.1	5.4
3	1.1	4.4	8.5	9.4	7.4	6.0	—	—	3.1
4	0.6	2.0	2.1	3.8	3.5	3.0	1.7	—	1.0
無 答	91.3	79.1	61.7	53.8	34.5	39.7	50.9	83.3	78.8

表45 C三d 内閣告示「送りがなのつけ方」を改めるとすれば（層別）

（1「知っている」、a 3または4、c 1に答えた人のみ）

1. 規則そのものが複雑すぎるから、もっと簡単な、すっきりした形に改めるべきだ。
2. 不必要に送りすぎているからもっとかなの部分を少なくすべきだ。
3. 例外規定や許容事項はできるだけへらして、原則的なものだけにすべきだ。
4. 書くときめんどくさいから、もっと簡潔に書けるよう、かなの部分の少なくすべきだ。
5. その他の意見
6. 無答

単位：パーセント

	中学校	高校	大学	一般	広報	教員	研究者	総計
1	54.8	44.4	47.4	42.6	55.9	57.6	42.3	49.6
2	22.6	22.2	28.9	47.3	38.9	25.8	38.5	34.5
3	58.1	47.2	44.7	27.3	46.8	34.8	50.0	40.8
4	22.6	—	2.6	11.0	7.8	10.6	3.8	8.5
5	6.5	16.7	5.3	4.4	—	4.5	3.8	5.2
6	—	2.8	—	1.1	—	3.0	—	1.1
計(人数)	(31)	(36)	(38)	(91)	(77)	(66)	(26)	(365)

表46 C三d 内閣告示「送りがなのつけ方」を改めるとすれば（年齢別）

（1で「知っている」、2で3または4、Cで1に答えた人のみ）

単位：パーセント

	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無答	総計
1	50.0	38.5	63.6	42.2	53.0	57.7	36.8	—	49.6
2	25.0	28.2	40.9	34.4	34.8	38.7	57.9	100	34.5
3	50.0	48.7	36.6	48.4	40.9	26.6	26.4	—	40.8
4	9.2	2.6	4.5	6.3	10.6	10.3	15.8	—	8.5
5	11.8	5.1	—	4.7	4.5	1.3	5.3	—	5.2
6	1.3	—	—	—	—	1.3	10.5	—	1.1
計(人数)	(76)	(39)	(22)	(64)	(66)	(78)	(19)	(1)	(365)

表47－1 45. ヤシナウ（養）

	(1)養った			(2)養なった			(3)養しなった	
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	7 (0.9)	—	—	5 (1.2)	5 (1.7)	5 (2.9)	1 (1.7)	23 (0.8)
(1)	215 (28.8)	289 (47.5)	339 (52.6)	82 (19.2)	69 (23.4)	62 (35.6)	32 (54.2)	1088 (36.8)
(2)	390 (52.2)	271 (44.5)	285 (44.2)	259 (60.8)	184 (62.4)	97 (55.7)	21 (35.6)	1507 (51.0)
(1)(2)	16 (2.1)	20 (3.3)	11 (1.7)	8 (1.9)	8 (2.7)	—	4 (6.8)	67 (2.3)
(3)	108 (14.5)	24 (3.9)	10 (1.6)	63 (14.8)	27 (9.2)	10 (5.7)	1 (1.7)	243 (8.2)
(1) (3)	2 (0.3)	1 (0.2)	—	1 (0.2)	1 (0.3)	—	—	5 (0.2)
(2)(3)	9 (1.2)	4 (0.7)	—	8 (1.9)	1 (0.3)	—	—	22 (0.7)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47－2 2. アラワレル（現）

	(1)現れた			(2)現われた			(3)現らわれた	
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	6 (0.8)	3 (0.5)	—	4 (0.9)	2 (0.7)	2 (1.1)	2 (3.4)	19 (0.6)
(1)	163 (21.8)	148 (24.3)	206 (31.9)	99 (23.2)	66 (22.4)	39 (22.4)	13 (22.0)	734 (24.8)
(2)	525 (70.3)	439 (72.1)	417 (64.7)	278 (65.3)	196 (66.4)	122 (70.1)	38 (64.4)	2015 (68.2)
(1)(2)	12 (1.6)	10 (1.6)	19 (2.9)	4 (0.9)	6 (2.0)	—	6 (10.2)	57 (1.9)
(3)	37 (5.0)	9 (1.5)	3 (0.5)	40 (9.4)	23 (7.8)	11 (6.3)	—	123 (4.2)
(1) (3)	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)(3)	4 (0.5)	—	—	1 (0.2)	2 (0.7)	—	—	7 (0.2)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-3 16. コトナル (異)

	(1)異って			(2)異なって		(3)異となって		
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	6 (0.8)	—	—	3 (0.7)	2 (0.7)	3 (1.7)	2 (3.4)	16 (0.5)
(1)	212 (28.4)	177 (29.1)	256 (39.6)	89 (20.9)	64 (21.7)	57 (32.8)	9 (15.3)	864 (29.2)
(2)	489 (65.5)	421 (69.1)	363 (56.3)	316 (74.2)	224 (75.9)	111 (63.8)	45 (76.3)	1969 (66.6)
(1)(2)	13 (1.7)	11 (1.8)	25 (3.9)	5 (1.2)	3 (1.0)	2 (1.1)	3 (5.1)	62 (2.1)
(3)	24 (3.2)	—	1 (0.2)	13 (3.1)	2 (0.7)	1 (0.6)	—	41 (1.4)
(1) (3)	2 (0.3)	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(2)(3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-4 23. アラワス (表)

	(1)表した			(2)表わした		(3)表らわした		
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	6 (0.8)	—	1 (0.2)	2 (0.5)	3 (1.0)	3 (1.7)	2 (3.4)	17 (0.6)
(1)	58 (7.8)	60 (9.9)	75 (11.6)	32 (7.5)	22 (7.5)	15 (8.6)	2 (3.4)	264 (8.9)
(2)	617 (82.6)	514 (84.4)	541 (83.9)	323 (75.8)	239 (81.0)	141 (81.0)	50 (84.7)	2425 (82.1)
(1)(2)	8 (1.1)	8 (1.3)	11 (1.7)	7 (1.6)	5 (1.7)	1 (0.6)	3 (5.1)	43 (1.5)
(3)	49 (6.6)	22 (3.6)	15 (2.3)	60 (14.1)	25 (8.5)	14 (8.0)	2 (3.4)	187 (6.3)
(1) (3)	1 (0.1)	—	1 (0.2)	—	—	—	—	2 (0.1)
(2)(3)	8 (1.1)	5 (0.8)	1 (0.2)	2 (0.5)	1 (0.3)	—	—	17 (0.6)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-5 43. オコナウ（行）

	(1)行った			(2)行なった		(3)行こなった		
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	9 (1.2)	1 (0.2)	—	4 (0.9)	5 (1.7)	5 (2.9)	1 (1.7)	25 (0.8)
(1)	109 (14.6)	118 (19.4)	201 (31.2)	58 (13.6)	37 (12.5)	26 (14.9)	4 (6.8)	553 (18.7)
(2)	528 (70.7)	464 (76.2)	415 (64.3)	342 (80.3)	241 (81.7)	133 (76.4)	52 (88.1)	2175 (73.6)
(1)(2)	22 (2.9)	9 (1.5)	18 (2.8)	2 (0.5)	5 (1.7)	1 (0.6)	2 (3.4)	59 (2.0)
(3)	71 (9.5)	14 (2.3)	11 (1.7)	16 (3.8)	7 (2.4)	9 (5.2)	—	128 (4.3)
(1) (3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	7 (0.9)	3 (0.5)	—	4 (0.9)	—	—	—	14 (0.5)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-6 10. オワル（終）

	(1)終ます			(2)終ります		(3)終わります		
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	7 (0.9)	1 (0.2)	—	4 (0.9)	3 (1.0)	3 (1.7)	1 (1.7)	19 (0.6)
(1)	28 (3.8)	9 (1.5)	6 (0.9)	14 (3.3)	2 (0.7)	5 (2.9)	—	64 (2.2)
(2)	282 (37.8)	284 (46.6)	499 (77.4)	366 (85.9)	223 (75.6)	86 (49.4)	27 (45.8)	1767 (59.8)
(1)(2)	6 (0.8)	2 (0.3)	1 (0.2)	3 (0.7)	1 (0.3)	—	—	13 (0.4)
(3)	382 (51.1)	272 (44.7)	119 (18.4)	33 (7.9)	60 (20.3)	77 (44.3)	23 (39.0)	966 (32.7)
(1) (3)	3 (0.4)	—	—	1 (0.2)	—	1 (0.6)	—	5 (0.2)
(2)(3)	35 (4.7)	40 (6.6)	20 (3.1)	5 (1.2)	6 (2.0)	2 (1.1)	8 (13.6)	116 (3.9)
(1)(2)(3)	4 (0.5)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	5 (0.2)

表47-7 14. アワセル (合)

	(1)合て			(2)合せて		(3)合わせて		
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	5 (0.7)	—	2 (0.3)	2 (0.5)	2 (0.7)	2 (1.1)	1 (1.7)	14 (0.5)
(1)	2 (0.3)	—	1 (0.2)	2 (0.5)	1 (0.3)	—	—	6 (0.2)
(2)	226 (30.3)	158 (25.9)	251 (38.9)	277 (65.0)	132 (44.7)	50 (28.7)	12 (20.3)	1106 (37.4)
(1)(2)	—	—	—	—	1 (0.3)	—	—	1 (0.0)
(3)	491 (65.7)	432 (70.9)	367 (56.9)	139 (32.6)	151 (51.2)	119 (68.4)	38 (64.4)	1737 (58.8)
(1) (3)	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)(3)	23 (3.1)	19 (3.1)	24 (3.7)	6 (1.4)	8 (2.7)	3 (1.7)	8 (13.6)	91 (3.1)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-8 18. アガル (上)

	(1)上りました			(2)上がりました				
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	7 (0.9)	—	1 (0.2)	4 (0.9)	3 (1.0)	3 (1.7)	1 (1.7)	19 (0.6)
(1)	310 (41.5)	209 (34.3)	283 (43.9)	229 (53.8)	118 (40.0)	55 (31.6)	9 (15.3)	1213 (41.0)
(2)	420 (56.2)	393 (64.5)	349 (54.1)	190 (44.6)	174 (59.0)	114 (65.5)	43 (72.9)	1683 (57.0)
(1)(2)	10 (1.3)	7 (1.1)	12 (1.9)	3 (0.7)	—	2 (1.1)	6 (10.2)	40 (1.4)

表47-9 28. アツマル (集)

	(1)集って			(2)集まって			(3)集つまって	
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	6 (0.8)	1 (0.2)	—	4 (0.9)	3 (1.0)	2 (1.1)	1 (1.7)	17 (0.6)
(1)	108 (14.5)	104 (17.1)	177 (27.4)	126 (29.6)	81 (27.5)	51 (29.3)	8 (13.6)	655 (22.2)
(2)	581 (77.8)	479 (78.7)	443 (68.7)	265 (62.2)	199 (67.5)	117 (67.2)	48 (81.4)	2132 (72.1)
(1)(2)	16 (2.1)	15 (2.5)	20 (3.1)	10 (2.3)	3 (1.0)	1 (0.6)	2 (3.4)	67 (2.3)
(3)	29 (3.9)	9 (1.5)	4 (0.6)	19 (4.5)	9 (3.1)	3 (1.7)	—	73 (2.5)
(1) (3)	2 (0.3)	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(2)(3)	5 (0.7)	1 (0.2)	1 (0.2)	2 (0.5)	—	—	—	9 (0.3)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-10 42. ウマレル (生)

	(1)生る			(2)生れる			(3)生まれる	
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	8 (1.1)	—	1 (0.2)	4 (0.9)	5 (1.7)	6 (3.4)	1 (1.7)	25 (0.8)
(1)	5 (0.7)	4 (0.7)	—	4 (0.9)	3 (1.0)	1 (0.6)	—	17 (0.6)
(2)	227 (30.4)	208 (34.2)	313 (48.5)	307 (72.1)	153 (51.9)	56 (32.2)	18 (30.5)	1282 (43.4)
(1)(2)	—	—	—	2 (0.5)	1 (0.3)	—	—	3 (0.1)
(3)	469 (62.8)	351 (57.6)	287 (44.5)	94 (22.1)	127 (43.1)	110 (63.2)	34 (57.6)	1472 (49.8)
(1) (3)	—	—	—	1 (0.2)	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	38 (5.1)	46 (7.6)	44 (6.8)	14 (3.3)	6 (2.0)	1 (0.6)	6 (10.2)	155 (5.3)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-11 4. ワリアテル (割・当)

(1)割当られた (2)割当てられた (3)割り当られた (4)割り当てられた

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	4 (0.5)	—	—	3 (0.7)	3 (1.0)	3 (1.7)	1 (1.7)	14 (0.5)
(1)	61 (8.2)	15 (2.5)	23 (3.6)	93 (21.8)	28 (9.5)	10 (5.7)	—	230 (7.8)
(2)	72 (9.6)	44 (7.2)	85 (13.2)	102 (23.9)	58 (19.7)	27 (15.5)	2 (3.4)	390 (13.2)
(1)(2)	4 (0.5)	1 (0.2)	2 (0.3)	5 (1.2)	1 (0.3)	—	—	13 (0.4)
(3)	103 (13.8)	72 (11.8)	86 (13.3)	60 (14.1)	44 (14.9)	22 (12.6)	4 (6.8)	391 (13.2)
(1) (3)	9 (1.2)	2 (0.3)	5 (0.8)	3 (0.7)	5 (1.7)	—	—	24 (0.8)
(2)(3)	2 (0.3)	—	2 (0.3)	2 (0.5)	1 (0.3)	—	—	7 (0.2)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—
(4)	434 (58.1)	435 (71.4)	394 (61.1)	138 (32.4)	143 (48.5)	109 (62.6)	43 (72.9)	1696 (57.4)
(1) (4)	9 (1.2)	2 (0.3)	4 (0.6)	2 (0.5)	1 (0.3)	—	—	18 (0.6)
(2) (4)	37 (5.0)	33 (5.4)	43 (6.7)	16 (3.8)	9 (3.1)	2 (1.1)	8 (13.6)	148 (5.0)
(1)(2) (4)	—	—	—	—	—	—	—	—
(3)(4)	11 (1.5)	5 (0.8)	1 (0.2)	—	2 (0.7)	1 (0.6)	1 (1.7)	21 (0.7)
(1) (3)(4)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)(4)	—	—	—	2 (0.5)	—	—	—	2 (0.1)
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-12 13. ウケツケル (受・付)

	(1)受付て			(2)受付けて		(3)受け付けて		
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	5 (0.7)	—	—	6 (1.4)	2 (0.7)	2 (1.1)	2 (3.4)	17 (0.6)
(1)	152 (20.3)	45 (7.4)	63 (9.8)	68 (16.0)	26 (8.8)	21 (12.1)	—	375 (12.7)
(2)	240 (32.1)	290 (47.6)	329 (51.0)	275 (64.5)	146 (49.5)	85 (48.9)	22 (37.3)	1387 (46.9)
(1)(2)	14 (1.9)	12 (2.0)	7 (1.1)	9 (2.1)	2 (0.7)	—	—	44 (1.5)
(3)	296 (39.6)	236 (38.8)	204 (31.6)	56 (13.1)	103 (34.9)	64 (36.8)	31 (52.5)	990 (33.5)
(1) (3)	6 (0.8)	2 (0.3)	6 (0.9)	4 (0.9)	—	—	—	18 (0.6)
(2)(3)	34 (4.6)	23 (3.8)	35 (5.4)	8 (1.9)	16 (5.4)	2 (1.1)	4 (6.8)	122 (4.1)
(1)(2)(3)	—	1 (0.2)	1 (0.2)	—	—	—	—	2 (0.1)

表47-13 46. ウリダス (売・出)

	(1)売出た			(2)売出した		(3)売り出した		
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	9 (1.2)	—	—	5 (1.2)	4 (1.4)	5 (2.9)	1 (1.7)	24 (0.8)
(1)	5 (0.7)	—	1 (0.2)	1 (0.2)	—	—	—	7 (0.2)
(2)	81 (10.8)	99 (16.3)	130 (20.2)	189 (44.4)	87 (29.5)	36 (20.7)	8 (13.6)	630 (21.3)
(1)(2)	1 (0.1)	—	—	—	1 (0.3)	—	—	2 (0.1)
(3)	606 (81.1)	477 (78.3)	469 (72.7)	213 (50.0)	195 (66.1)	131 (75.3)	44 (74.6)	2135 (72.3)
(1) (3)	3 (0.4)	—	—	3 (0.7)	1 (0.3)	—	—	7 (0.2)
(2)(3)	42 (5.6)	32 (5.3)	45 (7.0)	15 (3.5)	7 (2.4)	2 (1.1)	6 (10.2)	149 (5.0)
(1)(2)(3)	—	1 (0.2)	—	—	—	—	—	1 (0.0)

表47-14 1. モウシアワセル (申・合)

(1)申合せ (2)申合わせ (3)申し合せ (4)申し合わせ

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	4 (0.5)	—	1 (0.2)	4 (0.9)	3 (1.0)	3 (1.7)	2 (3.4)	17 (0.6)
(1)	9 (1.2)	10 (1.6)	12 (1.9)	54 (12.7)	15 (5.1)	11 (6.3)	—	111 (3.8)
(2)	12 (1.6)	14 (2.3)	8 (1.2)	22 (5.2)	10 (3.4)	7 (4.0)	—	73 (2.5)
(1)(2)	2 (0.3)	—	—	4 (0.9)	1 (0.3)	—	—	7 (0.2)
(3)	162 (21.7)	138 (22.7)	209 (32.4)	170 (39.9)	91 (30.8)	27 (15.5)	9 (15.3)	806 (27.3)
(1) (3)	2 (0.3)	1 (0.2)	8 (1.2)	7 (1.6)	2 (0.7)	—	1 (1.7)	21 (0.7)
(2)(3)	3 (0.4)	—	—	1 (0.2)	—	—	1 (1.7)	5 (0.2)
(1)(2)(3)	1 (0.1)	—	—	1 (0.2)	—	—	—	2 (0.1)
(4)	506 (67.7)	410 (67.3)	370 (57.4)	131 (30.8)	162 (54.9)	121 (69.5)	37 (62.7)	1737 (58.8)
(1) (4)	5 (0.7)	3 (0.5)	4 (0.6)	3 (0.7)	1 (0.3)	—	2 (3.4)	18 (0.6)
(2) (4)	5 (0.7)	3 (0.5)	4 (0.6)	5 (1.2)	4 (1.4)	—	2 (3.4)	23 (0.8)
(1)(2) (4)	—	—	—	—	—	—	1 (1.7)	1 (0.0)
(3)(4)	34 (4.6)	30 (4.9)	29 (4.5)	24 (5.6)	6 (2.0)	5 (2.9)	4 (6.8)	132 (4.5)
(1) (3)(4)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)(4)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-15 38. サソイアワセル (誘・合)

(1)誘合せて (2)誘合わせて (3)誘い合せて (4)誘い合わせて

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	6 (0.8)	—	—	5 (1.2)	3 (1.0)	4 (2.3)	1 (1.7)	19 (0.6)
(1)	12 (1.6)	4 (0.7)	7 (1.1)	26 (6.1)	8 (2.7)	5 (2.9)	1 (1.7)	63 (2.1)
(2)	38 (5.1)	19 (3.1)	14 (2.2)	26 (6.1)	13 (4.4)	5 (2.9)	—	115 (3.9)
(1)(2)	1 (0.3)	—	1 (0.2)	3 (0.7)	—	—	—	5 (0.2)
(3)	224 (30.0)	179 (29.4)	273 (42.3)	286 (67.1)	135 (45.8)	71 (40.8)	15 (25.4)	1183 (40.0)
(1)(3)	2 (0.3)	—	2 (0.3)	3 (0.7)	3 (1.0)	—	—	10 (0.3)
(2)(3)	3 (0.4)	2 (0.3)	1 (0.2)	1 (0.2)	—	—	—	7 (0.2)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	1 (1.7)	1 (0.0)
(4)	407 (54.5)	371 (60.9)	320 (49.6)	65 (15.3)	123 (41.7)	84 (48.3)	37 (62.7)	1407 (47.6)
(1)(4)	2 (0.3)	—	1 (0.2)	2 (0.5)	1 (0.3)	—	1 (1.7)	7 (0.2)
(2)(4)	5 (0.7)	2 (0.3)	1 (0.2)	1 (0.2)	—	—	—	9 (0.3)
(1)(2)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—
(3)(4)	45 (6.0)	32 (5.3)	24 (3.7)	8 (1.9)	9 (3.1)	5 (2.9)	2 (3.4)	125 (4.2)
(1)(3)(4)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)(4)	—	—	1 (0.2)	—	—	—	1 (1.7)	2 (0.1)
(1)(2)(3)(4)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)

表47-16 8. ムカイアウ (向・合)

(1)向合って (2)向い合って (3)向かい合って

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	6 (0.8)	1 (0.2)	1 (0.2)	4 (0.9)	2 (0.7)	2 (1.1)	2 (3.4)	18 (0.6)
(1)	22 (2.9)	12 (2.0)	14 (2.2)	38 (8.9)	12 (4.1)	6 (3.4)	—	104 (3.5)
(2)	478 (64.0)	408 (67.0)	528 (81.9)	329 (77.2)	228 (77.3)	112 (64.4)	28 (47.5)	2111 (71.4)
(1)(2)	10 (1.3)	6 (1.0)	11 (1.7)	6 (1.4)	2 (0.7)	—	—	35 (1.2)
(3)	205 (27.4)	165 (27.1)	77 (11.9)	41 (9.6)	49 (16.6)	53 (30.5)	24 (40.7)	614 (20.8)
(1)(3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	25 (3.3)	17 (2.8)	14 (2.2)	8 (1.9)	2 (0.7)	1 (0.6)	5 (8.5)	72 (2.4)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-17 33. ウマレカワル（生・変）

(1)生変わる(2)生れ変わる(3)生れ変わる(4)生まれ変わる(5)生まれ変わる

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	5 (0.7)	—	—	4 (0.9)	2 (0.7)	2 (1.1)	1 (1.7)	14 (0.5)
(1)	3 (0.4)	1 (0.2)	—	4 (0.9)	3 (1.0)	—	—	11 (0.4)
(2)	72 (9.6)	58 (9.5)	133 (20.6)	164 (38.5)	72 (24.4)	33 (19.0)	5 (8.5)	537 (18.2)
(1)(2)	—	—	—	—	1 (0.3)	—	—	1 (0.0)
(3)	100 (13.4)	103 (16.9)	118 (18.3)	85 (20.0)	69 (23.4)	23 (13.2)	12 (20.3)	510 (17.3)
(2)(3)	7 (0.9)	8 (1.3)	6 (0.9)	9 (2.1)	2 (0.7)	1 (0.6)	—	33 (1.1)
(4)	116 (15.5)	105 (17.2)	129 (20.0)	88 (20.7)	59 (20.0)	26 (14.9)	2 (3.4)	525 (17.8)
(2)(4)	14 (1.9)	13 (2.1)	24 (3.7)	9 (2.1)	2 (0.7)	3 (1.7)	1 (1.7)	66 (2.2)
(3)(4)	3 (0.4)	2 (0.3)	4 (0.6)	2 (0.5)	3 (1.0)	1 (0.6)	1 (1.7)	16 (0.5)
(2)(3)(4)	2 (0.3)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	3 (0.1)
(5)	342 (45.8)	286 (47.0)	198 (30.7)	53 (12.4)	73 (24.7)	84 (48.3)	28 (47.5)	1064 (36.0)
(1)(5)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(5)	7 (0.9)	4 (0.7)	2 (0.3)	1 (0.2)	3 (1.0)	—	1 (1.7)	18 (0.6)
(3)(5)	38 (5.1)	13 (2.1)	18 (2.8)	5 (1.2)	2 (0.7)	1 (0.6)	4 (6.8)	81 (2.7)
(1)(3)(5)	2 (0.3)	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(2)(3)(5)	1 (0.1)	—	1 (0.2)	—	—	—	2 (3.4)	4 (0.1)
(4)(5)	29 (3.9)	14 (2.3)	9 (1.4)	2 (0.5)	3 (1.0)	—	—	57 (1.9)
(2)(4)(5)	—	—	1 (0.2)	—	—	—	—	1 (0.0)
(3)(4)(5)	2 (0.3)	1 (0.2)	2 (0.3)	—	1 (0.3)	—	—	6 (0.2)
(2)(3)(4)(5)	3 (0.4)	—	—	—	—	—	2 (3.4)	5 (0.2)

表47-18 44. ウカビアガル（浮・上）

(1)浮上がる(2)浮び上る(3)浮び上がる(4)浮かび上る(5)浮かび上がる

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	5 (0.7)	—	—	3 (0.7)	5 (1.7)	5 (2.9)	1 (1.7)	19 (0.6)
(1)	14 (1.9)	3 (0.5)	4 (0.6)	17 (4.0)	3 (1.0)	3 (1.7)	—	44 (1.5)
(2)	139 (18.6)	103 (16.9)	163 (25.3)	188 (44.1)	86 (29.2)	42 (24.1)	10 (16.9)	731 (24.7)
(1)(2)	2 (0.3)	—	—	1 (0.2)	1 (0.3)	—	—	4 (0.1)
(3)	274 (36.7)	247 (40.6)	271 (42.0)	133 (31.2)	115 (39.0)	59 (33.9)	12 (20.3)	1111 (37.6)
(1) (3)	4 (0.5)	—	3 (0.5)	—	—	—	—	7 (0.2)
(2)(3)	31 (4.1)	25 (4.1)	25 (3.9)	9 (2.1)	6 (2.0)	2 (1.1)	3 (5.1)	101 (3.4)
(4)	51 (6.8)	51 (8.4)	60 (9.3)	37 (8.7)	26 (8.8)	15 (8.6)	1 (1.7)	241 (8.2)
(1) (4)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2) (4)	13 (1.7)	5 (0.8)	5 (0.8)	3 (0.7)	—	—	1 (1.7)	27 (0.9)
(3)(4)	2 (0.3)	3 (0.5)	3 (0.5)	2 (0.5)	—	—	—	10 (0.3)
(2)(3)(4)	1 (0.1)	—	—	—	2 (0.7)	—	—	3 (0.1)
(5)	161 (21.6)	148 (24.3)	90 (14.0)	32 (7.5)	45 (15.3)	46 (26.4)	27 (45.8)	549 (18.6)
(1) (5)	1 (0.1)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(2) (5)	3 (0.4)	2 (0.3)	3 (0.5)	—	—	—	1 (1.7)	9 (0.3)
(3) (5)	26 (3.5)	14 (2.3)	10 (1.6)	1 (0.2)	4 (1.4)	—	1 (1.7)	56 (1.9)
(1) (3) (5)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3) (5)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	1 (1.7)	2 (0.1)
(4)(5)	11 (1.5)	6 (1.0)	5 (0.8)	—	2 (0.7)	2 (1.1)	1 (1.7)	27 (0.9)
(2) (4)(5)	2 (0.3)	1 (0.2)	1 (0.2)	—	—	—	—	4 (0.1)
(3)(4)(5)	1 (0.1)	—	1 (0.2)	—	—	—	—	2 (0.1)
(2)(3)(4)(5)	3 (0.4)	—	1 (0.2)	—	—	—	—	4 (0.1)

表47-19 27. トナリ (隣)

	(1)隣			(2)隣り		(3)隣なり		
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	7 (0.9)	—	1 (0.2)	5 (1.2)	2 (0.7)	2 (1.1)	2 (3.4)	19 (0.6)
(1)	171 (22.9)	180 (29.6)	243 (37.7)	176 (41.3)	100 (33.9)	98 (56.3)	25 (42.4)	993 (33.6)
(2)	446 (59.7)	378 (62.1)	359 (55.7)	223 (52.4)	181 (61.4)	69 (39.7)	25 (42.4)	1681 (56.9)
(1)(2)	30 (4.0)	41 (6.7)	37 (5.7)	12 (2.8)	5 (1.7)	2 (1.1)	7 (11.9)	134 (4.5)
(3)	84 (11.2)	7 (1.1)	2 (0.3)	10 (2.3)	7 (2.4)	3 (1.7)	—	113 (3.8)
(1) (3)	2 (0.3)	2 (0.3)	1 (0.2)	—	—	—	—	5 (0.2)
(2)(3)	7 (0.9)	1 (0.2)	2 (0.3)	—	—	—	—	10 (0.3)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-20 20. オタガイ (互)

	(1)お互に			(2)お互いに		(3)お互がいに		
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	4 (0.5)	1 (0.2)	—	2 (0.5)	3 (1.0)	4 (2.3)	2 (3.4)	16 (0.5)
(1)	128 (17.1)	79 (13.0)	142 (22.0)	156 (36.6)	61 (20.7)	51 (29.3)	9 (15.3)	626 (21.2)
(2)	536 (71.8)	494 (81.1)	481 (74.6)	248 (58.2)	220 (74.6)	118 (67.8)	42 (71.2)	2139 (72.4)
(1)(2)	15 (2.0)	21 (3.4)	22 (3.4)	10 (2.3)	6 (2.0)	—	6 (10.2)	80 (2.7)
(3)	52 (7.0)	12 (2.0)	—	9 (2.1)	4 (1.4)	1 (0.6)	—	78 (2.6)
(1) (3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	10 (1.3)	2 (0.3)	—	1 (0.2)	1 (0.3)	—	—	14 (0.5)
(1)(2)(3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)

表47-21 30. サイワイ (幸)

	(1)幸			(2)幸い		(3)幸わい		
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	6 (0.8)	1 (0.2)	—	4 (0.9)	4 (1.4)	2 (1.1)	1 (1.7)	18 (0.6)
(1)	89 (11.9)	50 (8.2)	64 (9.9)	79 (18.5)	29 (9.8)	38 (21.8)	7 (11.9)	356 (12.0)
(2)	485 (64.9)	514 (84.4)	544 (84.3)	320 (75.1)	240 (81.4)	123 (70.7)	48 (81.4)	2274 (77.0)
(1)(2)	12 (1.6)	9 (1.5)	12 (1.9)	9 (2.1)	1 (0.3)	1 (0.6)	2 (3.4)	46 (1.6)
(3)	142 (19.0)	24 (3.9)	23 (3.6)	13 (3.1)	20 (6.8)	8 (4.6)	1 (1.7)	231 (7.8)
(1) (3)	3 (0.4)	—	—	—	—	—	—	3 (0.1)
(2)(3)	9 (1.2)	10 (1.6)	2 (0.3)	1 (0.2)	1 (0.3)	2 (1.1)	—	25 (0.8)
(1)(2)(3)	1 (0.1)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	2 (0.1)

表47-22 39. ナサケ (情)

	(1)情			(2)情け		(3)情さけ		
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	10 (1.3)	1 (0.2)	—	4 (0.9)	5 (1.7)	4 (2.3)	1 (1.7)	25 (0.8)
(1)	165 (22.1)	119 (19.5)	224 (34.7)	114 (26.8)	65 (22.0)	64 (36.8)	13 (22.0)	764 (25.9)
(2)	481 (64.4)	468 (76.8)	382 (59.2)	292 (68.5)	208 (70.5)	100 (57.5)	42 (71.2)	1973 (66.8)
(1)(2)	20 (2.7)	15 (2.5)	35 (5.4)	3 (0.7)	5 (1.7)	1 (0.6)	3 (5.1)	82 (2.8)
(3)	64 (8.6)	5 (0.8)	3 (0.5)	10 (2.3)	12 (4.1)	5 (2.9)	—	99 (3.4)
(1) (3)	—	—	—	1 (0.2)	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	7 (0.9)	1 (0.2)	1 (0.2)	2 (0.5)	—	—	—	11 (0.4)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-23 7. ウシロガワ（後・側）

	(1)後側		(2)後ろ側		(3)後しろ側			
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	6 (0.8)	2 (0.3)	—	4 (0.9)	5 (1.7)	3 (1.7)	2 (3.4)	22 (0.7)
(1)	144 (19.3)	187 (30.7)	362 (56.1)	199 (46.7)	122 (41.4)	62 (35.6)	22 (37.3)	1098 (37.2)
(2)	519 (69.5)	380 (62.4)	251 (38.9)	195 (45.8)	147 (49.8)	103 (59.2)	28 (47.5)	1623 (54.9)
(1)(2)	31 (4.1)	18 (3.0)	24 (3.7)	3 (0.7)	5 (1.7)	2 (1.1)	7 (11.9)	90 (3.0)
(3)	44 (5.9)	20 (3.3)	8 (1.2)	24 (5.6)	15 (5.1)	3 (1.7)	—	114 (3.9)
(1) (3)	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)(3)	3 (0.4)	2 (0.3)	—	1 (0.2)	1 (0.3)	1 (0.6)	—	8 (0.3)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-24 17. ワリ（割）

	(1)割		(2)割り					
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	5 (0.7)	1 (0.2)	—	3 (0.7)	3 (1.0)	5 (2.9)	2 (3.4)	19 (0.6)
(1)	308 (41.2)	265 (43.5)	333 (51.6)	174 (40.8)	94 (31.9)	76 (43.7)	26 (44.1)	1276 (43.2)
(2)	417 (55.8)	329 (54.0)	303 (47.0)	246 (57.7)	196 (66.4)	93 (53.4)	26 (44.1)	1610 (54.5)
(1)(2)	17 (2.3)	14 (2.3)	9 (1.4)	3 (0.7)	2 (0.7)	—	5 (8.5)	50 (1.7)

表47-25 21. マツリ（祭）

	(1)祭		(2)祭り					
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	5 (0.7)	—	—	2 (0.5)	3 (1.0)	3 (1.7)	1 (1.7)	14 (0.5)
(1)	148 (19.8)	218 (35.8)	312 (48.4)	241 (56.6)	122 (41.4)	104 (59.8)	30 (50.8)	1175 (39.8)
(2)	564 (75.5)	357 (58.6)	302 (46.8)	175 (41.1)	166 (56.3)	65 (37.4)	22 (37.3)	1651 (55.9)
(1)(2)	30 (4.0)	34 (5.6)	31 (4.8)	8 (1.9)	4 (1.4)	2 (1.1)	6 (10.2)	115 (3.9)

表47-26 3. イキオイ (勢)

	(1)勢			(2)勢い		(3)勢おい		
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	6 (0.8)	—	—	4 (0.9)	3 (1.0)	2 (1.1)	3 (5.1)	18 (0.6)
(1)	48 (6.4)	29 (4.8)	44 (6.8)	38 (8.9)	31 (10.5)	33 (19.0)	8 (13.6)	231 (7.8)
(2)	603 (80.7)	557 (91.5)	581 (90.1)	343 (80.5)	232 (78.6)	133 (76.4)	42 (71.2)	2491 (84.3)
(1)(2)	5 (0.7)	3 (0.5)	6 (0.9)	5 (1.2)	3 (1.0)	—	4 (6.8)	26 (0.9)
(3)	79 (10.6)	19 (3.1)	12 (1.9)	35 (8.2)	25 (8.5)	5 (2.9)	2 (3.4)	177 (6.0)
(1)(3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	5 (0.7)	1 (0.2)	2 (0.3)	1 (0.2)	1 (0.3)	1 (0.6)	—	11 (0.4)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-27 35. ハレ (晴)

	(1)晴			(2)晴れ				
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	5 (0.7)	1 (0.2)	—	5 (1.2)	3 (1.0)	4 (2.3)	1 (1.7)	19 (0.6)
(1)	84 (11.2)	107 (17.6)	187 (29.0)	224 (52.6)	119 (40.3)	74 (42.5)	11 (18.6)	806 (27.3)
(2)	625 (83.7)	459 (75.4)	420 (65.1)	188 (44.1)	168 (56.9)	93 (53.4)	39 (66.1)	1992 (67.4)
(1)(2)	33 (4.4)	42 (6.9)	38 (5.9)	9 (2.1)	5 (1.7)	3 (1.7)	8 (13.6)	138 (4.7)

表47-28 22. オコナイ (行)

	(1)行			(2)行い		(3)行ない		
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	6 (0.8)	—	1 (0.2)	7 (1.6)	2 (0.7)	7 (4.0)	2 (3.4)	25 (0.8)
(1)	18 (2.4)	6 (1.0)	6 (0.9)	19 (4.5)	5 (1.7)	10 (5.7)	—	64 (2.2)
(2)	222 (29.7)	254 (41.7)	380 (58.9)	202 (47.4)	87 (29.5)	70 (40.2)	10 (16.9)	1225 (41.5)
(1)(2)	2 (0.3)	—	—	1 (0.2)	1 (0.3)	—	—	4 (0.1)
(3)	478 (64.0)	335 (55.0)	229 (35.5)	187 (43.9)	193 (65.4)	87 (50.0)	43 (72.9)	1552 (52.5)
(1)(3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	20 (2.7)	14 (2.3)	29 (4.5)	10 (2.3)	7 (2.4)	—	3 (5.1)	83 (2.8)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	1 (1.7)	1 (0.0)

表47-29 34. コトワリ (断)

	(1)断			(2)断り		(3)断わり		
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	5 (0.7)	1 (0.2)	1 (0.2)	5 (1.2)	2 (0.7)	4 (2.3)	2 (3.4)	20 (0.7)
(1)	17 (2.3)	2 (0.3)	3 (0.5)	6 (1.4)	—	2 (1.1)	—	30 (1.0)
(2)	228 (30.5)	246 (40.4)	393 (60.9)	284 (66.7)	160 (54.2)	77 (44.3)	30 (50.8)	1418 (48.0)
(1)(2)	2 (0.3)	1 (0.2)	—	—	1 (0.3)	—	1 (1.7)	5 (0.2)
(3)	471 (63.1)	338 (55.5)	225 (34.9)	121 (28.4)	130 (44.1)	88 (50.6)	19 (32.2)	1392 (47.1)
(1)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)(3)	24 (3.2)	21 (3.4)	23 (3.6)	10 (2.3)	2 (0.7)	3 (1.7)	7 (11.9)	90 (3.0)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-30 5. ツギ (次)

	(1)次			(2)次ぎ				
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	7 (0.9)	—	—	2 (0.5)	3 (1.0)	2 (1.1)	2 (3.4)	16 (0.5)
(1)	696 (93.2)	596 (97.9)	629 (97.5)	398 (93.4)	277 (93.9)	164 (94.3)	54 (91.5)	2814 (95.2)
(2)	42 (5.6)	10 (1.6)	11 (1.7)	26 (6.1)	15 (5.1)	8 (4.6)	2 (3.4)	114 (3.9)
(1)(2)	2 (0.3)	3 (0.5)	5 (0.8)	—	—	—	1 (1.7)	11 (0.4)

表47-31 26. ハナシ (話)

	(1)話			(2)話し				
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	5 (0.7)	—	—	2 (0.5)	2 (0.7)	2 (1.1)	1 (1.7)	12 (0.4)
(1)	366 (49.0)	385 (63.2)	438 (67.9)	260 (61.0)	162 (54.9)	131 (75.3)	49 (83.0)	1791 (60.6)
(2)	356 (47.7)	197 (32.3)	185 (28.7)	162 (38.0)	127 (43.1)	40 (23.0)	5 (8.5)	1072 (36.3)
(1)(2)	20 (2.7)	27 (4.4)	22 (3.4)	2 (0.5)	4 (1.4)	1 (0.6)	4 (6.8)	80 (2.7)

表47-32 12. アツマリ (集)

	(1)集	(2)集り	(3)集まり	(4)集つまり				
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	4 (0.5)	1 (0.2)	—	2 (0.5)	3 (1.0)	2 (1.2)	1 (1.7)	13 (0.4)
(1)	9 (1.2)	3 (0.5)	—	6 (1.4)	2 (0.7)	1 (0.6)	—	21 (0.7)
(2)	123 (16.5)	149 (24.5)	242 (37.5)	229 (53.8)	121 (41.0)	61 (35.1)	14 (23.7)	939 (31.8)
(1)(2)	1 (0.1)	1 (0.2)	—	3 (0.7)	1 (0.3)	—	—	6 (0.2)
(3)	545 (73.0)	417 (68.5)	353 (54.7)	163 (38.3)	156 (52.9)	108 (62.1)	38 (64.4)	1780 (60.2)
(1) (3)	3 (0.4)	3 (0.4)	2 (0.3)	—	—	—	—	8 (0.3)
(2)(3)	35 (4.7)	32 (5.3)	46 (7.1)	12 (2.8)	8 (2.7)	2 (1.2)	5 (8.5)	140 (4.7)
(1)(2)(3)	2 (0.3)	—	1 (0.2)	—	—	—	1 (1.7)	4 (0.1)
(4)	17 (2.3)	1 (0.2)	1 (0.2)	6 (1.4)	4 (1.4)	—	—	29 (1.0)
(1) (4)	—	—	—	—	—	—	—	—
(2) (4)	—	—	—	3 (0.7)	—	—	—	3 (0.1)
(1)(2) (4)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(3)(4)	7 (0.9)	1 (0.2)	—	2 (0.5)	—	—	—	10 (0.3)
(1) (3)(4)	—	1 (0.2)	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-33 31. オコリ (起)

	(1)起	(2)起り	(3)起こり					
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	6 (0.8)	1 (0.2)	—	2 (0.5)	3 (1.0)	3 (1.7)	1 (1.7)	16 (0.5)
(1)	21 (2.8)	5 (0.8)	—	5 (1.2)	4 (1.4)	4 (2.3)	—	39 (1.3)
(2)	352 (47.1)	306 (50.2)	451 (69.9)	351 (82.4)	210 (71.2)	102 (58.6)	25 (42.4)	1797 (60.8)
(1)(2)	5 (0.7)	2 (0.3)	—	1 (0.2)	1 (0.3)	—	—	9 (0.3)
(3)	341 (45.6)	278 (45.6)	177 (27.4)	65 (15.3)	71 (24.1)	64 (36.8)	26 (44.1)	1022 (34.6)
(1) (3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	21 (2.8)	17 (2.8)	17 (2.6)	2 (0.5)	6 (2.0)	1 (0.6)	7 (11.9)	71 (2.4)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-34 37. オワリ (終)

	(1)終	(2)終り	(3)終わり					
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	7 (0.9)	—	1 (0.2)	4 (0.9)	2 (0.7)	6 (3.5)	1 (1.7)	21 (0.7)
(1)	19 (2.5)	11 (1.8)	14 (2.2)	35 (8.2)	7 (2.4)	10 (5.7)	—	96 (3.3)
(2)	292 (39.1)	312 (51.2)	500 (77.5)	348 (81.7)	227 (76.9)	90 (51.7)	37 (62.7)	1806 (61.1)
(1)(2)	8 (1.1)	1 (0.2)	4 (0.6)	4 (0.9)	4 (1.4)	1 (0.6)	2 (3.4)	24 (0.8)
(3)	384 (51.4)	239 (39.2)	105 (16.3)	31 (7.3)	50 (16.9)	66 (37.9)	16 (27.1)	891 (30.2)
(1)(3)	6 (0.8)	4 (0.7)	—	—	—	—	—	10 (0.3)
(2)(3)	26 (3.5)	39 (6.4)	21 (3.3)	4 (0.9)	5 (1.7)	1 (0.6)	3 (5.1)	99 (3.4)
(1)(2)(3)	5 (0.7)	3 (0.5)	—	—	—	—	—	8 (0.3)

表47-35 15. オオウリダシ (大・売・出)

	(1)大売出	(2)大売出し	(3)大売り出	(4)大売り出し				
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	5 (0.7)	—	—	2 (0.5)	2 (0.7)	3 (1.7)	1 (1.7)	13 (0.4)
(1)	13 (1.7)	3 (0.5)	1 (0.2)	18 (4.2)	4 (1.4)	3 (1.7)	—	42 (1.4)
(2)	114 (15.3)	130 (21.3)	180 (27.9)	226 (53.1)	116 (39.3)	58 (33.3)	23 (39.0)	847 (28.7)
(1)(2)	4 (0.5)	1 (0.2)	—	—	2 (0.7)	—	—	7 (0.2)
(3)	29 (3.9)	3 (0.5)	4 (0.6)	7 (1.6)	3 (1.0)	1 (0.6)	—	47 (1.6)
(1)(3)	3 (0.4)	—	1 (0.2)	—	—	—	—	4 (0.1)
(2)(3)	3 (0.4)	—	—	2 (0.5)	2 (0.7)	—	—	7 (0.2)
(1)(2)(3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(4)	509 (68.1)	398 (65.4)	395 (61.2)	146 (34.3)	154 (52.2)	104 (59.8)	27 (45.8)	1733 (58.6)
(1)(4)	4 (0.5)	—	—	—	—	—	—	4 (0.1)
(2)(4)	53 (7.1)	73 (12.0)	63 (9.8)	25 (5.9)	12 (4.1)	5 (2.9)	8 (13.6)	239 (8.1)
(1)(2)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—
(3)(4)	8 (1.1)	1 (0.2)	1 (0.2)	—	—	—	—	10 (0.3)
(1)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)(3)(4)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-36 25. ワライイ (割・合)

	(1)割合			(2)割合い		(3)割り合		(4)割り合い
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	4 (0.5)	—	1 (0.2)	4 (0.9)	4 (1.4)	2 (1.1)	1 (1.7)	16 (0.5)
(1)	198 (26.5)	225 (37.0)	274 (42.5)	163 (38.3)	90 (30.5)	61 (35.1)	27 (45.8)	1038 (35.1)
(2)	135 (18.1)	156 (25.6)	155 (24.0)	148 (34.7)	88 (29.8)	47 (27.1)	13 (22.0)	742 (25.1)
(1)(2)	8 (1.1)	16 (2.6)	22 (3.4)	10 (2.3)	4 (1.4)	4 (2.3)	2 (3.4)	66 (2.2)
(3)	93 (12.4)	42 (6.9)	28 (4.3)	44 (10.3)	16 (5.4)	11 (6.3)	2 (3.4)	236 (8.0)
(1) (3)	9 (1.2)	6 (1.0)	7 (1.1)	5 (1.2)	2 (0.7)	1 (0.6)	—	30 (1.0)
(2)(3)	4 (0.5)	—	—	1 (0.2)	1 (0.3)	—	—	6 (0.2)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—
(4)	241 (32.3)	123 (20.2)	124 (19.2)	45 (10.6)	74 (25.1)	47 (27.0)	10 (16.9)	664 (22.5)
(1) (4)	15 (2.0)	21 (3.4)	17 (2.6)	1 (0.2)	1 (0.3)	1 (0.6)	1 (1.7)	57 (1.9)
(2) (4)	27 (3.6)	15 (2.5)	16 (2.5)	2 (0.5)	13 (4.4)	—	3 (5.1)	76 (2.6)
(1)(2) (4)	—	—	—	—	—	—	—	—
(3)(4)	9 (1.2)	2 (0.3)	1 (0.2)	3 (0.7)	1 (0.3)	—	—	16 (0.5)
(1) (3)(4)	1 (0.1)	—	—	—	1 (0.3)	—	—	2 (0.1)
(2)(3)(4)	2 (0.3)	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(1)(2)(3)(4)	1 (0.1)	3 (0.5)	—	—	—	—	—	4 (0.1)

表47-37 29. ハライサゲ (払・下)

	(1)払下			(2)払下げ		(3)払い下		(4)払い下げ
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	5 (0.7)	—	—	2 (0.5)	2 (0.7)	2 (1.1)	1 (1.7)	12 (0.4)
(1)	13 (1.7)	4 (0.7)	5 (0.8)	37 (8.7)	6 (2.0)	9 (5.2)	—	74 (2.5)
(2)	33 (4.4)	57 (9.4)	90 (14.0)	163 (38.3)	76 (25.8)	33 (19.0)	8 (13.6)	460 (15.6)
(1)(2)	—	3 (0.5)	1 (0.2)	2 (0.5)	1 (0.3)	—	—	7 (0.2)
(3)	61 (8.2)	18 (3.0)	8 (1.2)	29 (6.8)	7 (2.4)	6 (3.4)	—	129 (4.4)
(1)(3)	9 (1.2)	—	—	—	—	—	—	9 (0.3)
(2)(3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—
(4)	577 (77.2)	484 (79.5)	492 (76.3)	170 (39.9)	191 (64.7)	121 (69.5)	42 (71.2)	2077 (70.3)
(1)(4)	3 (0.4)	1 (0.2)	4 (0.6)	2 (0.5)	—	1 (0.6)	—	11 (0.4)
(2)(4)	37 (5.0)	40 (6.6)	44 (6.8)	19 (4.5)	12 (4.1)	2 (1.1)	7 (11.9)	161 (5.4)
(1)(2)(4)	—	—	—	—	—	—	1 (1.7)	1 (0.0)
(3)(4)	8 (1.1)	2 (0.3)	1 (0.2)	2 (0.5)	—	—	—	13 (0.4)
(1)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-38 24. クミアワセ（組・合）

(1)組合せ (2)組合わせ (3)組み合わせ (4)組み合わせ

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	4 (0.5)	2 (0.3)	2 (0.3)	3 (0.7)	2 (0.7)	3 (1.7)	1 (1.7)	17 (0.6)
(1)	97 (13.0)	139 (22.8)	196 (30.4)	218 (51.2)	100 (33.9)	43 (24.7)	10 (16.9)	803 (27.2)
(2)	153 (20.7)	113 (18.6)	98 (15.2)	60 (14.1)	33 (11.2)	34 (19.5)	5 (8.5)	496 (16.8)
(1)(2)	9 (1.2)	6 (1.0)	9 (1.4)	9 (2.1)	2 (0.7)	1 (0.6)	1 (1.7)	37 (1.3)
(3)	93 (12.4)	72 (11.8)	125 (19.4)	68 (16.0)	43 (14.6)	17 (9.8)	4 (6.8)	422 (14.3)
(1) (3)	13 (1.7)	15 (2.5)	24 (3.7)	11 (2.6)	8 (2.7)	1 (0.6)	2 (3.4)	74 (2.5)
(2)(3)	1 (0.1)	1 (0.2)	1 (0.2)	1 (0.2)	2 (0.7)	—	—	6 (0.2)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—
(4)	308 (41.2)	213 (35.0)	153 (23.7)	47 (11.0)	93 (31.5)	66 (37.9)	26 (44.1)	906 (30.7)
(1) (4)	9 (1.2)	14 (2.3)	9 (1.4)	3 (0.7)	1 (0.3)	2 (1.1)	3 (5.1)	41 (1.4)
(2) (4)	38 (5.1)	23 (3.8)	13 (2.0)	2 (0.5)	6 (2.0)	6 (3.4)	3 (5.1)	91 (3.1)
(1)(2) (4)	—	1 (0.2)	—	—	1 (0.3)	—	1 (1.7)	3 (0.1)
(3)(4)	13 (1.7)	5 (0.8)	14 (2.2)	4 (0.9)	4 (1.4)	1 (0.6)	2 (3.4)	43 (1.5)
(1) (3)(4)	3 (0.4)	3 (0.5)	—	—	—	—	1 (1.7)	7 (0.2)
(2)(3)(4)	3 (0.4)	1 (0.2)	1 (0.2)	—	—	—	—	5 (0.2)
(1)(2)(3)(4)	3 (0.4)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	4 (0.1)

表47-39 40. モウシアワセジコウ (申・合・事・項)

(1)申合事項 (2)申合せ事項 (3)申し合せ事項 (4)申し合わせ事項

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	5 (0.7)	—	—	5 (1.2)	3 (1.0)	4 (2.3)	1 (1.7)	18 (0.6)
(1)	7 (0.9)	2 (0.3)	3 (0.5)	45 (10.6)	11 (3.7)	11 (6.3)	1 (1.7)	80 (2.7)
(2)	47 (6.3)	35 (5.7)	67 (10.4)	127 (29.8)	47 (15.9)	30 (17.2)	7 (11.9)	360 (12.2)
(1)(2)	1 (0.1)	2 (0.3)	2 (0.3)	4 (0.9)	1 (0.3)	1 (0.6)	—	11 (0.4)
(3)	125 (16.7)	144 (23.6)	233 (36.1)	137 (32.2)	83 (28.1)	29 (16.7)	6 (10.2)	757 (25.6)
(1) (3)	1 (0.1)	—	1 (0.2)	—	2 (0.7)	—	—	4 (0.1)
(2)(3)	3 (0.4)	7 (1.1)	12 (1.9)	6 (1.4)	4 (1.4)	—	2 (3.4)	34 (1.2)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—
(4)	507 (67.9)	382 (62.7)	300 (46.5)	91 (21.4)	132 (44.7)	96 (55.2)	34 (57.6)	1542 (52.2)
(1) (4)	2 (0.3)	—	—	—	—	1 (0.6)	—	3 (0.1)
(2) (4)	8 (1.1)	6 (1.0)	4 (0.6)	3 (0.7)	3 (1.0)	—	3 (5.1)	27 (0.9)
(1)(2) (4)	—	—	—	—	—	—	1 (1.7)	1 (0.0)
(3)(4)	39 (5.2)	31 (5.1)	23 (3.6)	8 (1.9)	7 (2.4)	2 (1.1)	3 (5.1)	113 (3.8)
(1) (3)(4)	—	—	—	—	1 (0.3)	—	—	1 (0.0)
(2)(3)(4)	2 (0.3)	—	—	—	1 (0.3)	—	1 (1.7)	4 (0.1)
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-40 41. ウケツケガカリ (受・付・係)

その1

	(1)受付係 (5)受け付け係	(2)受付係り (6)受け付け係り	(3)受け係 (7)受け付け係	(4)受け係り (8)受け付け係り				
	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	6 (0.8)	—	—	3 (0.7)	6 (2.0)	5 (2.9)	1 (1.7)	21 (0.7)
(1)	101 (13.5)	141 (23.2)	222 (34.4)	219 (51.4)	144 (48.8)	61 (35.1)	26 (44.1)	914 (30.9)
(2)	69 (9.2)	70 (11.5)	78 (12.1)	58 (13.6)	30 (10.2)	23 (13.2)	4 (6.8)	332 (11.2)
(1)(2)	8 (1.1)	14 (2.3)	22 (3.4)	15 (3.5)	3 (1.0)	2 (1.1)	5 (8.5)	69 (2.3)
(3)	71 (9.5)	85 (14.0)	91 (14.1)	34 (8.0)	29 (9.8)	18 (10.3)	3 (5.1)	331 (11.2)
(1) (3)	8 (1.1)	18 (3.0)	29 (4.5)	9 (2.1)	3 (1.0)	1 (0.6)	3 (5.1)	71 (2.4)
(2)(3)	1 (0.1)	4 (0.7)	4 (0.6)	8 (1.9)	—	—	1 (1.7)	18 (0.6)
(1)(2)(3)	3 (0.4)	—	4 (0.6)	—	1 (0.3)	—	—	8 (0.3)
(4)	63 (8.4)	63 (10.3)	42 (6.5)	28 (6.6)	19 (6.4)	17 (9.8)	4 (6.8)	236 (8.0)
(1) (4)	1 (0.1)	3 (0.5)	2 (0.3)	3 (0.7)	—	—	—	9 (0.3)
(2) (4)	8 (1.1)	4 (0.7)	6 (0.9)	2 (0.5)	1 (0.3)	—	—	21 (0.7)
(1)(2) (4)	2 (0.3)	—	—	—	—	—	1 (1.7)	3 (0.1)
(3)(4)	7 (0.9)	9 (1.5)	7 (1.1)	—	1 (0.3)	—	—	24 (0.8)
(1) (3)(4)	—	—	—	—	1 (0.3)	—	—	1 (0.0)
(2)(3)(4)	2 (0.3)	1 (0.2)	1 (0.2)	—	1 (0.3)	—	—	5 (0.2)
(1)(2)(3)(4)	1 (0.1)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(5)	29 (3.9)	19 (3.1)	20 (3.1)	16 (3.8)	3 (1.0)	1 (0.6)	—	88 (3.0)
(1) (5)	4 (0.5)	6 (1.0)	5 (0.8)	1 (0.2)	2 (0.7)	—	—	18 (0.6)
(2) (5)	3 (0.4)	1 (0.2)	1 (0.2)	—	—	—	—	5 (0.2)
(1)(2) (5)	1 (0.1)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(3) (5)	5 (0.7)	4 (0.7)	5 (0.8)	—	—	2 (1.1)	—	16 (0.5)
(1) (3) (5)	2 (0.3)	—	—	1 (0.2)	—	—	—	3 (0.1)
(2)(3) (5)	—	—	2 (0.3)	—	—	—	—	2 (0.1)
(4)(5)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(1) (4)(5)	1 (0.1)	—	1 (0.2)	—	—	—	—	2 (0.1)

表47-40 41. ウケツケガカリ (受・付・係)

その2

(1)受付係 (2)受付係り (3)受け付け係 (4)受け付け係り
 (5)受け付係 (6)受け付係り (7)受け付け係 (8)受け付け係り

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
(2) (4)(5)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(6)	26 (3.5)	11 (1.8)	9 (1.4)	3 (0.7)	2 (0.7)	4 (2.3)	—	55 (1.9)
(1) (6)	1 (0.1)	2 (0.3)	2 (0.3)	—	2 (0.7)	—	—	7 (0.2)
(2) (6)	4 (0.5)	3 (0.5)	2 (0.3)	—	—	—	—	9 (0.3)
(3) (6)	3 (0.4)	—	—	—	1 (0.3)	—	—	4 (0.1)
(2)(3) (6)	1 (0.1)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(4) (6)	2 (0.3)	1 (0.2)	—	—	1 (0.3)	—	—	4 (0.1)
(2) (4) (6)	—	1 (0.2)	—	—	1 (0.3)	—	—	2 (0.1)
(2)(3)(4) (6)	—	1 (0.2)	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(5)(6)	1 (0.1)	—	1 (0.2)	—	—	—	—	2 (0.1)
(1) (5)(6)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(3) (5)(6)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3) (5)(6)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(1)(2)(3)(4)(5)(6)	—	1 (0.2)	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(7)	100 (13.4)	53 (8.7)	25 (3.9)	12 (2.8)	24 (8.1)	14 (8.0)	4 (6.8)	232 (7.9)
(1) (7)	15 (2.0)	4 (0.7)	11 (1.7)	2 (0.5)	5 (1.7)	2 (1.1)	3 (5.1)	42 (1.4)
(2) (7)	2 (0.3)	1 (0.2)	1 (0.2)	—	1 (0.3)	—	1 (1.7)	6 (0.2)
(3) (7)	6 (0.8)	7 (1.1)	5 (0.8)	1 (0.2)	—	1 (0.6)	1 (1.7)	21 (0.7)
(1) (3) (7)	3 (0.4)	6 (1.0)	1 (0.2)	1 (0.2)	2 (0.7)	—	1 (1.7)	14 (0.5)
(4) (7)	4 (0.5)	2 (0.3)	2 (0.3)	—	—	—	—	8 (0.3)
(1) (4) (7)	—	—	1 (0.2)	2 (0.5)	—	—	—	3 (0.1)
(2) (4) (7)	1 (0.1)	2 (0.3)	—	—	—	—	—	3 (0.1)
(3)(4) (7)	3 (0.4)	—	1 (0.2)	—	—	—	—	4 (0.1)
(1) (3)(4) (7)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)(4) (7)	1 (0.1)	—	—	—	1 (0.3)	—	—	2 (0.1)
(5) (7)	3 (0.4)	2 (0.3)	2 (0.3)	—	—	—	—	7 (0.2)
(1) (5) (7)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)

表47-40 41. ウケツケガカリ (受・付・係)

その3

(1)受付係 (2)受付係り (3)受け係 (4)受け係り
 (5)受け付係 (6)受け付係り (7)受け付け係 (8)受け付け係り

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
(3) (5) (7)	3 (0.4)	—	—	—	—	—	—	3 (0.1)
(1) (3) (5) (7)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3) (5) (7)	—	1 (0.2)	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(1) (3)(4)(5) (7)	2 (0.3)	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(6)(7)	2 (0.3)	1 (0.2)	—	1 (0.2)	—	—	—	4 (0.1)
(3) (6)(7)	—	1 (0.2)	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(4) (6)(7)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(8)	77 (10.3)	35 (5.7)	27 (4.2)	5 (1.2)	5 (1.7)	19 (10.9)	—	168 (5.7)
(1) (8)	11 (1.5)	4 (0.7)	4 (0.6)	1 (0.2)	—	—	1 (1.7)	21 (0.7)
(2) (8)	2 (0.3)	3 (0.5)	—	—	—	—	—	5 (0.2)
(3) (8)	1 (0.1)	2 (0.3)	—	—	—	—	—	3 (0.1)
(1) (3) (8)	1 (0.1)	—	1 (0.2)	—	—	—	—	2 (0.1)
(4) (8)	11 (1.5)	5 (0.8)	2 (0.3)	—	2 (0.7)	1 (0.6)	—	21 (0.7)
(1) (4) (8)	—	2 (0.3)	—	—	1 (0.3)	—	—	3 (0.1)
(2) (4) (8)	5 (0.7)	1 (0.2)	1 (0.2)	—	1 (0.3)	—	—	8 (0.3)
(3)(4) (8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)(4) (8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(5) (8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(3) (5) (8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(4)(5) (8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(6) (8)	5 (0.7)	2 (0.3)	—	—	1 (0.3)	—	—	8 (0.3)
(1) (6) (8)	—	—	—	—	—	1 (0.6)	—	1 (0.0)
(2) (6) (8)	2 (0.3)	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(3) (6) (8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(4) (6) (8)	2 (0.3)	—	1 (0.2)	—	—	1 (0.6)	—	4 (0.1)
(2) (4) (6) (8)	4 (0.5)	2 (0.3)	—	—	—	—	—	6 (0.2)
(5)(6) (8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)

表47-40 41. ウケツケガカリ (受・付・係)

その4

(1)受付係 (2)受付係り (3)受け係 (4)受け係り
 (5)受け付係 (6)受け付係り (7)受け付け係 (8)受け付け係り

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
(7)(8)	17 (2.3)	4 (0.7)	3 (0.5)	—	—	1 (0.6)	—	25 (0.8)
(1) (7)(8)	1 (0.1)	2 (0.3)	—	—	—	—	—	3 (0.1)
(2) (7)(8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(1)(2) (7)(8)	4 (0.5)	—	—	—	—	—	—	4 (0.1)
(3) (7)(8)	—	—	—	—	1 (0.3)	—	—	1 (0.0)
(1) (3) (7)(8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(4) (7)(8)	3 (0.4)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	4 (0.1)
(3)(4) (7)(8)	1 (0.1)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(1) (3)(4) (7)(8)	—	—	1 (0.2)	—	—	—	—	1 (0.0)
(6)(7)(8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(3)(4) (6)(7)(8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(5)(6)(7)(8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)	—	—	—	1 (0.2)	—	—	—	1 (0.0)

表47-41 11. ハレギ (晴・着)

(1)晴着

(2)晴れ着

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	5 (0.7)	2 (0.3)	—	3 (0.7)	4 (1.4)	4 (2.3)	1 (1.7)	19 (0.6)
(1)	208 (27.8)	183 (30.0)	262 (40.6)	280 (65.7)	138 (46.8)	84 (48.3)	30 (50.8)	1185 (40.1)
(2)	510 (68.3)	397 (65.2)	354 (54.9)	138 (32.4)	150 (50.9)	85 (48.9)	25 (42.4)	1659 (56.1)
(1)(2)	24 (3.2)	27 (4.4)	29 (4.5)	5 (1.2)	3 (1.0)	1 (0.6)	3 (5.1)	92 (3.1)

表47-42 41-1. ウケツケ～(受・付)

(1)受付～ (2)受付け～ (3)受け付～ (4)受け付け～

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	6 (0.8)	—	—	3 (0.7)	6 (2.0)	5 (2.9)	1 (1.7)	21 (0.7)
(1)	178 (23.8)	225 (36.9)	322 (49.9)	292 (68.5)	177 (60.0)	86 (49.4)	35 (59.3)	1315 (44.5)
(2)	141 (18.9)	157 (25.8)	140 (21.7)	62 (14.6)	49 (16.6)	35 (20.1)	7 (11.9)	591 (20.0)
(1)(2)	26 (3.5)	31 (5.1)	46 (7.1)	22 (5.2)	7 (2.4)	1 (0.6)	5 (8.5)	138 (4.7)
(3)	56 (7.5)	30 (4.9)	30 (4.7)	19 (4.5)	5 (1.7)	5 (2.9)	—	145 (4.9)
(1) (3)	14 (1.9)	13 (2.1)	10 (1.6)	1 (0.2)	4 (1.4)	—	—	42 (1.4)
(2)(3)	12 (1.6)	5 (0.8)	5 (0.8)	—	2 (0.7)	2 (1.1)	—	26 (0.9)
(1)(2)(3)	6 (0.8)	4 (0.7)	3 (0.5)	1 (0.2)	1 (0.3)	—	—	15 (0.5)
(4)	194 (26.0)	92 (15.1)	55 (8.5)	17 (4.0)	29 (9.8)	34 (19.5)	4 (6.8)	425 (14.4)
(1) (4)	36 (4.8)	14 (2.3)	16 (2.5)	3 (0.7)	6 (2.0)	2 (1.1)	5 (8.5)	82 (2.8)
(2) (4)	30 (4.0)	18 (3.0)	10 (1.6)	1 (0.2)	3 (1.0)	2 (1.1)	1 (1.7)	65 (2.2)
(1)(2) (4)	14 (1.9)	11 (1.8)	5 (0.8)	3 (0.7)	5 (1.7)	—	1 (1.7)	39 (1.3)
(3)(4)	14 (1.9)	5 (0.8)	2 (0.3)	1 (0.2)	1 (0.3)	—	—	23 (0.8)
(1) (3)(4)	3 (0.4)	—	—	—	—	1 (0.6)	—	4 (0.1)
(2)(3)(4)	10 (1.3)	1 (0.2)	1 (0.2)	—	—	1 (0.6)	—	13 (0.4)
(1)(2)(3)(4)	7 (0.9)	3 (0.5)	—	1 (0.2)	—	—	—	11 (0.4)

表47-43 6. アガリグチ (上・口)

(1)上口 (2)上り口 (3)上がり口

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	4 (0.5)	2 (0.3)	—	2 (0.5)	2 (0.7)	3 (1.7)	1 (1.7)	14 (0.5)
(1)	13 (1.7)	1 (0.2)	—	4 (0.9)	4 (1.4)	2 (1.1)	—	24 (0.8)
(2)	444 (59.4)	329 (54.0)	436 (67.6)	298 (70.0)	184 (62.4)	86 (49.4)	17 (28.8)	1794 (60.7)
(1)(2)	10 (1.3)	1 (0.2)	—	1 (0.2)	2 (0.7)	—	—	14 (0.5)
(3)	243 (32.5)	255 (41.9)	184 (28.5)	107 (25.1)	94 (31.9)	81 (46.6)	33 (55.9)	997 (33.7)
(1) (3)	2 (0.3)	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(2)(3)	31 (4.1)	21 (3.4)	25 (3.9)	14 (3.3)	9 (3.1)	2 (1.1)	8 (13.6)	110 (3.7)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-44 19. テツヅキ (手・続)

(1)手続

(2)手続き

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	7 (0.9)	1 (0.2)	—	3 (0.7)	2 (0.7)	3 (1.7)	1 (1.7)	17 (0.6)
(1)	103 (13.8)	47 (7.7)	78 (12.1)	167 (39.2)	63 (21.4)	42 (24.1)	8 (13.6)	508 (17.2)
(2)	627 (83.9)	551 (90.5)	553 (85.7)	249 (58.5)	227 (76.9)	128 (73.6)	45 (76.3)	2380 (80.5)
(1)(2)	10 (1.3)	10 (1.6)	14 (2.2)	7 (1.6)	3 (1.0)	1 (0.6)	5 (8.5)	50 (1.7)

表47-45 36. ヤクワリ (役・割)

(1)役割

(2)役割り

(3)役く割り

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	4 (0.5)	—	—	4 (0.9)	2 (0.7)	3 (1.7)	1 (1.7)	14 (0.5)
(1)	158 (21.2)	179 (29.4)	270 (41.9)	148 (34.7)	91 (30.8)	63 (36.2)	28 (47.5)	937 (31.7)
(2)	476 (63.7)	382 (62.7)	335 (51.9)	259 (60.8)	187 (63.4)	104 (59.8)	24 (40.7)	1767 (59.8)
(1)(2)	34 (4.6)	40 (6.6)	38 (5.9)	8 (1.9)	8 (2.7)	4 (2.3)	6 (10.2)	138 (4.7)
(3)	67 (9.0)	7 (1.1)	2 (0.3)	6 (1.4)	6 (2.0)	—	—	88 (3.0)
(1)(3)	—	—	—	1 (0.2)	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	8 (1.1)	1 (0.2)	—	—	1 (0.3)	—	—	10 (0.3)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-46 41-2. ～ガカリ (係)

(1)～係

(2)～係り

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	6 (0.8)	—	—	3 (0.7)	6 (2.0)	5 (2.9)	1 (1.7)	21 (0.7)
(1)	352 (47.1)	345 (56.7)	416 (64.5)	296 (69.5)	212 (71.9)	100 (57.5)	41 (69.5)	1762 (59.6)
(2)	280 (37.5)	201 (33.0)	168 (26.1)	96 (22.5)	63 (21.4)	65 (37.4)	8 (13.6)	881 (29.8)
(1)(2)	109 (14.6)	63 (10.3)	61 (9.5)	31 (7.3)	14 (4.8)	4 (2.3)	9 (15.3)	291 (9.8)

表47-47 9. ショウワウマレ (昭・和・生)

(1)昭和生

(2)昭和生れ

(3)昭和生まれ

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	6 (0.8)	1 (0.2)	1 (0.2)	3 (0.7)	2 (0.7)	2 (1.1)	1 (1.7)	16 (0.5)
(1)	26 (3.5)	6 (1.0)	4 (0.6)	24 (5.6)	9 (3.1)	3 (1.7)	1 (1.7)	73 (2.5)
(2)	231 (30.9)	217 (35.6)	319 (49.5)	304 (71.4)	158 (53.6)	70 (40.2)	16 (27.1)	1315 (44.5)
(1)(2)	1 (0.1)	—	1 (0.2)	4 (0.9)	1 (0.3)	—	1 (1.7)	8 (0.3)
(3)	459 (61.4)	365 (59.9)	287 (44.5)	84 (19.7)	120 (40.7)	97 (55.7)	32 (54.2)	1444 (48.9)
(1) (3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	23 (3.1)	20 (3.3)	33 (5.1)	7 (1.6)	5 (1.7)	2 (1.1)	8 (13.6)	98 (3.3)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表47-48 32. ネアガリ (値・上)

(1)値上

(2)値上り

(3)値上がり

	中学校	高 校	大 学	一 般 公務員	広報社内 報担当者	教 員	研究者	合 計
無 答	6 (0.8)	—	—	3 (0.7)	3 (1.0)	3 (1.7)	1 (1.7)	16 (0.5)
(1)	30 (4.0)	6 (1.0)	5 (0.8)	24 (5.6)	7 (2.4)	3 (1.7)	—	75 (2.5)
(2)	319 (42.7)	280 (46.0)	392 (60.8)	270 (63.4)	158 (53.6)	78 (44.8)	15 (25.4)	1512 (51.2)
(1)(2)	2 (0.3)	1 (0.2)	3 (0.5)	3 (0.7)	2 (0.7)	—	—	11 (0.4)
(3)	353 (47.3)	300 (49.3)	217 (33.6)	116 (27.2)	114 (38.6)	89 (51.1)	32 (54.2)	1221 (41.3)
(1) (3)	9 (1.2)	2 (0.3)	—	2 (0.5)	1 (0.3)	—	—	14 (0.5)
(2)(3)	27 (3.6)	19 (3.1)	28 (4.3)	8 (1.9)	10 (3.4)	1 (0.6)	11 (18.6)	104 (3.5)
(1)(2)(3)	1 (0.1)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	2 (0.1)

表48－1 45. ヤシナウ（養）

年 齢	(1)養った			(2)養なった			(3)養しなった		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	8 (0.5)	3 (0.7)	1 (0.7)	1 (0.4)	5 (2.2)	5 (2.5)	—	—	23 (0.8)
(1)	668 (40.0)	197 (48.5)	27 (19.1)	57 (24.4)	68 (29.7)	54 (27.1)	13 (22.0)	4 (22.2)	1088 (36.8)
(2)	801 (48.0)	190 (46.8)	94 (66.7)	139 (59.4)	127 (55.5)	110 (55.3)	38 (64.4)	8 (44.4)	1507 (51.0)
(1)(2)	45 (2.7)	5 (1.2)	2 (1.4)	3 (1.3)	4 (1.7)	6 (3.0)	2 (3.4)	—	67 (2.3)
(3)	132 (7.9)	10 (2.5)	17 (12.1)	30 (12.8)	24 (10.5)	20 (10.1)	6 (10.2)	4 (22.2)	243 (8.2)
(1)(3)	3 (0.2)	—	—	2 (0.9)	—	—	—	—	5 (0.2)
(2)(3)	12 (0.7)	1 (0.2)	—	2 (0.9)	1 (0.4)	4 (2.0)	—	2 (11.1)	22 (0.7)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48－2 2. アラワレル（現）

年 齢	(1)現れた			(2)現われた			(3)現らわれた		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	9 (0.5)	1 (0.2)	—	2 (0.9)	4 (1.7)	3 (1.5)	—	—	19 (0.6)
(1)	397 (23.8)	131 (32.3)	32 (22.7)	50 (21.4)	62 (27.1)	48 (24.1)	13 (22.0)	1 (5.6)	734 (24.8)
(2)	1184 (70.9)	256 (63.1)	94 (66.7)	159 (67.9)	141 (61.6)	124 (62.3)	42 (71.2)	15 (83.3)	2015 (68.2)
(1)(2)	31 (1.9)	12 (3.0)	—	5 (2.1)	4 (1.7)	3 (1.5)	2 (3.4)	—	57 (1.9)
(3)	44 (2.6)	5 (1.2)	14 (9.9)	17 (7.3)	18 (7.9)	21 (10.6)	2 (3.4)	2 (11.1)	123 (4.2)
(1)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)(3)	4 (0.2)	1 (0.2)	1 (0.7)	1 (0.4)	—	—	—	—	7 (0.2)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-3 16. コトナル (異)

年 齢	(1)異って			(2)異なっ			(3)異となっ		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	6 (0.4)	1 (0.2)	—	1 (0.4)	4 (1.7)	4 (2.0)	—	—	16 (0.5)
(1)	513 (30.7)	153 (37.7)	31 (22.0)	41 (17.5)	59 (25.8)	43 (21.6)	15 (25.4)	9 (50.0)	864 (29.2)
(2)	1088 (65.2)	237 (58.4)	108 (76.6)	188 (80.3)	155 (67.7)	145 (72.9)	41 (69.4)	7 (38.9)	1969 (66.6)
(1)(2)	37 (2.2)	14 (3.4)	1 (0.7)	1 (0.4)	5 (2.2)	3 (1.5)	1 (1.7)	—	62 (2.1)
(3)	22 (1.3)	1 (0.2)	1 (0.7)	3 (1.3)	6 (2.6)	4 (2.0)	2 (3.4)	2 (11.1)	41 (1.4)
(1) (3)	2 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(2)(3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-4 23. アラワス (表)

年 齢	(1)表した			(2)表わした			(3)表らわした		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	7 (0.4)	1 (0.2)	—	1 (0.4)	3 (1.3)	5 (2.5)	—	—	17 (0.6)
(1)	143 (8.6)	54 (13.3)	9 (6.4)	12 (5.1)	16 (7.0)	22 (11.1)	8 (13.6)	—	264 (8.9)
(2)	1409 (84.4)	327 (80.5)	112 (79.4)	183 (78.2)	184 (80.3)	150 (75.4)	43 (72.9)	17 (94.4)	2425 (82.1)
(1)(2)	19 (1.1)	11 (2.7)	4 (2.8)	3 (1.3)	2 (0.9)	3 (1.5)	1 (1.7)	—	43 (1.5)
(3)	77 (4.6)	11 (2.7)	16 (11.3)	34 (14.5)	23 (10.0)	19 (9.5)	6 (10.2)	1 (5.6)	187 (6.3)
(1) (3)	1 (0.1)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(2)(3)	13 (0.8)	1 (0.2)	—	1 (0.4)	1 (0.4)	—	1 (1.7)	—	17 (0.6)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48－5 43. オコナウ（行）

年 齢	(1)行った			(2)行なった			(3)行こなった		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	10 (0.6)	2 (0.5)	1 (0.7)	1 (0.4)	6 (2.6)	5 (2.5)	—	—	25 (0.8)
(1)	318 (19.1)	119 (29.3)	19 (13.5)	34 (14.5)	30 (13.1)	21 (10.6)	10 (17.0)	2 (11.1)	553 (18.7)
(2)	1208 (72.4)	265 (65.4)	115 (81.6)	190 (81.2)	182 (79.4)	159 (80.0)	47 (79.7)	9 (50.0)	2175 (73.6)
(1)(2)	39 (2.3)	12 (3.0)	1 (0.7)	—	2 (0.9)	3 (1.5)	1 (1.7)	1 (5.6)	59 (2.0)
(3)	83 (5.0)	8 (2.0)	5 (3.5)	7 (3.0)	9 (3.9)	9 (4.5)	1 (1.7)	6 (33.3)	128 (4.3)
(1) (3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	10 (0.6)	—	—	2 (0.9)	—	2 (1.0)	—	—	14 (0.5)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48－6 10. オワル（終）

年 齢	(1)終ます			(2)終ります			(3)終わります		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	8 (0.5)	1 (0.2)	—	2 (0.9)	5 (2.2)	3 (1.5)	—	—	19 (0.6)
(1)	37 (2.2)	4 (1.0)	4 (2.8)	3 (1.3)	7 (3.1)	5 (2.5)	3 (5.1)	1 (5.6)	64 (2.2)
(2)	797 (47.8)	333 (82.0)	116 (82.3)	178 (76.1)	160 (69.9)	137 (68.8)	39 (66.1)	8 (44.4)	1768 (59.8)
(1)(2)	8 (0.5)	1 (0.2)	—	—	2 (0.9)	1 (0.5)	—	1 (5.6)	13 (0.4)
(3)	725 (43.4)	56 (13.8)	18 (12.8)	47 (20.1)	51 (22.3)	50 (25.1)	11 (18.6)	8 (44.4)	966 (32.7)
(1) (3)	3 (0.2)	—	—	—	1 (0.4)	1 (0.5)	—	—	5 (0.2)
(2)(3)	86 (5.2)	11 (2.7)	3 (2.1)	4 (1.7)	3 (1.3)	2 (1.0)	6 (10.2)	—	115 (3.9)
(1)(2)(3)	5 (0.3)	—	—	—	—	—	—	—	5 (0.2)

表48-7 14. アワセル (合)

年 齢	(1)合て			(2)合せて			(3)合わせて		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	6 (0.4)	2 (0.5)	—	1 (0.4)	3 (1.3)	2 (1.0)	—	—	14 (0.5)
(1)	2 (0.1)	—	1 (0.7)	—	1 (0.4)	1 (0.5)	1 (1.7)	—	6 (0.2)
(2)	503 (30.1)	165 (40.6)	67 (47.5)	125 (53.4)	112 (48.9)	95 (47.7)	33 (55.9)	7 (38.9)	1107 (37.5)
(1)(2)	—	—	—	—	—	1 (0.5)	—	—	1 (0.0)
(3)	1110 (66.5)	220 (54.2)	67 (47.5)	104 (44.4)	104 (45.4)	99 (49.7)	22 (37.3)	11 (61.1)	1737 (58.8)
(1) (3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)(3)	48 (2.9)	19 (4.8)	6 (4.3)	4 (1.7)	9 (3.9)	1 (0.5)	3 (5.1)	—	90 (3.1)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-8 18. アガル (上)

年 齢	(1)上りました			(2)上がりました					
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	8 (0.5)	1 (0.2)	—	2 (0.9)	5 (2.2)	3 (1.5)	—	—	19 (0.6)
(1)	652 (39.1)	187 (46.1)	59 (41.8)	99 (42.3)	90 (39.3)	88 (44.2)	29 (49.2)	9 (50.0)	1213 (41.1)
(2)	984 (59.0)	215 (53.0)	80 (56.7)	131 (56.0)	130 (56.8)	106 (53.3)	29 (49.2)	8 (44.4)	1683 (57.0)
(1)(2)	25 (1.5)	3 (0.7)	2 (1.4)	2 (0.9)	4 (1.7)	2 (1.0)	1 (1.7)	1 (5.6)	40 (1.4)

表48-9 28. アツマル (集)

年 齢	(1)集って			(2)集まって			(3)集つまって		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	7 (0.4)	1 (0.2)	—	1 (0.4)	4 (1.7)	3 (1.5)	1 (1.7)	—	17 (0.6)
(1)	289 (17.3)	121 (29.8)	31 (22.0)	61 (26.1)	66 (28.8)	66 (33.2)	19 (32.2)	2 (11.1)	655 (22.2)
(2)	1286 (77.1)	267 (65.8)	106 (75.2)	162 (69.2)	140 (61.1)	122 (61.3)	34 (57.6)	15 (83.3)	2132 (72.2)
(1)(2)	40 (2.4)	12 (3.0)	—	2 (0.9)	8 (3.4)	2 (1.0)	2 (3.4)	1 (5.6)	67 (2.3)
(3)	38 (2.3)	5 (1.2)	4 (2.8)	8 (3.4)	10 (4.4)	5 (2.5)	3 (5.1)	—	73 (2.5)
(1) (3)	2 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(2)(3)	7 (0.4)	—	—	—	1 (0.4)	1 (0.5)	—	—	9 (0.3)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-10 42. ウマレル (生)

年 齢	(1)生る			(2)生れる		(3)生まれる			無 答	計
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～			
無 答	8 (0.5)	3 (0.7)	1 (0.7)	2 (0.9)	6 (2.6)	5 (2.5)	—	—	25 (0.8)	
(1)	8 (0.5)	—	1 (0.7)	—	2 (0.9)	3 (1.5)	2 (3.4)	1 (5.6)	17 (0.6)	
(2)	581 (34.8)	206 (50.7)	84 (59.6)	141 (60.3)	124 (54.1)	99 (49.7)	39 (66.1)	8 (44.4)	1282 (43.4)	
(1)(2)	—	—	—	—	1 (0.4)	2 (1.0)	—	—	3 (0.1)	
(3)	963 (57.7)	173 (42.6)	52 (36.9)	87 (37.2)	84 (36.7)	89 (44.7)	17 (28.8)	7 (38.9)	1472 (49.8)	
(1) (3)	—	—	—	1 (0.4)	—	—	—	—	1 (0.0)	
(2)(3)	109 (6.5)	24 (5.9)	3 (2.1)	3 (1.3)	12 (5.2)	1 (0.5)	1 (1.7)	2 (11.1)	155 (5.2)	
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

表48-11 4. ワリアテル (割・当)

(1)割当られた		(2)割当てられた		(3)割り当られた		(4)割り当てられた			
年 齢	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	4 (0.2)	1 (0.2)	1 (0.7)	1 (0.4)	3 (1.3)	3 (1.5)	1 (1.7)	—	14 (0.5)
(1)	85 (5.1)	15 (3.7)	15 (10.6)	30 (12.8)	37 (16.2)	31 (15.6)	16 (27.1)	1 (5.6)	230 (7.8)
(2)	155 (9.3)	54 (13.3)	20 (14.2)	51 (21.8)	49 (21.4)	48 (24.1)	10 (16.9)	3 (16.7)	390 (13.2)
(1)(2)	6 (0.4)	1 (0.2)	—	3 (1.3)	1 (0.4)	2 (1.0)	—	—	13 (0.4)
(3)	213 (12.8)	68 (16.8)	26 (18.4)	33 (14.1)	26 (11.4)	17 (8.5)	5 (8.5)	4 (22.2)	392 (13.3)
(1) (3)	13 (0.8)	6 (1.5)	—	3 (1.3)	1 (0.4)	1 (0.5)	—	—	24 (0.8)
(2)(3)	2 (0.1)	2 (0.5)	—	2 (0.9)	—	—	1 (1.7)	—	7 (0.2)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(4)	1074 (64.4)	228 (56.1)	75 (53.2)	97 (41.5)	102 (44.5)	90 (45.3)	22 (37.2)	8 (44.4)	1696 (57.4)
(1) (4)	10 (0.6)	4 (1.0)	1 (0.7)	1 (0.4)	—	—	1 (1.7)	1 (5.6)	18 (0.6)
(2) (4)	90 (5.4)	25 (6.2)	3 (2.1)	12 (5.1)	10 (4.4)	5 (2.5)	2 (3.4)	1 (5.6)	148 (5.0)
(1)(2) (4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(3)(4)	16 (1.0)	2 (0.5)	—	—	—	1 (0.5)	1 (1.7)	—	20 (0.7)
(1) (3)(4)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)(4)	—	—	—	1 (0.4)	—	1 (0.5)	—	—	2 (0.1)
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-12 13. ウケツケル (受・付)

年 齢	(1)受付けて			(2)受付けて			(3)受け付けて		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	5 (0.3)	1 (0.2)	1 (0.7)	2 (0.9)	6 (2.6)	2 (1.0)	—	—	17 (0.6)
(1)	222 (13.3)	43 (10.6)	20 (14.2)	21 (9.0)	24 (10.5)	32 (16.1)	10 (17.0)	3 (16.7)	375 (12.7)
(2)	710 (42.5)	194 (47.8)	65 (46.1)	141 (60.3)	132 (57.6)	103 (51.8)	35 (59.3)	7 (38.9)	1387 (46.9)
(1)(2)	28 (1.7)	5 (1.2)	—	2 (0.9)	2 (0.9)	4 (2.0)	2 (3.4)	1 (5.6)	44 (1.5)
(3)	620 (37.1)	133 (32.8)	46 (32.6)	61 (26.1)	58 (25.3)	55 (27.6)	11 (18.6)	6 (33.3)	990 (33.5)
(1) (3)	10 (0.6)	5 (1.2)	—	1 (0.4)	1 (0.4)	—	1 (1.7)	—	18 (0.6)
(2)(3)	73 (4.4)	24 (5.9)	9 (6.4)	6 (2.6)	6 (2.6)	3 (1.5)	—	1 (5.6)	122 (4.1)
(1)(2)(3)	1 (0.1)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)

表48-13 46. ウリダス (売・出)

年 齢	(1)売出た			(2)売出した			(3)売り出した		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	9 (0.5)	2 (0.5)	—	2 (0.9)	7 (3.1)	4 (2.0)	—	—	24 (0.8)
(1)	4 (0.2)	1 (0.2)	—	—	1 (0.4)	—	—	1 (5.6)	7 (0.2)
(2)	248 (14.9)	84 (20.7)	44 (31.2)	76 (32.5)	75 (32.8)	71 (35.7)	30 (50.9)	2 (11.1)	630 (21.3)
(1)(2)	1 (0.1)	—	—	—	—	1 (0.5)	—	—	2 (0.1)
(3)	1312 (78.6)	289 (71.2)	91 (64.5)	143 (61.1)	138 (60.3)	121 (60.8)	27 (45.8)	14 (77.8)	2135 (72.3)
(1) (3)	3 (0.2)	1 (0.2)	—	3 (1.3)	—	—	—	—	7 (0.2)
(2)(3)	91 (5.4)	29 (7.1)	6 (4.3)	10 (4.3)	8 (3.4)	2 (1.0)	2 (3.4)	1 (5.6)	149 (5.0)
(1)(2)(3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)

表48-14 1. モウシアワセル (申・合)

年 齢	(1)申合せ (2)申合わせ (3)申し合せ (4)申し合わせ							無 答	計
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～		
無 答	4 (0.2)	3 (0.7)	1 (0.7)	1 (0.4)	5 (2.2)	2 (1.0)	1 (1.7)	—	17 (0.6)
(1)	24 (1.1)	7 (1.7)	13 (9.2)	12 (5.1)	24 (10.5)	18 (9.0)	11 (18.6)	2 (11.1)	111 (3.8)
(2)	27 (1.6)	8 (2.0)	4 (2.8)	9 (3.8)	13 (5.7)	7 (3.5)	5 (8.5)	—	73 (2.5)
(1)(2)	2 (0.1)	1 (0.2)	—	2 (0.9)	1 (0.4)	1 (0.5)	—	—	7 (0.2)
(3)	393 (23.5)	137 (33.7)	45 (31.9)	95 (40.6)	63 (27.5)	56 (28.2)	11 (18.6)	7 (38.9)	807 (27.3)
(1) (3)	5 (0.3)	6 (1.5)	1 (0.7)	2 (0.9)	—	5 (2.5)	2 (3.4)	—	21 (0.7)
(2)(3)	3 (0.2)	—	—	—	1 (0.4)	—	1 (1.7)	—	5 (0.2)
(1)(2)(3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	1 (1.7)	—	2 (0.1)
(4)	1110 (66.6)	222 (54.7)	66 (46.8)	95 (40.6)	113 (49.3)	103 (51.8)	21 (35.6)	7 (38.9)	1737 (58.8)
(1) (4)	8 (0.5)	5 (1.2)	2 (1.4)	1 (0.4)	—	—	2 (3.4)	—	18 (0.6)
(2) (4)	6 (0.4)	7 (1.7)	—	5 (2.1)	2 (0.9)	—	1 (1.7)	2 (11.1)	23 (0.8)
(1)(2) (4)	—	—	—	—	1 (0.4)	—	—	—	1 (0.0)
(3)(4)	84 (5.0)	10 (2.5)	9 (6.4)	12 (5.1)	6 (2.6)	7 (3.5)	3 (5.1)	—	131 (4.4)
(1) (3)(4)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)(4)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-15 38. サソイアワセル (誘・合)

		(1)誘合せて	(2)誘合わせて	(3)誘い合せて	(4)誘い合わせて				
年 齢		12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	計
		無 答	無 答	無 答	無 答	無 答	無 答	無 答	
	無 答	6 (0.4)	1 (0.3)	1 (0.7)	2 (0.9)	5 (2.2)	4 (2.0)	—	19 (0.6)
(1)		19 (1.1)	4 (1.0)	4 (2.8)	5 (2.1)	12 (5.2)	13 (6.5)	4 (6.8)	63 (2.1)
(2)		65 (3.9)	6 (1.5)	3 (2.1)	14 (6.0)	14 (6.1)	6 (3.0)	5 (8.5)	115 (3.9)
(1)(2)		1 (0.1)	1 (0.3)	—	1 (0.4)	2 (0.9)	—	—	5 (0.2)
(3)		518 (31.0)	191 (47.0)	81 (57.4)	139 (59.4)	109 (47.6)	102 (51.3)	36 (61.0)	1183 (40.0)
(1) (3)		2 (0.1)	3 (0.7)	—	1 (0.4)	3 (1.3)	1 (0.5)	—	10 (0.3)
(2)(3)		5 (0.3)	1 (0.2)	1 (0.7)	—	—	—	—	7 (0.2)
(1)(2)(3)		—	—	—	—	1 (0.4)	—	—	1 (0.0)
(4)		952 (57.0)	183 (45.1)	46 (32.6)	66 (28.2)	75 (32.8)	69 (34.7)	12 (20.3)	1407 (47.6)
(1) (4)		3 (0.2)	2 (0.5)	1 (0.7)	—	1 (0.4)	—	—	7 (0.2)
(2) (4)		6 (0.4)	1 (0.2)	—	—	1 (0.4)	—	—	9 (0.3)
(1)(2) (4)		—	—	—	—	—	—	—	—
(3)(4)		91 (5.5)	12 (3.0)	4 (2.8)	6 (2.6)	5 (2.2)	4 (2.0)	2 (3.4)	125 (4.2)
(1) (3)(4)		—	—	—	—	—	—	1 (5.6)	1 (0.0)
(2)(3)(4)		—	1 (0.2)	—	—	1 (0.4)	—	—	2 (0.1)
(1)(2)(3)(4)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)

表48-16 8. ムカイアウ (向・合)

		(1)向合って	(2)向い合って	(3)向かい合って					
年 齢		12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	計
		無 答	無 答	無 答	無 答	無 答	無 答	無 答	
	無 答	8 (0.5)	1 (0.2)	—	1 (0.4)	5 (2.2)	2 (1.0)	1 (1.7)	18 (0.6)
(1)		38 (2.3)	9 (2.2)	7 (5.0)	16 (6.8)	14 (6.1)	13 (6.5)	4 (6.8)	104 (3.5)
(2)		1148 (68.8)	325 (80.0)	109 (77.3)	175 (74.8)	156 (68.1)	143 (71.9)	41 (69.5)	2111 (71.4)
(1)(2)		19 (1.1)	8 (2.0)	1 (0.7)	—	3 (1.3)	3 (1.5)	1 (1.7)	35 (1.2)
(3)		409 (24.6)	52 (12.8)	22 (15.6)	38 (16.2)	47 (20.5)	36 (18.0)	9 (15.3)	614 (20.8)
(1) (3)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)		46 (2.8)	11 (2.7)	2 (1.4)	4 (1.7)	4 (1.7)	2 (1.0)	3 (5.1)	72 (2.4)
(1)(2)(3)		—	—	—	—	—	—	—	—

表48-17 33. ウマレカワル (生・変)

(1)生変わる (2)生れ変わる (3)生れ変わる (4)生まれ変わる (5)生まれ変わる

年 齢	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	5 (0.3)	1 (0.2)	—	2 (0.9)	4 (1.7)	2 (1.0)	—	—	14 (0.5)
(1)	3 (0.2)	1 (0.2)	—	1 (0.4)	2 (0.9)	3 (1.5)	—	1 (5.6)	11 (0.4)
(2)	181 (10.8)	101 (24.9)	29 (20.6)	64 (27.4)	84 (36.7)	52 (26.1)	23 (39.0)	3 (16.7)	537 (18.2)
(1)(2)	—	—	—	1 (0.4)	—	—	—	—	1 (0.0)
(3)	271 (16.2)	69 (17.0)	32 (22.7)	55 (23.5)	29 (12.7)	40 (20.0)	11 (18.6)	3 (16.7)	510 (17.3)
(1) (3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2) (3)	18 (1.1)	4 (1.0)	2 (1.4)	3 (1.3)	4 (1.7)	—	2 (3.4)	—	33 (1.1)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(4)	284 (17.0)	78 (19.2)	34 (24.1)	47 (20.1)	37 (16.2)	37 (18.6)	6 (10.2)	2 (11.1)	525 (17.8)
(1) (4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2) (4)	39 (2.3)	14 (3.4)	3 (2.1)	7 (3.0)	2 (0.9)	1 (0.5)	—	—	66 (2.2)
(1)(2) (4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(3)(4)	8 (0.5)	5 (1.2)	—	—	2 (0.9)	1 (0.5)	—	—	16 (0.5)
(1) (3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)(3)(4)	3 (0.2)	—	—	—	—	—	—	—	3 (0.1)
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(5)	731 (43.8)	112 (27.6)	36 (25.5)	48 (20.5)	59 (25.8)	60 (30.2)	13 (22.0)	5 (27.8)	1064 (36.0)
(1) (5)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2) (5)	12 (0.7)	2 (0.5)	2 (1.4)	1 (0.4)	—	1 (0.5)	—	—	18 (0.6)
(1)(2) (5)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(3) (5)	57 (3.4)	11 (2.7)	1 (0.7)	3 (1.3)	2 (0.9)	2 (1.0)	3 (5.1)	2 (11.1)	81 (2.7)
(1) (3) (5)	2 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(2)(3) (5)	2 (0.1)	—	—	—	1 (0.4)	—	1 (1.7)	—	4 (0.1)
(1)(2)(3) (5)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(4)(5)	46 (2.8)	6 (1.5)	1 (0.7)	2 (0.9)	1 (0.4)	—	—	1 (5.6)	57 (1.9)
(1) (4)(5)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2) (4)(5)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(1)(2) (4)(5)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(3)(4)(5)	3 (0.2)	2 (0.5)	1 (0.7)	—	—	—	—	—	6 (0.2)
(1) (3)(4)(5)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)(3)(4)(5)	2 (0.1)	—	—	—	2 (0.9)	—	—	1 (5.6)	5 (0.2)
(1)(2)(3)(4)(5)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-18 44. ウカビアガル (浮・上)

		1)浮上がる	2)浮び上る	3)浮び上がる	4)浮かび上る	5)浮かび上がる				
年 齢		12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答		5 (0.3)	2 (0.5)	1 (0.7)	1 (0.4)	6 (2.6)	4 (2.0)	—	—	19 (0.6)
(1)		20 (1.2)	2 (0.5)	1 (0.7)	4 (1.7)	9 (3.9)	4 (2.0)	3 (5.1)	1 (5.6)	44 (1.5)
(2)		315 (18.9)	116 (28.6)	42 (29.8)	74 (31.6)	91 (39.7)	67 (33.7)	22 (37.3)	4 (22.2)	731 (24.7)
(1)(2)		2 (0.1)	—	—	1 (0.4)	—	1 (0.5)	—	—	4 (0.1)
(3)		661 (39.6)	159 (39.2)	50 (35.5)	85 (36.3)	61 (26.6)	70 (35.2)	16 (27.1)	9 (50.0)	1111 (37.6)
(1) (3)		5 (0.3)	2 (0.5)	—	—	—	—	—	—	7 (0.2)
(2)(3)		69 (4.1)	16 (3.9)	4 (2.8)	4 (1.7)	7 (3.1)	—	1 (1.7)	—	101 (3.4)
(1)(2)(3)		—	—	—	—	—	—	—	—	—
(4)		129 (7.7)	39 (9.6)	8 (5.7)	27 (11.5)	17 (7.4)	14 (7.0)	7 (11.9)	—	241 (8.2)
(1) (4)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2) (4)		19 (1.1)	3 (0.7)	—	2 (0.9)	1 (0.4)	1 (0.5)	—	1 (5.6)	27 (0.9)
(1)(2) (4)		—	—	—	—	—	—	—	—	—
(3)(4)		7 (0.4)	1 (0.2)	—	1 (0.4)	1 (0.4)	—	—	—	10 (0.3)
(1) (3)(4)		—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)(3)(4)		1 (0.1)	—	1 (0.7)	—	1 (0.4)	—	—	—	3 (0.1)
(1)(2)(3)(4)		—	—	—	—	—	—	—	—	—
(5)		354 (21.2)	51 (12.6)	29 (20.6)	34 (14.5)	34 (14.8)	36 (18.1)	8 (13.6)	3 (16.7)	549 (18.6)
(1) (5)		2 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(2) (5)		6 (0.4)	2 (0.5)	1 (0.7)	—	—	—	—	—	9 (0.3)
(1)(2) (5)		—	—	—	—	—	—	—	—	—
(3) (5)		44 (2.6)	7 (1.7)	2 (1.4)	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.5)	—	—	56 (1.9)
(1) (3) (5)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3) (5)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	1 (1.7)	—	2 (0.1)
(1)(2)(3) (5)		—	—	—	—	—	—	—	—	—
(4)(5)		19 (1.1)	4 (1.0)	2 (1.4)	—	—	1 (0.5)	1 (1.7)	—	27 (0.9)
(1) (4)(5)		—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2) (4)(5)		3 (0.2)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	—	4 (0.1)
(1)(2) (4)(5)		—	—	—	—	—	—	—	—	—
(3)(4)(5)		2 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(1) (3)(4)(5)		—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)(3)(4)(5)		3 (0.2)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	—	4 (0.1)
(1)(2)(3)(4)(5)		—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-19 27. トナリ (隣)

年 齢	(1)隣		(2)隣り		(3)隣なり		無 答	計
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳		
無 答	8 (0.5)	1 (0.2)	1 (0.7)	1 (0.4)	6 (2.6)	2 (1.0)	—	19 (0.6)
(1)	475 (28.5)	150 (36.9)	45 (31.9)	95 (40.6)	110 (48.0)	88 (44.2)	28 (47.5)	993 (33.6)
(2)	998 (59.8)	228 (56.2)	89 (63.1)	128 (54.7)	99 (43.2)	101 (50.7)	28 (47.5)	1681 (56.9)
(1)(2)	89 (5.3)	19 (4.7)	2 (1.4)	7 (3.0)	12 (5.2)	2 (1.0)	2 (3.4)	134 (4.5)
(3)	87 (5.2)	6 (1.5)	4 (2.8)	3 (1.3)	2 (0.9)	6 (3.0)	1 (1.7)	113 (3.8)
(1) (3)	5 (0.3)	—	—	—	—	—	—	5 (0.2)
(2)(3)	7 (0.4)	2 (0.5)	—	—	—	—	1 (5.6)	10 (0.3)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-20 20. オタガイ (互)

年 齢	(1)お互に		(2)お互いに		(3)お互がいに		無 答	計
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳		
無 答	5 (0.3)	2 (0.5)	—	1 (0.4)	4 (1.7)	4 (2.0)	—	16 (0.5)
(1)	263 (15.8)	98 (24.1)	39 (27.7)	63 (26.9)	78 (34.1)	60 (30.1)	21 (35.6)	626 (21.2)
(2)	1280 (76.7)	293 (72.2)	98 (69.5)	161 (68.8)	136 (59.4)	128 (64.3)	33 (55.9)	2139 (72.4)
(1)(2)	47 (2.8)	13 (3.2)	—	8 (3.4)	6 (2.6)	3 (1.5)	3 (5.1)	80 (2.7)
(3)	60 (3.6)	—	3 (2.1)	1 (0.4)	4 (1.7)	4 (2.0)	2 (3.4)	78 (2.6)
(1) (3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	12 (0.7)	—	1 (0.7)	—	1 (0.4)	—	—	14 (0.5)
(1)(2)(3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—

表48-21 30. サイワイ (幸)

年 齢	(1)幸			(2)幸い			(3)幸わい		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	7 (0.4)	1 (0.2)	—	3 (1.3)	5 (2.2)	2 (1.0)	—	—	18 (0.6)
(1)	161 (9.6)	49 (12.1)	20 (14.2)	32 (13.7)	41 (17.9)	33 (16.6)	17 (28.8)	3 (16.7)	356 (12.1)
(2)	1275 (76.4)	327 (80.5)	115 (81.6)	185 (79.1)	168 (73.4)	152 (76.4)	39 (66.1)	13 (72.2)	2274 (77.0)
(1)(2)	25 (1.5)	8 (2.0)	1 (0.7)	2 (0.9)	5 (2.2)	4 (2.0)	1 (1.7)	—	46 (1.6)
(3)	175 (10.5)	21 (5.2)	4 (2.8)	10 (4.3)	9 (3.9)	8 (4.0)	2 (3.4)	2 (11.1)	231 (7.8)
(1) (3)	3 (0.2)	—	—	—	—	—	—	—	3 (0.1)
(2)(3)	21 (1.3)	—	1 (0.7)	2 (0.9)	1 (0.4)	—	—	—	25 (0.8)
(1)(2)(3)	2 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)

表48-22 39. ナサケ (情)

年 齢	(1)情			(2)情け			(3)情をけ		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	11 (0.7)	1 (0.2)	—	4 (1.7)	5 (2.2)	4 (2.0)	—	—	25 (0.8)
(1)	386 (23.1)	141 (34.7)	36 (25.5)	62 (26.5)	54 (23.6)	62 (31.1)	21 (35.6)	2 (11.1)	764 (25.9)
(2)	1142 (68.4)	242 (59.6)	99 (70.2)	157 (67.1)	155 (67.7)	127 (63.8)	37 (62.7)	14 (77.8)	1973 (66.8)
(1)(2)	51 (3.1)	18 (4.4)	2 (1.4)	2 (0.9)	6 (2.6)	1 (0.5)	1 (1.7)	1 (5.6)	82 (2.8)
(3)	71 (4.3)	3 (0.7)	4 (2.8)	9 (3.8)	7 (3.1)	4 (2.0)	—	1 (5.6)	99 (3.4)
(1) (3)	—	—	—	—	—	1 (0.5)	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	8 (0.5)	1 (0.2)	—	—	2 (0.9)	—	—	—	11 (0.4)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-23 7. ウシロガワ (後・側)

年 齢	(1)後側			(2)後ろ側			(3)後しろ側		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	9 (0.5)	2 (0.5)	—	3 (1.3)	6 (2.6)	2 (1.0)	—	—	22 (0.7)
(1)	520 (31.2)	222 (54.7)	60 (42.6)	100 (42.7)	103 (45.0)	71 (35.7)	18 (30.5)	4 (22.2)	1098 (37.2)
(2)	1007 (60.3)	162 (39.9)	72 (51.1)	115 (49.1)	105 (45.9)	115 (57.7)	33 (55.9)	14 (77.8)	1623 (54.9)
(1)(2)	61 (3.7)	12 (3.0)	3 (2.1)	2 (0.9)	8 (3.4)	2 (1.0)	2 (3.4)	—	90 (3.0)
(3)	67 (4.0)	8 (2.0)	5 (3.5)	14 (6.0)	6 (2.6)	9 (4.5)	5 (8.5)	—	114 (3.9)
(1) (3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)(3)	5 (0.3)	—	1 (0.7)	—	1 (0.4)	—	1 (1.7)	—	8 (0.3)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-24 17. ワリ (割)

年 齢	(1)割			(2)割り					
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	6 (0.4)	1 (0.2)	1 (0.7)	2 (0.9)	3 (1.3)	6 (3.0)	—	—	19 (0.6)
(1)	750 (44.9)	189 (46.6)	47 (33.3)	81 (34.6)	84 (36.7)	91 (45.7)	27 (45.8)	7 (38.9)	1276 (43.2)
(2)	878 (52.6)	211 (52.0)	91 (64.5)	148 (63.2)	138 (60.3)	102 (51.3)	31 (52.5)	11 (61.1)	1610 (54.5)
(1)(2)	35 (2.1)	5 (1.2)	2 (1.4)	3 (1.3)	4 (1.7)	—	1 (1.7)	—	50 (1.7)

表48-25 21. マツリ (祭)

年 齢	(1)祭			(2)祭り					
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	5 (0.3)	1 (0.2)	—	1 (0.4)	3 (1.3)	4 (2.0)	—	—	14 (0.5)
(1)	517 (31.0)	199 (49.0)	63 (44.7)	126 (53.8)	128 (55.9)	103 (51.8)	35 (59.3)	4 (22.2)	1175 (39.8)
(2)	1064 (63.8)	194 (47.8)	76 (53.9)	99 (42.3)	92 (40.2)	90 (45.2)	23 (39.0)	13 (72.2)	1651 (55.9)
(1)(2)	83 (5.0)	12 (3.0)	2 (1.4)	8 (3.4)	6 (2.6)	2 (1.0)	1 (1.7)	1 (5.6)	115 (3.9)

表48-26 3. イキオイ (勢)

年 齢	(1)勢							(2)勢い		(3)勢おい	
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計		
無 答	6 (0.4)	1 (0.2)	—	2 (0.9)	4 (1.7)	5 (2.5)	—	—	18 (0.6)		
(1)	95 (5.7)	35 (8.6)	11 (7.8)	25 (10.7)	27 (11.8)	27 (13.6)	10 (16.9)	1 (5.6)	231 (7.8)		
(2)	1451 (86.9)	351 (86.5)	121 (85.8)	186 (79.5)	180 (78.6)	147 (73.9)	42 (71.2)	13 (72.2)	2491 (84.3)		
(1)(2)	12 (0.7)	3 (0.7)	—	3 (1.3)	3 (1.3)	3 (1.5)	2 (3.4)	—	26 (0.9)		
(3)	99 (5.9)	13 (3.2)	9 (6.4)	16 (6.8)	15 (6.6)	17 (8.5)	5 (8.5)	3 (16.7)	177 (5.8)		
(1) (3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)		
(2)(3)	5 (0.3)	3 (0.7)	—	2 (0.9)	—	—	—	1 (5.6)	11 (0.4)		
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

表48-27 35. ハレ (晴)

年 齢	(1)晴							(2)晴れ	
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	6 (0.4)	2 (0.5)	—	3 (1.3)	6 (2.6)	2 (1.0)	—	—	19 (0.6)
(1)	274 (16.4)	135 (33.3)	60 (42.6)	105 (44.8)	98 (42.8)	98 (49.2)	35 (59.3)	1 (5.6)	806 (27.3)
(2)	1299 (77.8)	245 (60.3)	78 (55.3)	122 (52.1)	114 (49.7)	95 (47.7)	23 (39.0)	16 (88.9)	1992 (67.4)
(1)(2)	90 (5.4)	24 (5.9)	3 (2.1)	4 (1.7)	11 (4.8)	4 (2.0)	1 (1.7)	1 (5.6)	138 (4.7)

表48-28 22. オコナイ (行)

年 齢	(1)行							(2)行い		(3)行ない	
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計		
無 答	7 (0.4)	1 (0.2)	—	4 (1.7)	9 (3.9)	4 (2.0)	—	—	25 (0.8)		
(1)	26 (1.6)	5 (1.2)	3 (2.1)	3 (1.3)	11 (4.8)	10 (5.0)	6 (10.2)	—	64 (2.2)		
(2)	659 (39.5)	220 (54.2)	44 (31.2)	92 (39.3)	96 (41.9)	81 (40.7)	25 (42.4)	8 (44.4)	1225 (41.5)		
(1)(2)	2 (0.1)	—	—	—	1 (0.4)	1 (0.5)	—	—	4 (0.1)		
(3)	927 (55.5)	164 (40.4)	89 (63.1)	129 (55.1)	110 (48.0)	97 (48.7)	27 (45.8)	9 (50.0)	1552 (52.5)		
(1) (3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)		
(2)(3)	47 (2.8)	16 (3.9)	5 (3.5)	6 (2.6)	2 (0.9)	5 (2.5)	1 (1.7)	1 (5.6)	83 (2.8)		
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	1 (0.5)	—	—	1 (0.0)		

表48-29 34. コトワリ (断)

年 齢	(1)断			(2)断り			(3)断わり		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	6 (0.4)	3 (0.7)	—	2 (0.9)	7 (3.1)	2 (1.0)	—	—	20 (0.7)
(1)	20 (1.2)	3 (0.7)	—	—	2 (0.9)	5 (2.5)	—	—	30 (1.0)
(2)	667 (40.0)	238 (58.6)	69 (48.9)	148 (63.2)	142 (62.0)	111 (55.8)	36 (61.0)	7 (38.9)	1418 (48.0)
(1)(2)	3 (0.2)	—	—	—	1 (0.4)	1 (0.5)	—	—	5 (0.2)
(3)	918 (55.0)	146 (36.0)	69 (48.9)	79 (33.8)	73 (31.9)	78 (39.2)	19 (32.2)	10 (55.6)	1392 (47.1)
(1)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)(3)	55 (3.3)	16 (3.9)	3 (2.1)	5 (2.1)	4 (1.7)	2 (1.0)	4 (6.8)	1 (5.6)	90 (3.0)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-30 5. ツギ (次)

年 齢	(1)次			(2)次ぎ			無 答	計
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳		
無 答	6 (0.4)	1 (0.2)	—	3 (1.3)	3 (1.3)	2 (1.0)	1 (5.6)	16 (0.5)
(1)	1602 (96.0)	393 (96.8)	137 (97.2)	222 (94.9)	210 (91.7)	181 (91.0)	15 (83.3)	2814 (95.2)
(2)	54 (3.2)	9 (2.2)	4 (2.8)	9 (3.8)	16 (7.0)	16 (8.1)	2 (11.1)	114 (3.9)
(1)(2)	7 (0.4)	3 (0.7)	—	—	—	—	1 (1.7)	11 (0.4)

表48-31 26. ハナシ (話)

年 齢	(1)話			(2)話し			無 答	計
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳		
無 答	5 (0.3)	1 (0.2)	—	1 (0.4)	3 (1.3)	2 (1.0)	—	12 (0.4)
(1)	972 (58.2)	267 (65.8)	86 (61.0)	151 (64.5)	145 (63.3)	129 (64.8)	5 (27.8)	1791 (60.6)
(2)	635 (38.0)	123 (30.3)	54 (38.3)	81 (34.6)	77 (33.6)	67 (33.7)	13 (72.2)	1072 (36.3)
(1)(2)	57 (3.4)	15 (3.7)	1 (0.7)	1 (0.4)	4 (1.7)	1 (0.5)	1 (1.7)	80 (2.7)

表48-32 12. アツマリ (集)

年 齢	(1)集		(2)集り		(3)集まり		(4)集つまり		計
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	
無 答	5 (0.3)	1 (0.2)	—	2 (0.9)	3 (1.3)	2 (1.0)	—	—	13 (0.4)
(1)	12 (0.7)	—	—	2 (0.9)	2 (0.9)	3 (1.5)	2 (3.4)	—	21 (0.7)
(2)	374 (22.4)	164 (40.4)	57 (40.4)	104 (44.4)	114 (49.8)	93 (46.7)	31 (52.5)	3 (16.7)	940 (31.8)
(1)(2)	2 (0.1)	—	—	—	3 (1.3)	1 (0.5)	—	—	6 (0.2)
(3)	1147 (68.7)	216 (53.2)	80 (56.7)	115 (49.1)	94 (41.0)	93 (46.7)	22 (37.3)	13 (72.2)	1780 (60.2)
(1) (3)	7 (0.4)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	—	8 (0.3)
(2)(3)	93 (5.6)	22 (5.4)	3 (2.1)	5 (2.1)	8 (3.4)	4 (2.0)	3 (5.1)	1 (5.6)	139 (4.7)
(1)(2)(3)	2 (0.1)	1 (0.2)	—	—	—	1 (0.5)	—	—	4 (0.1)
(4)	17 (1.0)	1 (0.2)	—	6 (2.6)	3 (1.3)	1 (0.5)	—	1 (5.6)	29 (1.0)
(1) (4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2) (4)	—	—	—	—	2 (0.9)	1 (0.5)	—	—	3 (0.1)
(1)(2) (4)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(3)(4)	8 (0.5)	—	1 (0.7)	—	—	—	1 (1.7)	—	10 (0.3)
(1) (3)(4)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-33 31. オコリ (起)

年 齢	1)起		(2)起り		(3)起こり		無 答	計
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳		
無 答	7 (0.4)	1 (0.2)	1 (0.7)	1 (0.4)	4 (1.7)	2 (1.0)	—	16 (0.5)
(1)	24 (1.4)	2 (0.5)	—	—	5 (2.2)	3 (1.5)	3 (5.1)	39 (1.3)
(2)	868 (52.0)	290 (71.4)	108 (76.6)	171 (73.1)	167 (72.9)	137 (68.8)	47 (79.7)	1797 (60.8)
(1)(2)	7 (0.4)	—	—	—	1 (0.4)	1 (0.5)	—	9 (0.3)
(3)	712 (42.7)	106 (26.1)	29 (20.6)	58 (24.8)	48 (21.0)	55 (27.6)	8 (13.6)	1022 (34.6)
(1) (3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	50 (3.0)	7 (1.7)	3 (2.1)	4 (1.7)	4 (1.7)	1 (0.5)	1 (1.7)	71 (2.4)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-34 37. オワリ（終）

年 齢	1)終			(2)終り			(3)終わり		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	8 (0.5)	2 (0.5)	—	2 (0.9)	6 (2.6)	3 (1.5)	—	—	21 (0.7)
(1)	34 (2.0)	10 (2.5)	6 (4.3)	16 (6.8)	18 (7.9)	9 (4.5)	3 (5.1)	—	96 (3.3)
(2)	836 (50.0)	336 (82.8)	110 (78.1)	179 (76.5)	148 (64.6)	140 (70.4)	49 (83.1)	8 (44.4)	1806 (61.1)
(1)(2)	10 (0.6)	3 (0.7)	—	3 (1.3)	5 (2.2)	3 (1.5)	—	—	24 (0.8)
(3)	681 (40.8)	48 (11.8)	24 (17.0)	31 (13.3)	48 (20.9)	42 (21.1)	7 (11.9)	10 (55.6)	891 (30.1)
(1) (3)	10 (0.6)	—	—	—	—	—	—	—	10 (0.3)
(2)(3)	82 (4.9)	7 (1.7)	1 (0.7)	3 (1.3)	4 (1.7)	2 (1.0)	—	—	99 (3.4)
(1)(2)(3)	8 (0.5)	—	—	—	—	—	—	—	8 (0.3)

表48-35 15. オオウリダシ（大・売・出）

年 齢	(1)大売出			(2)大売出し			(3)大売り出			(4)大売り出し		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計	12～19歳	20～24歳	25～29歳
無 答	5 (0.3)	1 (0.2)	—	1 (0.4)	3 (1.3)	3 (1.5)	—	—	13 (0.4)	5 (0.3)	1 (0.2)	—
(1)	13 (0.8)	2 (0.5)	—	7 (3.0)	8 (3.5)	5 (2.5)	4 (6.8)	3 (16.7)	42 (1.4)	13 (0.8)	2 (0.5)	—
(2)	322 (19.3)	134 (33.0)	55 (39.0)	103 (44.0)	106 (46.3)	89 (44.7)	35 (59.3)	4 (22.2)	848 (28.7)	322 (19.3)	134 (33.0)	55 (39.0)
(1)(2)	5 (0.3)	—	—	—	1 (0.4)	1 (0.5)	—	—	7 (0.2)	5 (0.3)	—	—
(3)	32 (1.9)	3 (0.7)	1 (0.7)	3 (1.3)	4 (1.7)	1 (0.5)	—	3 (16.7)	47 (1.6)	32 (1.9)	3 (0.7)	1 (0.7)
(1) (3)	3 (0.2)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	—	4 (0.1)	3 (0.2)	1 (0.2)	—
(2)(3)	3 (0.2)	—	—	3 (1.3)	—	1 (0.5)	—	—	7 (0.2)	3 (0.2)	—	—
(1)(2)(3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)	1 (0.1)	—	—
(4)	1110 (66.5)	230 (56.9)	77 (54.6)	105 (44.8)	94 (41.0)	92 (46.2)	17 (28.8)	7 (38.9)	1732 (58.7)	1110 (66.5)	230 (56.9)	77 (54.6)
(1) (4)	4 (0.2)	—	—	—	—	—	—	—	4 (0.1)	4 (0.2)	—	—
(2) (4)	160 (9.6)	35 (8.6)	8 (5.7)	12 (5.1)	13 (5.7)	7 (3.5)	3 (5.1)	1 (5.6)	239 (8.1)	160 (9.6)	35 (8.6)	8 (5.7)
(1)(2) (4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(3)(4)	10 (0.6)	—	—	—	—	—	—	—	10 (0.3)	10 (0.6)	—	—
(1) (3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)(3)(4)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)	1 (0.1)	—	—
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48—36 25. ワリアイ（割・合）

(1)割合		(2)割合		(3)割合		(4)割合			
年 齢	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	5 (0.3)	2 (0.5)	—	1 (0.4)	5 (2.2)	3 (1.5)	—	—	16 (0.5)
(1)	558 (33.4)	170 (41.9)	45 (31.9)	89 (38.0)	78 (34.1)	66 (33.2)	29 (49.2)	3 (16.7)	1038 (35.1)
(2)	367 (22.0)	100 (24.6)	37 (26.2)	81 (34.6)	73 (31.9)	60 (30.2)	18 (30.5)	6 (33.3)	742 (25.1)
(1) (2)	33 (2.0)	15 (3.7)	1 (0.7)	3 (1.3)	9 (3.9)	3 (1.5)	2 (3.4)	—	66 (2.2)
(3)	145 (8.7)	20 (4.9)	9 (6.4)	16 (6.8)	15 (6.6)	19 (9.5)	7 (11.9)	5 (27.8)	236 (8.0)
(1) (3)	18 (1.1)	5 (1.2)	1 (0.7)	1 (0.4)	3 (1.3)	2 (1.0)	—	—	30 (1.0)
(2) (3)	3 (0.2)	—	—	1 (0.4)	1 (0.4)	—	—	1 (5.6)	6 (0.2)
(1) (2) (3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(4)	426 (25.5)	73 (18.0)	43 (30.5)	33 (14.1)	42 (18.3)	42 (21.1)	3 (5.1)	2 (11.1)	664 (22.5)
(1) (4)	45 (2.7)	8 (2.0)	1 (0.7)	3 (1.3)	—	—	—	—	57 (1.9)
(2) (4)	52 (3.1)	10 (2.5)	4 (2.8)	4 (1.7)	3 (1.3)	3 (1.5)	—	—	76 (2.6)
(1) (2) (4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(3) (4)	11 (0.7)	3 (0.7)	—	1 (0.4)	—	1 (0.5)	—	—	16 (0.5)
(1) (3) (4)	1 (0.1)	—	—	1 (0.4)	—	—	—	—	2 (0.1)
(2) (3) (4)	2 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(1) (2) (3) (4)	3 (0.2)	—	—	—	—	—	—	1 (5.6)	4 (0.1)

表48-37 29. ハライサゲ（払・下）

年 齢	(1)払下		(2)払下げ		(3)払い下		(4)払い下げ		計
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	
無 答	5 (0.3)	1 (0.2)	—	1 (0.4)	3 (1.3)	2 (1.0)	—	—	12 (0.4)
(1)	17 (1.0)	4 (1.0)	4 (2.8)	10 (4.3)	13 (5.7)	13 (6.5)	10 (17.0)	3 (16.7)	74 (2.5)
(2)	135 (8.1)	60 (14.8)	29 (20.6)	84 (35.9)	79 (34.5)	50 (25.1)	19 (32.2)	4 (22.2)	460 (15.6)
(1)(2)	3 (0.2)	1 (0.2)	—	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.5)	—	—	7 (0.2)
(3)	81 (4.9)	4 (1.0)	7 (5.0)	7 (3.0)	11 (4.8)	13 (6.5)	4 (6.8)	2 (11.1)	129 (4.4)
(1) (3)	9 (0.5)	—	—	—	—	—	—	—	9 (0.3)
(2)(3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(4)	1304 (78.1)	306 (75.4)	95 (67.4)	119 (50.9)	110 (48.0)	112 (56.3)	22 (37.3)	9 (50.0)	2077 (70.3)
(1) (4)	5 (0.3)	2 (0.5)	1 (0.7)	1 (0.4)	2 (0.9)	—	—	—	11 (0.4)
(2) (4)	99 (5.9)	27 (6.7)	5 (3.5)	11 (4.7)	10 (4.4)	5 (2.5)	4 (6.8)	—	161 (5.5)
(1)(2) (4)	—	—	—	—	—	1 (0.5)	—	—	1 (0.0)
(3)(4)	10 (0.6)	1 (0.2)	—	—	—	2 (1.0)	—	—	13 (0.4)
(1) (3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-38 24. クミアワセ (組・合)

年 齢	(1)組合せ		(2)組合わせ		(3)組み合わせ		(4)組み合わせ		計
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	
無 答	8 (0.5)	1 (0.2)	—	1 (0.4)	4 (1.7)	3 (1.5)	—	—	17 (0.6)
(1)	339 (20.3)	121 (29.8)	52 (36.9)	104 (44.4)	85 (37.1)	68 (34.2)	31 (52.5)	3 (16.7)	803 (27.2)
(2)	318 (19.1)	52 (12.8)	17 (12.1)	29 (12.4)	33 (14.4)	33 (16.6)	9 (15.3)	5 (27.8)	496 (16.8)
(1)(2)	18 (1.1)	6 (1.5)	1 (0.7)	2 (0.9)	4 (1.7)	3 (1.5)	3 (5.1)	—	37 (1.3)
(3)	222 (13.3)	82 (20.2)	30 (21.3)	34 (14.5)	22 (9.6)	27 (13.6)	3 (5.1)	2 (11.1)	422 (14.3)
(1)(3)	39 (2.3)	17 (4.2)	2 (1.4)	8 (3.4)	4 (1.7)	2 (1.0)	1 (1.7)	1 (5.6)	74 (2.5)
(2)(3)	2 (0.1)	1 (0.2)	—	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.5)	—	—	6 (0.2)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(4)	592 (35.5)	96 (23.6)	32 (22.7)	46 (19.7)	65 (28.4)	60 (30.2)	10 (17.0)	5 (27.8)	906 (30.7)
(1)(4)	27 (1.6)	7 (1.7)	2 (1.4)	2 (0.9)	2 (0.9)	—	1 (1.7)	—	41 (1.4)
(2)(4)	68 (4.1)	9 (2.2)	1 (0.7)	4 (1.7)	5 (2.2)	2 (1.0)	1 (1.7)	1 (5.6)	91 (3.1)
(1)(2)(4)	1 (0.1)	—	1 (0.7)	—	1 (0.4)	—	—	—	3 (0.1)
(3)(4)	21 (1.3)	14 (3.4)	3 (2.1)	3 (1.3)	2 (0.9)	—	—	—	43 (1.5)
(1)(3)(4)	6 (0.4)	—	—	—	1 (0.4)	—	—	—	7 (0.2)
(2)(3)(4)	5 (0.3)	—	—	—	—	—	—	—	5 (0.2)
(1)(2)(3)(4)	3 (0.2)	—	—	—	—	—	—	1 (5.6)	4 (0.1)

表48-39 40. モウシアワセジコウ (申・合・事・項)

		(1)申合事項		(2)申合せ事項		(3)申し合せ事項		(4)申し合わせ事項		
年 齢		12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答		5 (0.3)	1 (0.2)	—	2 (0.9)	6 (2.6)	4 (2.0)	—	—	18 (0.6)
(1)		9 (0.5)	2 (0.5)	6 (4.3)	13 (5.6)	20 (8.7)	20 (10.1)	8 (13.6)	2 (11.1)	80 (2.7)
(2)		106 (6.4)	50 (12.3)	29 (20.6)	56 (23.9)	50 (21.8)	45 (22.6)	20 (33.9)	4 (22.2)	360 (12.2)
(1)(2)		4 (0.2)	1 (0.2)	—	3 (1.3)	1 (0.4)	1 (0.5)	1 (1.7)	—	11 (0.4)
(3)		383 (22.9)	142 (35.0)	48 (34.0)	69 (29.5)	56 (24.5)	49 (24.6)	7 (11.9)	3 (16.7)	757 (25.6)
(1) (3)		1 (0.1)	1 (0.2)	—	2 (0.9)	—	—	—	—	4 (0.1)
(2)(3)		15 (0.9)	7 (1.7)	1 (0.7)	3 (1.3)	3 (1.3)	4 (2.0)	1 (1.7)	—	34 (1.2)
(1)(2)(3)		—	—	—	—	—	—	—	—	—
(4)		1042 (62.4)	190 (46.8)	49 (34.8)	76 (32.5)	84 (36.7)	74 (37.2)	20 (33.9)	7 (38.9)	1542 (52.2)
(1) (4)		2 (0.1)	—	—	—	1 (0.4)	—	—	—	3 (0.1)
(2) (4)		14 (0.8)	3 (0.7)	3 (2.1)	3 (1.3)	2 (0.9)	—	1 (1.7)	1 (5.6)	27 (0.9)
(1)(2) (4)		—	—	—	—	1 (0.4)	—	—	—	1 (0.0)
(3)(4)		86 (5.2)	9 (2.2)	5 (3.5)	6 (2.6)	4 (1.7)	1 (0.5)	1 (1.7)	1 (5.6)	113 (3.8)
(1) (3)(4)		—	—	—	—	—	1 (0.5)	—	—	1 (0.0)
(2)(3)(4)		2 (0.1)	—	—	1 (0.4)	1 (0.4)	—	—	—	4 (0.1)
(1)(2)(3)(4)		—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-40 41. ウケツケガカリ（受・付・係）その1

(1)受付係 (2)受付係り (3)受付け係 (4)受付け係り
(5)受け付係 (6)受け付係り (7)受け付け係 (8)受け付け係り

年 齢	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	6 (0.4)	2 (0.5)	1 (0.7)	1 (0.4)	7 (3.1)	4 (2.0)	—	—	21 (0.7)
(1)	349 (20.9)	154 (37.9)	68 (48.2)	113 (48.3)	104 (43.4)	95 (47.7)	31 (52.5)	—	914 (30.9)
(2)	177 (10.6)	43 (10.6)	14 (9.9)	25 (10.7)	26 (11.4)	29 (14.6)	14 (23.7)	4 (22.2)	332 (11.2)
(1)(2)	31 (1.9)	15 (3.7)	1 (0.7)	6 (2.6)	8 (3.4)	7 (3.5)	1 (1.7)	—	69 (2.3)
(3)	210 (12.6)	37 (9.1)	14 (9.9)	31 (13.2)	17 (7.4)	16 (8.0)	3 (5.1)	3 (16.7)	331 (11.2)
(1) (3)	39 (2.3)	16 (3.9)	1 (0.7)	8 (3.4)	5 (2.2)	1 (0.5)	—	1 (5.6)	71 (2.4)
(2)(3)	7 (0.4)	5 (1.2)	1 (0.7)	1 (0.4)	2 (0.9)	2 (1.0)	—	—	18 (0.6)
(1)(2)(3)	5 (0.3)	2 (0.5)	—	—	1 (0.4)	—	—	—	8 (0.3)
(4)	137 (8.2)	38 (9.4)	14 (9.9)	14 (6.0)	15 (6.6)	14 (7.0)	2 (3.4)	2 (11.1)	236 (8.0)
(1) (4)	7 (0.4)	—	—	2 (0.9)	—	—	—	—	9 (0.3)
(2) (4)	16 (1.0)	2 (0.5)	1 (0.7)	1 (0.4)	—	—	1 (1.7)	—	21 (0.7)
(1)(2) (4)	2 (0.1)	—	1 (0.7)	—	—	—	—	—	3 (0.1)
(3)(4)	23 (1.4)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	—	24 (0.8)
(1) (3)(4)	—	—	—	1 (0.4)	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)(4)	3 (0.2)	2 (0.5)	—	—	—	—	—	—	5 (0.2)
(1)(2)(3)(4)	2 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(5)	58 (3.5)	10 (2.5)	1 (0.7)	6 (2.6)	3 (1.3)	8 (4.0)	1 (1.7)	1 (5.6)	88 (3.0)
(1) (5)	13 (0.8)	4 (1.0)	1 (0.7)	—	—	—	—	—	18 (0.6)
(2) (5)	5 (0.3)	—	—	—	—	—	—	—	5 (0.2)
(1)(2) (5)	2 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(3) (5)	10 (0.6)	4 (1.0)	1 (0.7)	—	—	1 (0.5)	—	—	16 (0.5)
(1) (3) (5)	2 (0.1)	—	—	—	1 (0.4)	—	—	—	3 (0.1)
(2)(3) (5)	2 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(4)(5)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(1) (4)(5)	1 (0.1)	—	1 (0.7)	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(2) (4)(5)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(6)	41 (2.5)	7 (1.7)	1 (0.7)	—	4 (1.7)	1 (0.5)	—	1 (5.6)	55 (1.9)
(1) (6)	4 (0.2)	2 (0.5)	1 (0.7)	—	—	—	—	—	7 (0.2)
(2) (6)	7 (0.4)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	1 (5.6)	9 (0.3)
(3) (6)	3 (0.2)	—	—	1 (0.4)	—	—	—	—	4 (0.1)
(2)(3) (6)	2 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(4) (6)	4 (0.2)	—	—	—	—	—	—	—	4 (0.1)
(2) (4) (6)	1 (0.1)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(2)(3)(4) (6)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(5)(6)	1 (0.1)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(1) (5)(6)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)

表48-40 41. ウケツケガカリ (受・付・係) その2

		(1)受付係 (5)受け付係	(2)受付係り (6)受け付係り	(3)受付係 (7)受け付係	(4)受け付係り (8)受け付係り						
年 齢		12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計	
(3) (5)(6)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)	
(2)(3) (5)(6)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)	
(1)(2)(3)(4)(5)(6)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)	
(7)		166 (9.9)	20 (4.9)	10 (7.1)	13 (5.6)	12 (5.2)	9 (4.5)	1 (1.7)	1 (5.6)	232 (7.9)	
(1) (7)		24 (1.4)	8 (2.0)	3 (2.1)	2 (0.9)	3 (1.3)	1 (0.5)	1 (1.7)	—	42 (1.4)	
(2) (7)		3 (0.2)	2 (0.5)	—	—	—	1 (0.5)	—	—	6 (0.2)	
(3) (7)		16 (1.0)	2 (0.5)	—	—	3 (1.3)	—	—	—	21 (0.7)	
(1) (3) (7)		9 (0.5)	3 (0.7)	—	—	2 (0.9)	—	—	—	14 (0.5)	
(4) (7)		7 (0.4)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	—	8 (0.3)	
(1) (4) (7)		—	1 (0.2)	—	1 (0.4)	—	—	1 (1.7)	—	3 (0.1)	
(2) (4) (7)		3 (0.2)	—	—	—	—	—	—	—	3 (0.1)	
(3)(4) (7)		4 (0.2)	—	—	—	—	—	—	—	4 (0.1)	
(1) (3)(4) (7)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)	
(2)(3)(4) (7)		1 (0.1)	—	1 (0.7)	—	—	—	—	—	2 (0.1)	
(5) (7)		6 (0.4)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	—	7 (0.2)	
(1) (5) (7)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)	
(3) (5) (7)		3 (0.2)	—	—	—	—	—	—	—	3 (0.1)	
(1) (3) (5) (7)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)	
(2)(3) (5) (7)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)	
(1) (3)(4)(5) (7)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (5.6)	2 (0.1)	
(6)(7)		3 (0.2)	—	—	1 (0.4)	—	—	—	—	4 (0.1)	
(3) (6)(7)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)	
(4) (6)(7)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)	
(8)		123 (7.4)	15 (3.7)	3 (2.1)	5 (2.1)	11 (4.8)	8 (4.0)	2 (3.4)	1 (5.6)	168 (5.7)	
(1) (8)		17 (1.0)	2 (0.5)	—	1 (0.4)	—	1 (0.5)	—	—	21 (0.7)	
(2) (8)		5 (0.3)	—	—	—	—	—	—	—	5 (0.2)	
(3) (8)		3 (0.2)	—	—	—	—	—	—	—	3 (0.1)	
(1) (3) (8)		2 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)	
(4) (8)		15 (0.9)	3 (0.7)	1 (0.7)	1 (0.4)	—	—	—	1 (5.6)	21 (0.7)	
(1) (4) (8)		2 (0.1)	—	—	—	1 (0.4)	—	—	—	3 (0.1)	
(2) (4) (8)		7 (0.4)	—	—	—	1 (0.4)	—	—	—	8 (0.3)	
(3)(4) (8)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)	
(2)(3)(4) (8)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)	
(5) (8)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)	
(3) (5) (8)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)	
(4)(5) (8)		1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)	

表48-40 41. ウケツケガカリ（受・付・係） その3

(1)受付係 (2)受付係り (3)受け係 (4)受け係り
(5)受け付係 (6)受け付係り (7)受け付け係 (8)受け付け係り

年 齢	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
(6) (8)	7 (0.4)	—	1 (0.7)	—	—	—	—	—	8 (0.3)
(1) (6) (8)	—	—	—	—	—	1 (0.5)	—	—	1 (0.0)
(2) (6) (8)	2 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(3) (6) (8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(4) (6) (8)	3 (0.2)	—	—	—	—	—	1 (1.7)	—	4 (0.1)
(2) (4) (6) (8)	6 (0.4)	—	—	—	—	—	—	—	6 (0.2)
(5)(6) (8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(7)(8)	22 (1.3)	1 (0.2)	—	—	1 (0.4)	—	—	1 (5.6)	25 (0.8)
(1) (7)(8)	3 (0.2)	—	—	—	—	—	—	—	3 (0.1)
(2) (7)(8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(1)(2) (7)(8)	4 (0.2)	—	—	—	—	—	—	—	4 (0.1)
(3) (7)(8)	—	—	—	—	1 (0.4)	—	—	—	1 (0.0)
(1) (3) (7)(8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(4) (7)(8)	4 (0.2)	—	—	—	—	—	—	—	4 (0.1)
(3)(4) (7)(8)	2 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(1) (3)(4) (7)(8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(6)(7)(8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(3)(4) (6)(7)(8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(5)(6)(7)(8)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)	—	—	—	—	1 (0.4)	—	—	—	1 (0.0)

表48-41 11. ハレギ (晴・着)

(1)晴着 (2)晴れ着

年 齢	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	7 (0.4)	1 (0.2)	—	2 (0.9)	5 (2.2)	4 (2.0)	—	—	19 (0.6)
(1)	516 (30.9)	171 (42.1)	66 (46.8)	135 (57.7)	133 (58.1)	114 (57.3)	40 (67.8)	10 (55.6)	1185 (40.1)
(2)	1083 (64.9)	217 (53.4)	72 (51.1)	92 (39.3)	88 (38.4)	81 (40.7)	18 (30.5)	8 (44.4)	1659 (56.1)
(1)(2)	63 (3.8)	17 (4.2)	3 (2.1)	5 (2.1)	3 (1.3)	—	1 (1.7)	—	92 (3.1)

表48-42 41. ウケツケ～ (受・付)

(1)受付～ (2)受け付け～ (3)受け付～ (4)受け付け～

年 齢	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	6 (0.4)	2 (0.5)	1 (0.7)	1 (0.4)	7 (3.1)	4 (2.0)	—	—	21 (0.7)
(1)	557 (33.4)	212 (52.2)	83 (58.9)	144 (61.5)	138 (60.3)	131 (65.8)	46 (78.0)	4 (22.2)	1315 (44.5)
(2)	370 (22.2)	76 (18.7)	28 (19.9)	45 (19.2)	32 (14.0)	30 (15.1)	5 (8.5)	5 (27.8)	591 (20.0)
(1)(2)	81 (4.9)	27 (6.6)	4 (2.8)	13 (5.6)	8 (3.4)	3 (1.5)	1 (1.7)	1 (5.6)	138 (4.7)
(3)	100 (6.0)	18 (4.4)	2 (1.4)	6 (2.6)	7 (3.1)	9 (4.5)	1 (1.7)	2 (11.1)	145 (4.9)
(1) (3)	32 (1.9)	7 (1.7)	2 (1.4)	—	—	—	—	1 (5.6)	42 (1.4)
(2)(3)	19 (1.1)	4 (1.0)	1 (0.7)	1 (0.4)	—	1 (0.5)	—	—	26 (0.9)
(1)(2)(3)	12 (0.7)	1 (0.2)	1 (0.7)	—	1 (0.4)	—	—	—	15 (0.5)
(4)	311 (18.6)	36 (8.9)	13 (9.2)	18 (7.7)	24 (10.5)	17 (8.5)	3 (5.1)	3 (16.7)	425 (14.4)
(1) (4)	57 (3.4)	12 (3.0)	3 (2.1)	3 (1.3)	3 (1.3)	3 (1.5)	1 (1.7)	—	82 (2.8)
(2) (4)	52 (3.1)	6 (1.5)	1 (0.7)	1 (0.4)	4 (1.7)	—	—	1 (5.6)	65 (2.2)
(1)(2) (4)	28 (1.7)	4 (1.0)	1 (0.7)	1 (0.4)	4 (1.7)	—	1 (1.7)	—	39 (1.3)
(3)(4)	20 (1.2)	1 (0.2)	1 (0.7)	1 (0.4)	—	—	—	—	23 (0.8)
(1) (3)(4)	3 (0.2)	—	—	—	—	1 (0.5)	—	—	4 (0.1)
(2)(3)(4)	12 (0.7)	—	—	—	—	—	1 (1.7)	—	13 (0.4)
(1)(2)(3)(4)	9 (0.5)	—	—	—	1 (0.4)	—	—	1 (5.6)	11 (0.4)

表48-43 6. アガリグチ (上・口)

年 齢	(1)上口			(2)上り口			(3)上がリ口		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	6 (0.4)	1 (0.2)	—	1 (0.4)	3 (1.3)	3 (1.5)	—	—	14 (0.5)
(1)	13 (0.8)	—	1 (0.7)	1 (0.4)	3 (1.3)	3 (1.5)	2 (3.4)	1 (5.6)	24 (0.8)
(2)	987 (59.1)	267 (65.8)	90 (63.8)	157 (67.1)	132 (57.6)	117 (58.8)	36 (61.0)	9 (50.0)	1795 (60.7)
(1)(2)	10 (0.6)	2 (0.5)	—	—	1 (0.4)	—	—	1 (5.6)	14 (0.5)
(3)	587 (35.1)	120 (29.6)	39 (27.7)	71 (30.3)	86 (37.6)	70 (35.2)	17 (28.8)	7 (38.9)	997 (33.7)
(1) (3)	2 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	2 (0.1)
(2)(3)	64 (3.8)	16 (3.9)	11 (7.8)	4 (1.7)	4 (1.7)	6 (3.0)	4 (6.8)	—	109 (3.7)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-44 19. テツヅキ (手・続)

年 齢	(1)手続			(2)手続き					
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	8 (0.5)	1 (0.2)	—	1 (0.4)	4 (1.7)	3 (1.5)	—	—	17 (0.6)
(1)	183 (11.0)	52 (12.8)	37 (26.2)	83 (35.5)	72 (31.4)	57 (28.6)	19 (32.2)	5 (27.8)	508 (17.2)
(2)	1455 (87.2)	343 (84.5)	103 (73.0)	145 (62.0)	149 (65.1)	137 (68.8)	37 (62.7)	11 (61.1)	2380 (80.5)
(1)(2)	23 (1.4)	10 (2.5)	1 (0.7)	5 (2.1)	4 (1.7)	2 (1.0)	3 (5.1)	2 (11.1)	50 (1.7)

表48-45 36. ヤクワリ (役・割)

年 齢	(1)役割			(2)役割り			(3)役く割り		
	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	4 (0.2)	1 (0.2)	—	2 (0.9)	5 (2.2)	2 (1.0)	—	—	14 (0.5)
(1)	467 (28.0)	169 (41.6)	50 (35.5)	89 (38.0)	70 (30.6)	67 (33.7)	23 (39.0)	2 (11.1)	937 (31.7)
(2)	1027 (61.5)	211 (52.0)	87 (61.7)	131 (56.0)	138 (60.3)	126 (63.3)	36 (61.0)	11 (61.1)	1767 (59.8)
(1)(2)	89 (5.3)	24 (5.9)	3 (2.1)	7 (3.0)	11 (4.8)	2 (1.0)	—	2 (11.1)	138 (4.7)
(3)	73 (4.4)	—	1 (0.7)	5 (2.1)	5 (2.2)	1 (0.5)	—	3 (16.7)	88 (3.0)
(1) (3)	—	—	—	—	—	1 (0.5)	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	9 (0.5)	1 (0.2)	—	—	—	—	—	—	10 (0.3)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-46 41-2. ～ガカリ (係)

(1)～係 (2)～係り

年 齢	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	6 (0.4)	2 (0.5)	1 (0.7)	1 (0.4)	7 (3.1)	4 (2.0)	—	—	21 (0.7)
(1)	907 (54.3)	259 (63.8)	99 (70.2)	173 (73.9)	150 (65.5)	131 (65.8)	37 (62.7)	6 (33.3)	1762 (59.6)
(2)	551 (33.0)	110 (27.1)	35 (24.8)	46 (19.7)	57 (24.9)	52 (26.1)	20 (33.9)	10 (55.6)	881 (29.8)
(1)(2)	205 (12.3)	35 (8.6)	6 (4.3)	14 (6.0)	15 (6.6)	12 (6.0)	2 (3.4)	2 (11.1)	291 (9.8)

表48-47 9. ショウワウマレ (昭和・生)

(1)昭和生 (2)昭和生れ (3)昭和生まれ

年 齢	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	7 (0.4)	2 (0.5)	—	1 (0.4)	3 (1.3)	2 (1.0)	1 (1.7)	—	16 (0.5)
(1)	32 (1.9)	4 (1.0)	5 (3.5)	10 (4.3)	8 (3.5)	6 (3.0)	5 (8.5)	3 (16.7)	73 (2.5)
(2)	591 (35.4)	218 (53.7)	84 (59.6)	147 (62.8)	125 (54.6)	112 (56.3)	33 (55.9)	6 (33.3)	1316 (44.5)
(1)(2)	2 (0.1)	1 (0.2)	—	—	2 (0.9)	2 (1.0)	1 (1.7)	—	8 (0.3)
(3)	977 (58.5)	162 (40.0)	47 (33.3)	74 (31.6)	85 (37.1)	75 (37.7)	16 (27.1)	8 (44.4)	1444 (48.9)
(1) (3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	59 (3.5)	19 (4.7)	5 (3.5)	2 (0.9)	6 (2.6)	2 (1.0)	3 (5.1)	1 (5.6)	97 (3.3)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表48-48 32. ネアガリ (値・上)

(1)値上 (2)値上り (3)値上がり

年 齢	12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	無 答	計
無 答	6 (0.4)	1 (0.2)	—	2 (0.9)	4 (1.7)	3 (1.5)	—	—	16 (0.5)
(1)	37 (2.2)	6 (1.5)	8 (5.7)	6 (2.6)	9 (3.9)	6 (3.0)	2 (3.4)	1 (5.6)	75 (2.5)
(2)	790 (47.3)	239 (58.9)	66 (46.8)	140 (59.8)	129 (56.3)	100 (50.2)	37 (62.7)	11 (61.1)	1512 (51.2)
(1)(2)	5 (0.3)	1 (0.2)	2 (1.4)	—	1 (0.4)	2 (1.0)	—	—	11 (0.4)
(3)	757 (45.5)	143 (35.2)	62 (44.0)	81 (34.6)	74 (32.3)	83 (41.7)	17 (28.8)	4 (22.2)	1221 (41.3)
(1) (3)	11 (0.7)	1 (0.2)	—	—	1 (0.4)	1 (0.5)	—	—	14 (0.5)
(2)(3)	62 (3.7)	15 (3.7)	3 (2.1)	5 (2.1)	11 (4.8)	4 (2.0)	3 (5.1)	1 (5.6)	104 (3.5)
(1)(2)(3)	1 (0.1)	—	—	—	—	—	—	1 (5.6)	2 (0.1)

表49－1 45. ヤシナウ（養）

学 歴	(1)養った		(2)養なった		(3)養しなった	
	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	1 (1.5)	8 (1.7)	7 (1.8)	7 (0.3)	23 (0.8)
(1)	2 (22.2)	11 (16.4)	98 (20.9)	129 (33.1)	848 (42.0)	1088 (36.8)
(2)	5 (55.6)	47 (70.1)	284 (60.7)	214 (54.9)	957 (47.4)	1507 (51.0)
(1)(2)	—	—	10 (2.1)	10 (2.6)	47 (2.3)	67 (2.3)
(3)	2 (22.2)	5 (7.5)	60 (12.8)	30 (7.7)	146 (7.2)	243 (8.2)
(1) (3)	—	—	2 (0.4)	—	3 (0.1)	5 (0.2)
(2)(3)	—	3 (4.5)	6 (1.3)	—	13 (0.6)	22 (0.7)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49－2 2. アラワレル（現）

	(1)現れた		(2)現われた		(3)現らわれた	
	小学校	中学校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	6 (1.3)	4 (1.0)	9 (0.5)	19 (0.6)
(1)	2 (22.2)	10 (14.9)	112 (23.9)	91 (23.3)	519 (25.7)	734 (24.8)
(2)	7 (77.8)	46 (68.7)	299 (63.9)	269 (69.0)	1394 (69.0)	2015 (68.2)
(1)(2)	—	1 (1.5)	8 (1.7)	7 (1.8)	41 (2.0)	57 (1.9)
(3)	—	10 (14.9)	41 (8.8)	18 (4.6)	54 (2.7)	123 (4.2)
(1) (3)	—	—	—	—	—	—
(2)(3)	—	—	2 (0.2)	1 (0.3)	4 (0.2)	7 (0.2)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49-3 16. コトナル (異)

(1)異つて (2)異なつて (3)異となつて

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	5 (1.1)	5 (1.3)	6 (0.3)	16 (0.5)
(1)	4 (44.4)	13 (19.4)	102 (21.8)	92 (23.6)	653 (32.3)	864 (29.2)
(2)	5 (55.6)	53 (79.1)	344 (73.5)	282 (72.3)	1285 (63.6)	1969 (66.6)
(1)(2)	—	1 (1.5)	4 (0.9)	8 (2.1)	49 (2.4)	62 (2.1)
(3)	—	—	13 (2.8)	3 (0.8)	25 (1.2)	41 (1.4)
(1) (3)	—	—	—	—	2 (0.1)	2 (0.1)
(2)(3)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49-4 23. アラワス (表)

(1)表した (2)表わした (3)表らわした

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	5 (1.1)	5 (1.3)	7 (0.4)	17 (0.6)
(1)	3 (33.3)	10 (14.9)	32 (6.8)	27 (6.9)	192 (9.5)	264 (8.9)
(2)	5 (55.6)	49 (73.1)	356 (76.1)	325 (83.3)	1690 (83.6)	2425 (82.1)
(1)(2)	1 (11.1)	—	8 (1.7)	6 (1.5)	28 (1.4)	43 (1.5)
(3)	—	7 (10.4)	66 (14.1)	26 (6.7)	88 (4.4)	187 (6.3)
(1) (3)	—	—	1 (0.2)	—	2 (0.1)	3 (0.1)
(2)(3)	—	1 (1.5)	—	1 (0.3)	14 (0.7)	16 (0.5)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49—5 43. オコナウ（行）

	(1)行った		(2)行なった		(3)行こなった	
	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	1 (1.5)	9 (1.9)	5 (1.3)	10 (0.5)	25 (0.9)
(1)	1 (11.1)	7 (10.4)	59 (12.6)	57 (14.6)	429 (21.2)	553 (18.7)
(2)	7 (77.8)	54 (80.6)	375 (80.1)	314 (80.5)	1425 (70.5)	2175 (73.6)
(1)(2)	—	1 (1.5)	4 (0.9)	5 (1.3)	49 (2.4)	59 (2.0)
(3)	1 (11.1)	4 (6.0)	19 (4.1)	7 (1.8)	97 (4.8)	128 (4.3)
(1) (3)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)
(2)(3)	—	—	2 (0.4)	2 (0.5)	10 (0.5)	14 (0.5)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49—6 10. オワル（終）

	(1)終ります		(2)終ります		(3)終わります	
	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	7 (1.5)	3 (0.8)	9 (0.4)	19 (0.6)
(1)	—	2 (3.0)	12 (2.6)	2 (0.5)	48 (2.4)	64 (2.2)
(2)	7 (77.8)	59 (88.1)	360 (76.9)	267 (68.3)	1075 (53.2)	1768 (59.8)
(1)(2)	—	—	4 (0.9)	—	9 (0.4)	13 (0.4)
(3)	2 (22.2)	4 (6.0)	76 (16.2)	107 (27.4)	777 (38.4)	966 (32.7)
(1) (3)	—	—	1 (0.2)	1 (0.3)	3 (0.1)	5 (0.2)
(2)(3)	—	2 (3.0)	8 (1.7)	10 (2.6)	95 (4.7)	115 (3.9)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	5 (0.2)	5 (0.2)

表49—7 14. アワセル (合)

(1)合て (2)合せて (3)合わせて

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	5 (1.1)	2 (0.5)	7 (0.3)	14 (0.5)
(1)	—	—	3 (0.6)	—	3 (0.1)	6 (0.2)
(2)	8 (88.9)	42 (62.7)	249 (53.2)	161 (41.3)	647 (32.0)	1107 (37.5)
(1)(2)	—	—	1 (0.2)	—	—	1 (0.0)
(3)	1 (11.1)	24 (35.8)	204 (43.6)	210 (53.8)	1298 (64.2)	1737 (58.8)
(1) (3)	—	—	—	—	—	—
(2)(3)	—	1 (1.5)	6 (1.3)	17 (4.4)	66 (3.3)	90 (3.1)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49—8 18. アガル (上)

(1)上りました (2)上がりました

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	7 (1.5)	4 (1.0)	8 (0.4)	19 (0.6)
(1)	5 (55.6)	32 (47.8)	210 (44.9)	153 (39.2)	813 (40.1)	1213 (41.1)
(2)	4 (44.4)	35 (52.2)	249 (53.2)	224 (57.4)	1171 (57.9)	1683 (57.0)
(1)(2)	—	—	2 (0.4)	9 (2.3)	29 (1.4)	40 (1.4)

表49—9 28. アツマル (集)

(1)集って (2)集まって (3)集まって

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	8 (1.7)	2 (0.5)	7 (0.3)	17 (0.6)
(1)	4 (44.4)	18 (26.9)	131 (28.0)	104 (26.7)	398 (19.7)	655 (22.2)
(2)	5 (55.6)	42 (62.7)	303 (65.0)	268 (68.7)	1514 (74.9)	2132 (72.2)
(1)(2)	—	2 (3.0)	7 (1.5)	7 (1.8)	51 (2.5)	67 (2.3)
(3)	—	4 (6.0)	18 (3.8)	9 (2.3)	42 (2.1)	73 (2.5)
(1) (3)	—	—	—	—	2 (0.1)	2 (0.1)
(2)(3)	—	1 (1.5)	1 (0.2)	—	7 (0.3)	9 (0.3)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49-10 42. ウマレル (生)

	(1)生る		(2)生れる		(3)生まれる	
	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	1 (1.5)	10 (2.1)	5 (1.3)	9 (0.5)	25 (0.9)
(1)	1 (11.1)	1 (1.5)	3 (0.6)	2 (0.5)	10 (0.5)	17 (0.6)
(2)	6 (66.7)	44 (65.7)	284 (60.7)	187 (47.9)	761 (37.7)	1282 (43.4)
(1)(2)	—	1 (1.5)	1 (0.2)	1 (0.3)	—	3 (0.1)
(3)	2 (22.2)	17 (25.4)	158 (33.8)	182 (46.7)	1113 (55.1)	1472 (49.8)
(1) (3)	—	—	1 (0.2)	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	—	3 (4.5)	11 (2.3)	13 (3.3)	128 (6.3)	155 (5.3)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49-11 4. ワリアテル (割・当)

(1)割当られた (2)割当てられた (3)割り当られた (4)割り当てられた

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	7 (1.5)	3 (0.8)	4 (0.2)	14 (0.5)
(1)	1 (11.1)	17 (25.4)	74 (15.8)	33 (8.5)	105 (5.2)	230 (7.8)
(2)	3 (33.3)	19 (28.4)	94 (20.1)	72 (18.5)	202 (10.0)	390 (13.2)
(1)(2)	—	—	4 (0.9)	2 (0.5)	7 (0.3)	13 (0.4)
(3)	—	10 (14.9)	71 (15.2)	44 (11.3)	267 (13.2)	392 (13.3)
(1) (3)	—	—	6 (1.3)	2 (0.5)	16 (0.8)	24 (0.8)
(2)(3)	—	—	3 (0.6)	—	4 (0.2)	7 (0.2)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—
(4)	5 (55.6)	16 (23.9)	193 (41.2)	213 (54.6)	1269 (62.8)	1696 (57.4)
(1) (4)	—	1 (1.5)	2 (0.4)	—	15 (0.7)	18 (0.6)
(2) (4)	—	2 (3.0)	13 (2.8)	19 (4.9)	114 (5.6)	148 (5.0)
(1)(2) (4)	—	—	—	—	—	—
(3)(4)	—	1 (1.5)	—	2 (0.5)	17 (0.8)	20 (0.7)
(1) (3)(4)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)
(2)(3)(4)	—	1 (1.5)	1 (0.2)	—	—	2 (0.1)
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—

表49-12 13. ウケツケル (受・付)

	(1)受付て		(2)受付けて		(3)受け付けて	
	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	7 (1.5)	5 (1.3)	5 (0.2)	17 (0.6)
(1)	1 (11.1)	14 (20.9)	68 (14.5)	30 (7.7)	262 (13.0)	375 (12.7)
(2)	5 (55.6)	36 (53.7)	272 (58.1)	200 (51.3)	874 (43.2)	1387 (46.9)
(1)(2)	1 (11.1)	2 (3.0)	8 (1.7)	—	33 (1.6)	44 (1.5)
(3)	2 (22.2)	14 (20.9)	98 (20.9)	137 (35.1)	739 (36.6)	990 (33.5)
(1) (3)	—	1 (1.5)	2 (0.4)	1 (0.3)	14 (0.7)	18 (0.6)
(2)(3)	—	—	13 (2.8)	17 (4.4)	92 (4.6)	122 (4.1)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	2 (0.1)	2 (0.1)

表49-13 46. ウリダス (売・出)

	(1)売出た		(2)売出した		(3)売り出した	
	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	1 (1.5)	9 (1.9)	5 (1.3)	9 (0.4)	24 (0.8)
(1)	—	—	1 (0.2)	—	6 (0.3)	7 (0.2)
(2)	7 (77.8)	28 (41.8)	171 (36.5)	106 (27.2)	318 (15.7)	630 (21.3)
(1)(2)	—	—	1 (0.2)	—	1 (0.1)	2 (0.1)
(3)	2 (22.2)	34 (50.7)	275 (58.8)	260 (66.7)	1564 (77.4)	2135 (72.3)
(1) (3)	—	—	1 (0.2)	3 (0.8)	3 (0.1)	7 (0.2)
(2)(3)	—	4 (6.0)	10 (2.1)	16 (4.1)	119 (5.9)	149 (5.0)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)

表49—14 1. モウシアワセル (申・合)

(1)申合せ (2)申合わせ (3)申し合せ (4)申し合わせ

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	1 (1.5)	8 (1.7)	3 (0.8)	5 (0.2)	17 (0.6)
(1)	1 (11.1)	9 (13.4)	40 (8.5)	26 (6.7)	35 (1.7)	111 (3.8)
(2)	3 (33.3)	5 (7.5)	17 (3.6)	11 (2.8)	37 (1.8)	73 (2.5)
(1)(2)	—	—	4 (0.9)	1 (0.3)	2 (0.1)	7 (0.2)
(3)	2 (22.2)	23 (34.3)	176 (37.6)	94 (24.1)	512 (25.3)	807 (27.3)
(1) (3)	—	1 (1.5)	5 (1.1)	4 (1.0)	11 (0.5)	21 (0.7)
(2)(3)	1 (11.1)	—	—	1 (0.3)	3 (0.1)	5 (0.2)
(1)(2)(3)	—	—	1 (0.2)	—	1 (0.1)	2 (0.1)
(4)	2 (22.2)	24 (35.8)	193 (41.2)	223 (57.2)	1295 (64.0)	1737 (58.8)
(1) (4)	—	1 (1.5)	1 (0.2)	4 (1.0)	12 (0.6)	18 (0.6)
(2) (4)	—	—	5 (1.1)	6 (1.5)	12 (0.6)	23 (0.9)
(1)(2) (4)	—	—	—	1 (0.3)	—	1 (0.0)
(3)(4)	—	3 (4.5)	18 (3.8)	16 (4.1)	94 (4.7)	131 (4.4)
(1) (3)(4)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)
(2)(3)(4)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—

表49-15 38. サソイアワセル (誘・合)

(1)誘合せて (2)誘合わせて (3)誘い合せて (4)誘い合わせて

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	7 (1.5)	6 (1.5)	6 (0.3)	19 (0.6)
(1)	3 (33.3)	7 (10.4)	18 (3.8)	9 (2.3)	26 (1.3)	63 (2.1)
(2)	—	4 (6.0)	24 (5.1)	15 (3.8)	72 (3.6)	115 (3.9)
(1)(2)	—	1 (1.5)	1 (0.2)	1 (0.3)	2 (0.1)	5 (0.2)
(3)	5 (55.6)	37 (55.2)	285 (60.9)	169 (43.3)	687 (34.0)	1183 (40.0)
(1) (3)	—	—	3 (0.6)	3 (0.8)	4 (0.2)	10 (0.3)
(2)(3)	—	—	1 (0.2)	—	6 (0.3)	7 (0.2)
(1)(2)(3)	—	—	—	1 (0.3)	—	1 (0.0)
(4)	1 (11.1)	16 (23.9)	119 (25.4)	168 (43.0)	1103 (54.6)	1407 (47.6)
(1) (4)	—	—	3 (0.6)	1 (0.3)	3 (0.1)	7 (0.2)
(2) (4)	—	—	—	1 (0.3)	8 (0.4)	9 (0.3)
(1)(2) (4)	—	—	—	—	—	—
(3)(4)	—	2 (3.0)	7 (1.5)	15 (3.8)	101 (5.0)	125 (4.2)
(1) (3)(4)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)
(2)(3)(4)	—	—	—	1 (0.3)	1 (0.1)	2 (0.1)
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)

表49-16 8. ムカイアウ (向・合)

(1)向合って (2)向い合って (3)向かい合って

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	1 (1.5)	6 (1.3)	3 (0.8)	8 (0.4)	18 (0.6)
(1)	—	8 (11.9)	26 (5.6)	19 (4.9)	51 (2.5)	104 (3.5)
(2)	9 (100.0)	49 (73.1)	363 (77.2)	264 (67.8)	1426 (70.1)	2111 (71.4)
(1) (2)	—	1 (1.5)	4 (0.9)	2 (0.5)	28 (1.9)	35 (1.2)
(3)	—	7 (10.4)	64 (13.7)	93 (23.8)	450 (22.3)	614 (20.8)
(1) (3)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)
(2)(3)	—	1 (1.5)	5 (1.1)	9 (2.3)	57 (2.8)	72 (2.4)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49-17 33. ウマレカワル (生・変)

(1)生れ変わる (2)生れ変わる (3)生まれ変わる (4)生まれ変わる

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	1 (1.5)	10 (2.1)	4 (1.0)	10 (0.5)	25 (0.9)
(1)	5 (55.6)	30 (44.8)	152 (32.5)	83 (21.3)	268 (13.3)	538 (18.2)
(2)	1 (11.1)	10 (14.9)	93 (19.9)	79 (20.3)	327 (16.2)	510 (17.3)
(1)(2)	1 (11.1)	1 (1.5)	5 (1.1)	5 (1.3)	21 (1.0)	33 (1.1)
(3)	1 (11.1)	13 (19.4)	92 (19.7)	65 (16.7)	354 (17.5)	525 (17.8)
(1) (3)	—	—	8 (1.7)	7 (1.8)	51 (2.5)	66 (2.2)
(2)(3)	—	—	2 (0.4)	5 (1.3)	9 (0.4)	16 (0.5)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	3 (0.1)	3 (0.1)
(4)	1 (11.1)	10 (14.9)	97 (20.7)	126 (32.3)	831 (41.2)	1065 (36.0)
(1) (4)	—	—	2 (0.4)	3 (0.8)	13 (0.6)	18 (0.6)
(2) (4)	—	2 (3.0)	4 (0.9)	6 (1.5)	71 (3.5)	83 (2.8)
(1)(2) (4)	—	—	—	2 (0.5)	2 (0.1)	4 (0.1)
(3)(4)	—	—	2 (0.4)	3 (0.8)	52 (2.6)	57 (1.9)
(1) (3)(4)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)
(2)(3)(4)	—	—	1 (0.2)	—	5 (0.2)	6 (0.2)
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	2 (0.5)	3 (0.1)	5 (0.2)

表49-18 44. ウカビアガル（浮・上）

、 (1)浮び上る (2)浮び上がる (3)浮かび上る (4)浮かび上がる

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	4 (6.0)	20 (4.3)	12 (3.1)	27 (1.3)	63 (2.1)
(1)	5 (55.6)	27 (40.3)	175 (37.4)	113 (29.0)	415 (20.5)	735 (24.9)
(2)	2 (22.2)	19 (28.4)	173 (37.0)	120 (30.8)	804 (39.8)	1118 (37.8)
(1)(2)	—	1 (1.5)	9 (1.9)	10 (2.6)	81 (4.0)	101 (3.4)
(3)	1 (11.1)	4 (6.0)	32 (6.8)	39 (10.0)	166 (8.2)	242 (8.2)
(1) (3)	—	—	3 (0.6)	1 (0.3)	23 (1.1)	27 (0.9)
(2)(3)	—	1 (1.5)	1 (0.2)	—	8 (0.4)	10 (0.3)
(1)(2)(3)	—	—	1 (0.2)	1 (0.3)	1 (0.1)	3 (0.1)
(4)	1 (11.1)	9 (13.4)	50 (10.7)	87 (22.3)	404 (20.0)	551 (18.6)
(1) (4)	—	—	—	1 (0.3)	8 (0.4)	9 (0.3)
(2) (4)	—	1 (1.5)	3 (0.6)	2 (0.5)	51 (2.5)	57 (2.0)
(1)(2) (4)	—	—	—	1 (0.3)	1 (0.1)	2 (0.1)
(3)(4)	—	1 (1.5)	1 (0.2)	3 (0.8)	22 (1.1)	27 (0.9)
(1) (3)(4)	—	—	—	—	4 (0.2)	4 (0.1)
(2)(3)(4)	—	—	—	—	2 (0.1)	2 (0.1)
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	4 (0.2)	4 (0.1)

表49-19 27. トナリ (隣)

(1)隣 (2)隣り (3)隣なり

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	6 (1.3)	5 (1.3)	8 (0.4)	19 (0.6)
(1)	3 (33.3)	27 (40.3)	182 (38.9)	176 (45.1)	605 (29.9)	993 (33.6)
(2)	5 (55.6)	39 (58.2)	257 (54.9)	188 (48.2)	1192 (59.0)	1681 (56.9)
(1)(2)	—	—	10 (2.1)	16 (4.1)	108 (5.3)	134 (4.5)
(3)	1 (11.1)	1 (1.5)	13 (2.8)	5 (1.3)	93 (4.6)	113 (3.8)
(1) (3)	—	—	—	—	5 (0.2)	5 (0.2)
(2)(3)	—	—	—	—	10 (0.5)	10 (0.3)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49-20 20. オタガイ (互)

(1)お互に (2)お互いに (3)お互がいに

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	6 (1.3)	5 (1.3)	5 (0.2)	16 (0.5)
(1)	3 (33.3)	16 (23.9)	134 (28.6)	116 (29.5)	357 (17.7)	626 (21.2)
(2)	6 (66.7)	48 (71.6)	305 (65.2)	257 (65.9)	1523 (75.4)	2139 (72.4)
(1) (2)	—	2 (3.0)	10 (2.1)	10 (2.6)	58 (2.9)	80 (2.7)
(3)	—	1 (1.5)	12 (2.6)	1 (0.3)	64 (3.2)	78 (2.6)
(1) (3)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)
(2)(3)	—	—	1 (0.2)	1 (0.3)	12 (0.6)	14 (0.5)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)

表49—21 30. サイワイ (幸)

(1)幸 (2)幸い (3)幸わい

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	9 (1.9)	2 (0.5)	7 (0.3)	18 (0.6)
(1)	1 (11.1)	16 (23.9)	63 (13.5)	67 (17.2)	209 (10.3)	356 (12.1)
(2)	8 (88.9)	46 (68.7)	365 (78.0)	299 (76.7)	1556 (77.0)	2274 (77.0)
(1)(2)	—	2 (3.0)	6 (1.3)	5 (1.3)	33 (1.6)	46 (1.6)
(3)	—	3 (4.5)	24 (5.1)	14 (3.6)	190 (9.4)	231 (7.8)
(1) (3)	—	—	—	—	3 (0.1)	3 (0.1)
(2)(3)	—	—	1 (0.2)	3 (0.8)	21 (1.0)	25 (0.9)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	2 (0.1)	2 (0.1)

表49—22 39. ナサケ (情)

(1)情 (2)情け (3)情さけ

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	9 (1.9)	5 (1.3)	11 (0.5)	25 (0.8)
(1)	2 (22.2)	23 (34.3)	109 (23.3)	116 (29.7)	514 (25.4)	764 (25.9)
(2)	6 (66.7)	42 (62.7)	331 (70.7)	250 (64.1)	1344 (66.5)	1973 (66.8)
(1)(2)	—	—	4 (0.9)	8 (2.1)	70 (3.5)	82 (2.8)
(3)	1 (11.1)	2 (3.0)	13 (2.8)	10 (2.6)	73 (3.6)	99 (3.4)
(1) (3)	—	—	1 (0.2)	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	—	—	1 (0.2)	1 (0.3)	9 (0.4)	11 (0.4)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49-23 7. ウシロガワ (後・側)

	(1)後側	(2)後ろ側	(3)後しろ側			
	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	10 (2.1)	4 (1.0)	8 (0.4)	22 (0.7)
(1)	1 (11.1)	23 (34.3)	203 (43.4)	167 (42.8)	704 (34.8)	1098 (37.2)
(2)	8 (88.9)	37 (55.2)	223 (47.7)	197 (50.5)	1158 (57.3)	1623 (54.9)
(1)(2)	—	1 (1.5)	7 (1.5)	9 (2.3)	73 (3.6)	90 (3.1)
(3)	—	5 (7.5)	24 (5.1)	12 (3.1)	73 (3.6)	114 (3.9)
(1) (3)	—	—	—	—	—	—
(2)(3)	—	1 (1.5)	1 (0.2)	1 (0.3)	5 (0.2)	8 (0.3)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49-24 17. ワリ (割)

	(1)割	(2)割り				
	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	6 (1.3)	7 (1.8)	6 (0.3)	19 (0.7)
(1)	7 (77.8)	31 (46.3)	165 (35.3)	158 (40.5)	915 (45.3)	1276 (43.2)
(2)	2 (22.2)	35 (52.2)	295 (63.0)	218 (55.9)	1060 (52.4)	1610 (54.5)
(1) (2)	—	1 (1.5)	2 (0.4)	7 (1.8)	40 (2.0)	50 (1.7)

表49-25 21. マツリ (祭)

	(1)祭	(2)祭り				
	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	6 (1.3)	3 (0.8)	5 (0.2)	14 (0.5)
(1)	5 (55.6)	29 (43.3)	225 (48.1)	226 (57.9)	690 (34.1)	1175 (39.8)
(2)	4 (44.4)	37 (55.2)	231 (49.4)	148 (37.9)	1231 (60.9)	1651 (55.9)
(1) (2)	—	1 (1.5)	6 (1.3)	13 (3.3)	95 (4.7)	115 (3.9)

表49-26 3. イキオイ (勢)

(1)勢 (2)勢い (3)勢おい

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	6 (1.3)	6 (1.5)	6 (0.3)	18 (0.6)
(1)	3 (33.3)	5 (7.5)	47 (10.0)	53 (13.6)	123 (6.1)	231 (7.8)
(2)	6 (66.7)	53 (79.1)	370 (79.1)	306 (78.5)	1756 (86.9)	2491 (84.3)
(1)(2)	—	1 (1.5)	5 (1.1)	6 (1.5)	14 (0.7)	26 (0.9)
(3)	—	8 (11.9)	38 (8.1)	18 (4.6)	113 (5.6)	177 (6.0)
(1) (3)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)
(2)(3)	—	—	2 (0.4)	1 (0.3)	8 (0.4)	11 (0.4)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49-27 35. ハレ (晴)

(1)晴 (2)晴れ

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	6 (1.3)	5 (1.3)	8 (0.4)	19 (0.6)
(1)	3 (33.3)	40 (59.7)	214 (45.7)	159 (40.8)	390 (19.3)	806 (27.3)
(2)	5 (55.6)	25 (37.3)	241 (51.5)	211 (54.1)	1510 (74.7)	1992 (67.4)
(1) (2)	1 (11.1)	2 (3.0)	7 (1.5)	15 (3.8)	113 (5.6)	138 (4.7)

表49-28 22. オコナイ (行)

(1)行 (2)行い (3)行ない

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	1 (1.5)	8 (1.7)	9 (2.3)	7 (0.3)	25 (0.9)
(1)	1 (11.1)	3 (4.5)	14 (3.1)	14 (3.6)	32 (1.6)	64 (2.2)
(2)	3 (33.3)	22 (32.8)	189 (40.4)	148 (37.8)	863 (42.8)	1225 (41.5)
(1)(2)	—	—	2 (0.4)	—	2 (0.1)	4 (0.1)
(3)	5 (55.6)	38 (56.7)	246 (52.6)	210 (53.8)	1053 (52.1)	1552 (52.5)
(1) (3)	—	3 (4.5)	—	8 (2.1)	1 (0.1)	12 (0.4)
(2)(3)	—	—	9 (1.9)	1 (0.3)	63 (3.1)	73 (2.5)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49-29 34. コトワリ (断)

	(1)断	(2)断り	(3)断わり			
	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	7 (1.5)	6 (1.5)	7 (0.3)	20 (0.7)
(1)	—	2 (3.0)	4 (0.9)	2 (0.5)	22 (1.1)	30 (1.0)
(2)	6 (66.7)	46 (68.7)	273 (58.3)	215 (55.1)	878 (43.4)	1418 (48.0)
(1)(2)	—	—	1 (0.2)	1 (0.3)	3 (0.1)	5 (0.2)
(3)	3 (33.3)	16 (23.9)	175 (37.4)	155 (39.7)	1043 (51.6)	1392 (47.1)
(1) (3)	—	—	—	—	—	—
(2)(3)	—	3 (4.5)	8 (1.7)	11 (2.8)	68 (3.4)	90 (3.1)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49-30 5. ツギ (次)

	(1)次	(2)次ぎ				
	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	6 (1.3)	3 (0.8)	7 (0.3)	16 (0.5)
(1)	7 (77.8)	60 (89.6)	435 (92.7)	374 (95.9)	1938 (95.9)	2814 (95.2)
(2)	2 (22.2)	7 (10.4)	27 (5.8)	12 (3.1)	66 (3.3)	114 (3.9)
(1) (2)	—	—	—	1 (0.3)	10 (0.5)	11 (0.4)

表49-31 26. ハナシ (話)

	(1)話	(2)話し				
	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	5 (1.1)	2 (0.5)	5 (0.2)	12 (0.4)
(1)	4 (44.4)	29 (43.3)	281 (60.0)	276 (70.8)	1201 (59.4)	1791 (60.6)
(2)	4 (44.4)	38 (56.7)	180 (38.5)	104 (26.7)	746 (36.9)	1072 (36.3)
(1) (2)	1 (11.1)	—	2 (0.4)	8 (2.1)	69 (3.4)	80 (2.7)

表49-32 12. アツマリ (集)

	(1)集	(2)集り	(3)集まり	(4)集つまり		
	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	5 (1.1)	3 (0.8)	5 (0.2)	13 (0.4)
(1)	—	1 (1.5)	6 (1.3)	2 (0.5)	12 (0.6)	21 (0.7)
(2)	6 (66.7)	39 (58.2)	217 (46.4)	154 (39.5)	524 (25.9)	940 (31.8)
(1)(2)	—	—	1 (0.2)	3 (0.8)	2 (0.1)	6 (0.2)
(3)	3 (33.3)	25 (37.3)	215 (45.9)	212 (54.4)	1325 (65.6)	1780 (60.2)
(1) (3)	—	—	—	—	8 (0.4)	8 (0.3)
(2)(3)	—	2 (3.0)	13 (2.8)	11 (2.8)	113 (5.6)	139 (4.7)
(1)(2)(3)	—	—	—	1 (0.3)	3 (0.1)	4 (0.1)
(4)	—	—	9 (1.9)	1 (0.3)	19 (0.9)	29 (1.0)
(1) (4)	—	—	—	—	—	—
(2) (4)	—	—	1 (0.2)	2 (0.5)	—	3 (0.1)
(1)(2) (4)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)
(3)(4)	—	—	1 (0.2)	1 (0.3)	8 (0.4)	10 (0.3)
(1) (3)(4)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)
(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—

表49-33 31. オコリ (起)

	(1)起	(2)起り	(3)起こり			
	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	6 (1.3)	3 (0.8)	7 (0.3)	16 (0.5)
(1)	—	1 (1.5)	6 (1.3)	6 (1.5)	26 (1.3)	39 (1.3)
(2)	8 (88.9)	55 (82.1)	353 (75.4)	255 (65.4)	1126 (55.7)	1797 (60.8)
(1)(2)	—	—	2 (0.4)	—	7 (0.3)	9 (0.3)
(3)	1 (11.1)	10 (14.9)	95 (20.3)	117 (30.0)	799 (39.5)	1022 (34.6)
(1) (3)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)
(2)(3)	—	1 (1.5)	6 (1.3)	9 (2.3)	55 (2.7)	71 (2.4)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49-34 37. オワリ (終)

	(1終	(2終り	(3終わり			
	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	8 (1.7)	5 (1.3)	8 (0.4)	21 (0.7)
(1)	1 (11.1)	1 (1.5)	25 (5.3)	22 (5.6)	47 (2.3)	96 (3.3)
(2)	7 (77.8)	57 (85.1)	358 (76.5)	268 (68.7)	1116 (55.2)	1806 (61.1)
(1)(2)	—	—	5 (1.1)	6 (1.5)	13 (0.6)	24 (0.8)
(3)	1 (11.1)	9 (13.4)	67 (14.3)	82 (21.0)	732 (36.2)	891 (30.1)
(1) (3)	—	—	—	—	10 (0.5)	10 (0.3)
(2)(3)	—	—	5 (1.1)	7 (1.8)	87 (4.3)	99 (3.4)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	8 (0.4)	8 (0.3)

表49-35 15. オオウリダシ (大・売・出)

(1)大売出 (2)大売出し (3)大売り出 (4)大売り出し

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	5 (1.1)	3 (0.8)	5 (0.2)	13 (0.4)
(1)	1 (11.1)	1 (1.5)	15 (3.2)	7 (1.8)	18 (0.9)	42 (1.4)
(2)	6 (66.7)	35 (52.2)	214 (45.7)	158 (40.5)	435 (21.5)	848 (28.7)
(1)(2)	—	—	2 (0.4)	—	5 (0.2)	7 (0.2)
(3)	—	2 (3.0)	6 (1.3)	3 (0.8)	36 (1.7)	47 (1.6)
(1) (3)	—	—	—	—	4 (0.2)	4 (0.1)
(2)(3)	—	—	2 (0.4)	2 (0.5)	3 (0.1)	7 (0.2)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.1)
(4)	2 (22.2)	28 (41.8)	206 (44.0)	188 (48.2)	1309 (64.8)	1733 (58.7)
(1) (4)	—	—	—	—	4 (0.2)	4 (0.1)
(2) (4)	—	1 (1.5)	18 (3.8)	29 (7.4)	190 (9.4)	238 (8.1)
(1)(2) (4)	—	—	—	—	—	—
(3)(4)	—	—	—	—	10 (0.5)	10 (0.3)
(1) (3)(4)	—	—	—	—	—	—
(2)(3)(4)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—

表49—36 25. ワリアイ (割・合)

(1)割合 (2)割合 (3)割合 (4)割合

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	8 (1.7)	3 (0.8)	5 (0.2)	16 (0.5)
(1)	4 (44.4)	26 (38.8)	154 (32.9)	149 (38.2)	705 (34.9)	1038 (35.1)
(2)	3 (33.3)	15 (22.4)	158 (33.8)	112 (28.7)	454 (22.5)	742 (25.1)
(1)(2)	—	2 (3.0)	8 (1.7)	10 (2.6)	46 (2.3)	66 (2.2)
(3)	1 (11.1)	9 (13.4)	42 (9.0)	19 (4.9)	165 (8.2)	236 (8.0)
(1) (3)	—	1 (1.5)	4 (0.9)	3 (0.8)	22 (1.1)	30 (1.0)
(2)(3)	—	2 (3.0)	—	—	4 (0.2)	6 (0.2)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—
(4)	1 (11.1)	10 (14.9)	82 (17.5)	81 (20.8)	490 (24.2)	664 (22.5)
(1) (4)	—	—	1 (0.2)	3 (0.8)	53 (2.6)	57 (1.9)
(2) (4)	—	2 (3.0)	7 (1.5)	9 (2.3)	58 (2.9)	76 (2.6)
(1)(2) (4)	—	—	—	—	—	—
(3)(4)	—	—	3 (0.6)	1 (0.3)	12 (0.6)	16 (0.5)
(1) (3)(4)	—	—	1 (0.2)	—	1 (0.1)	2 (0.1)
(2)(3)(4)	—	—	—	—	2 (0.1)	2 (0.1)
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	4 (0.2)	4 (0.1)

表49—37 29. ハライサゲ（払・下）

(1)払下 (2)払下げ (3)払い下 (4)払い下げ

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	5 (1.1)	2 (0.5)	5 (0.2)	12 (0.4)
(1)	—	5 (7.5)	27 (5.8)	18 (4.6)	24 (1.2)	74 (2.5)
(2)	6 (66.7)	24 (35.8)	147 (31.4)	100 (25.7)	183 (9.1)	460 (15.6)
(1)(2)	—	—	2 (0.4)	1 (0.3)	4 (0.2)	7 (0.2)
(3)	—	4 (6.0)	31 (6.6)	5 (1.3)	89 (4.4)	129 (4.4)
(1) (3)	—	—	—	—	9 (0.5)	9 (0.3)
(2)(3)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—
(4)	3 (33.3)	31 (46.3)	238 (50.9)	239 (61.3)	1566 (77.5)	2077 (70.3)
(1) (4)	—	—	—	3 (0.8)	8 (0.4)	11 (0.4)
(2) (4)	—	3 (4.5)	17 (3.6)	20 (5.1)	121 (6.0)	161 (5.5)
(1)(2) (4)	—	—	—	1 (0.3)	—	1 (0.0)
(3)(4)	—	—	1 (0.2)	1 (0.3)	11 (0.5)	13 (0.4)
(1) (3)(4)	—	—	—	—	—	—
(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—

表49-38 24. クミアワセ (組・合)

(1)組合せ (2)組合わせ (3)組み合わせ (4)組み合わせ

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	6 (1.3)	3 (0.8)	8 (0.4)	17 (0.6)
(1)	6 (66.7)	32 (47.8)	186 (39.7)	138 (35.4)	441 (21.8)	803 (27.2)
(2)	1 (11.1)	9 (13.4)	75 (16.0)	42 (10.8)	369 (18.3)	496 (16.8)
(1)(2)	—	2 (3.0)	3 (0.6)	8 (2.1)	24 (1.2)	37 (1.3)
(3)	1 (11.1)	8 (11.9)	74 (15.8)	46 (11.8)	293 (14.5)	422 (14.3)
(1) (3)	1 (11.1)	—	13 (2.8)	8 (2.1)	52 (2.6)	74 (2.5)
(2)(3)	—	—	3 (0.6)	—	3 (0.1)	6 (0.2)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—
(4)	—	13 (19.4)	95 (20.3)	121 (31.0)	677 (33.5)	906 (30.7)
(1) (4)	—	—	5 (1.1)	4 (1.0)	32 (1.6)	41 (1.4)
(2) (4)	—	3 (4.5)	2 (0.4)	12 (3.1)	74 (3.7)	91 (3.1)
(1)(2) (4)	—	—	1 (0.2)	1 (0.3)	1 (0.1)	3 (0.1)
(3)(4)	—	—	5 (1.1)	6 (1.5)	32 (1.6)	43 (1.5)
(1) (3)(4)	—	—	—	1 (0.3)	6 (0.3)	7 (0.2)
(2)(3)(4)	—	—	—	—	5 (0.2)	5 (0.2)
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	4 (0.2)	4 (0.1)

表49-39 40. モウシアワセジコウ(申・合・事項)

(1)申合事項 (2)申合せ事項 (3)申し合せ事項 (4)申し合わせ事項

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	8 (1.7)	5 (1.3)	5 (0.2)	18 (0.6)
(1)	2 (22.2)	9 (13.4)	32 (6.8)	24 (6.2)	13 (0.6)	80 (2.7)
(2)	2 (22.2)	16 (23.9)	108 (23.1)	77 (19.7)	157 (7.8)	360 (12.2)
(1)(2)	—	—	4 (0.9)	2 (0.5)	5 (0.2)	11 (0.4)
(3)	4 (44.4)	17 (25.4)	144 (30.8)	87 (22.3)	505 (25.0)	757 (25.5)
(1)(3)	—	—	—	2 (0.5)	2 (0.1)	4 (0.1)
(2)(3)	—	2 (3.0)	3 (0.6)	7 (1.8)	22 (1.1)	34 (1.2)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—
(4)	1 (11.1)	21 (31.3)	156 (33.3)	167 (42.7)	1197 (59.2)	1542 (52.2)
(1)(4)	—	—	—	1 (0.2)	2 (0.1)	3 (0.1)
(2)(4)	—	—	2 (0.4)	7 (1.8)	18 (0.9)	27 (0.9)
(1)(2)(4)	—	—	—	1 (0.3)	—	1 (0.0)
(3)(4)	—	2 (3.0)	10 (2.1)	8 (2.1)	93 (4.6)	113 (3.8)
(1)(3)(4)	—	—	1 (0.2)	—	—	1 (0.0)
(2)(3)(4)	—	—	—	2 (0.5)	2 (0.1)	4 (0.1)
(1)(2)(3)(4)	—	—	—	—	—	—

表49-40 11. ハレギ (晴・着)

(1)晴着

(2)晴れ着

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	1 (1.5)	7 (1.5)	4 (1.0)	7 (0.3)	19 (0.6)
(1)	2 (22.2)	41 (61.2)	262 (56.0)	215 (55.1)	665 (32.9)	1185 (40.1)
(2)	7 (77.8)	24 (35.8)	194 (41.5)	165 (42.3)	1269 (62.8)	1659 (56.1)
(1) (2)	—	1 (1.5)	5 (1.1)	6 (1.5)	80 (4.0)	92 (3.1)

表49-41 41-1 ウケツケ～ (受・付)

(1)受付～ (2)受付け～ (3)受け付～ (4)受け付け～

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	1 (1.5)	9 (1.9)	5 (1.3)	6 (0.3)	21 (0.7)
(1)	8 (88.9)	47 (70.1)	290 (62.0)	235 (60.3)	735 (36.4)	1315 (44.5)
(2)	1 (11.1)	10 (14.9)	78 (16.7)	59 (15.1)	443 (21.9)	591 (20.0)
(1)(2)	—	1 (1.5)	15 (3.2)	18 (4.6)	104 (5.1)	138 (4.7)
(3)	—	2 (3.0)	19 (4.1)	8 (2.1)	116 (5.7)	145 (4.9)
(1) (3)	—	—	4 (0.9)	1 (0.3)	37 (1.8)	42 (1.4)
(2)(3)	—	—	2 (0.4)	2 (0.5)	22 (1.1)	26 (0.9)
(1)(2)(3)	—	—	1 (0.2)	1 (0.3)	13 (0.6)	15 (0.5)
(4)	—	2 (3.0)	39 (8.3)	39 (10.0)	345 (17.1)	425 (14.4)
(1) (4)	—	—	3 (0.6)	13 (3.3)	66 (3.3)	82 (2.8)
(2) (4)	—	—	4 (0.9)	3 (0.8)	58 (2.9)	65 (2.2)
(1)(2) (4)	—	2 (3.0)	3 (0.6)	4 (1.0)	30 (1.5)	39 (1.3)
(3)(4)	—	1 (1.5)	—	1 (0.3)	21 (1.0)	23 (0.8)
(1) (3)(4)	—	—	—	1 (0.3)	3 (0.1)	4 (0.1)
(2)(3)(4)	—	1 (1.5)	—	—	12 (0.6)	13 (0.4)
(1)(2)(3)(4)	—	—	1 (0.2)	—	10 (0.5)	11 (0.4)

表49—42 6. アガリクチ (上・口)

(1)上口 (2)上り口 (3)上がり口

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	5 (1.1)	3 (0.8)	6 (0.3)	14 (0.5)
(1)	—	—	4 (0.9)	5 (1.3)	15 (0.7)	24 (0.8)
(2)	6 (66.7)	43 (64.2)	296 (63.2)	229 (58.7)	1221 (60.4)	1795 (60.7)
(1)(2)	—	—	1 (0.2)	2 (0.5)	11 (0.5)	14 (0.5)
(3)	2 (22.2)	22 (32.8)	146 (31.2)	138 (35.4)	689 (34.1)	997 (33.7)
(1) (3)	—	—	—	—	2 (0.1)	2 (0.1)
(2)(3)	1 (11.1)	2 (3.0)	16 (3.4)	13 (3.3)	77 (3.8)	109 (3.7)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49—43 19. テツヅキ (手・続)

(1)手続 (2)手続き

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	6 (1.3)	3 (0.8)	8 (0.4)	17 (0.6)
(1)	3 (33.3)	14 (20.9)	136 (29.1)	118 (30.3)	237 (11.7)	508 (17.2)
(2)	6 (66.7)	52 (77.6)	320 (68.4)	260 (66.7)	1742 (86.1)	2380 (80.5)
(1) (2)	—	1 (1.5)	6 (1.3)	9 (2.3)	34 (1.7)	50 (1.7)

表49—44 36.ヤクワリ (役・割)

(1)役割 (2)役割り (3)役く割り

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	6 (1.3)	4 (1.0)	4 (0.2)	14 (0.5)
(1)	4 (44.4)	17 (25.4)	137 (29.1)	164 (42.1)	615 (30.4)	937 (31.7)
(2)	5 (55.6)	47 (70.1)	306 (65.4)	204 (52.3)	1205 (59.6)	1767 (59.8)
(1)(2)	—	2 (3.0)	6 (1.3)	18 (4.6)	112 (5.5)	138 (4.7)
(3)	—	1 (1.5)	11 (2.4)	—	76 (3.8)	88 (3.0)
(1) (3)	—	—	1 (0.2)	—	—	1 (0.0)
(2)(3)	—	—	1 (0.2)	—	9 (0.4)	10 (0.3)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49-45 41-2 ～ガカリ (係)

(1)～係 (2)～係り

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	1 (1.5)	9 (1.9)	5 (1.3)	6 (0.3)	21 (0.7)
(1)	7 (77.8)	43 (64.2)	315 (67.3)	272 (69.7)	1125 (55.7)	1762 (59.6)
(2)	1 (11.1)	20 (29.9)	117 (25.0)	87 (22.3)	656 (32.5)	881 (29.8)
(1) (2)	1 (11.1)	3 (4.5)	27 (5.8)	26 (6.7)	234 (11.6)	291 (9.8)

表49-46 9. ショウワウマレ (昭和・生)

(1)昭和生 (2)昭和生れ (3)昭和生まれ

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	1 (1.5)	5 (1.1)	2 (0.5)	8 (0.4)	16 (0.5)
(1)	1 (11.1)	6 (9.0)	21 (4.5)	8 (2.1)	37 (1.7)	73 (2.5)
(2)	6 (66.7)	41 (61.2)	283 (60.5)	206 (52.8)	780 (38.6)	1316 (44.5)
(1)(2)	—	1 (1.5)	4 (0.9)	1 (0.3)	2 (0.1)	8 (0.3)
(3)	2 (22.2)	17 (25.4)	145 (31.0)	163 (41.8)	1117 (55.3)	1444 (48.9)
(1) (3)	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)
(2)(3)	—	1 (1.5)	10 (2.1)	10 (2.6)	76 (3.8)	97 (3.3)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	—	—

表49-47 32. ネアガリ (値・上)

(1)値上 (2)値上り (3)値上がり

	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	無 答	計
無 答	—	—	6 (1.3)	4 (1.0)	6 (0.3)	16 (0.5)
(1)	1 (11.1)	1 (1.5)	19 (4.1)	12 (3.1)	42 (2.1)	75 (2.5)
(2)	7 (77.8)	40 (59.7)	264 (56.4)	196 (50.3)	1005 (49.7)	1512 (51.2)
(1)(2)	—	—	4 (0.9)	1 (0.3)	6 (0.3)	11 (0.4)
(3)	1 (11.1)	24 (35.8)	165 (35.3)	157 (40.3)	874 (43.3)	1221 (41.3)
(1) (3)	—	1 (1.5)	1 (0.2)	1 (0.3)	11 (0.5)	14 (0.5)
(2)(3)	—	1 (1.5)	9 (1.9)	19 (4.9)	75 (3.7)	104 (3.5)
(1)(2)(3)	—	—	—	—	2 (0.1)	2 (0.1)

表62 関係ある語の組み合わせの平均値と分散
(上段 平均値, 下 段 分散)

	層 別 組み合わせ	年 齢 別							集 団 別							学 歴 別			
		12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	中 学	高 校	大 学	一 般	広 報	教 員	研究者	小学校	中学校	高 校	大 学
単純動詞と複合動詞	アワセル	0.071	0.084	0.092	0.090	0.227	0.162	0.276	0.121	0.006	0.062	0.162	0.188	0.116	0.052	1.000	0.197	0.107	0.173
	ーモウシアワセル	0.885	0.952	1.083	1.017	0.926	0.866	0.992	0.870	0.821	0.971	1.047	1.070	0.839	0.471	0.889	0.734	1.007	0.949
	アワセル	-0.072	-0.153	-0.228	-0.193	-0.107	-0.205	-0.152	-0.066	-0.106	-0.093	-0.190	-0.082	-0.323	-0.086	0.000	-0.089	-0.232	-0.122
	ーサソイアワセル	1.006	0.896	1.147	0.854	1.139	0.973	0.976	1.034	0.925	0.993	1.118	1.015	0.818	0.733	0.000	0.887	1.063	1.029
	ウマレル	0.134	0.133	0.300	0.104	0.107	0.092	0.186	0.096	0.167	0.164	0.242	0.065	0.011	-0.051	0.222	0.215	0.163	0.101
	ーウマレカワル	0.925	0.830	1.432	0.884	0.848	1.148	1.033	0.869	0.993	0.929	1.017	1.109	0.964	0.463	1.283	0.845	0.931	1.015
単純動詞と複合動詞	アガル	0.176	0.089	0.086	-0.043	-0.186	0.062	-0.034	0.226	0.115	0.147	-0.007	0.003	-0.036	-0.103	-0.222	-0.079	-0.053	-0.039
	ーウカビアガル	1.082	1.194	1.107	1.308	1.310	1.110	1.592	1.044	1.048	1.230	1.532	1.132	1.034	0.507	1.283	1.374	1.270	1.060
単純動詞と複合動詞	ハレ	-0.274	-0.160	-0.085	-0.256	-0.281	-0.164	-0.338	-0.319	-0.226	-0.218	-0.247	-0.131	-0.131	-0.568	0.333	-0.045	-0.209	-0.269
	ーハレギ	1.117	1.397	1.297	1.269	1.468	1.409	1.050	0.997	1.079	1.402	1.329	1.389	1.316	1.349	0.445	1.801	1.246	1.439
	ワリ	0.308	0.052	-0.050	-0.087	0.076	0.244	0.153	0.381	0.240	0.150	0.105	0.003	0.083	-0.088	0.667	0.402	0.106	-0.060
	ーヤクワリ	1.318	1.405	1.148	1.499	1.374	1.692	1.689	1.271	1.380	1.331	1.562	1.346	1.630	1.168	1.778	1.793	1.491	1.374
単純動詞と複合動詞	オコナウ	-0.587	-0.599	-0.542	-0.651	-0.889	-0.942	-0.947	-0.607	-0.546	-0.644	-0.980	-0.465	-0.859	-0.250	-1.111	-0.800	-0.792	-0.673
	ーオコナイ	1.433	1.176	1.505	1.140	1.822	1.552	1.947	1.677	1.284	1.248	1.558	1.187	1.682	0.402	1.876	1.667	1.452	1.323
	オフル	-0.045	-0.084	0.042	-0.268	-0.113	-0.124	-0.237	0.026	-0.110	-0.068	-0.107	-0.113	-0.181	-0.362	-0.444	-0.149	-0.098	-0.253
	ーオワリ	0.779	0.513	0.636	0.802	0.885	0.634	0.723	0.684	0.918	0.595	0.778	0.593	0.878	0.645	0.691	0.335	0.723	0.726
	アツマル	-0.194	-0.262	-0.432	-0.435	-0.551	-0.400	-0.621	-0.156	-0.226	-0.256	-0.615	-0.361	-0.180	-0.293	-0.444	-0.821	-0.471	-0.346
	ーアツマリ	1.068	1.169	1.480	1.720	1.620	1.604	1.822	1.185	0.974	1.077	1.831	1.427	1.287	0.655	2.469	1.222	1.613	1.529
参考1	アワセル	-0.132	-0.299	-0.219	-0.197	0.008	-0.010	-0.016	0.048	-0.245	-0.296	-0.106	-0.109	-0.146	-0.137				
	ークミアワセ	1.060	1.056	1.093	0.914	1.031	0.979	0.627	0.844	1.124	1.157	1.120	0.971	0.812	0.843				
	アワセル	-0.060	-0.181	-0.312	-0.349	-0.343	-0.432	-0.338	0.066	-0.144	-0.217	-0.425	-0.185	-0.391	-0.175				
	ーモウシアワセ事項	1.067	1.172	1.391	1.319	1.149	1.493	1.240	1.065	1.049	1.165	1.361	1.264	1.433	1.022				
	アガル	-0.474	-0.441	-0.531	-0.517	-0.433	-0.389	-0.423	-0.498	-0.429	-0.492	-0.388	-0.561	-0.423	-0.310				
	ーアガリグチ	1.057	1.154	1.014	1.154	1.075	1.191	0.922	1.027	1.065	1.128	1.152	1.075	1.208	0.800				
参考2	アガル	-0.288	-0.358	-0.375	-0.471	-0.541	-0.309	-0.441	-0.225	-0.298	-0.405	-0.463	-0.421	-0.347	-0.293				
	ーネアガリ	1.333	1.044	1.979	1.279	1.329	1.460	1.263	1.488	1.189	1.128	1.580	1.450	1.214	0.793				
	ウマレル	-0.041	-0.094	-0.121	-0.203	-0.089	-0.170	-0.086	-0.103	0.000	-0.031	-0.164	-0.106	-0.178	-0.086				
	ー昭和ウマレ	1.045	0.871	1.107	1.001	0.906	0.893	0.974	1.095	1.013	0.957	0.951	1.060	1.027	0.492				
	ワリアテル	-0.557	-0.507	-0.158	0.094	0.057	-0.088	0.017	-0.405	-0.636	-0.621	0.176	-0.006	-0.464	-0.789				
	ーワリ	1.235	1.535	1.298	1.663	1.469	1.612	1.431	1.173	1.168	1.463	1.665	1.299	1.486	1.008				
参考3	ワリアテル	-0.862	-1.030	-0.686	-0.725	-0.643	-0.492	-0.678	-0.550	-1.120	-1.037	-0.542	-0.662	-0.871	-1.310				
	ーワリアイ	1.152	1.093	1.187	1.118	1.176	1.057	1.100	1.160	1.022	1.067	1.208	1.037	1.106	0.731				
	ワリアテル	-0.249	-0.458	-0.207	0.000	0.143	0.143	0.207	-0.024	-0.395	-0.471	0.280	0.000	-0.317	-0.862				
	ーヤクワリ	1.128	1.364	1.264	1.595	1.453	1.698	1.543	1.047	0.985	1.372	1.646	1.295	1.287	0.946				
	モウシアワセル	-0.335	-0.376	-0.314	-0.288	-0.224	-0.173	-0.293	-0.728	-0.254	-0.361	-0.271	-0.298	-0.259	-0.211				
	ークミアワセ	1.493	1.008	1.458	0.970	0.847	1.031	0.897	1.303	1.030	1.050	1.057	1.181	0.847	0.657				
	サソイアワセル	0.012	-0.027	-0.071	-0.155	-0.244	-0.244	-0.186	0.133	-0.378	-0.133	-0.240	-0.113	-0.079	-0.086				
	ーモウシアワセ事項	0.951	1.034	1.382	1.120	1.542	1.473	1.337	0.936	1.045	0.941	1.554	1.299	1.560	0.458				
	サソイアワセル	-0.609	-0.212	0.021	0.004	0.112	0.196	0.136	0.116	-0.140	-0.205	0.088	-0.343	0.183	-0.034				
	ークミアワセ	1.382	0.987	1.064	0.703	0.987	0.993	1.066	0.974	1.195	0.987	0.826	1.053	0.978	0.482				
複合動詞と複合名詞	ウマレル	-0.179	-0.218	-0.390	-0.310	-0.191	-0.279	-0.276	-0.207	-0.168	-0.193	-0.409	-0.167	-0.203	-0.034				
	ー昭和ウマレ	1.159	0.962	1.210	1.097	0.830	1.216	1.372	1.180	1.048	1.047	1.230	0.972	1.062	0.792				
	ウカビアガル	-0.651	-0.507	-0.607	-0.472	-0.224	-0.433	-0.390	-1.140	-0.547	-0.623	-0.376	-0.555	-0.357	-0.207				
	ーアガリグチ	1.264	1.349	1.239	1.348	1.349	1.228	1.560	1.470	1.309	1.289	1.440	1.254	1.396	0.888				
	ウカビアガル	-0.469	-0.439	-0.464	-0.427	-0.360	-0.352	-0.407	-0.462	-0.416	-0.536	-0.444	-0.427	-0.292	-0.172				
	ーネアガリ	1.370	1.150	1.706	1.546	1.357	1.646	1.597	1.468	1.233	1.263	1.824	1.411	1.230	0.913				
	ウケツケル	-0.142	-0.371	-0.431	-0.314	-0.219	-0.287	-0.203	0.039	-0.287	-0.350	-0.095	-0.446	-0.260	-0.894	-0.444	-0.262	-0.167	-0.444
	ーウケツケガカリ	1.080	1.020	0.936	0.914	0.856	0.932	0.568	1.046	1.045	1.046	0.721	0.939	1.033	0.936	0.591	0.778	0.858	1.270
	ウリダス	-0.150	-0.265	-0.170	-0.293	-0.351	-0.268	-0.322	-0.144	-0.181	-0.184	-0.268	-0.258	-0.287	-0.542	0.000	-0.167	-0.263	-0.336
	ーオオウリダシ	0.873	1.086	1.120	1.155	1.115	1.021	1.303	0.693	0.976	1.062	1.408	0.996	0.711	0.926	0.000	1.412	1.235	0.978
複合動詞と複合名詞	モウシアワセル	-0.085	-0.150	-0.264	-0.435	-0.317	-0.410	-0.328	-0.084	-0.059	-0.163	-0.444	-0.237	-0.278	-0.281	0.111	-0.303	-0.350	-0.354
	ーモウシアワセ事項	0.305	0.627	0.737	0.927	0.977	0.789	0.772	0.328	0.322	0.397	1.063	0.561	0.757	0.518	0.877	0.757	0.858	0.750
	ウケツケル	-0.682	-1.054	-1.043	-1.172	-1.141	-1.138	-1.271	-0.402	-0.839	-1.026	-1.193	-1.183	-0.869	-1.385	-1.444	-1.431	-1.103	-1.223
	ーウケツケガカリ	1.128	1.135	1.091	0.963	1.008	1.186	1.045	1.132	1.005	1.101	1.054	0.939	1.225	0.658	0.696	1.218	1.077	0.961
	ウリダス	-0.064	-0.022	-0.014	-0.086	-0.104	-0.067	-0.136	-0.130	-0.021	-0.017	-0.112	-0.055	-0.048	0.000	-0.222	-0.091	-0.092	-0.049
	ーオオウリダシ	0.133	0.075	0.030	0.191	0.192	0.124	0.253	0.265	0.048	0.047	0.226	0.107	0.093	0.000	0.388	0.173	0.174	0.114
	モウシアワセル	-0.132	-0.268	-0.421	-0.435	-0.583	-0.600	-0.621	-0.057	-0.154	-0.281	-0.597	-0.364	-0.503	-0.263	-1.444	-0.545	-0.434	-0.521
	ーモウシアワセ事項	1.000	1.119	1.487	1.367	1.338	1.512	1.822	1.128	-0.919	1.034	1.510	1.304	1.587	0.685	2.469	1.581	1.360	1.396
	アガリグチ	0.179	0.089	0.156	0.047	-0.129	0.123	-0.017	0.261	0.127	0.087	-0.067	0.124	0.076	0.017	-0.556	0.015	0.000	0.081
	ーネアガリ	1.262	1.264	1.692	1.364	1.363	1.513	1.236	1.375	0.197	1.121	1.535	1.511	1.450	0.914	2.025	1.136	0.000	1.498

表63 類語間の組み合わせの平均値と分散
(上段 平均値, 下段 分散)

類別	層 別 組み合わせ	年 齢 別							集 団 別							学 歴 別			
		12～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50歳～	中 学	高 校	大 学	一 般	広 報	教 員	研究者	小学校	中学校	高 校	大 学
単 純 動 詞 1	アラワレル	0.357	0.413	0.319	0.483	0.458	0.258	0.339	0.322	0.345	0.459	0.403	0.322	0.310	0.509	－0.333	－0.060	0.448	0.383
	－アラウス	1.127	1.198	1.522	1.474	1.457	1.655	1.004	1.327	0.992	1.065	1.539	1.499	1.383	0.671	0.445	2.146	0.775	1.662
	コトナル	0.309	0.208	0.229	0.107	0.306	0.281	0.136	0.394	0.248	0.212	0.178	0.207	0.470	0.211	0.889	0.303	0.218	0.215
	－オコナウ	1.343	1.269	1.048	0.997	1.321	1.275	1.066	1.511	1.226	1.259	1.289	1.398	1.273	0.342	1.877	0.999	1.251	1.043
	コトナル	0.530	0.547	0.504	0.511	0.551	0.383	0.362	0.503	0.470	0.625	0.496	0.441	0.649	0.321	0.111	0.328	0.525	0.473
	－アラウス	1.240	1.258	1.356	1.159	1.430	1.397	1.335	1.378	1.101	1.248	1.464	1.261	1.257	0.682	1.432	1.743	1.368	1.346
単 純 動 詞 2	アラウス	－0.218	－0.342	－0.393	－0.403	－0.247	－0.188	－0.254	－0.101	－0.222	－0.414	－0.315	－0.232	－0.179	－0.123	0.778	0	－0.312	－0.251
	－オコナウ	1.279	1.317	1.071	1.133	1.217	1.449	1.579	1.382	1.192	1.288	1.351	1.092	1.182	0.388	1.728	2.061	1.238	1.026
	オフル	0.335	0.610	0.528	0.360	0.386	0.416	0.152	0.301	0.286	0.579	0.413	0.453	0.439	0.344	－0.222	0.424	0.412	0.392
	－ウマレル	1.421	1.210	1.035	1.169	1.055	1.066	0.943	1.465	1.446	1.238	1.113	1.168	1.222	0.881	1.284	0.881	1.070	0.907
	アワセル	－0.148	－0.211	－0.221	－0.151	－0.165	－0.118	－0.237	－0.046	－0.234	－0.214	－0.209	－0.168	－0.101	－0.712	0	－0.197	－0.182	－0.161
	－ウマレル	1.244	1.162	1.401	1.203	0.887	1.156	0.859	1.346	1.158	1.231	1.206	1.262	0.964	0.729	0.899	0.825	1.162	1.133
複 合 動 詞 1	オコナウ	－0.366	－0.357	0.050	－0.012	－0.211	－0.243	0.051	－0.177	－0.543	－0.420	0.105	－0.101	－0.408	－0.965	0	－0.030	－0.002	－0.274
	－ヤシナウ	1.710	1.049	1.616	1.433	1.539	1.552	1.947	2.086	1.503	1.158	1.536	1.122	1.614	1.275	0.889	1.635	1.470	1.463
	ワリアテル	0.003	－0.056	0.035	0.086	0.094	0.118	－0.068	0.151	－0.121	－0.051	0.059	0.027	0	－0.169				
	－ウリダス	0.859	0.994	0.606	1.292	0.914	1.269	1.148	0.877	0.767	0.938	1.237	1.210	0.821	0.548				
	ウケツケル	0.842	0.777	0.607	0.735	0.716	0.671	0.559	0.851	0.802	0.826	0.757	0.611	0.792	0.403				
	－ウリダス	1.152	1.139	1.238	1.181	1.043	1.236	0.992	1.158	1.127	1.157	1.181	1.227	1.028	1.153				
複 合 動 詞 2	ワリアテル	－0.838	－0.832	－0.741	－0.642	－0.627	－0.561	－0.637	－0.701	－0.924	－0.877	－0.696	－0.589	－0.795	－0.631				
	－ウケツケル	1.214	1.162	1.098	0.936	0.969	1.226	1.024	1.280	1.117	1.174	1.094	1.160	1.052	0.864				
	サソイアワセル	0.576	0.293	0.335	0.383	0.572	0.421	0.517	0.672	0.649	0.277	0.293	0.411	0.658	1.017				
	－ムカイアウ	1.024	0.661	0.932	0.943	1.262	1.033	1.111	1.121	1.191	0.685	0.985	0.920	1.165	0.930				
	モウシアワセル	0.542	0.347	0.485	0.437	0.657	0.517	0.824	0.602	0.611	0.289	0.440	0.455	0.754	1.035				
	－ムカイアウ	0.983	0.612	0.978	1.053	1.251	1.213	1.162	1.051	1.026	0.681	1.146	0.864	1.308	0.928				
名 詞	モウシアワセル	－0.033	0.054	0.151	0.047	0.076	0.092	0.362	－0.070	0.008	0.012	0.138	0.044	0.094	0.035				
	－サソイアワセル	0.289	0.269	0.459	0.484	0.784	0.596	0.955	0.330	0.301	0.236	0.600	0.393	0.488	0.138				
	ウマレカワル	－0.691	－0.556	－0.467	－0.339	－0.446	－0.484	－0.160	－0.733	－0.672	－0.592	－0.375	－0.454	－0.572	－0.155				
	－ウカピアガル	1.294	1.259	1.069	1.158	1.120	1.228	1.099	0.697	1.258	1.282	1.145	1.247	1.148	0.751				
	トナリ	0.110	0.029	0.128	0.352	0.597	0.231	0.220	－0.023	0.231	0.063	0.322	0.262	0.417	0.526				
	－ナサケ	1.766	1.352	1.612	1.568	1.236	1.579	1.243	2.287	1.336	1.307	1.593	1.373	1.700	1.127				
名 詞	オタガイ	－0.139	－0.207	0.035	0.095	0.246	－0.010	－0.033	－0.095	－0.146	－0.263	0.213	0.027	－0.113	－0.052				
	－ナサケ	1.506	1.640	1.524	1.574	1.639	1.760	1.524	1.876	1.123	1.565	1.787	1.459	1.850	0.892				
	サイワイ	－0.595	－0.931	－0.567	－0.558	－0.590	－0.365	0.067	－0.443	－0.497	－0.992	－0.498	－0.680	－0.351	－0.684				
	－ウシロガワ	1.788	1.654	1.763	1.583	1.623	1.633	1.724	2.059	1.496	1.440	1.865	1.627	1.994	0.918				
	オタガイ	0.278	0.359	0.277	0.374	0.372	0.313	0.169	0.351	0.163	0.332	0.382	0.341	0.241	0.175				
	－サイワイ	1.377	1.146	1.193	1.199	1.552	1.538	1.293	1.958	1.002	0.994	1.552	1.135	1.560	0.776				
名 詞	オタガイ	－0.313	－0.573	－0.291	－0.182	－0.212	－0.046	0.237	－0.095	－0.328	－0.660	－0.116	－0.343	－0.101	－0.464				
	－ウシロガワ	1.624	1.748	2.235	1.768	1.716	1.962	2.079	1.710	1.422	1.574	2.106	1.810	1.783	0.999				
	サイワイ	－0.421	－0.565	－0.241	－0.268	－0.145	－0.335	－0.203	－0.436	－0.312	－0.595	－0.189	－0.306	－0.365	－0.259				
	－ナサケ	1.552	1.332	1.360	1.284	1.282	1.305	1.043	2.113	1.040	1.233	1.343	1.198	1.538	0.537				
	ナサケ	－0.171	－0.364	－0.336	－0.298	－0.480	－0.046	0.552	－0.015	－0.178	－0.397	－0.337	－0.387	－0.006	－0.421				
	－ウシロガワ	1.756	1.662	1.899	1.982	1.471	1.654	1.667	1.865	1.602	2.234	1.904	1.701	1.899	1.121				

表61 各組み合わせの平均値と分散

○単純語と複合語

㊦単純動詞と複合動詞

	平 均	分 散
アワセル・モウシ <u>アワセル</u>	0.096	0.921
アワセル・サソイ <u>アワセル</u>	-0.115	0.998
ウマレル・ <u>ウマレカワル</u>	0.136	0.954
アガル・ウカビ <u>アガル</u>	0.105	1.151

㊦単純名詞と複合名詞

ハレ・ <u>ハレギ</u>	-0.243	1.226
ワリ・ヤク <u>ワリ</u>	0.200	1.390

○動詞と名詞

㊦単純動詞と単純名詞

オコナウ・オコナイ	-0.650	1.438
オワル・オワリ	-0.076	0.733
アツマル・アツマリ	-0.283	1.264

参考 1

アワセル・クミ <u>アワセ</u>	-0.140	1.039
アワセル・モウシ <u>アワセ</u> ジコウ	-0.167	1.176
アガル・ <u>アガリ</u> グチ	-0.465	1.089
アガル・ネ <u>アガリ</u>	-0.342	1.331
ウマレル・ショウウ <u>ウマレ</u>	-0.079	1.011

参考 2

<u>ワリアテル</u> ・ワリ	-0.388	1.423
------------------	--------	-------

参考 3

<u>ワリアテル</u> ・ <u>ワリアイ</u>	-0.818	1.160
<u>ワリアテル</u> ・ヤク <u>ワリ</u>	-0.221	1.307
モウシ <u>アワセル</u> ・クミ <u>アワセ</u>	-0.238	1.007
サソイ <u>アワセル</u> ・モウシ <u>アワセ</u> ジコウ	-0.195	0.607
サソイ <u>アワセル</u> ・クミ <u>アワセ</u>	-0.025	1.029
<u>ウマレカワル</u> ・ショウウ <u>ウマレ</u>	-0.215	1.101
ウカビ <u>アガル</u> ・ <u>アガリ</u> グチ	-0.565	1.313
ウカビ <u>アガル</u> ・ネ <u>アガリ</u>	-0.447	1.398

㊦複合動詞と複合名詞

	前 部 分		後 部 分	
ウケツケル・ <u>ウケツケ</u> ガカリ	-0.217	1.023	-0.865	1.156
ウリダス・オオ <u>ウリダシ</u>	-0.206	0.977	-0.065	0.137
モウシ <u>アワセル</u> ・ <u>モウシ</u> <u>アワセ</u> ジコウ	-0.178	0.512	-0.263	1.185

○複合語の前部分と後部分

<u>アガリ</u> グチ・ネ <u>アガリ</u>	0.139	1.302
----------------------------	-------	-------

昭和46年3月

国立国語研究所

東京都北区稻付西山町

電話東京(900) 3111 (代表)

UDC 809. 56—114

NDC 811. 6

本書の市販品発行所

東京都新宿区市ヶ谷加賀町2—30 (260) 5281

株式会社 秀英出版

国立国語研究所刊行書一覧

国立国語研究所報告

1	八丈島の言語調査	秀英出版刊	品切れ
2	言語生活の実態 ——白河市および付近の農村における——	〃	〃
3	現代語の助詞・助動詞 ——用法と実例——	〃	700円
4	婦人雑誌の用語 ——現代語の語彙調査——	〃	500円
5	地域社会の言語生活 ——鶴岡における実態調査——	〃	600円
6	少年と新聞 ——小学生・中学生の新聞への接近と理解——	〃	180円
7	入門期の言語能力	〃	200円
8	談話語の実態	〃	品切れ
9	読みの実験的研究 ——音読にあらわれた読みあやまりの分析——	〃	〃
10	低学年の読み書き能力	〃	〃
11	敬語と敬語意識	〃	〃
12	総合雑誌の用語 (前編) ——現代語の語彙調査——	〃	〃
13	総合雑誌の用語 (後編) ——現代語の語彙調査——	〃	〃
14	中学年の読み書き能力	〃	400円
15	明治初期の新聞の用語	〃	品切れ
16	日本方言の記述的研究	明治書院刊	〃
17	高学年の読み書き能力	秀英出版刊	〃
18	話しことばの文型 (1) ——対話資料による研究——	〃	800円
19	総合雑誌の用字	〃	品切れ
20	同音語の研究	〃	550円
21	現代雑誌九十種の用語用字 (1) ——総記および語彙表——	〃	1,000円
22	現代雑誌九十種の用語用字 (2) ——漢字表——	〃	1,000円
23	話しことばの文型 (2) ——独語資料による研究——	〃	550円
24	横組みの字形に関する研究	〃	350円
25	現代雑誌九十種の用語用字 (3) ——分析——	〃	1,000円
26	小学生の言語能力の発達	明治図書刊	2,100円
27	共通語化の過程	秀英出版刊	品切れ
28	類義語の研究	〃	750円
29	戦後の国民各層の文字生活	〃	400円
30-1	日本言語地図 (1)	大蔵省印刷局刊	品切れ
30-2	日本言語地図 (2)	〃	〃
30-3	日本言語地図 (3)	〃	8,000円
30-4	日本言語地図 (4)	〃	8,000円
31	電子計算機による国語研究	秀英出版刊	450円
32	社会構造と言語の関係についての基礎的研究 (1) ——親族語彙と社会構造——	〃	250円
33	家庭における子どものコミュニケーション意識	〃	350円
34	電子計算機による国語研究 (Ⅱ)	〃	450円

35	社会構造と言語の関係についての基礎的研究 (2) ——マキ・マケと親族呼称——	〃	450円
36	中学生の漢字習得に関する研究	〃	5,000円
37	電子計算機による新聞の語彙調査	〃	1,300円
38	電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅱ)		2,800円
39	電子計算機による国語研究(Ⅲ)		700円
40	送りがない意識の調査		1,500円
41	待遇表現の実態 ——松江24時間調査資料から——		900円

国立国語研究所資料集

1	国語関係刊行書目(昭和17～24年)	秀英出版刊	品切れ
2	語彙調査 ——現代新聞用語の一例——	〃	〃
3	送り仮名法資料集	〃	〃
4	明治以降国語関係刊行書目	〃	300円
5	沖縄語辞典	大蔵省印刷局刊	3,000円
6	分類語彙表	秀英出版刊	1,100円
7	動詞・形容詞問題語用例集		1,700円
8	現代新聞の漢字調査(中間報告)		500円

国立国語研究所論集

1	ことばの研究	秀英出版刊	品切れ
2	ことばの研究 第2集	〃	750円
3	ことばの研究 第3集	〃	800円

国立国語研究所年報 秀英出版刊

1	昭和24年度	品切れ	12	昭和35年度	350円
2	昭和25年度	〃	13	昭和36年度	160円
3	昭和26年度	160円	14	昭和37年度	220円
4	昭和27年度	品切れ	15	昭和38年度	250円
5	昭和28年度	240円	16	昭和39年度	250円
6	昭和29年度	200円	17	昭和40年度	250円
7	昭和30年度	品切れ	18	昭和41年度	300円
8	昭和31年度	220円	19	昭和42年度	300円
9	昭和32年度	200円	20	昭和43年度	350円
10	昭和33年度	品切れ	21	昭和44年度	400円
11	昭和34年度	220円			

国語年鑑 秀英出版刊

昭和29年版	450円	昭和38年版	950円
昭和30年版	600円	昭和39年版	品切れ
昭和31年版	品切れ	昭和40年版	1,100円
昭和32年版	〃	昭和41年版	1,100円
昭和33年版	〃	昭和42年版	1,100円
昭和34年版	〃	昭和43年版	1,200円
昭和35年版	550円	昭和44年版	1,500円
昭和36年版	800円	昭和45年版	1,500円
昭和37年版	品切れ		

高校生と新聞	国立国語研究所 日本新聞協会 共編	秀英出版刊	280円
青年とマス・コミュニケーション	日本新聞協会 国立国語研究所 共著	金沢書店刊	品切れ

RESEARCH ON THE CONCIOUSNESS OF OKURIGANA

CONTENTS

Foreword

1. Summary
2. Purpose and outline of the survey
3. Plan and operation system in data-processing
4. Analysis of testees
5. Results I. Trends in usage of Okurigana and conciousness of it
6. Results II. Analysis of usage of Okurigana in relation to nouns vs. verbs and simple morphemes vs. compound morphemes
7. Results III. Analysis of usage of Okurigana in cases of similar words
8. On further research

THE NATIONAL LANGUAGE
RESEARCH INSTITUTE

TOKYO

1971